

令和元年度 全国学力・学習状況調査
報 告 書

令和元年 9 月

香川県教育センター

目 次

目次	1
はじめに	2
I 調査の概要	3
令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について	4
数値，グラフ等を見るうえでの留意点	6
香川県重点項目に関わる質問事項	8
II 調査結果（概論）	9
全体的な状況【小学校】	10
全体的な状況【中学校】	11
正答数分布，無解答率【小学校】	12
正答数分布，無解答率【中学校】	13
香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】	14
香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計	16
香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】	18
Question 1 「学習意欲に関わる質問項目」	20
Question 2 「言語活動に関わる質問項目」	22
Question 3 「自尊意識等に関わる質問項目」	23
Question 4 「規範意識に関わる質問項目」	24
Question 5 「学校生活に関わる質問項目」	25
Question 6 「家庭学習に関わる質問項目」	26
Question 7 「メディアの利用に関わる質問項目」	27
特集1 「主体的・対話的で深い学び」	28
特集2 「カリキュラム・マネジメント」	30
特集3 「中学校英語の現状と課題」	32
III 教科に関する調査結果及び分析	33
1 小学校国語	34
2 小学校算数	42
3 中学校国語	50
4 中学校数学	58
5 中学校英語	66
IV 質問紙調査結果（児童生徒質問紙・学校質問紙）	73
1 児童生徒質問紙 調査結果一覧	74
2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ	79
一人一人の子どもに確かな学力を！ ～全教職員で～	94
3 学校質問紙 調査結果一覧	95
4 学校質問紙 回答結果グラフ	100

I
調査の概要

II
概
論

III
小
国
語

III
小
算
数

III
中
国
語

III
中
数
学

III
中
英
語

IV
児
童
生
徒
質
問
紙

IV
学
校
質
問
紙

はじめに

この全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度に始まり、平成 23 年度を除いて毎年実施されています。

この調査の目的は、「児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる」です。そして、そのような取組を通じて、「教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する」ということです。

「改善」するためには、まずは、「現状の把握」が必要です。

「将来的にも健康な生活を送るために体質を改善したい」ということを例に考えてみましょう。食事内容、睡眠、運動等の現状を把握せずして改善は期待できないわけです。また、現状を把握したとしても、細かな分析なくして改善は難しいのです。

例えば、「睡眠や運動量には問題は見られないが、食事内容に偏りが見られる」という現状の把握とともに「特に、野菜の摂取量が少ない」ということが分かり、「野菜については、生野菜で食べることが多く、そのため野菜の摂取量が少なくなりがちである」というような実情と結び付けた分析の結果、「野菜を、煮たり炊いたりする工夫した献立にすることで、食事量はあまり増やさないで、十分に野菜を摂取することができる」という改善策が生まれるのです。

体質改善の場合は、家族の誰のどんな点を対象とするのか等が明確になっていなければいけません。また、食事を改善するとしても、家族構成やその家族の生活スタイル、優先事項によって「何をどう改善するのか」という視点も変わってくるでしょう。そして、その家族が最も効果的だと考えた改善策を講じてみたところ、次の健康診断ではこうなったという結果が出て、その効果が実感されるわけです。

学習状況調査の話に戻しますと、県教育センターでは、県内公立小中学校の約 16,000 人のデータを全国の状況と比べながら、香川県全体の分析を行っています。本年度の調査から、A、B 問題が統一されたり、新たに英語の調査が加わったりしましたが、経年比較ができるよう過去 5 年間の推移を本報告書にて示しています。また、実際の調査問題を例に挙げ、分析・考察をし、授業改善のポイントを提案し、さらに、改善のポイントとなる情報を「Close-up」や「Column」の欄に掲載しています。

しかし、本報告書に示したものは、あくまでも本県全体に関する状況や分析、改善のポイントであります。各市町（学校組合）教育委員会や各学校におかれましては、本報告書で香川県の課題を把握するとともに、各学校の現状把握・分析、さらには改善にご活用いただきますようお願いいたします。また、自校の分析には、既に配信しております「活用ツール」をご活用いただき、それぞれの実情に照らし合わせた分析と検証を行い、全教職員で自校の課題を共有し、授業実践の改善等によって課題解決に取り組まれるよう切にお願いいたします。

当センターとして、ご要望があれば、指導主事が直接学校等に出向き、各校の状況や分析、改善策について一緒に考えていく事業も行っておりますのでご活用ください。

最後になりましたが、本報告書の作成に関しましてご指導・ご助言をいただきました香川大学教育学部の佐藤 明宏教授、松島 充准教授、岡田 涼准教授、経済学部の横山 佳充教授に深く感謝の意を表します。

令和元年 9 月

香川県教育センター
所長 真鍋 佳樹

I 調査の概要

令和元年度 全国学力・学習状況調査の結果について

1 調査の概要

(1) 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

(2) 調査の対象（全数調査）

- ① 国・公・私立学校の以下の学年の原則として全児童生徒を対象とする。なお、公立学校には公立大学法人が設置する学校（公立大学附属学校）を含む。
 - ア（小学校調査）小学校第6学年，義務教育学校前期課程第6学年，
特別支援学校小学部第6学年
 - イ（中学校調査）中学校第3学年，義務教育学校後期課程第3学年，
中等教育学校前期課程第3学年，特別支援学校中学部第3学年
- ② 特別支援学校及び小中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち，調査の対象となる教科について，以下に該当する児童生徒は，調査の対象としないことを原則とする。
 - ア 下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
 - イ 知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒

(3) 調査事項

- ① 教科に関する調査〔国語，算数・数学，英語（中学校のみ）〕

【出題内容】 ア 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や，実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等 イ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や，様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容
【調査問題】 ・上記アとイを一体的に問う。 ・国語及び算数・数学においては，記述式の問題を一定割合で導入する。 ・英語においては，「聞くこと」，「読むこと」，「話すこと」，「書くこと」に関する問題を 出題し，記述式の問題を一定割合で導入するとともに，「話すこと」に関する問題の解 答は，原則として口述式によるものとする。

- ② 質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

(4) 調査実施日

平成31年4月18日（木）

(5) 調査を実施した本県の学校・児童生徒数

【小学校調査】

	学校数	児童数
公立小学校	154 校	8,190 人

【中学校調査】

	学校数	生徒数
公立中学校	68 校	8,025 人

2 調査結果の示し方

文部科学省は、小学校調査及び中学校調査のそれぞれの結果として、以下の事項等を示す。

(1) 教科に関する結果

- ① 国語、算数・数学及び英語（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」に関する問題の合計とする。）のそれぞれの教科（以下「各教科」という。）にかかる問題の全体の平均正答数、平均正答率、中央値、標準偏差等

※ 英語の「話すこと」に関する問題の結果については、当該学校全体の状況、各学級の状況、各児童生徒の状況、各児童生徒に関する個人票のみ

- ② 各教科の平均正答数等の分布等が分かるグラフ
③ 各教科の設問ごとの正答率等
④ 各教科の設問ごとの解答類型別児童生徒数の割合

(2) 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の結果

- ① 児童生徒質問紙調査及び学校質問紙調査の回答状況
② 児童生徒質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の正答率等との相関関係の分析
③ 学校質問紙調査の回答状況と教科に関する調査の平均正答率等との相関関係の分析

(3) その他、調査の目的の達成に資する分析

3 調査結果の活用

各教育委員会、学校等及び文部科学省においては、調査の目的を達成するため、以下のよう
な調査結果を活用した取組に努めることとする。

- ① 各教育委員会及び学校等においては、多面的な分析を行い、自らの教育及び教育施策の
成果と課題を把握・検証し、保護者や地域住民の理解と協力のもとに適切に連携を図りな
がら、教育及び教育施策の改善に取り組むこと。
② 各学校においては、調査結果を踏まえ、各児童生徒の全般的な学習状況の改善等に努め
るとともに、自らの教育指導等の改善に向けて取り組むこと。
③ 各教育委員会においては、調査結果を踏まえ、それぞれの役割と責任に応じて、学校に
おける取組等に対して必要な支援等を行うなど、域内の教育及び教育施策の改善に向
けた取組を進めること。
④ 文部科学省は、児童生徒の学力や学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教
育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善に取り組むこととする。また、各教育委
員会及び学校等における取組に対して必要な支援等を行うなど、教育及び教育施策の改
善に向けた全国的な取組を進めることとする。

4 調査結果の取扱いに関する配慮事項

調査結果については、調査の目的を達成するため、自らの教育及び教育施策の改善、各児
童生徒の全般的な学習状況の改善等につなげることが重要であることに留意し、適切に取り
扱うものとする。

その際、調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活
動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないようにする
など教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である。

数値，グラフ等を見るうえでの留意点

■ 1 調査結果の推移について

全国学力・学習状況調査は，平成 19 年度より実施(平成 22・24 年度は抽出調査，平成 23 年度は未実施)されているが，本報告書では，過去 5 年間(平成 27 年度以降)の回答状況を分析している。(英語については，令和元年度の結果を示している。)

なお，平成 28 年度には，熊本県並びに宮崎県及び大分県の一部の小中学校の調査結果の数値は含まれない。

■ 2 差について

「差」を表しているグラフや表の数値は，香川県の数値から全国の数値を引いたものを表す。

■ 3 散布図の見方

散布図は，各都道府県の回答状況について，小学校を縦軸，中学校を横軸に対応させ，全国と各都道府県のデータをプロットしたものである。

【散布図の見方】

- は，児童生徒質問紙を示す
- は，学校質問紙を示す
- 数 / 数 は，(小学校の番号) / (中学校の番号) を示す

- 質問内容を簡潔にした見出しでは，児童生徒質問紙と学校質問紙を次のように文字の背景色で区別している

児童生徒質問紙 → ○○○○

学校質問紙 → ■■■■

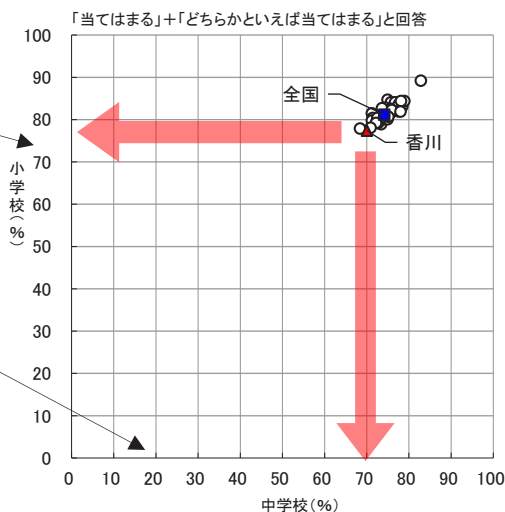
【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

自分にはよいところがある

□5/5 自分には，よいところがあると思いますか

・縦軸は小学校の割合

・横軸は中学校の割合



・香川県や他県に成果や課題があるが，特徴が分かりにくいものについては，別のページに拡大図を示している

・香川県と全国の差を「 n 」で示す

$$n = (\text{香川県}) - (\text{全国})$$

(例)

$5 \leq n$ ◎7.2pt

$3 \leq n < 5$ ◎4.8pt

$0 < n < 3$ ○2.3pt

$n = 0$ ○0.0pt

$-3 < n < 0$ ▽1.4pt

$-5 < n \leq -3$ ▼3.6pt

$n \leq -5$ ▼6.1pt

小 ▼3.8pt
中 ▼4.1pt

・▲は，香川県の，
■は，全国の結果をプロットしたものである

活用ツールで自校のデータを CHECK

本報告書では全国と香川県の状況を分析して掲載しています。
活用ツール（Excelファイル）を使えば、全国と香川県の状況に加え、
自分の学校の状況をグラフや表に表示することができます。

香川県教育センター 検索



① 活用ツールのダウンロード

香川県教育センターWebサイトから活用ツール（Excelファイル）と使用説明（PDFファイル）をダウンロードします。

<https://www.kagawa-edu.jp/educ/htdocs>



② 学校データの用意

文部科学省から各学校に送付されたDVDから分析するファイルをコンピュータのデスクトップに展開します。
（別途文部科学省から送付されているはぎのパスワードが必要です。）



③ 活用ツールの起動

必要なファイル名を選び、実行すると表示されます。



全体的な状況だけでなく、学校の研究主題に関すること、学校生活に関することなどに関係のある質問の結果を表とグラフに表示できます。各学校のカリキュラム・マネジメントの充実に向けて、必要なグラフを選んでまとめ直す際などにご活用ください。

※ 全体的な状況、全問不正解率、無解答率については、本年度から知識・活用を一体的に問う調査問題に変更になり経年比較ができないため、平成30年度までの結果が参考値として表示されます。

Column

学力調査を活用した「カリキュラム・マネジメント」

全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査からは、多様なデータを得ることができます。普段から気になっていることについて根拠を見つけたり、把握していなかった成果や課題に気付いたりすることができるようになります。

そこで、この二つの調査を学校にとっての定期健診（学校ドック）と考え、十分に活用しましょう。

全国学力・学習状況調査では、国から届いた「各学校の結果データ」や「支援ツール」とともに、香川県教育センターが作成した「活用ツール」や「報告書」等を上手に使って、全国と香川県、そして各学校の状況を比較しながら、自校の良さや課題を明確にしましょう。

分析の際は、次のような観点から学校や児童生徒の状況をみる事で、組織的かつ計画的に各学校の教育活動の質の向上を図っていくこと（カリキュラム・マネジメントの充実につなぐこと）が大切です。



- 今年度の結果だけでなく、経年変化によって児童生徒の変容を知る。
- 学校の取組と、児童生徒の意識の変化や教科に関する調査結果との関連を知る。
- 全国調査と県調査の結果を関連させて、PDCA サイクルを検証する。



活用ツールの使い方だけでなく、調査結果の活用や調査結果を基にした取組等、各学校で困っていることがありましたら、教育センターの「研究相談」や「研修サポート」をご利用ください。

香川県重点項目に関わる質問事項

重点項目	Q & A (ページ)	質問 番号	質問事項
学習意欲	Q 1 (P20)	35/37	授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか
		37/40	国語の勉強は好きですか
		38/41	国語の勉強は大切だと思いますか
		39/42	国語の授業の内容はよく分かりますか
		41/44	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか
		46/49	算数（数学）の勉強は好きですか
		47/50	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか
		48/51	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか
		50/ー	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか
		ー/54	英語の勉強は好きですか
		ー/55	英語の勉強は大切だと思いますか
		ー/56	英語の授業はよく分かりますか
		ー/59	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか
言語活動	Q 2 (P22)	29/32	学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか
		36/38	授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか
自尊意識等	Q 3 (P23)	5	自分には、よいところがあると思いますか
		8	将来の夢や目標を持っていますか
		9	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか
		10	難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか
規範意識	Q 4 (P24)	13	学校のきまり（規則）を守っていますか
		14	人が困っているときは、進んで助けていますか
		15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
		16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか
学校生活	Q 5 (P25)	11	学級みんなで話し合っただけ決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか
		12	学校に行くのは楽しいと思いますか

※ 質問番号の 数/数 は、（小学校の番号）/（中学校の番号）を示す。

Ⅱ 調査結果（概論）

令和元年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況【小学校】

Point

- ・教科に関する調査結果については、小学校において、国語，算数で全国平均を上回った。

※ 都道府県の調査区分ごとの平成 29 年度以降の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示す。

【小学校調査】

1 令和元年度平均正答率

調査区分	国語	算数
調査年度	R 元	R 元
県（公立） 平均正答率（%）	65	68
全国（公立） 平均正答率（%）	64 (63.8)	67 (66.6)
県と全国との差(pt)	+1	+1

2 平成 26～30 年度平均正答率

調査区分	国語 A					国語 B				
調査年度	H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
県（公立） 平均正答率（%）	69	75	75.0	72.3	75.5	58	59	59.5	69.5	58.8
全国（公立） 平均正答率（%）	71 (70.7)	75 (74.8)	72.9	70.0	72.9	55 (54.7)	58 (57.5)	57.8	65.4	55.5
県と全国との差(pt)	-2	0	+2.1	+2.3	+2.6	+3	+1	+1.7	+4.1	+3.3

調査区分	算数 A					算数 B				
調査年度	H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
県（公立） 平均正答率（%）	64	79	78.2	74.3	78.5	53	48	46.7	47.0	59.5
全国（公立） 平均正答率（%）	64 (63.5)	79 (78.6)	77.6	75.2	78.1	52 (51.5)	46 (45.9)	47.2	45.0	58.2
県と全国との差(pt)	0	0	+0.6	-0.9	+0.4	+1	+2	-0.5	+2.0	+1.3

令和元年度全国学力・学習状況調査

全体的な状況【中学校】

Point

- ・教科に関する調査結果については、中学校において、国語、数学で全国平均と同等であり、英語で下回った。

※ 都道府県の調査区分ごとの平成 29 年度以降の平均正答率については、文部科学省から提供されている整数値で示す。

【中学校調査】

1 令和元年度平均正答率

調査区分	国語	数学	英語※
調査年度	R 元	R 元	R 元
県（公立） 平均正答率（%）	73	60	55
全国（公立） 平均正答率（%）	73 (72.8)	60 (59.8)	56 (56.0)
県と全国との差(pt)	0	0	-1

※ 中学校英語の調査結果は、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の合計を集計している。

2 平成 26～30 年度平均正答率

調査区分	国語 A					国語 B				
調査年度	H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
県（公立） 平均正答率（%）	76	78	77.2	76.0	79.3	60	71	67.5	64.9	51.4
全国（公立） 平均正答率（%）	76 (76.1)	77 (77.4)	75.6	75.8	79.4	61 (61.2)	72 (72.2)	66.5	65.8	51.0
県と全国との差(pt)	0	+1	+1.6	+0.2	-0.1	-1	-1	+1.0	-0.9	+0.4

調査区分	数学 A					数学 B				
調査年度	H30	H29	H28	H27	H26	H30	H29	H28	H27	H26
県（公立） 平均正答率（%）	67	66	63.8	64.4	67.8	46	49	44.6	41.3	60.0
全国（公立） 平均正答率（%）	66 (66.1)	65 (64.6)	62.2	64.4	67.4	47 (46.9)	48 (48.1)	44.1	41.6	59.8
県と全国との差(pt)	+1	+1	+1.6	±0.0	+0.4	-1	+1	+0.5	-0.3	+0.2

令和元年度全国学力・学習状況調査

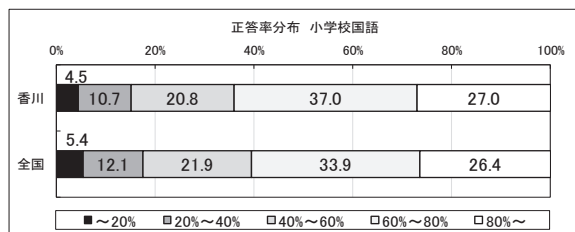
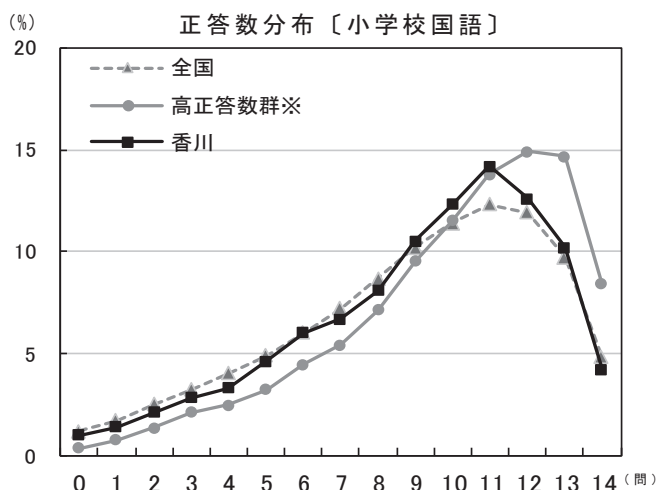
正答数分布，無解答率【小学校】

Point

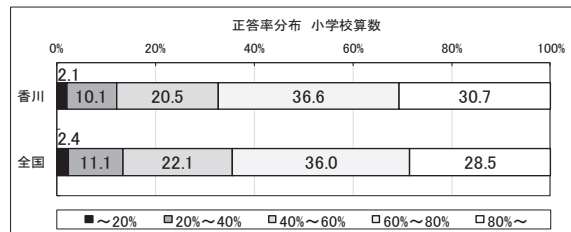
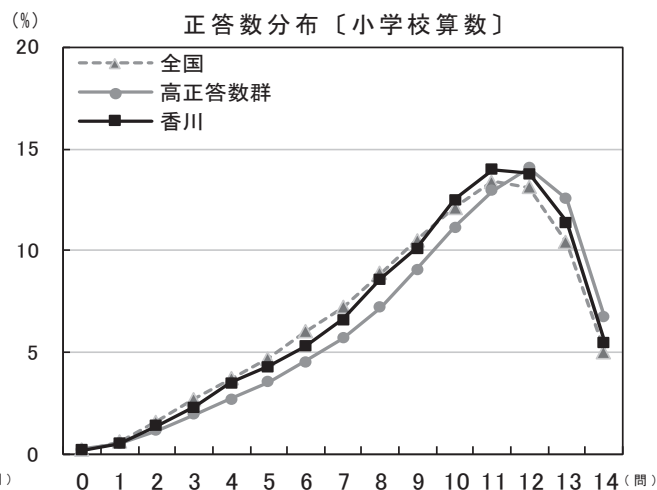
1. 正答率が40%未満の児童の割合は、国語と算数で全国を下回っている。
正答率が80%以上の児童の割合は、国語で0.6ポイント、算数で2.2ポイント全国を上回っている。
2. 無解答率が全国を上回る問題数は、全28問中、1問（3.6%）である。

1 小学校正答数分布（※高正答数群：高正答数の5都道府県の平均）

正答数分布〔小学校国語〕

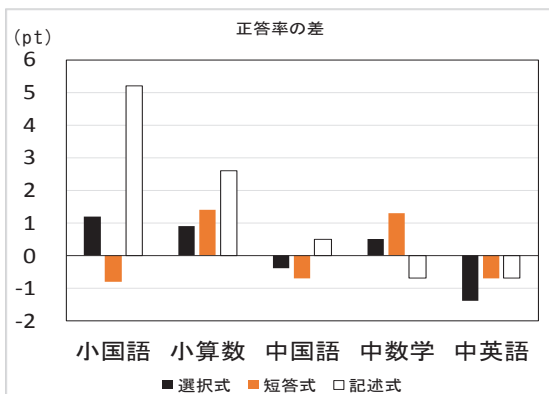


正答数分布〔小学校算数〕



Column

問題形式別正答率の県と全国との比較



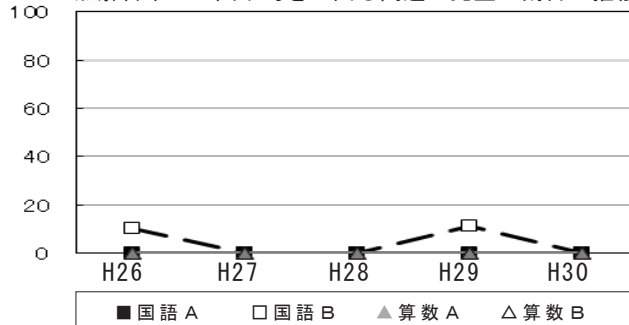
問題形式別に県と全国の正答率を比較すると、記述式の問題で小学校の国語、算数、中学校の国語が全国より高くなっています。児童生徒質問紙調査(P73～)の結果からも、最後まで書こうと努力している児童生徒の姿が伝わってきます。

2 無解答率が全国平均を上回る問題の割合

小学校	問題数 (問)	全国平均を 上回った問題数 (問)	割合 (%)
国語	14	1	7.1
算数	14	0	0.0

<参考 (H26～H30)>

無解答率が全国平均を上回る問題の児童の割合の推移



	H26	H27	H28	H29	H30
国語 A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
国語 B	10.0	0.0	0.0	11.1	0.0
算数 A	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
算数 B	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

令和元年度全国学力・学習状況調査

正答数分布，無解答率【中学校】

Point

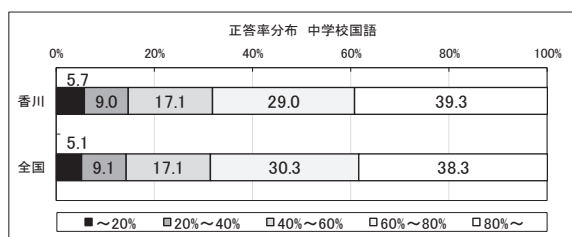
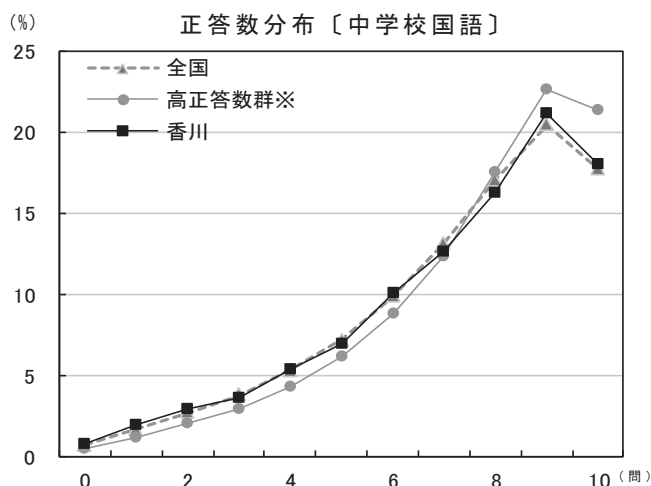
1. 正答率が40%未満の生徒の割合は，数学で全国を下回り，国語と英語で全国を上回っている。正答率が80%以上の生徒の割合は，国語で1.0ポイント，数学で1.7ポイント全国を上回っており，英語で1.7ポイント全国を下回っている。

2. 無解答率が全国を上回る問題数は，全47問中，35問（74.5%）である。

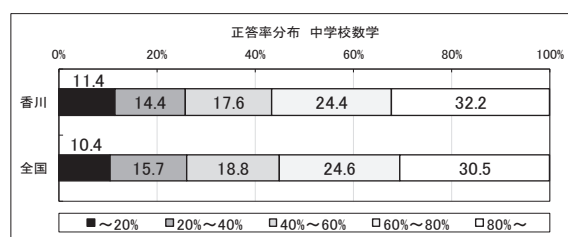
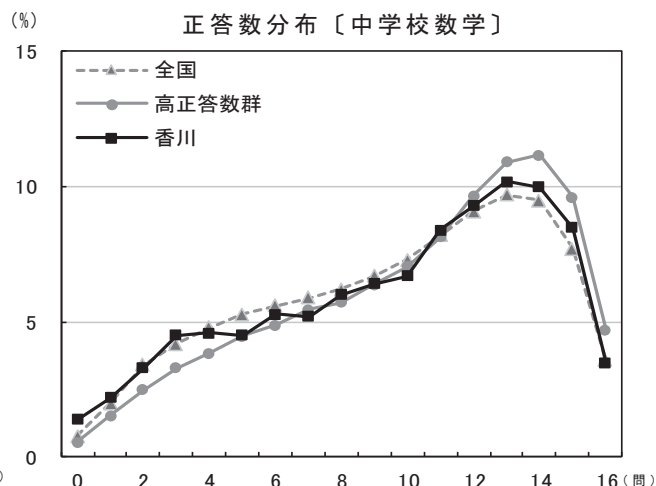
Ⅱ 概 論

1 中学校正答数分布（※高正答数群：高正答数の5都道府県の平均）

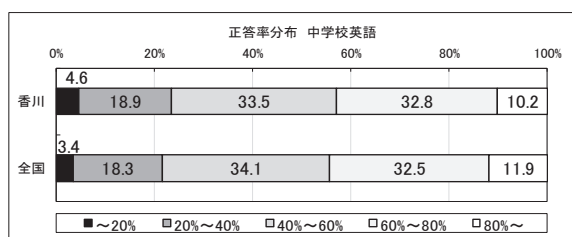
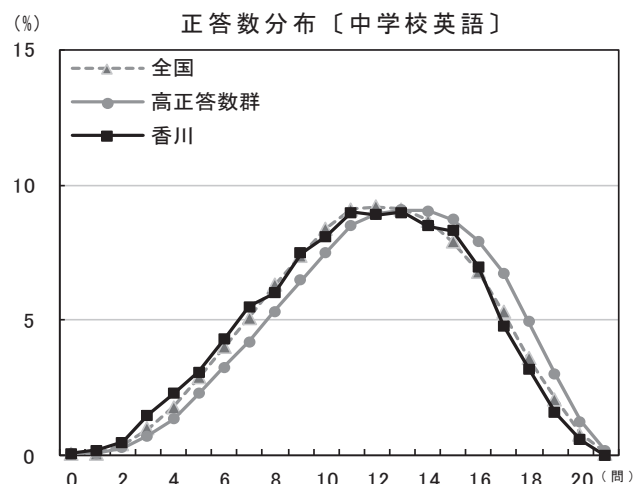
正答数分布〔中学校国語〕



正答数分布〔中学校数学〕



正答数分布〔中学校英語〕

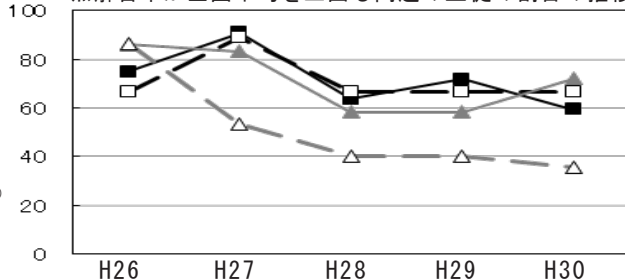


2 無解答率が全国平均を上回る問題の割合

中学校	問題数 (問)	全国平均を 上回った問題数 (問)	割合 (%)
国語	10	7	70.0
数学	16	9	56.3
英語	21	19	90.5

<参考（H26～H30）>

無解答率が全国平均を上回る問題の生徒の割合の推移



	H26	H27	H28	H29	H30
国語 A	75.0	90.9	63.6	71.9	59.4
国語 B	66.7	88.9	66.7	66.7	66.7
数学 A	86.1	83.3	58.3	58.3	72.2
数学 B	86.7	53.3	40.0	40.0	35.7

香川の結果に特徴の見られる質問【児童生徒質問紙】

【小学校】肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
27	84	新	5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか	13.9	16.0
20	82	H29 19	屋休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	0.2	4.3

【小学校】肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
37	85	H29 69	国語の勉強は好きですか	-4.3	-6.7
43	86	H29 75,76	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	-3.9	-4.1
31	84	H29 54	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	-3.6	-3.9
5	79	1	自分には、よいところがあると思いますか	-3.1	-3.8
39	86	H29 71	国語の授業の内容はよく分かりますか	-4.8	-3.7
35	85	55	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	-3.7	-3.4

【中学校】肯定的な回答が3pt以上全国を上回る質問

※該当無し

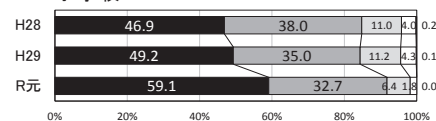


Close-up

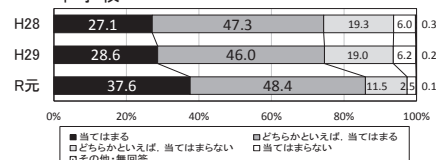
□7 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

【児童生徒質問紙】

小学校

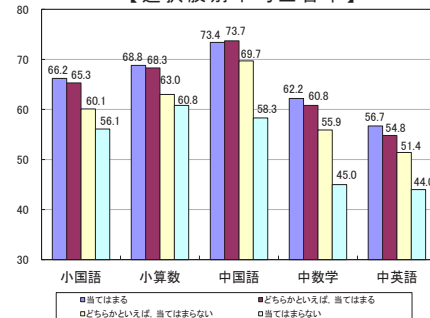


中学校



H30は、該当する質問無し

【選択肢別平均正答率】



□7の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、平成29年度と比較して、小学校で7.6ポイント、中学校で11.4ポイント増加しています。また、各教科の平均正答率との関係を見ると、小・中学校ともに肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高く、個に応じた粘り強い丁寧な指導を続けてきた成果が表れています。

【中学校】 肯定的な回答が3pt以上全国を下回る質問

質問番号	掲載P	H30番号	質問事項	選択肢1の差(pt)	選択肢1+2の差(pt)
30	84	新	1, 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか	-2.9	-10.0
40	85	H2971	国語の勉強は好きですか	-4.4	-8.9
34	84	H2956	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	-5.6	-7.6
59	90	新	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	-3.0	-6.5
63	90	新	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	-6.9	-6.1
38	85	53	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	-3.1	-5.6
42	86	H2973	国語の授業の内容はよく分かりますか	-4.3	-5.4
54	89	新	英語の勉強は好きですか	-3.3	-4.9
46	86	H2977,78	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	-3.1	-4.7
5	79	1	自分には、よいところがあると思いますか	-5.1	-4.1
37	85	52	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	-2.6	-4.0
57	89	新	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-4.4	-3.8
55	89	新	英語の勉強は大切だと思いますか	-4.0	-3.8
8	80	3	将来の夢や目標を持っていますか	-5.2	-3.4
43	86	H2975	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	-6.3	-3.4
58	90	新	あなたはこれまで、学校の授業やその他の学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか	-1.8	-3.4
44	86	新	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	-1.4	-3.3
21	82	H2974	読書は好きですか	-2.1	-3.2
41	85	H2972	国語の勉強は大切だと思いますか	-5.3	-3.2
47	86	新	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	-2.0	-3.1
24	83	22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	-1.2	-3.1

香川の教科に関する調査結果と児童生徒質問紙調査結果のクロス集計

※調査区分全てにおいて、児童生徒質問紙調査結果の選択肢別平均正答率が、「回答1>回答2>回答3>回答4」の関係である調査結果を示す。
教科に関する質問を除く。

1 【小学校】教科の平均正答率と関係が見られた児童質問紙調査結果

	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ児童の平均正答率(%)	
			国語	算数
1	朝食を毎日食べていますか	① している	66.7	69.3
		② どちらかといえば、している	59.4	63.3
		③ あまりしていない	54.7	58.6
		④ 全くしていない	47.7	53.7
		差(1-4)	19.0	15.6
4	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	① している	68.9	70.4
		② どちらかといえば、している	65.4	68.9
		③ あまりしていない	59.7	64.2
		④ 全くしていない	46.8	53.4
		差(1-4)	22.1	17.0
5	自分には、よいところがあると思いますか	① 当てはまる	67.7	70.4
		② どちらかといえば、当てはまる	66.1	68.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.5	64.7
		④ 当てはまらない	56.9	61.1
		差(1-4)	10.8	8.3
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	67.9	70.0
		② どちらかといえば、当てはまる	65.4	68.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.6	64.3
		④ 当てはまらない	56.8	62.0
		差(1-4)	11.1	8.0
7	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	① 当てはまる	66.2	68.8
		② どちらかといえば、当てはまる	65.3	68.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.1	63.0
		④ 当てはまらない	56.1	60.8
		差(1-4)	10.1	8.0
9	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	① 当てはまる	66.7	69.2
		② どちらかといえば、当てはまる	61.3	65.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	57.0	61.7
		④ 当てはまらない	53.3	58.6
		差(1-4)	13.4	10.6
11	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	① 当てはまる	67.2	69.8
		② どちらかといえば、当てはまる	65.3	67.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.9	65.6
		④ 当てはまらない	56.8	62.2
		差(1-4)	10.4	7.6
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	67.6	70.0
		② どちらかといえば、当てはまる	65.1	68.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.8	62.8
		④ 当てはまらない	52.7	57.4
		差(1-4)	14.9	12.6
15	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	① 当てはまる	65.9	68.4
		② どちらかといえば、当てはまる	62.8	67.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	56.8	62.8
		④ 当てはまらない	54.6	61.7
		差(1-4)	11.3	6.7
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	67.1	69.4
		② どちらかといえば、当てはまる	61.0	65.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	55.9	60.8
		④ 当てはまらない	49.2	58.7
		差(1-4)	17.9	10.7
17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	① している	68.7	70.1
		② どちらかといえば、している	66.3	68.7
		③ あまりしていない	61.9	66.3
		④ 全くしていない	54.0	60.6
		差(1-4)	14.7	9.5
18	学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)	① 3時間以上	70.4	72.5
		② 2時間以上、3時間より少ない	68.6	70.3
		③ 1時間以上、2時間より少ない	66.9	69.1
		④ 30分以上、1時間より少ない	63.3	66.8
		⑤ 30分より少ない	53.2	59.9
		⑥ 全くしない	42.2	48.8
		差(1-6)	28.2	23.7
21	読書は好きですか	① 当てはまる	69.9	71.5
		② どちらかといえば、当てはまる	64.3	67.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	60.0	64.1
		④ 当てはまらない	55.2	61.7
		差(1-4)	14.7	9.8
22	新聞を読んでいますか	① ほぼ毎日読んでいる	72.1	73.7
		② 週に1～3回程度読んでいる	71.4	72.8
		③ 月に1～3回程度読んでいる	66.8	69.1
		④ ほとんど、または、全く読まない	62.3	65.8
		差(1-4)	9.8	7.9
24	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	① 当てはまる	67.3	69.7
		② どちらかといえば、当てはまる	66.3	68.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	64.8	68.1
		④ 当てはまらない	60.1	65.0
		差(1-4)	7.2	4.7
28	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか	① 当てはまる	66.9	69.4
		② どちらかといえば、当てはまる	64.7	67.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.8	63.6
		④ 当てはまらない	54.4	59.7
		差(1-4)	12.5	9.7
29	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	① 当てはまる	68.7	71.0
		② どちらかといえば、当てはまる	66.6	69.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.3	64.6
		④ 当てはまらない	53.8	58.3
		差(1-4)	14.9	12.7
30	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	① 当てはまる	70.0	71.8
		② どちらかといえば、当てはまる	65.2	68.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	56.7	61.3
		④ 当てはまらない	45.5	50.9
		差(1-4)	24.5	20.9
31	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	① 当てはまる	69.4	72.0
		② どちらかといえば、当てはまる	68.1	70.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.4	64.6
		④ 当てはまらない	55.4	60.0
		差(1-4)	14.0	12.0
32	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	① 当てはまる	67.4	69.8
		② どちらかといえば、当てはまる	66.4	69.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	61.6	65.0
		④ 当てはまらない	57.1	61.3
		差(1-4)	10.3	8.5
33	学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか	① 当てはまる	67.8	70.0
		② どちらかといえば、当てはまる	66.2	68.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	62.8	66.7
		④ 当てはまらない	55.6	61.0
		差(1-4)	12.2	8.0
34	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	① 当てはまる	67.8	70.0
		② どちらかといえば、当てはまる	65.7	68.5
		③ どちらかといえば、当てはまらない	58.8	63.6
		④ 当てはまらない	55.9	59.3
		差(1-4)	11.9	10.7
35	5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	70.7	73.0
		② どちらかといえば、当てはまる	66.3	68.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.0	62.9
		④ 当てはまらない	50.8	54.3
		差(1-4)	19.9	18.7
36	5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	① 当てはまる	69.6	72.3
		② どちらかといえば、当てはまる	67.3	69.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	63.0	66.0
		④ 当てはまらない	56.0	60.2
		差(1-4)	13.6	12.1

2 【中学校】教科の平均正答率と関係が見られた生徒質問紙調査結果

	質問事項	選択肢	当該選択肢を選んだ生徒の平均正答率(%)		
			国語	数学	英語
1	朝食を毎日食べていますか	① している	74.2	62.7	56.4
		② どちらかといえば、している	68.4	52.9	49.7
		③ あまりしていない	63.7	45.9	44.7
		④ 全くしていない	56.9	39.9	42.2
		差①－④	17.3	22.8	14.2
4	家の人(兄弟姉妹を除く)と学校での出来事について話をしますか	① している	76.4	64.0	57.9
		② どちらかといえば、している	72.9	60.7	54.7
		③ あまりしていない	67.0	54.7	50.5
		④ 全くしていない	59.1	47.2	44.0
		差①－④	17.3	16.8	13.9
6	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	① 当てはまる	74.5	62.5	57.1
		② どちらかといえば、当てはまる	73.6	61.5	55.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.5	54.9	50.8
		④ 当てはまらない	61.7	48.4	46.6
		差①－④	12.8	14.1	10.5
9	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	① 当てはまる	73.9	61.7	55.9
		② どちらかといえば、当てはまる	70.8	58.3	53.2
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.8	52.5	49.0
		④ 当てはまらない	61.4	50.5	45.6
		差①－④	12.5	11.2	10.3
11	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	① 当てはまる	75.2	63.1	57.1
		② どちらかといえば、当てはまる	71.8	59.4	53.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.8	55.9	51.6
		④ 当てはまらない	62.1	50.0	47.7
		差①－④	13.1	13.1	9.4
12	学校に行くのは楽しいと思いますか	① 当てはまる	74.2	62.7	56.8
		② どちらかといえば、当てはまる	72.9	60.5	54.8
		③ どちらかといえば、当てはまらない	72.1	58.4	52.6
		④ 当てはまらない	62.2	47.5	46.3
		差①－④	12.0	15.2	10.5
13	学校の規則を守っていますか	① 当てはまる	74.4	62.7	56.4
		② どちらかといえば、当てはまる	71.5	58.2	53.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	59.4	44.8	44.9
		④ 当てはまらない	53.7	40.9	40.9
		差①－④	20.7	21.8	15.5
16	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	① 当てはまる	74.2	62.1	56.2
		② どちらかといえば、当てはまる	69.9	56.6	51.9
		③ どちらかといえば、当てはまらない	65.4	52.7	49.2
		④ 当てはまらない	59.8	51.4	45.3
		差①－④	14.4	10.7	10.9
17	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	① している	76.7	67.0	60.4
		② どちらかといえば、している	74.5	63.0	56.8
		③ あまりしていない	71.8	58.3	53.2
		④ 全くしていない	66.2	52.4	48.4
		差①－④	10.5	14.6	12.0
21	読書は好きですか	① 当てはまる	79.0	65.8	58.5
		② どちらかといえば、当てはまる	72.2	59.9	54.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	69.0	57.5	52.8
		④ 当てはまらない	63.2	51.9	49.8
		差①－④	15.8	13.9	8.7
22	新聞を読んでいますか	① ほぼ毎日読んでいる	79.4	70.6	62.8
		② 週に1～3回程度読んでいる	77.0	66.9	59.0
		③ 月に1～3回程度読んでいる	75.8	64.6	57.5
		④ ほとんど、または、全く読まない	70.8	57.6	53.0
		差①－④	8.6	13.0	9.8
25	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	① 当てはまる	75.4	63.2	58.8
		② どちらかといえば、当てはまる	74.6	62.6	56.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	72.0	59.5	52.5
		④ 当てはまらない	66.0	53.0	47.9
		差①－④	9.4	10.2	10.9
32	生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	① 当てはまる	75.8	64.3	57.6
		② どちらかといえば、当てはまる	74.7	62.9	56.4
		③ どちらかといえば、当てはまらない	68.3	53.9	50.8
		④ 当てはまらない	58.7	44.4	43.8
		差①－④	17.1	19.9	13.8
33	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	① 当てはまる	76.1	65.9	59.0
		② どちらかといえば、当てはまる	74.2	61.9	55.7
		③ どちらかといえば、当てはまらない	67.7	53.0	49.6
		④ 当てはまらない	58.9	44.3	44.2
		差①－④	17.2	21.6	14.8
37	1, 2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	78.4	69.1	61.6
		② どちらかといえば、当てはまる	74.7	62.6	55.6
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.3	51.2	48.9
		④ 当てはまらない	58.2	41.2	42.2
		差①－④	20.2	27.9	19.4
38	1, 2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	① 当てはまる	77.5	67.3	60.7
		② どちらかといえば、当てはまる	75.3	64.4	57.1
		③ どちらかといえば、当てはまらない	71.3	58.1	53.3
		④ 当てはまらない	64.8	49.0	47.0
		差①－④	12.7	18.3	13.7
39	1, 2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	① 当てはまる	76.5	64.3	57.7
		② どちらかといえば、当てはまる	73.9	61.2	55.3
		③ どちらかといえば、当てはまらない	66.2	54.1	50.9
		④ 当てはまらない	56.1	44.3	43.4
		差①－④	20.4	20.0	14.3

香川の結果に特徴の見られる質問【学校質問紙】

【小学校】肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
26	27	103	76/73	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	20.4	8.6
49	63	109	28/27	調査対象学年の児童に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	4.5	5.0

【小学校】肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
40	41	105	H29 65	調査対象学年の児童に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-6.6	-19.5
53	67	110	34/33	平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校と成果や課題を共有しましたか	-14.4	-16.4
46	47	106	38/37	調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-9.1	-16.3
34	35	104	新	調査対象学年の児童に対して、学級生活をよりよくするために、学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	-5.8	-8.2
52	66	110	77/74	前年度までに、近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	-11.3	-7.6
35	36	104	新	調査対象学年の児童に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか	-8.3	-7.4
51	65	109	21/20	前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-9.2	-7.2
38	38	105	26/25	調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	-7.1	-6.2
33	34	104	新	調査対象学年の児童に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	-7.7	-5.6

【中学校】肯定的な回答が5pt以上全国を上回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
26	27	103	76/73	教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	23.0	11.0
—	60	109	新	前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか	18.0	7.6
50	64	109	52/50	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の生徒に対する授業の中で、生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	9.7	7.4
61	75	111	H29 90/88	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	13.6	7.3
31	32	104	84/81	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	11.5	6.3
58	72	111	62/59	（70）の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	-1.7	5.6

【中学校】肯定的な回答が5pt以上全国を下回る質問

小学校 質問番号	中学校 質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項	選択肢1 の差(pt)	選択肢1+2 の差(pt)
46	47	106	38/37	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-10.3	-17.7
—	55	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	-8.5	-14.6
40	41	105	H29 65	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-6.3	-14.3
—	54	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	-10.7	-12.1
18	18	101	19/18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	-5.9	-11.9
52	66	110	77/74	前年度までに、近隣等の小学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	-7.8	-11.5
51	65	109	21/20	前年度までに、近隣等の小学校と、教科的教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	-8.5	-10.7
—	22	102	新	部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めていますか	-16.9	-10.6
—	58	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	-4.3	-10.6
49	63	109	28/27	調査対象学年の生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	-12.4	-10.2
—	52	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	-6.7	-9.3
23	24	102	73/70	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	1.4	-9.0
—	61	109	新	年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT(外国語指導助手)を活用した授業を行いましたか	-4.1	-8.9
—	51	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	-9.4	-7.8
—	53	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	-7.9	-7.1
—	59	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか	-8.9	-6.6
29	30	103	80/77	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	-4.0	-6.5
47	48	107	39/38	調査対象学年の生徒に対する数学の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	-2.0	-6.1
16	16	101	17/16	教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	-10.6	-5.7
33	34	104	新	調査対象学年の生徒に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	-10.6	-5.2
41	42	106	H29 66	調査対象学年の生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	-7.2	-5.1

Question 1 学習意欲 に関する 質問項目

本県の課題とされている「学習意欲」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのような課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

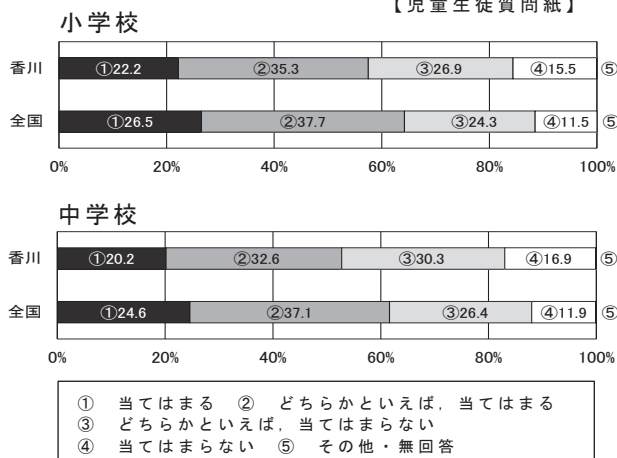
1. 「□37/40 国語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を下回っているが、小学校では増加傾向が見られ、過去5年間で最も高くなっている。中学校では減少傾向が見られる。
2. 「□46/49 算数（数学）の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国を下回っているが、小・中学校ともに過去5年間で最も高くなっている。
3. 「□54 英語の勉強は好きですか」の質問に対して、肯定的に回答している生徒の割合は 4.9 ポイント全国を下回り、「□56 英語の授業はよく分かりますか」の質問に対して、肯定的に回答している生徒の割合は 1.0 ポイント全国を下回っている。

1 国語に対する意識

 P85, 86, 93

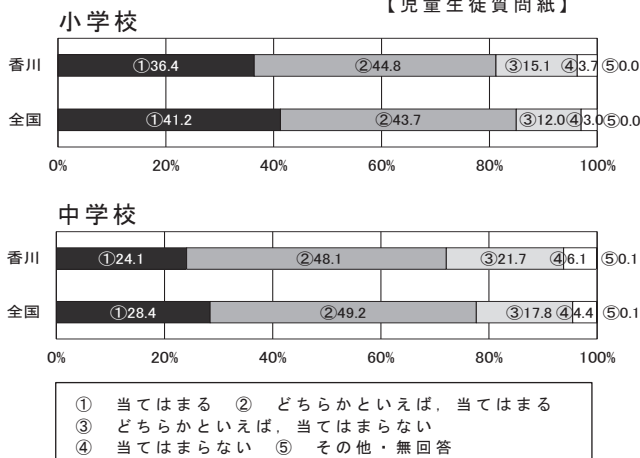
□37/40 国語の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



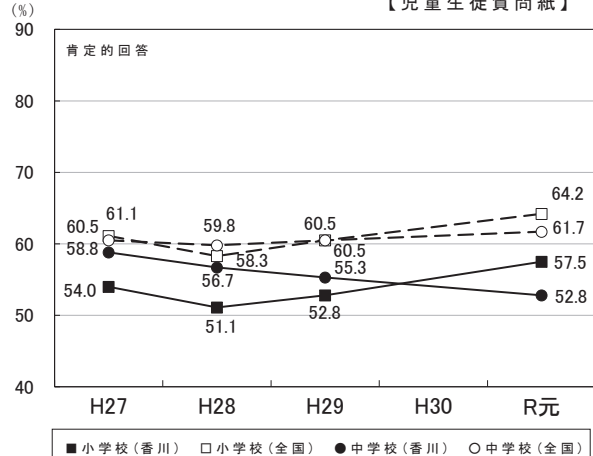
□39/42 国語の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



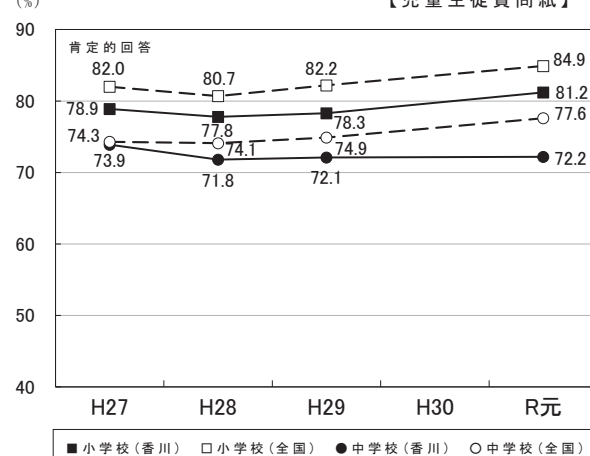
□37/40 国語の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□39/42 国語の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



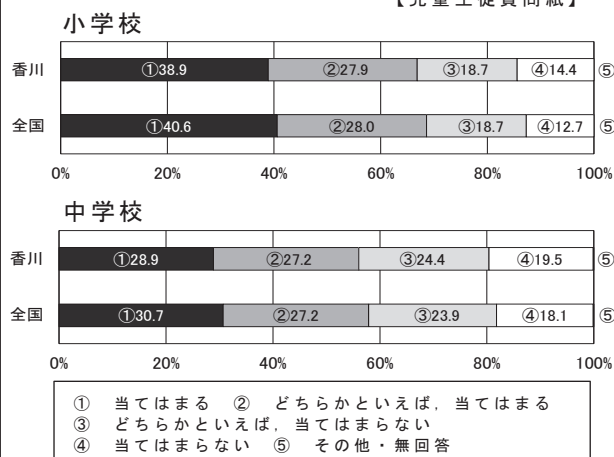
H30 は、国語に関しての質問無し

2 算数・数学に対する意識

P87

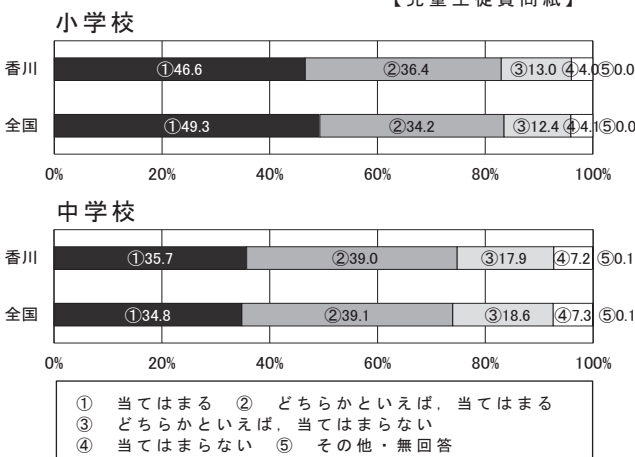
□46/49 算数（数学）の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



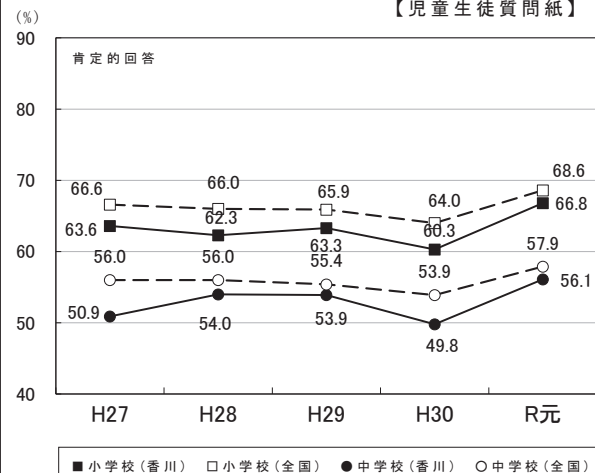
□48/51 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】



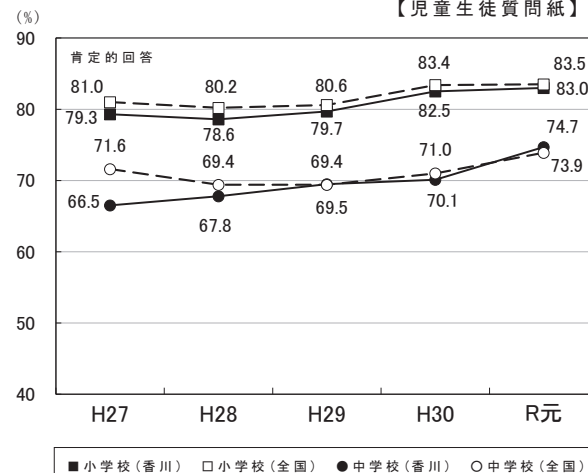
□46/49 算数（数学）の勉強は好きですか

【児童生徒質問紙】



□48/51 算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか

【児童生徒質問紙】

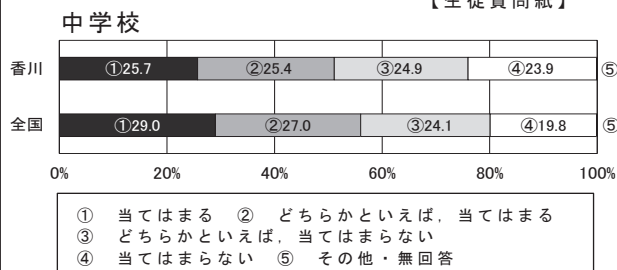


3 英語に対する意識（中学校のみ）

P89

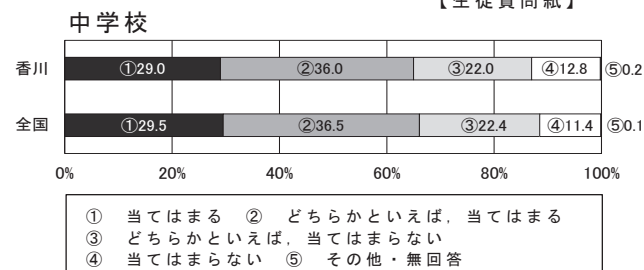
□54 英語の勉強は好きですか

【生徒質問紙】



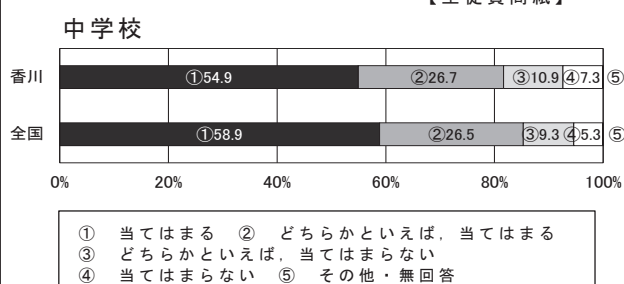
□56 英語の授業はよく分かりますか

【生徒質問紙】



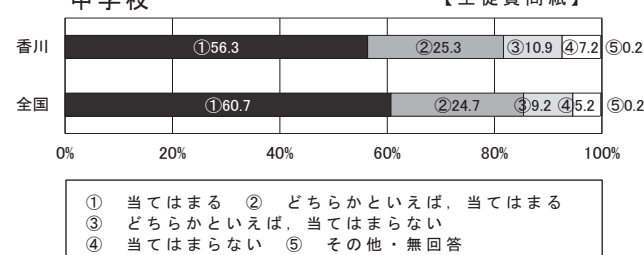
□55 英語の勉強は大切だと思いますか

【生徒質問紙】



□57 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

【生徒質問紙】



Question 2 言語活動 に関わる 質問項目

本県の課題とされている「言語活動」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

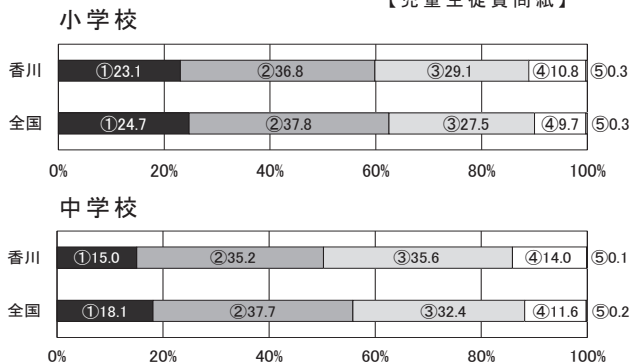
1. 「□36/38 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小学校で59.9%、中学校で50.2%と60%より低くなっている。
2. 「□29/32 学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して減少しているが、中学校で全国を上回っている。

1 言語活動の実施状況

P84, 85, 92

□36/38 授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか

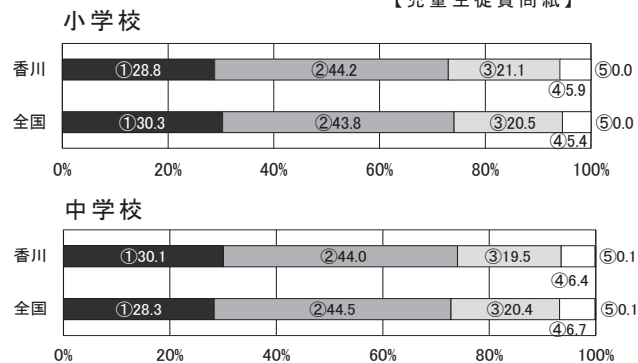
【児童生徒質問紙】



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

□29/32 学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

【児童生徒質問紙】



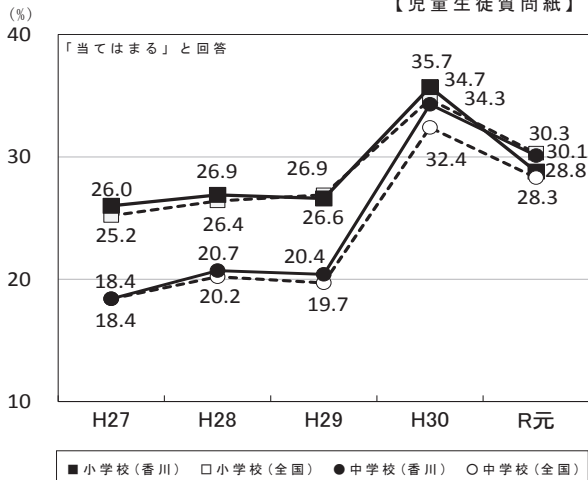
① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

2 話し合う活動を通じて、考えを深めたり、広げたりする

P84

□29/32 学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

【児童生徒質問紙】

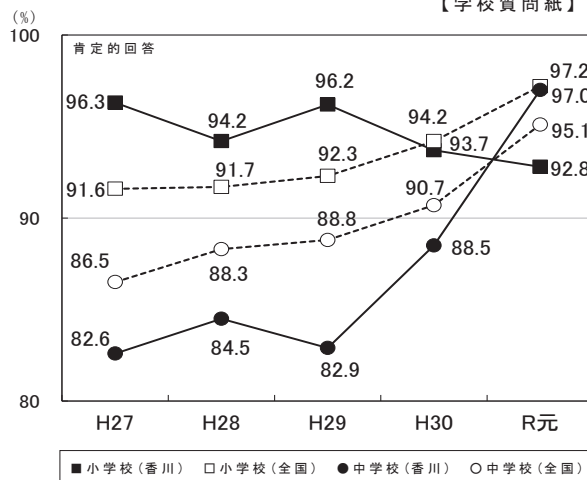


3 学校全体としての言語活動の取組

P101

■19 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、(外国語活動)、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか

【学校質問紙】



Question 3 自尊意識等 に関わる 質問項目

本県の課題とされている「自尊意識等」に関わる質問紙調査結果については、どのようになっていますか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

Answer

- 「□⁵自分には、よいところがあると思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国より低くっており、昨年度と比較して減少している。
- 「□⁸将来の夢や目標を持っていますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で80%より高くなっている。
- 「□⁶先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問と平均正答率の関係を見ると、小・中学校ともに肯定的に回答した児童ほど平均正答率が高く、「当てはまる」と回答した児童の割合と「当てはまらない」と回答した児童の割合は、全ての調査区分で8～14ポイントの差がある。

Ⅱ 概 論

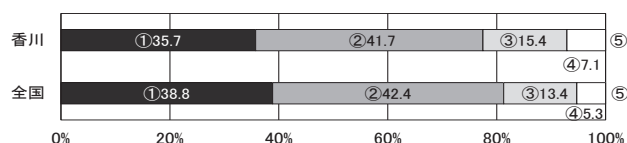
1 自尊意識等の状況

 P79, 80, 91

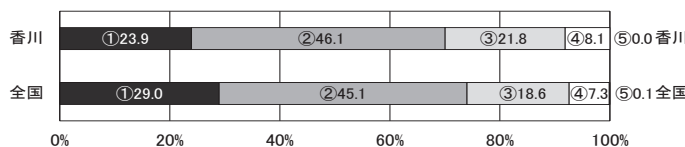
□⁵ 自分には、よいところがあると思いますか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

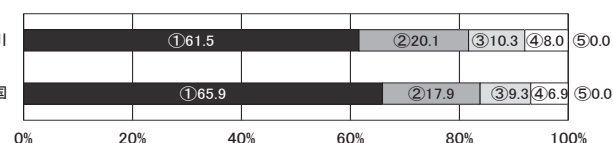


① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

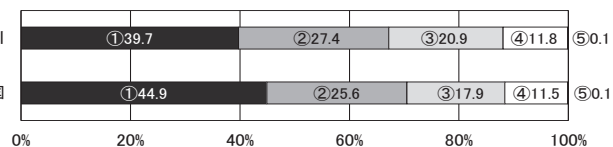
□⁸ 将来の夢や目標を持っていますか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

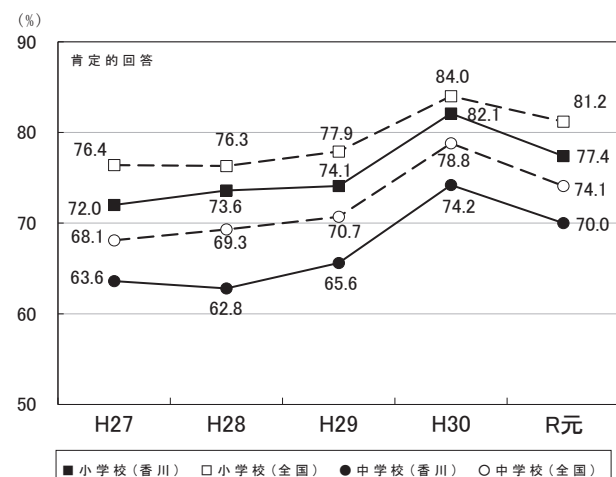


① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

2 自分にはよいところがある P79, 91

□⁵ 自分には、よいところがあると思いますか

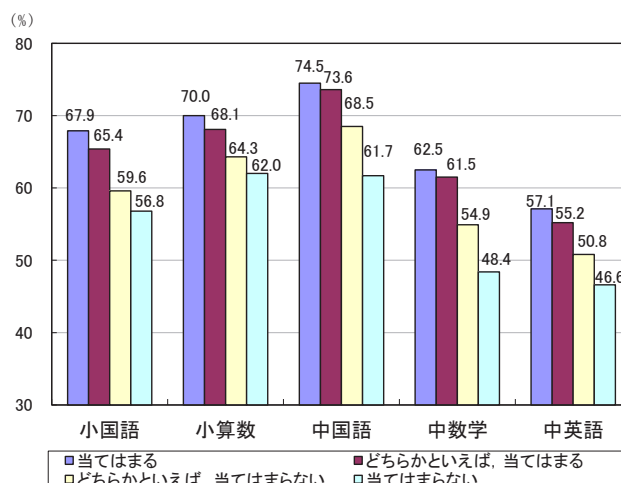
【児童生徒質問紙】



3 自尊意識等と平均正答率の関係 P80

「□⁶ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率

【児童生徒質問紙】



Question 4 規範意識 に関する 質問項目

本県の課題とされている「規範意識」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、どのような回答状況の変化が見られましたか。

Answer

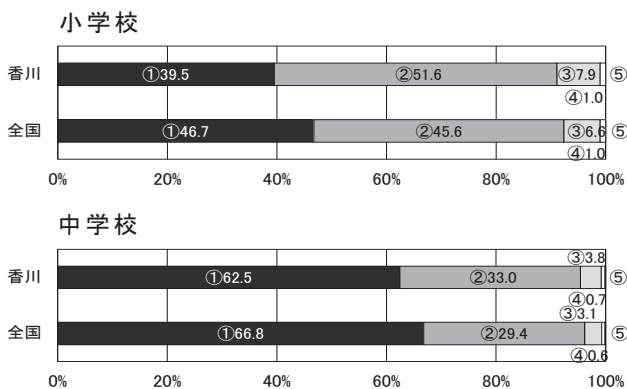
1. 「 $\square^{13}$ 学校のきまり(規則)を守っていますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小学校で 7.2 ポイント、中学校で 4.3 ポイント全国を下回っている。
2. 「 $\square^{15}$ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに 90%より高く、全国を上回っている。
3. 「 $\square^{16}$ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の質問に対して、「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加し、全国を上回っている。

1 規範意識の状況

P81, 92

$\square^{13}$ 学校のきまり(規則)を守っていますか

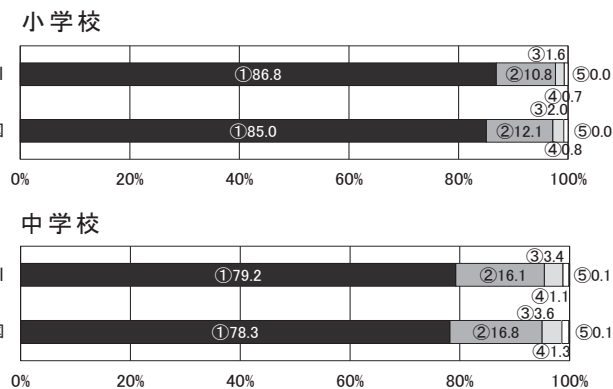
【児童生徒質問紙】



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

$\square^{15}$ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【児童生徒質問紙】



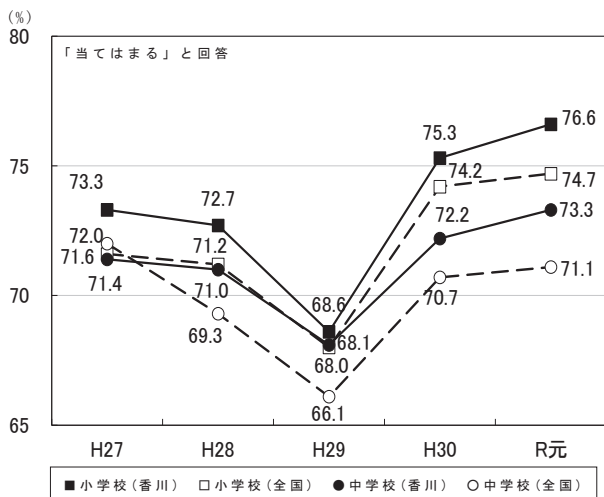
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

2 他の人との関わりに関することについて

P81

$\square^{16}$ 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

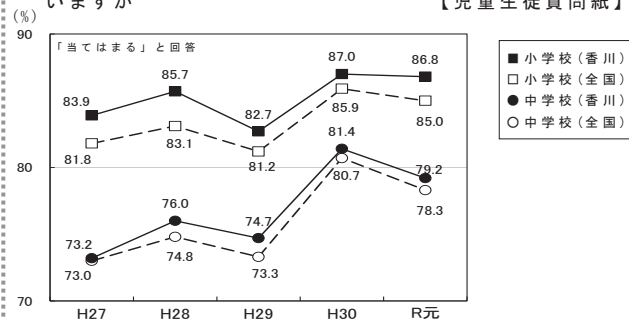
【児童生徒質問紙】



Close-up

$\square^{15}$ いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

【児童生徒質問紙】



「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は、昨年度と比較して減少していますが、過去5年間を見ると全国より高い状況が続いています。今後も、各校の実態に合わせて取組を継続していきましょう。

Question 5 学校生活 に関わる 質問項目

「学校生活」に関わる質問紙調査結果については、具体的にどのようなところに課題が見られましたか。また、平均正答率との関係は見られましたか。

Answer

1. 「□¹² 学校に行くのは楽しいと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で 85.0%，中学校で 81.3%と、小・中学校ともに 80%より高くなっており、小学校では過去5年間で最も高くなっている。また、平均正答率との関係を見ると、小・中学校ともに肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高くなっている。
2. 「□¹¹ 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小学校で 81.7%，中学校で 84.3%と、小・中学校ともに 80%より高くなっている。

Ⅱ 概 論

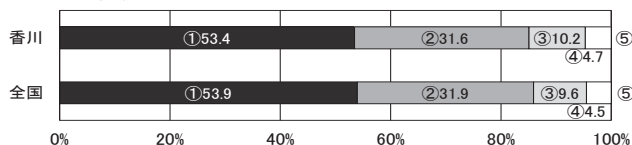
1 学校生活の状況

 P80, 81

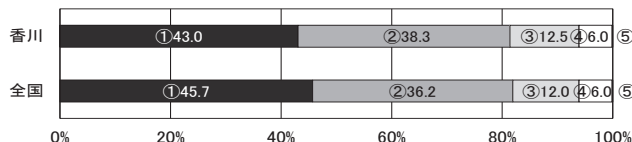
□¹² 学校に行くのは楽しいと思いますか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校

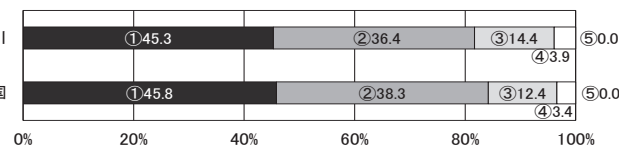


- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

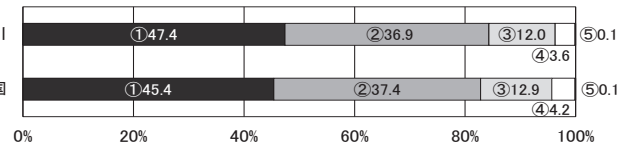
□¹¹ 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか

【児童生徒質問紙】

小学校



中学校



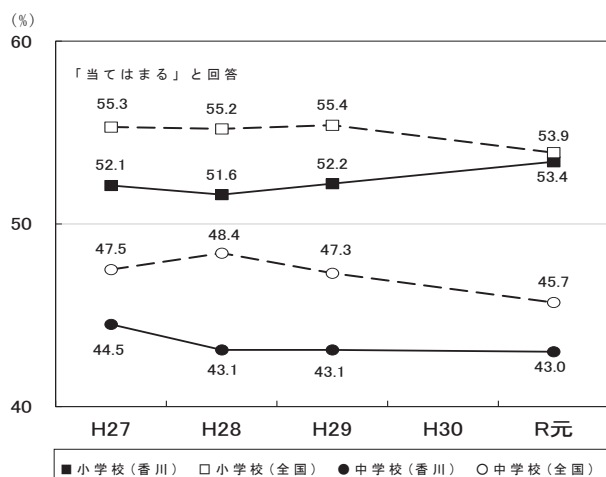
- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

2 学校や学級に対する意識

 P81

□¹² 学校に行くのは楽しいと思いますか

【児童生徒質問紙】



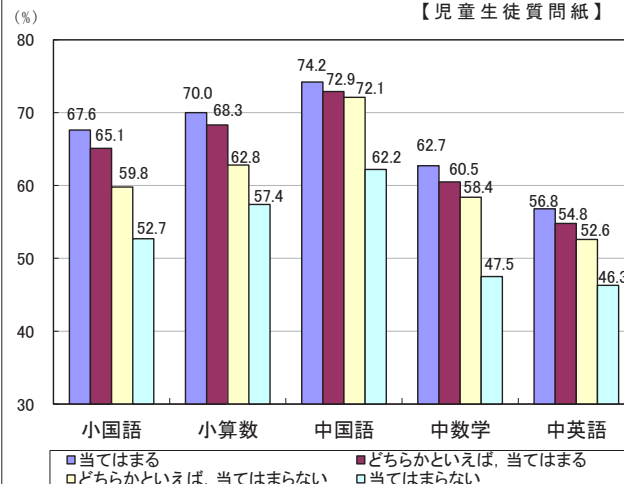
H30 は、該当する質問無し

3 学校生活と平均正答率の関係

 P81

「□¹² 学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率

【児童生徒質問紙】



Question 6 家庭学習 に関する 質問項目

「家庭学習」に関わる質問項目について、どのような結果になっていましたか。また、1日当たりの勉強時間は、どのような結果になっていましたか。

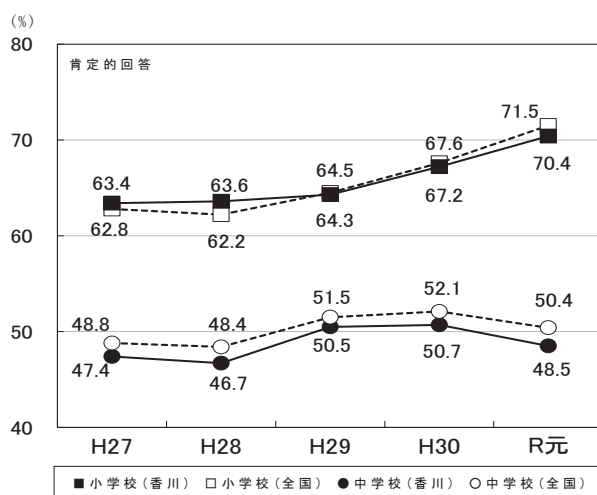
Answer

1. 「□17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか」の質問に対して、肯定的に回答している児童生徒の割合は、小学校で増加傾向にあり、過去5年間で最も高くなっている。
2. 「■60/74 家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答している学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加している。
3. 「□18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問に対して、1～2時間と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに高くなっている。

1 家庭での計画的な学習



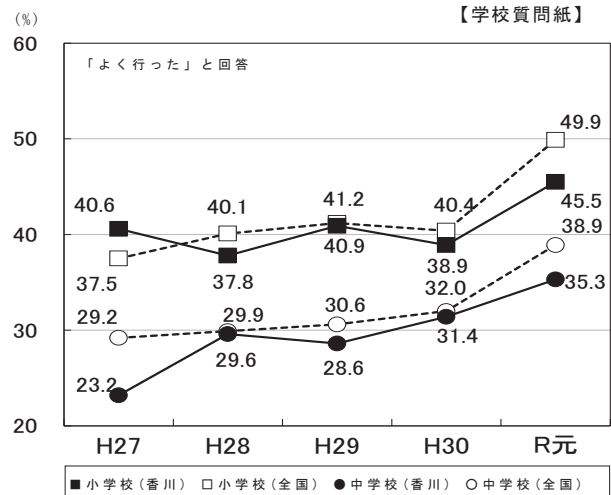
□17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか
【児童生徒質問紙】



2 家庭での学習方法等の指導



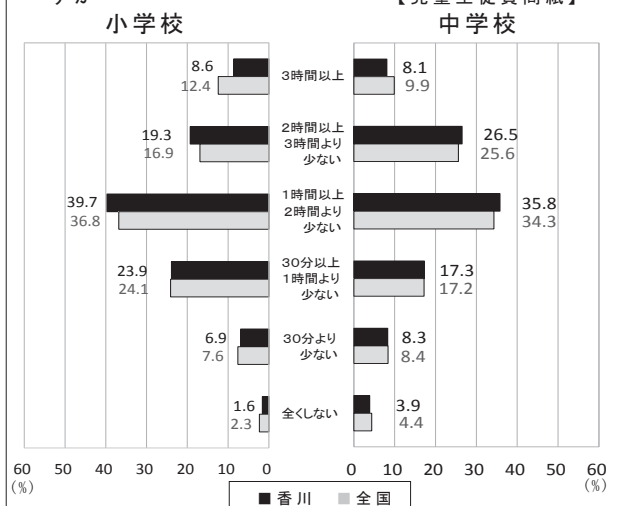
■60/74 前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか
【学校質問紙】



3 普段の1日当たりの勉強時間



□18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか
【児童生徒質問紙】



Column

家で自分で計画を立てて勉強をすることと各教科の平均正答率との間には関連があると考えられます。(P16, 17 参照)

効果的に家庭学習を行うためには、自らの学びを振り返り「何が分かって何が分からないのか」、「何が得意で何が苦手なのか」などを児童生徒自身が自覚することが大切です。

そのためには、既習内容や経験と関連付けて見通しを持ったり、単元あるいは毎時間の学習において自らの学びを振り返り、新たな課題等を見いだしたりする経験を積むことを通じて、主体的に学習に取り組む態度を育てるといった授業改善が必要です。

自ら学ぶ力の育成を目指し、各校の実状に合わせて授業及び家庭学習の工夫・改善に取り組ましましょう。

Question 7 メディアの利用 に関する 質問項目

「メディアの利用」に関わる質問紙調査結果については、どのような結果が見られましたか。また、平均正答率との関係はどうか。

Answer

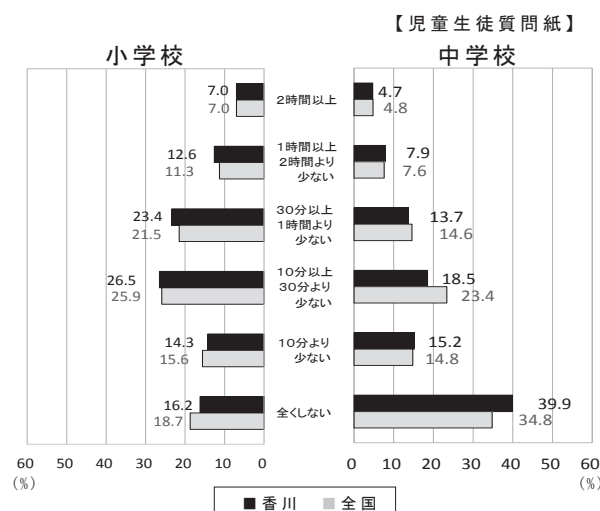
- 1.「□19 普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」の質問に対して、1時間以上と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国より高くなっている。平均正答率との関係を見ると、小学校では1～2時間と回答した児童の平均正答率が最も高く、中学校では10分～30分と回答した生徒の平均正答率が最も高い。
- 2.「□20 学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか」の質問に対して、「月に1～3回以上行く」と回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国より高くなっている。

Ⅱ 概 論

1 1日当たりの読書時間



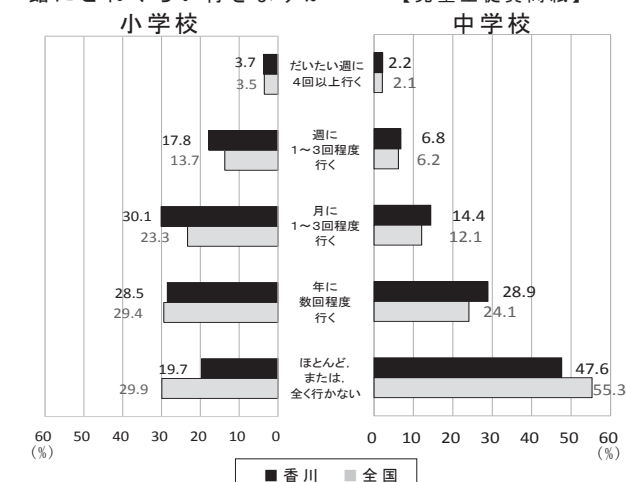
□19 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



2 図書室や図書館の利用



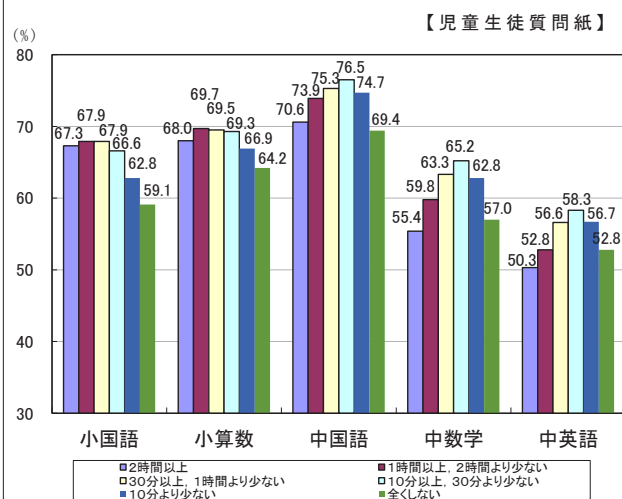
□20 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか



3 読書時間と平均正答率の関係



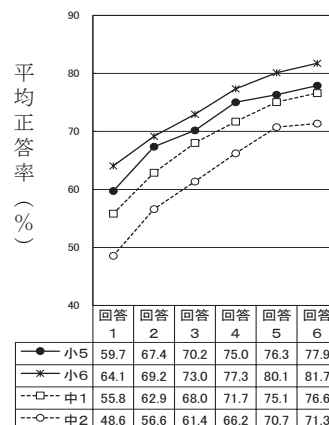
「□19 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率



参考（平成30年度香川県学習状況調査）

◇17 普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を読みますか。

回答別全教科
平均正答率
（学年ごと）



～特集1～ 主体的・対話的 で深い学び

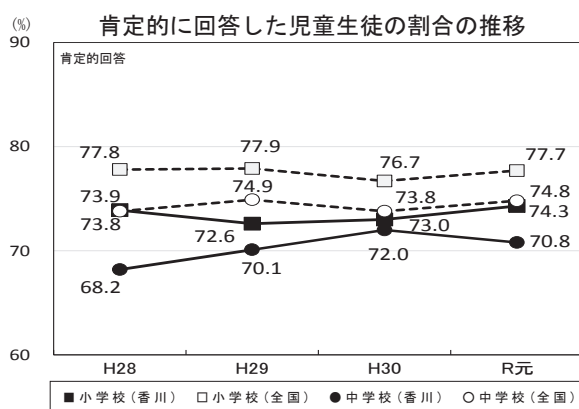
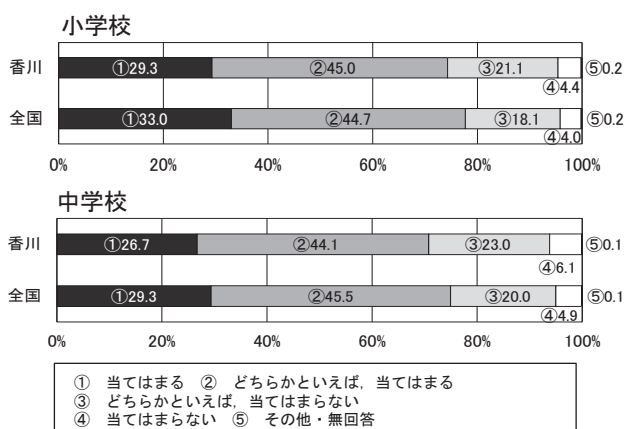
1. 「□35/37 5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」の質問に対して、肯定的に回答した児童生徒の割合は、小・中学校ともに全国平均より低くなっている。
2. 同じ質問と平均正答率の関係を見ると、肯定的に回答した児童生徒ほど平均正答率が高く、特に中学校数学では、「当てはまる」と「当てはまらない」の間で27.9ポイントの差が見られる。

主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善では、「見通し」、「探究」、「振り返り」等の学びのプロセスを、児童生徒の実態に応じて工夫することが必要です。

P85, 92

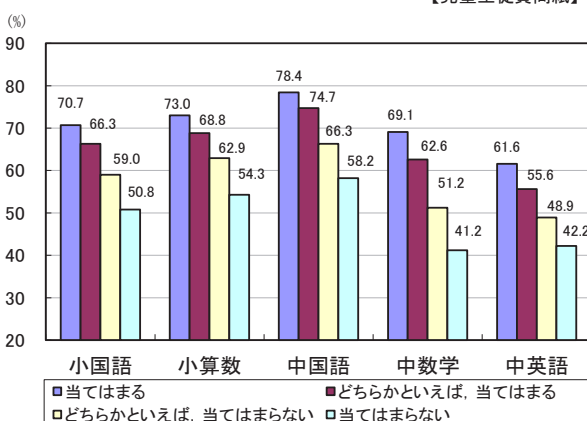
1 主体的・対話的で深い学びに関する項目と平均正答率の関係

□35/37 5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか
【児童生徒質問紙】

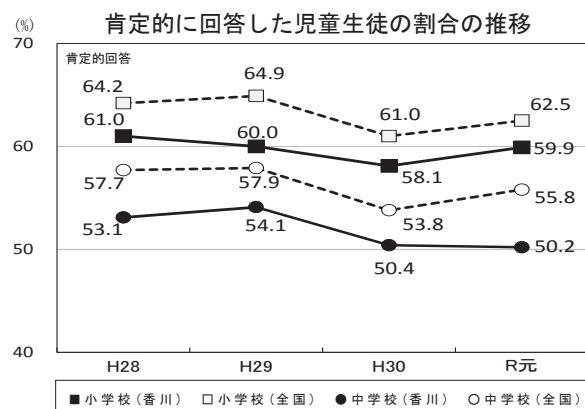
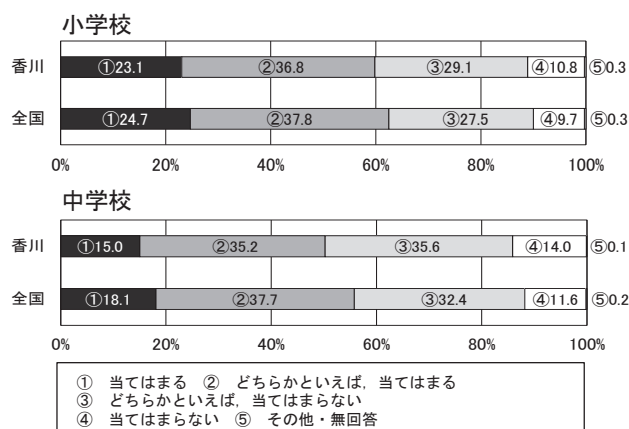


「□35/37 5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率

【児童生徒質問紙】

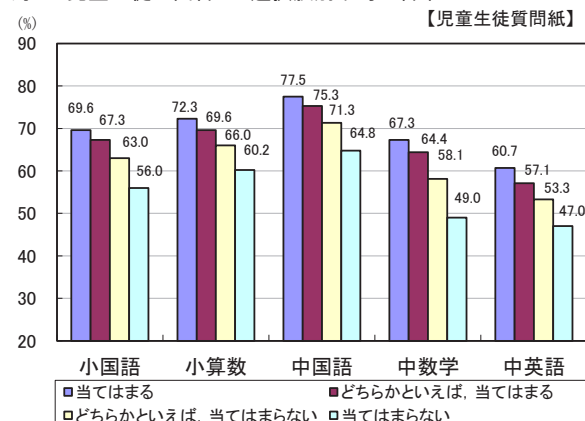


□36/38 5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか
【児童生徒質問紙】



「□36/38 5年生まで(1, 2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか」に対して児童生徒が回答した選択肢別平均正答率

【児童生徒質問紙】

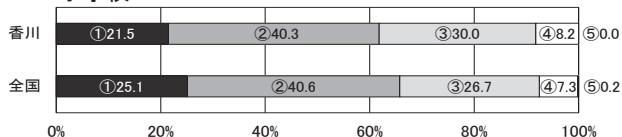


2 「総合的な学習の時間」及び「学級活動」の取組の状況

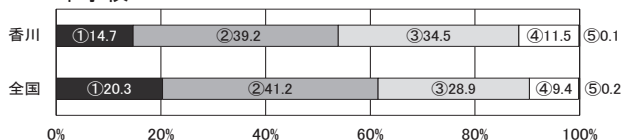
P84, 92, 104, 113

□31/34 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか 【児童生徒質問紙】

小学校



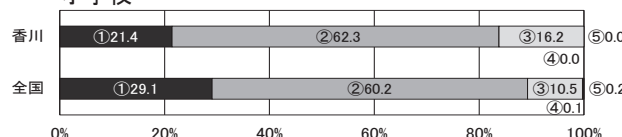
中学校



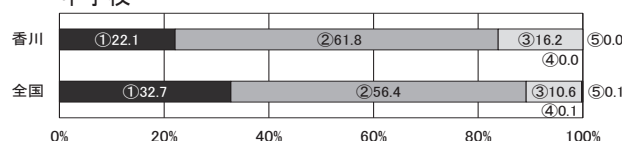
① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

■33/34 総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか 【学校質問紙】

小学校



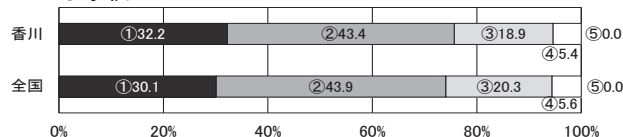
中学校



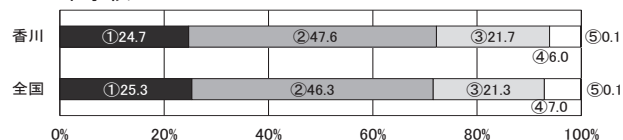
① よくしている ② どちらかといえば、している
③ あまりしていない ④ 全くしていない ⑤ その他・無回答

□32/35 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか 【児童生徒質問紙】

小学校



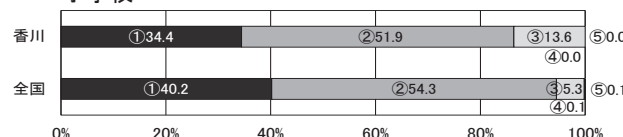
中学校



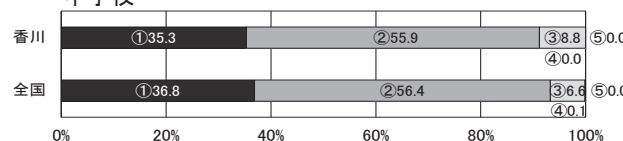
① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない ④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

■34/35 学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか 【学校質問紙】

小学校



中学校

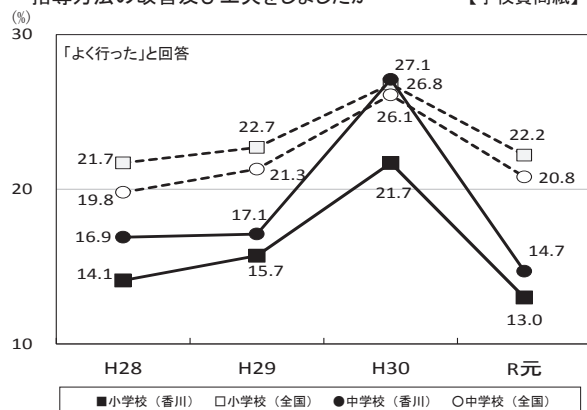


① よくしている ② どちらかといえば、している
③ あまりしていない ④ 全くしていない ⑤ その他・無回答

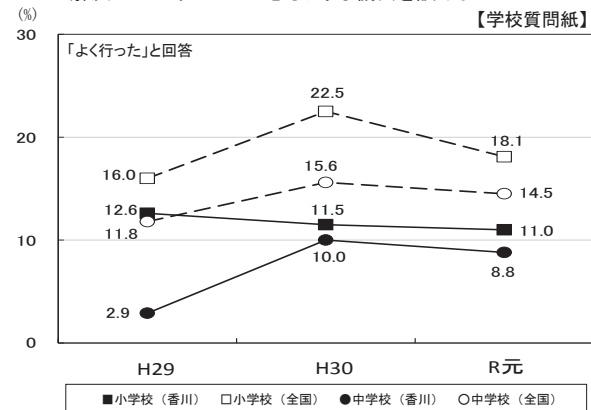
3 学校の取組の状況

P105, 114

■37 前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか 【学校質問紙】



■38 前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか 【学校質問紙】



Column

各教科等の指導を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしながら教育活動の充実を図ること、その際には児童生徒の発達段階や特性を踏まえ、資質・能力の育成がバランスよく実現できるよう留意することが大切です。そのためには、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を生かしたり働かせたりするとともに、「比較する」、「分類する」、「関連付ける」等の考える際に必要となる情報処理方法(学習指導要領解説 総合的な学習編「考えるための技法」)を汎用的なものとして身に付け、実社会・実生活の課題解決において、自在に活用できるようにすることを目指した授業づくりを心がけましょう。

～特集2～ カリキュラム・ マネジメント

1. 「**28/29** 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか」の質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合は、小学校では昨年度と比較して減少し、中学校では増加している。
2. 「**15** 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか」の質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに昨年度より増加し、過去5年間で最も高くなっている。

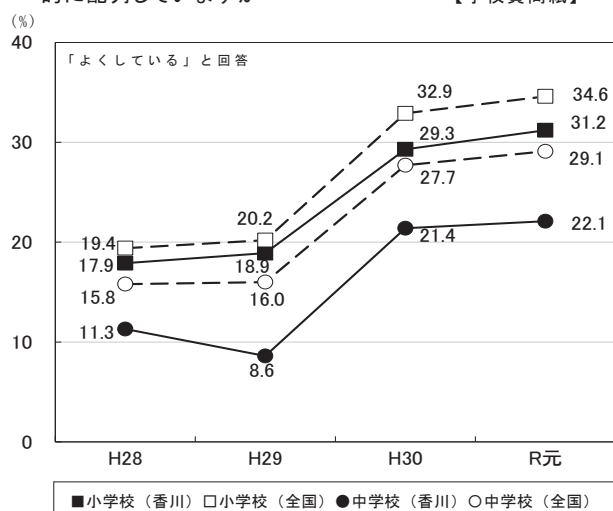
学習指導要領改訂のポイントの一つである「各学校におけるカリキュラム・マネジメントの確立」は、教育課程に基づく教育活動の質を向上させ、学習の効果の最大化を図るためのものです。各学校では、児童生徒や学校、地域の実態を適切に把握するとともに、次の「三つの側面」からの手立てを充実する必要があります。

カリキュラム・マネジメントの三つの側面から

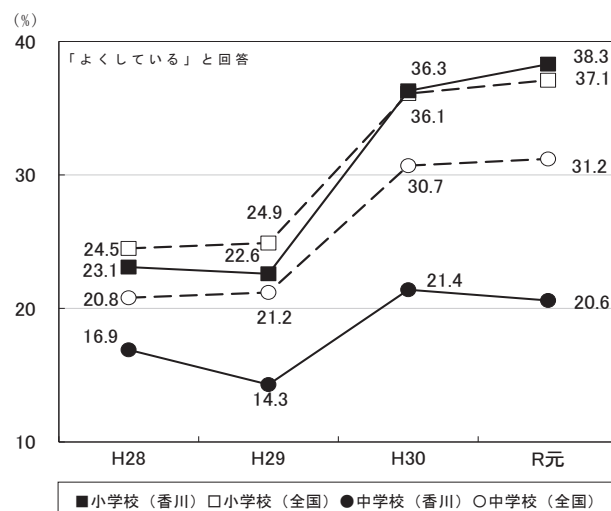
 P101, 103, 113

【教科等横断的な視点】

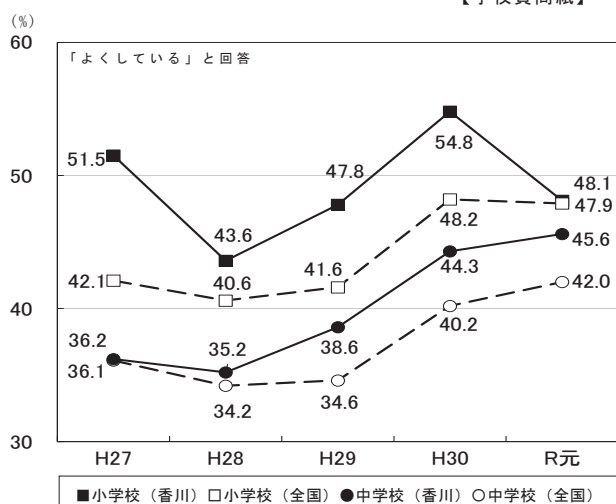
■15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか 【学校質問紙】



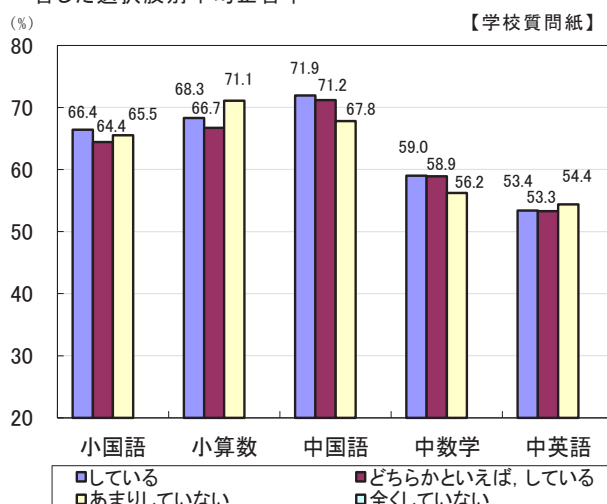
■16 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか 【学校質問紙】



■28/29 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか 【学校質問紙】

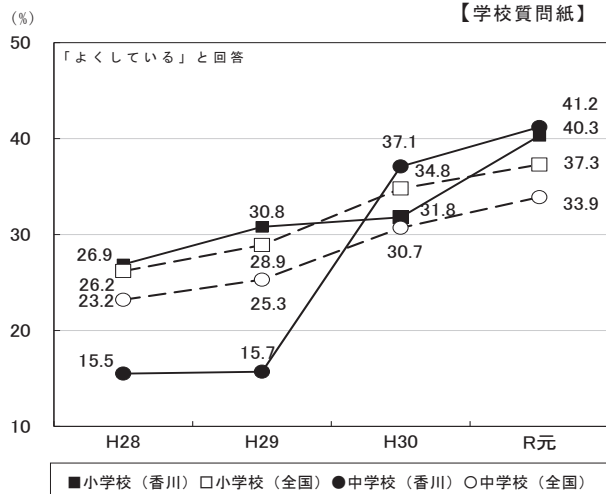


「**28/29** 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか」に対して学校が回答した選択肢別平均正答率 【学校質問紙】

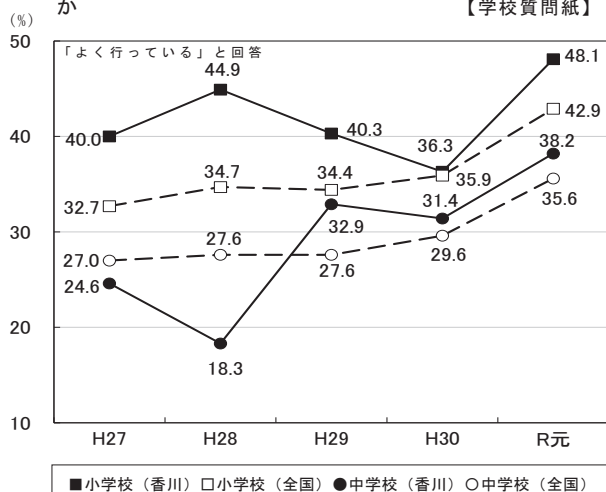


【PDCAサイクルの確立】

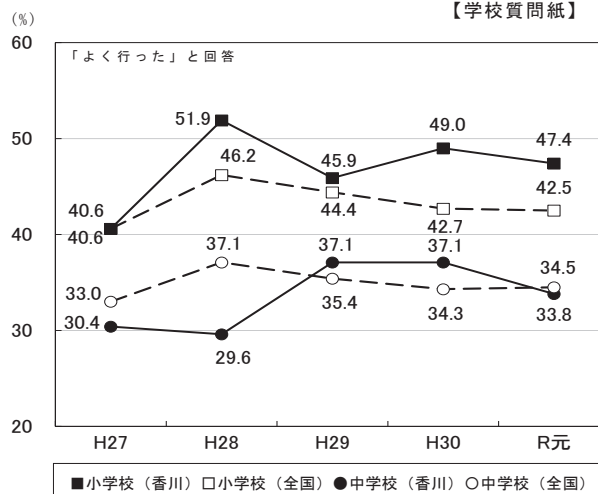
■17 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか
【学校質問紙】



■20 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか
【学校質問紙】



■63/79 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか
【学校質問紙】



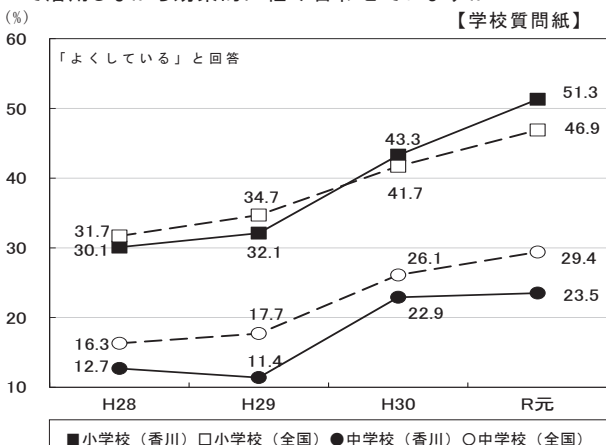
Column

教育課程の実施状況を評価してその改善を図っていく（PDCAサイクル）ためには、各種調査結果やデータ等を活用して、児童生徒や学校、地域の実態を定期的に把握することが大切です。そして、結果等から教育の目的や目標の実現状況や教育課程の実施状況を確認し分析して課題となる事項を見だし、改善方針を立案して実施していくことが求められます。

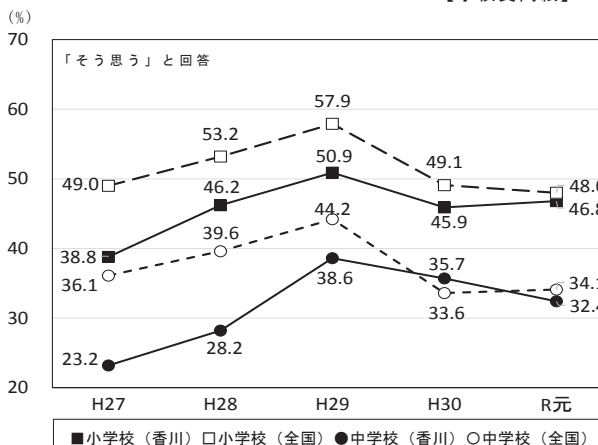
■20の質問に対して「よく行っている」と回答した学校の割合は、小・中学校ともに増加し、全国平均を上回っています。本調査報告書及び活用ツール等を効果的に活用し、学校、保護者、地域等の連携・協力の下、教育課程の実施に取り組みましょう。

【人的・物的資源等の活用】

■18 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか
【学校質問紙】



■58/72 保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか
【学校質問紙】



～特集3～

中学校英語の現状と課題

1. 「⁵⁰ 生徒に対する英語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか」の質問に対して、「よく行った」と回答した中学校の割合は、36.8%で、全国平均より 3.4 ポイント高くなっている。

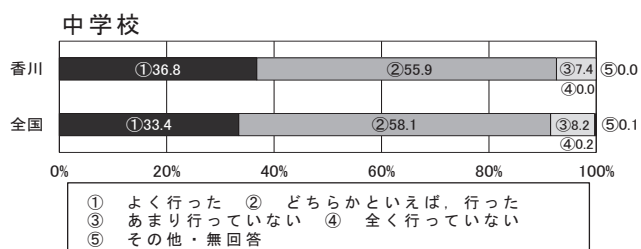
2. 「⁵¹ 生徒に対する英語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか」の質問に対して、肯定的に回答した中学校の割合は、67.6%で、全国平均より 7.8 ポイント低くなっている。

本年度初めて、全国学力・学習状況調査で英語が実施されました。質問紙調査の結果からは、今後の英語教育を考える上で重要なヒントとなる生徒の意識が見て取れます。ここでは、その中から、「現状と課題」という視点でいくつかを取り上げます。

 P80, 107

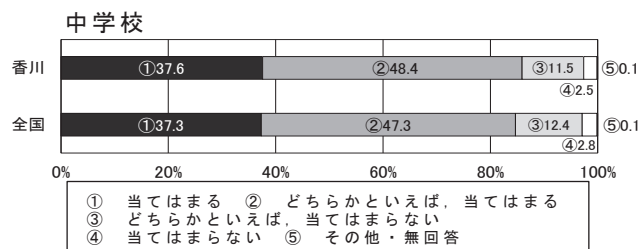
■50 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか

【学校質問紙】



□7 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

【生徒質問紙】

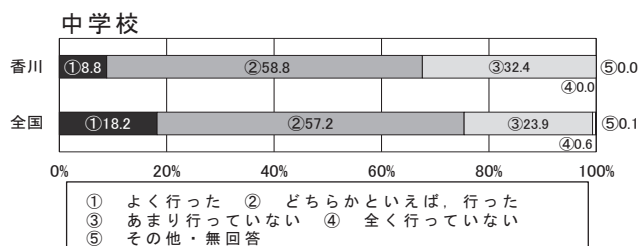


英語の補充的な学習の指導を「よく行った」と回答した中学校の割合が全国を上回り、また、教科を問わず「分かるまで教えてくれる」ことに肯定的に回答した生徒の割合も全国を上回った。遅れて進む生徒や不安を抱えている生徒に対し、教師が粘り強くきめ細やかな指導を行っていることがうかがえる。

 P89, 107

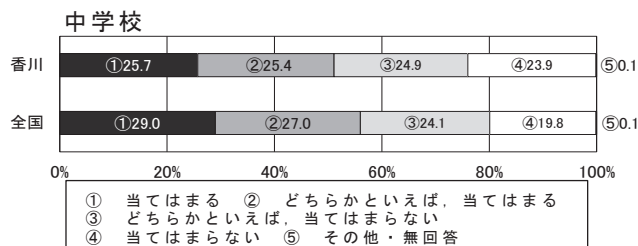
■51 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか

【学校質問紙】



□54 英語の勉強は好きですか

【生徒質問紙】



一方、発展的な学習について肯定的に回答した中学校の割合が全国を下回った。スピーチやプレゼンテーション、即興での考えや意見を伝え合う活動等、生徒が実践的に英語を使う場面が十分に設けられていないことを示す結果となった（P90, 108 参照）。さらに「英語の勉強が好きですか」との問いに肯定的に答えた生徒の割合は 51.1%で、全国を 4.9 ポイント下回った。他にも英語の興味・関心を問う質問に課題が見られた（P89, 90 参照）。

生徒が英語学習に意義を感じ、意欲的に取り組むために、基礎・基本をしっかりと学び、得た知識や技能を活用して、自分の考えや気持ちを友達と伝え合うなど、初めは生徒が

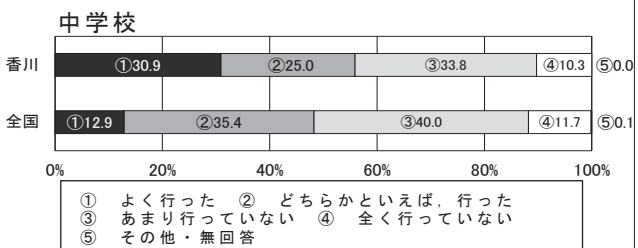
 P109

少し難しく感じる程度の言語活動を積極的に取り入れることが求められる。その後、何ができるようになったかを振り返らせることで、達成感や次への学習意欲につなげたい。

右のグラフは小中連携の質問で、「よく行った」と回答した中学校の割合は、全国を 18.0% 上回った。今後も、小学校と中学校の指導内容のつながりや児童生徒への定着具合に留意し、中学校の教員同士で積極的に情報交換を行いながら授業改善を進めることが大切である。生徒の英語に対する興味・関心を育むことが、学力向上への近道であり、グローバル社会を生き抜く力を身に付ける第一歩となるであろう。

■60 前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか

【学校質問紙】



Ⅲ 教科に関する調査結果及び分析

1 小学校国語 <調査の分析・検証>

概要

- 国語について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より上回っている。

令和元年度調査結果の集計値

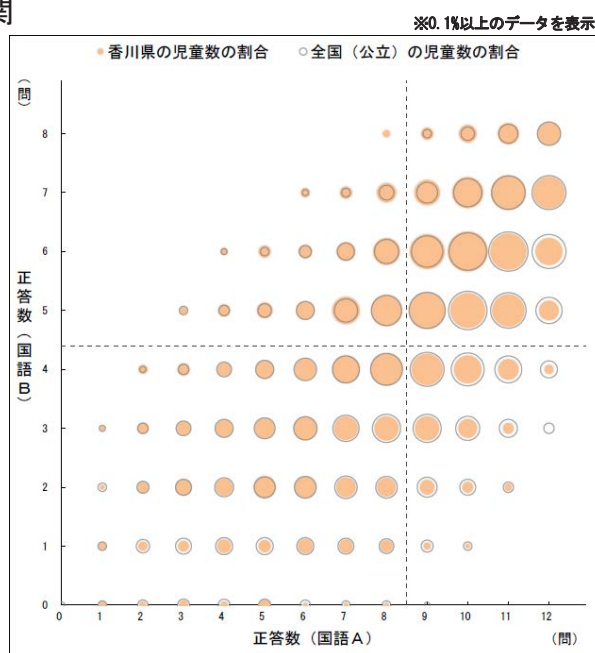
小学校国語	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	8,170	154	9.1 / 14	65
全国 (公立)	1,028,203	19,263	8.9 / 14	64 (63.8)

平成 26 年度～平成 30 年度の県と全国の調査結果

小学校国語 A	H26	H27	H28	H29	H30
県 (公立) 平均正答率 (%)	75.5	72.3	75.0	75	69
全国 (公立) 平均正答率 (%)	72.9	70.0	72.9	75 (74.8)	71 (70.7)
県と全国との差 (pt)	2.6	2.3	2.1	0	▲2
小学校国語 B	H26	H27	H28	H29	H30
県 (公立) 平均正答率 (%)	58.8	69.5	59.5	59	58
全国 (公立) 平均正答率 (%)	55.5	65.4	57.8	58 (57.5)	55 (54.7)
県と全国との差 (pt)	3.3	4.1	1.7	1	3

平成 30 年度 小学校 国語 A－国語 B の相関

県(公立) 児童数		8,084	
全国(公立) 国語A平均正答数		8.5	
全国(公立) 国語B平均正答数		4.4	
児童の正答数分布状況 (左: 児童数 右: 児童数の割合(%))	国語A・国語Bともに 平均以上	3,404	42.1
	国語Aは平均以上 国語Bは平均未満	981	12.1
	国語Aは平均未満 国語Bは平均以上	1,201	14.9
	国語A・国語Bともに 平均未満	2,498	30.9
相関係数		0.603	



■令和元年度領域等別調査結果

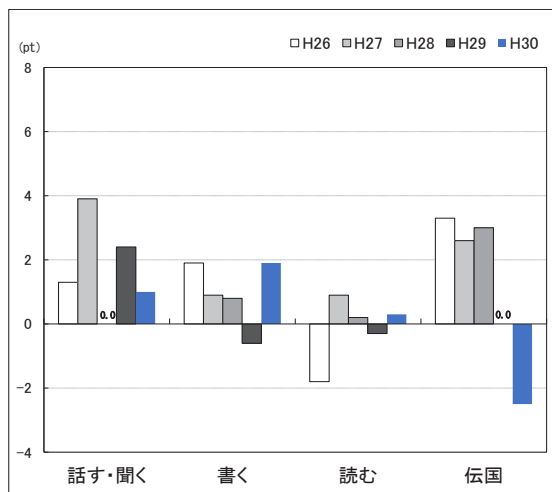
学習指導要領の領域等	国語			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県(公立)平均正答率(%)	75.1	58.5	82.9	53.0
全国(公立)平均正答率(%)	72.3	54.5	81.7	53.5
県と全国との差(pt)	2.8	4.0	1.2	▲0.5

■平成26年度～平成30年度の領域等別調査結果

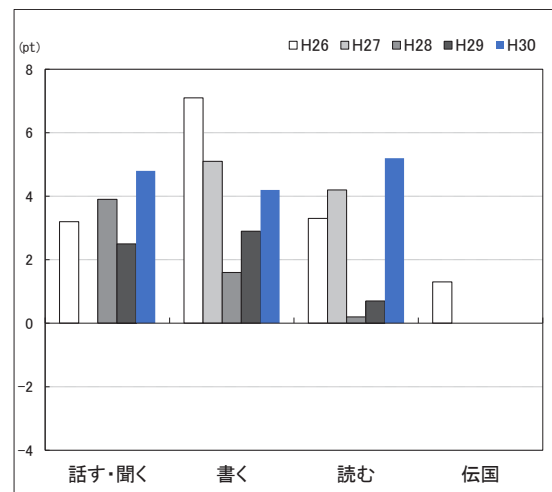
国語A	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県(公立)(%)	73.7	56.9	79.2	71.6	91.8
		全国(公立)(%)	72.4	53.0	79.2	69.2	90.8
		差(pt)	1.3	3.9	0.0	2.4	1.0
	書くこと	県(公立)(%)	74.1	86.9	73.6	60.0	75.7
		全国(公立)(%)	72.2	86.0	72.8	60.6	73.8
		差(pt)	1.9	0.9	0.8	▲0.6	1.9
	読むこと	県(公立)(%)	66.7	56.1	78.7	69.9	74.3
		全国(公立)(%)	68.5	55.2	78.5	70.2	74.0
		差(pt)	▲1.8	0.9	0.2	▲0.3	0.3
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県(公立)(%)	77.0	79.8	74.1	78.0	64.5
		全国(公立)(%)	73.7	77.2	71.1	78.0	67.0
		差(pt)	3.3	2.6	3.0	0.0	▲2.5

国語B	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県(公立)(%)	54.4		55.0	67.4	69.4
		全国(公立)(%)	51.2		51.1	64.9	64.6
		差(pt)	3.2		3.9	2.5	4.8
	書くこと	県(公立)(%)	41.5	66.2	55.0	56.3	49.8
		全国(公立)(%)	34.4	61.1	53.4	53.4	45.6
		差(pt)	7.1	5.1	1.6	2.9	4.2
	読むこと	県(公立)(%)	60.6	72.3	69.5	49.9	56.0
		全国(公立)(%)	57.3	68.1	69.3	49.2	50.8
		差(pt)	3.3	4.2	0.2	0.7	5.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県(公立)(%)	71.1				
		全国(公立)(%)	69.8				
		差(pt)	1.3				

領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語A】



領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語B】



問題別調査結果【国語】

平成31年度全国学力・学習状況調査

問題別調査結果【国語】

香川県一児童（公立）

小学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	154	19,263		8,170	1,028,203

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県（公立）	全国（公立）
	全体	14	65	63.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	75.1	72.3
	書くこと	3	58.5	54.5
	読むこと	3	82.9	81.7
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	5	53.0	53.5
評価の観点	国語への関心・意欲・態度	3	62.8	57.6
	話す・聞く能力	3	75.1	72.3
	書く能力	3	58.5	54.5
	読む能力	3	82.9	81.7
	言語についての知識・理解・技能	5	53.0	53.5
問題形式	選択式	7	76.3	75.1
	短答式	4	47.9	48.7
	記述式	3	62.8	57.6

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等				評価の観点				(参考※) 従来の区分	問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国(pt)		
			話すこと・ 書くこと	読むこと	伝統的な 言語文化と 国語の特質に 関する事項	国語への関心・ 意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・ 理解・技能		「知識」に関する 問題	「活用」に関する 問題	選択式	短答式	記述式	香川県 (公立)	全国 (公立)	香川県 (公立)	全国 (公立)	正答率
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で（資料2）と（資料3）をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	図表やグラフなどを用いた目的を捉える	5・6 エ					○			○	○	○			74.9	71.2	0.5	0.5	3.7	0.0
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「（2）公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	情報を相手に分かりやすく伝えるための記述の仕方の工夫を捉える	5・6 ツ					○			○	○	○			67.1	63.4	8.1	5.9	3.7	2.2
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の（1）と（2）で分かったことをまとめて書く	目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く	5・6 ツ			○		○			○			○		33.6	28.8	0.9	3.8	4.8	-2.9
1四（1） ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の――部アを、漢字を使って書き直す （調査のたいしょう）	学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う	5・6 (1)ウ (ア)					○	○	○	○	○				43.5	41.9	3.9	8.2	1.6	-4.3
1四（1） イ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の――部イを、漢字を使って書き直す （友達にかならず）		5・6 (1)ウ (ア)					○	○	○	○	○				67.2	69.4	7.6	12.1	-2.2	-4.5
1四（1） ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中の――部ウを、漢字を使って書き直す （かんしんをもってもらいたい）		5・6 (1)ウ (ア)					○	○	○	○	○				23.9	35.6	2.3	4.9	-11.7	-2.6
1四（2）	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□□□□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	文と文との意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く	3・4 (1)イ (ク)					○	○	○	○	○				57.2	47.8	5.9	11.3	9.4	-5.4
2一（1）	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□□に入る「疑問に思ったこと」の①に対する答えとして適切なものを選択する	目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む	5・6 ツ					○			○	○	○			81.0	80.7	1.2	1.4	0.3	-0.2
2一（2）	食べ物の保存についてまとめている【ノートの一部】の□□に「疑問に思ったこと」の②に対する答えになるように考えて書く		5・6 ツ		○				○			○	○			78.1	75.9	2.3	5.0	2.2	-2.7
2二	梅干し作りについて【知りたいこと】を調べるために、選んだ本の【目次の一部】から、読むページとして適切なものを選択する	目的に応じて、本や文章全体を概観して効果的に読む	5・6 イ					○			○	○	○			89.5	88.5	3.4	4.2	1.0	-0.8
3一	登職人への【インタビューの様子】の□□に入る、自分の理解が正しいかを確認する質問として適切なものを選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする	5・6 エ					○			○	○	○			82.9	81.3	2.4	3.4	1.6	-1.0
3二	登職人への【インタビューの様子】の□□□□の場面における、質問の工夫として適切なものを選択する	目的に応じて、質問を工夫する	5・6 エ					○			○	○	○			65.7	67.4	3.1	4.2	-1.7	-1.1
3三	【インタビューの様子】の□□に、登職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめる	5・6 エ			○	○				○		○			76.7	68.2	8.0	14.2	8.5	-6.2
3四	ことわざの使い方の例として、【ノートの一部】の□□に入る適切なものを選択する（言うより慣れよ）	ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる			3・4 (1)ア (イ)						○	○	○	○		73.2	73.0	6.9	7.9	0.2	-1.0

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校国語】（全14問中5問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1一	公衆電話について調べたことを【報告する文章】で〈資料2〉と〈資料3〉をそれぞれどのような目的で用いているか、適切なものを選択する	書く	書く	選択	74.9	0.5	3.7
1二	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の「(2) 公衆電話にはどのような使い方や特ちょうがあるのか」における書き方の工夫として適切なものを選択する	書く	書く	選択	67.1	8.1	3.7
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	書く	関心書く	記述	33.6	0.9	4.8
1四(2)	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□の1文を、接続語「そこで」を使って2文に分けて書き直す	伝国	言語	短答	57.2	5.9	9.4
3三	【インタビューの様子】の□に、昼職人の仕事への思いや考えに着目して心に残ったことを書く	話聞	関心話聞	記述	76.7	8.0	8.5

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校国語】（全14問中1問）

問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中に——部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	伝国	言語	短答	23.9	2.3	▲11.7

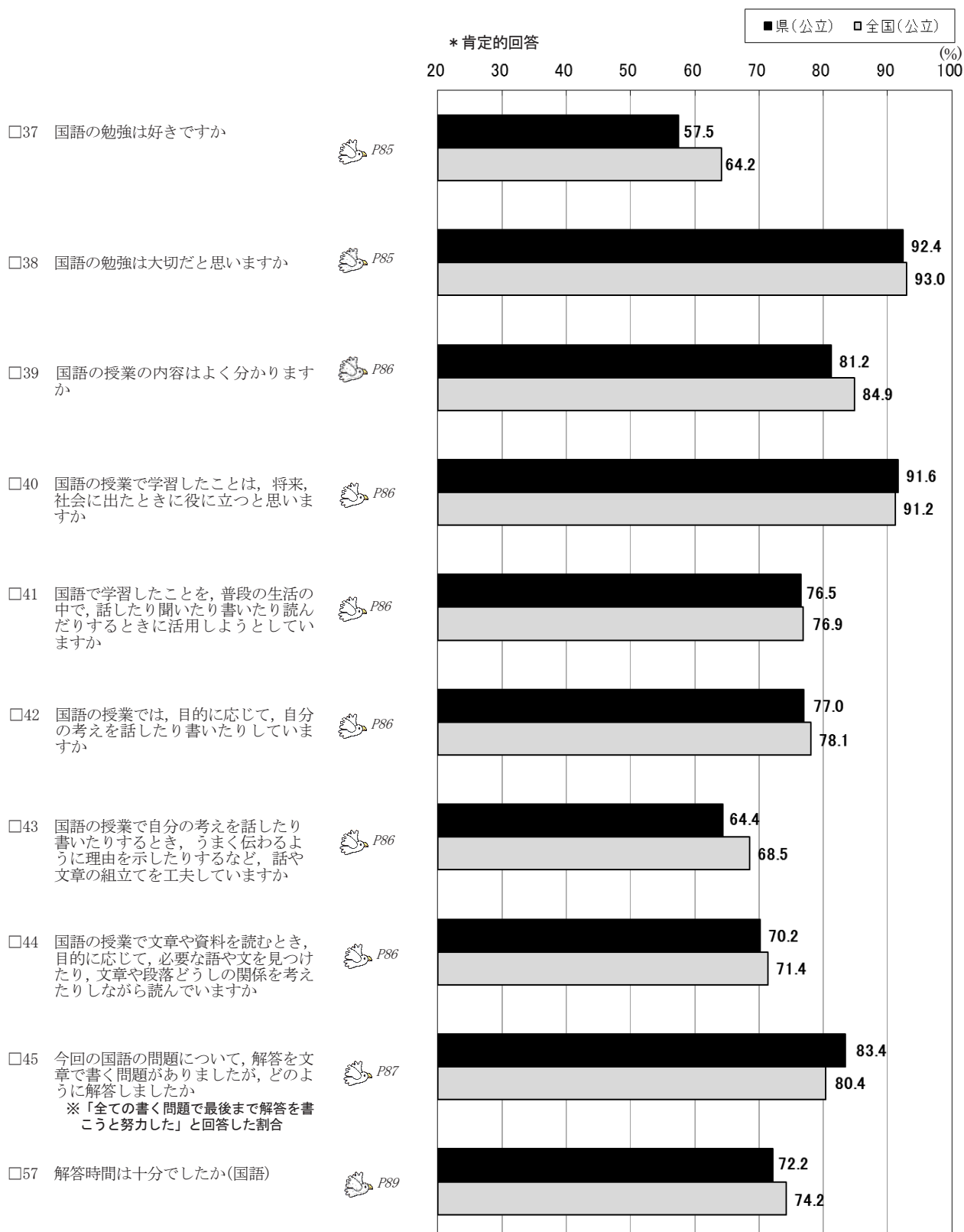
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校国語】（全14問中3問）

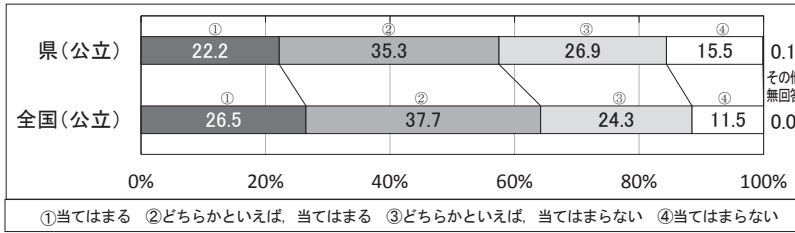
問題番号	問題の概要	領域等	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1三	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の□に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書く	書く	関心書く	記述	33.6	0.9	4.8
1四(1)ア	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中に——部アを、漢字を使って書き直す(調査のたいしょう)	伝国	言語	短答	43.5	3.9	1.6
1四(1)ウ	公衆電話について調べたことを【報告する文章】の中に——部ウを、漢字を使って書き直す(かんしんをもってもらいたい)	伝国	言語	短答	23.9	2.3	▲11.7

【領域等】	【評価観点】	【問題形式】
話すこと・聞くこと 書くこと 読むこと 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	話聞 書く 読む 伝国	関心・意欲・態度 話す・聞く能力 書く能力 読む能力 言語についての知識・理解・技能
	関心 話聞 書く 読む 言語	選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

■小学校国語に関わる質問の全国との比較



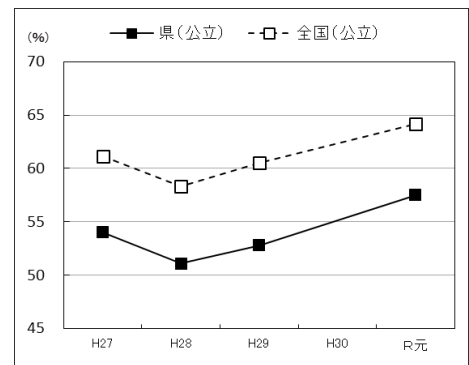
□37 国語の勉強は好きですか



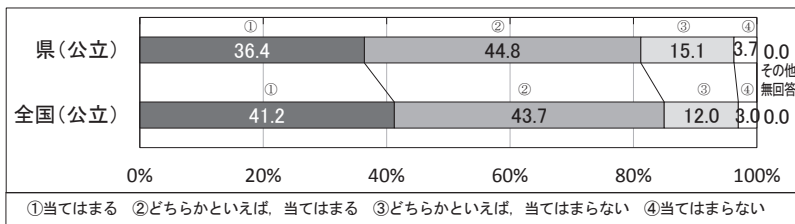
肯定的に回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	54.0	51.1	52.8		57.5
全国(公立)(%)	61.1	58.3	60.5		64.2
県と全国の差(pt)	▲7.1	▲7.2	▲7.7		▲6.7

質問 37 に肯定的に回答した児童の割合の推移



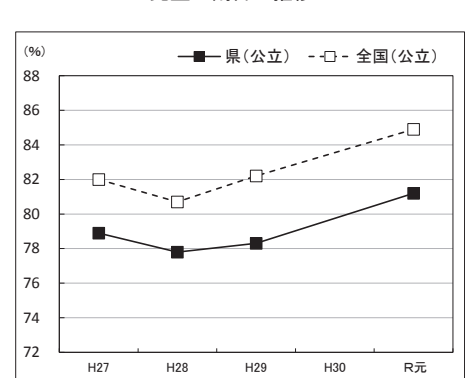
□39 国語の授業の内容はよく分かりますか



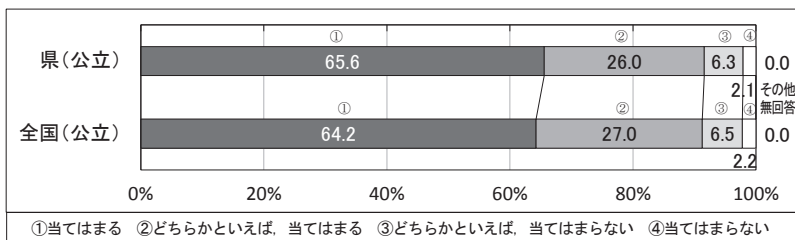
肯定的に回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	78.9	77.8	78.3		81.2
全国(公立)(%)	82.0	80.7	82.2		84.9
県と全国の差(pt)	▲3.1	▲2.9	▲3.9		▲3.7

質問 39 に肯定的に回答した児童の割合の推移



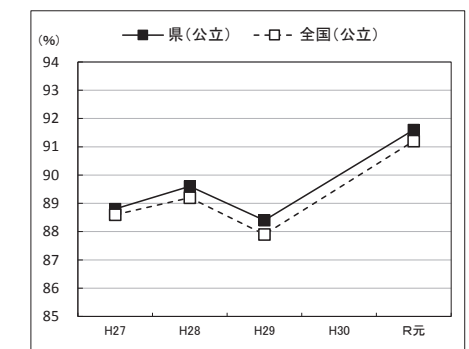
□40 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



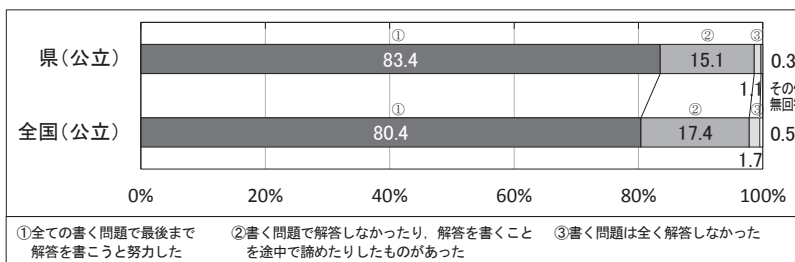
肯定的に回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	88.8	89.6	88.4		91.6
全国(公立)(%)	88.6	89.2	87.9		91.2
県と全国の差(pt)	0.2	0.4	0.5		0.4

質問 40 に肯定的に回答した児童の割合の推移



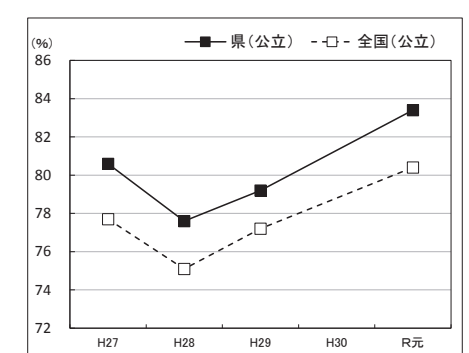
□45 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	80.6	77.6	79.2		83.4
全国(公立)(%)	77.7	75.1	77.2		80.4
県と全国の差(pt)	2.9	2.5	2.0		3.0

質問 45 に対して①と回答した児童の割合の推移



目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 国語 1 三

3

また、公衆電話を使いたいときには、多くの人が集まる場所へ行けば見つけやすいのではないかと考えています。今回の調査を通して知ったことを、学級の友達にイカしたら多くの友達に伝え、公衆電話についてウーかんしんをもっともらいたいと思います。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのではないかと考えました。なぜなら、この資料から、公衆電話は、主に病院や学校、駅などの多くの人が集まる場所にあるということが分かりました。

調査の結果をもとに考えたこと

（資料3）
公衆電話の設置場所を示した地図

（2）公衆電話にはどのような使い方や持ちようがあるのか
公衆電話について書かれた資料を調べると、公衆電話には、次のような使い方や持ちようがありました。

- ・警察署（110番）や消防署（119番）には、硬貨やテレホンカードがなくても通報することができ。
- ・電話のときでも、硬貨を使って通話することができ。
- ・電話が混み合っているときでも、優先的につながりやすい。

このように、公衆電話は、さん急のときにも使うことができるということが分かりました。

（3）公衆電話はどのような場所にあるのか
公衆電話が必要なときに使うことができるようにするためには、どのような場所に設置されているのかを前もって知っておくことが大切だと思ったので、わたしは、公衆電話の設置場所を確かめてみました。

実際に町を歩いて調べたものが（資料3）です。

1 はじめに
先日外出したときに、家に電話をかけようと近くの店に行くと、あったはずの公衆電話がなくなっていて、こまてしまいました。また、よく行く公園の公衆電話も、いつの間になくなっていました。わたしは、公衆電話の数が減っているのではないかと、町の公衆電話の数を調べてみることにしました。それをまとめたものが（資料1）です。平成二十年度から二十九年度までの十年間、約半分にまで減っていることが分かりました。

そこで、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうのかどうか調べてみることにしました。

2 調査の内容と結果

（1）公衆電話はどのようなときに必要なのか
多くの人がけいたい電話を持つ中で、公衆電話が必要とされているのかどうかを調べてみることにしました。

そこで、地いきの人三十人を調査の「ア」しよとして、公衆電話は必要かどうかを聞いたところ、ほとんどの人が必要だと回答しました。その理由をまとめたものが（資料2）です。

「けいたい電話をわすれたときに必要」「けいたい電話の電池が切れたときに必要」などの回答がありました。

このことから、公衆電話は、主にけいたい電話を使うことができないときに必要とされているということが分かりました。

（資料2）
公衆電話が必要な理由のまとめ（複数回答）

けいたい電話をわすれたときに必要	22人
けいたい電話の電池が切れたときに必要	12人
けいたい電話の使用が禁止されている場所にいるときに必要	5人
けいたい電話の電波がとどかない場所にいるときに必要	4人
けいたい電話や家の電話がつかりにくいときに必要	3人
その他	5人

（資料1）
公衆電話設置台数の移り変わり

1
高橋さんの学級では、生活の中で気になったことを調べ、友達に報告することになりました。高橋さんは、公衆電話について調べています。次は、高橋さんが書いてある【報告する文章】です。これをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【報告する文章】

公衆電話について

高橋 めぐみ



問題番号	正答の条件	解答類型	献率 (%)	全国献率 (%)	正答
1 三	次の条件を満たして解答している。 ① 「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いている。 ② 【報告する文章】にふさわしい表現で書いている。 ③ 書き出しの言葉に続けて、40字以上、70字以内で書いている。				
1	条件①、②、③を満たしているもの		33.6	28.8	◎
2	条件①、②を満たしているが、条件③を満たしていないもの		0.0	0.0	
3	条件①を満たしているが、条件②を満たしていないもの		5.1	7.3	
4	条件②を満たしているが、条件①を満たしていないもののうち、「2 調査の内容と結果」の1からのみ、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの		22.7	19.5	
5	条件②を満たしているが、条件①を満たしていないもののうち、「2 調査の内容と結果」の2からのみ、分かったことについて言葉や文を取り上げて書いているもの		8.5	7.1	
6	条件②を満たしているが、条件①を満たしていないもののうち、「2 調査の内容と結果」の1や2から、分かったこと以外の内容について言葉や文を取り上げて書いているもの		11.3	10.3	
7	条件②を満たしているが、条件①を満たしていないもののうち、「2 調査の内容と結果」の3から、言葉や文を取り上げて書いているもの		1.1	1.0	
8	条件②を満たしているが、条件①を満たしていないもののうち、「はじめに」や「3 調査の結果をもとに考えたこと」から、言葉や文を取り上げて書いているもの		0.7	0.8	
99	上記以外の解答		16.0	21.3	
0	無解答		0.9	3.8	
	正答率		33.6	28.8	

三 高橋さんは、「3 調査の結果をもとに考えたこと」の(1)と(2)で分かったことをまとめて書いています。

【報告する文章】にふさわしい表現で書くこと。

○ 書き出しの言葉に続けて、四十以上、七十以内にとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は字数にふくむ。

調査の結果から、公衆電話は、わたしたちにとって必要がなくなってしまうわけではないと考えました。

なぜなら、

必要がなくなってしまうわけではないと考えました。

※ 左の紙は下書き用紙なので、使っても使わなくてもかまいません。解答は、解答用紙に書きましょう。

※ の印から書きましょう。どちらの行を変えないで、続けて書きましょう。

70字

40字

分析・考察

- 本問題では、目的や意図に応じてまとめて書く場面が設定されている。報告する文章の「3 調査の結果をもとに考えたこと」に、「2 調査の内容と結果」の(1)と(2)の両方から適切な言葉や文を取り上げて分かったことをまとめて書く問題である。
- 本県の正答率は33.6%であり、複数の資料から目的や意図に応じて必要な内容を取り出し、理由や根拠を明確にして書くことに依然として課題がある。
- 解答類型4と5を合わせた反応率は31.2%である。約3割の児童が「3 調査の結果をもとに考えたこと」に、「2 調査の内容と結果」の分かったことを根拠として書く事を捉えることはできているが、(1)と(2)両方の分かったことを根拠として取り上げて書くことができていないことが分かる。

授業改善のポイント

【目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く】

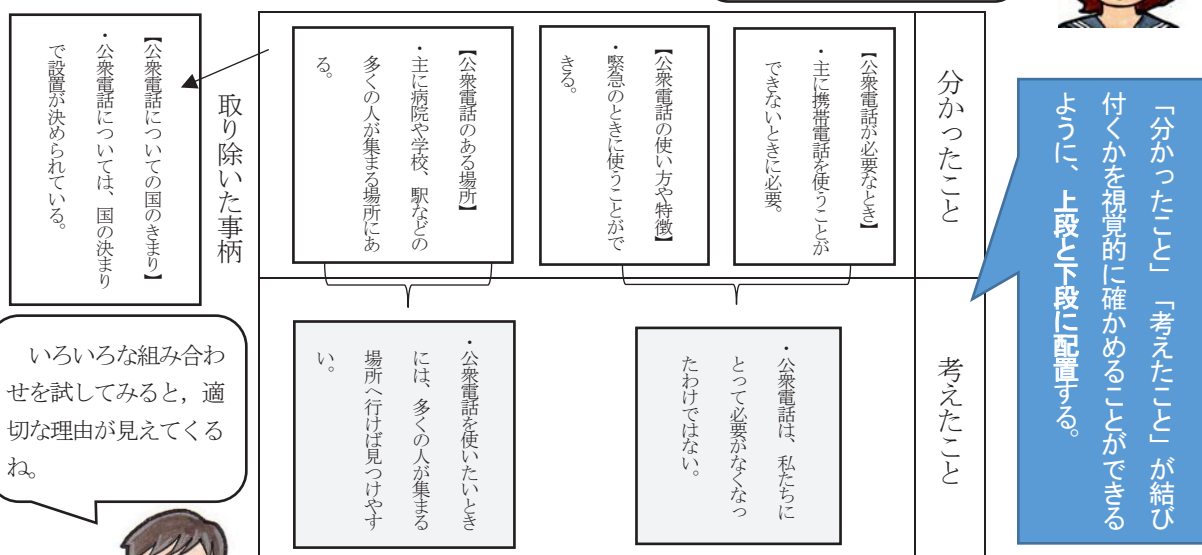
自分の考えが相手に分かるように書くためには、事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりすることが大切である。本問題のように、調べたことを報告する文章では、「調査の目的や方法」、「調査の結果とそこから考えたこと」などで内容を書き分けるという文章の特徴に即して、自分の考えの理由を明確に書くことが必要である。その際、調査の結果が自分の考えを支える理由や事例となることや、調べた目的と、調べた結果に基づく自分の考えとを関係付ける大切さを意識付ける指導が大切である。

授業アイディア例：「生活の中で気になったことを調べて、報告する文章を書こう」

事実と考えとを区別して書いたり、理由を明確にして自分の考えをまとめたりできるようにするためには、調べたことを整理する段階において、「調査の結果」と「考えたこと」を結び付けながら、「調査の結果」の中から適切な理由や事例を取捨選択することが必要である。

題材の設定・情報の収集・内容の検討

調べた結果を整理して、書くために必要な事柄を選ぶ



ただ、自分だけで、理由や事例が適切かを確認しようとしても、本当に相手に伝わるものになっているかどうか、的確に判断できないことが多い。そこで、友達と確認し合う場を設定することで、客観的に見て伝わるものになっているか考えられるようにする。また、推敲の前と後の文章を比べ、より分かりやすい文章になったことを実感させるようにしたい。

2 小学校算数 <調査の分析・検証>

概 要

- 算数について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より上回っている。

■令和元年度調査結果の集計値

小学校国語	児童数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	8,172	154	9.5 / 14	68
全国(公立)	1,028,177	19,260	9.3 / 14	67 (66.6)

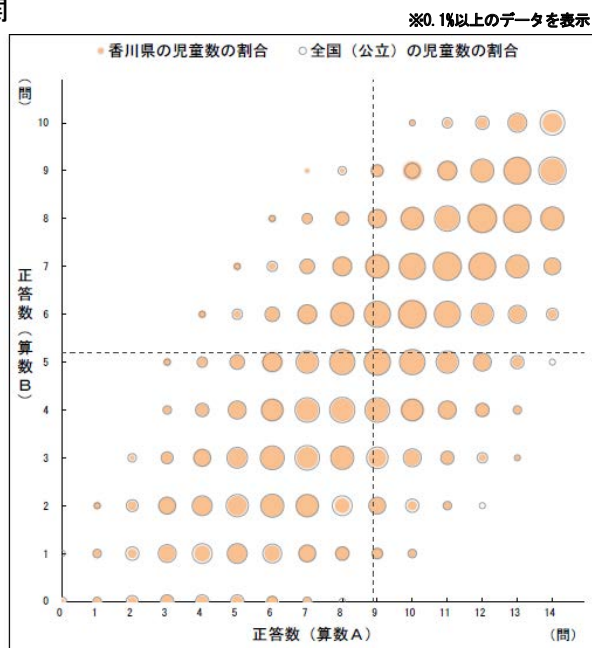
■平成 26 年度～平成 30 年度の県と全国の調査結果

小学校算数 A	H26	H27	H28	H29	H30
県(公立)平均正答率 (%)	78.5	74.3	78.2	79	64
全国(公立)平均正答率 (%)	78.1	75.2	77.6	79 (78.6)	64 (63.5)
県と全国との差 (pt)	0.4	▲0.9	0.6	0	0

小学校算数 B	H26	H27	H28	H29	H30
県(公立)平均正答率 (%)	59.5	47.0	46.7	48	53
全国(公立)平均正答率 (%)	58.2	45.0	47.2	46 (45.9)	52 (51.5)
県と全国との差 (pt)	1.3	2.0	▲0.5	2	1

■平成 30 年度 小学校 算数 A－算数 B の相関

県(公立)児童数		8,079	
全国 (公立) 算数A 平均正答数		8.9	
全国 (公立) 算数B 平均正答数		5.2	
児童の正答数分布状況 (左:児童数 右:児童数の割合(％))	算数A・算数Bともに 平均以上	3,365	41.7
	算数Aは平均以上 算数Bは平均未満	1,314	16.3
	算数Aは平均未満 算数Bは平均以上	619	7.7
	算数A・算数Bともに 平均未満	2,781	34.4
相関係数		0.706	



■令和元年度領域別調査結果

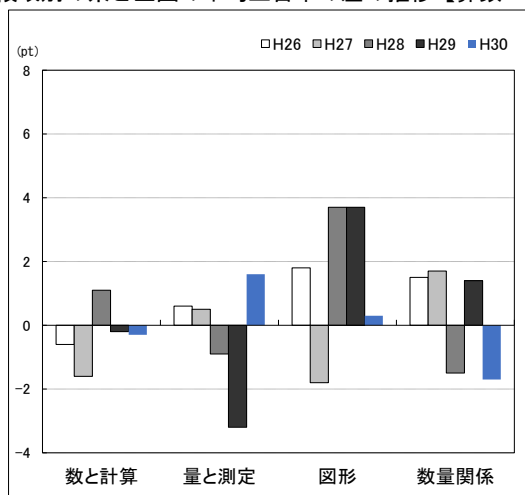
学習指導要領の領域	算数			
	数と計算	量と測定	図形	数量関係
県(公立)平均正答率(%)	65.3	54.1	78.0	69.4
全国(公立)平均正答率(%)	63.2	52.9	76.7	68.3
県と全国との差(pt)	2.1	1.2	1.3	1.1

■平成26年度～平成30年度の領域別調査結果

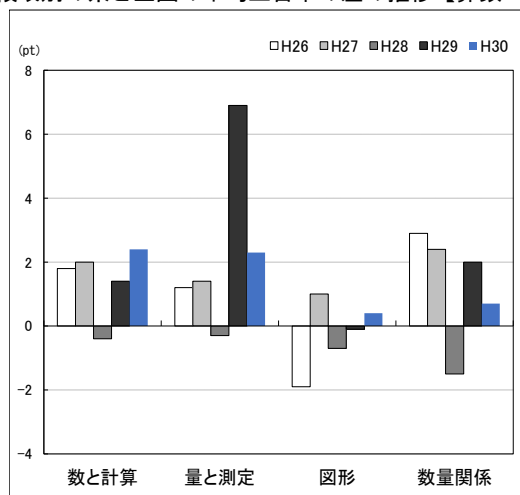
算数 A	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	数と計算	県(公立)(%)	81.2	78.5	81.6	80.4	62.0
		全国(公立)(%)	81.8	80.1	80.5	80.6	62.3
		差(pt)	▲0.6	▲1.6	1.1	▲0.2	▲0.3
	量と測定	県(公立)(%)	75.4	71.8	76.1	65.6	74.3
		全国(公立)(%)	74.8	71.3	77.0	68.8	72.7
		差(pt)	0.6	0.5	▲0.9	▲3.2	1.6
	図形	県(公立)(%)	73.6	62.7	82.5	84.8	57.2
		全国(公立)(%)	71.8	64.5	78.8	81.1	56.9
		差(pt)	1.8	▲1.8	3.7	3.7	0.3
	数量関係	県(公立)(%)	82.8	86.6	67.0	81.0	58.4
		全国(公立)(%)	81.3	84.9	68.5	79.6	60.1
		差(pt)	1.5	1.7	▲1.5	1.4	▲1.7

算数 B	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	数と計算	県(公立)(%)	63.1	44.4	44.0	54.2	60.8
		全国(公立)(%)	61.3	42.4	44.4	52.8	58.4
		差(pt)	1.8	2.0	▲0.4	1.4	2.4
	量と測定	県(公立)(%)	57.7	43.1	43.4	53.9	54.7
		全国(公立)(%)	56.5	41.7	43.7	47.0	52.4
		差(pt)	1.2	1.4	▲0.3	6.9	2.3
	図形	県(公立)(%)	63.8	46.6	35.6	13.1	60.3
		全国(公立)(%)	65.7	45.6	36.3	13.2	59.9
		差(pt)	▲1.9	1.0	▲0.7	▲0.1	0.4
	数量関係	県(公立)(%)	59.1	45.4	41.4	42.0	45.8
		全国(公立)(%)	56.2	43.0	42.9	40.0	45.1
		差(pt)	2.9	2.4	▲1.5	2.0	0.7

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【算数B】



問題別調査結果【算数】

平成31年度全国学力・学習状況調査

小学校調査

問題別調査結果【算数】

香川県－児童（公立）

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象児童数	香川県（公立）	全国（公立）
	154	19,260		8,172	1,028,177

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県（公立）	全国（公立）
	全体	14	68	66.6
学習指導要領の領域	数と計算	7	65.3	63.2
	量と測定	3	54.1	52.9
	図形	2	78.0	76.7
	数量関係	7	69.4	68.3
評価の観点	算数への関心・意欲・態度	0		
	数学的な考え方	8	63.9	62.2
	数量や図形についての技能	4	74.7	73.6
	数量や図形についての知識・理解	2	72.0	70.1
問題形式	選択式	5	76.6	75.7
	短答式	5	74.2	72.8
	記述式	4	50.0	47.4

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				(参考※) 従来の区分		問題形式			正答率(%)		無解答率(%)		香川県－全国(pt)		
				数と計算	量と測定	図形	数量関係	算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率	
1	(1)	長方形を直線で切ってきた図形の中から、台形を選ぶ	台形について理解している			4(1) アイ					○	○	○	○				95.0	93.1	0.1	0.1	1.9	0.0
1	(2)	二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることのできる形を選ぶ	図形の性質や構成要素に着目し、ほかの図形を構成することができる			4(1) イ 5(1) イ				○		○	○	○				60.9	60.3	0.4	0.6	0.6	-0.2
1	(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	示された図形の面積の求め方を解釈し、その求め方の説明を記述できる			5(1) ア			○				○			○		45.6	43.9	2.8	6.7	1.7	-3.9
2	(1)	1980年から2010年までの、10年ごとの市全体の水の使用量について、棒グラフからわかることを選ぶ	棒グラフから、資料の特徴や傾向を読み取ることができる				3(3) ア			○		○	○	○				95.8	95.2	0.1	0.2	0.6	-0.1
2	(2)	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の約何倍かを、棒グラフから読み取って書く	2010年の市全体の水の使用量が1980年の市全体の水の使用量の何倍か読み取ることができる	4(3) イ			3(3) ア			○		○	○		○			81.1	78.6	0.5	1.0	2.5	-0.5
2	(3)	二つの棒グラフから、一人当たりの水の使用量についてわかることを選び、選んだわけを書く	資料の特徴や傾向に関連付けて、一人当たりの水の使用量の増減を判断し、その理由を記述できる			5(4) ア	3(3) ア		○				○			○		51.6	52.1	0.8	2.0	-0.5	-1.2
2	(4)	洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6 \div 0.5 \times 2$ を計算する	加法と乗法の混合した整数と小数の計算をすることができる	4(5) ウ			4(2) ア			○		○	○		○			61.1	60.1	0.4	1.0	1.0	-0.6
3	(1)	$350 - 97$ について、引く数の97を100にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く	示された減法に関して成り立つ性質を基にした計算の仕方を解釈し、適用することができる	3(2) イウ									○		○			82.0	81.8	0.2	0.9	0.2	-0.7
3	(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめたとき、どのようなものかを書く	示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質を記述できる	3(2) ウ 4(3) エ					○				○			○		37.6	31.1	4.7	10.8	6.5	-6.1
3	(3)	被除数と除数にかける数や割る数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	示された計算の仕方を解釈し、かける数や割る数を選び、計算しやすい式にして計算できる	4(3) イエ									○			○		78.2	74.9	0.8	2.1	3.3	-1.3
3	(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	示された除法の式の意味を理解している			5(3) アイウ	3(1)				○	○	○	○				48.9	47.0	1.5	2.2	1.9	-0.7
4	(1)	だいたい何分後に乗り物券を買う順番がくるのかを知るために、調べる必要のある事柄を選ぶ	目的に適した伴って変わる二つの数量を見いだすことができる				4(1)		○				○	○				82.2	82.7	1.2	1.7	-0.5	-0.5
4	(2)	何秒後にゴンドラに乗ることができるのかを求め式を書く	示された場面において、複数の数量から必要な数量を選び、立式することができる	3(3) イ					○				○		○			68.5	68.6	2.1	4.4	-0.1	-2.3
4	(3)	残り7ボール分進むのにかかる時間の求め方と答えを記述し、24分以内にレジに書くことができるかどうかを判断する	場面の状況から、単位量当たりの大きさを基に、求め方と答えを記述し、その結果から判断できる		5(4) ア		5(1) ア		○					○		○		65.2	62.6	2.1	3.5	2.6	-1.4

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として付すもの。

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【小学校算数】（全14問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなになるのかを書く	計算	考え	記述	37.6	4.7	6.5
3(3)	被除数と除数にかける数やわる数を選び、 $600 \div 15$ を計算しやすい式にして計算する	計算	考え	短答	78.2	0.8	3.3

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【小学校算数】（全14問中）無し

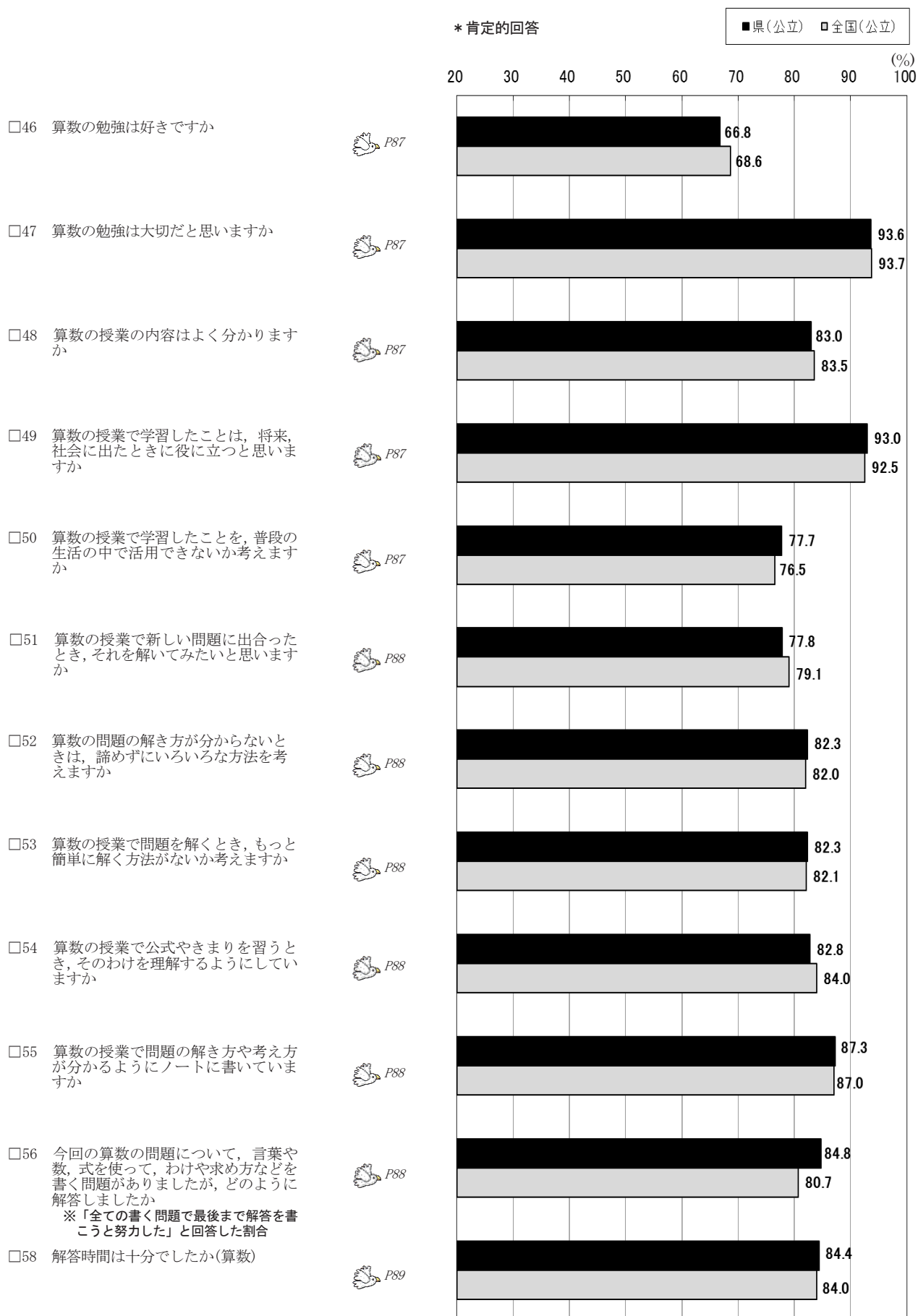
■正答率が低い問題（50%未満）

【小学校算数】（全14問中3問）

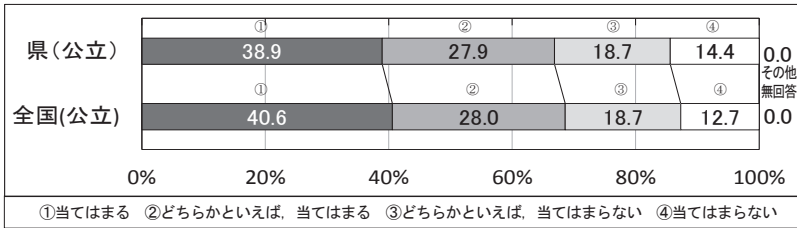
問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1(3)	減法の式が、示された形の面積をどのように求めているのかを、数や演算の表す内容に着目して書く	量測	考え	記述	45.6	2.8	1.7
3(2)	減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようなになるのかを書く	計算	考え	記述	37.6	4.7	6.5
3(4)	$1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ	計算 数量	知識	選択	48.9	1.5	1.9

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と計算 量と測定 図形 数量関係	：計算 ：量測 ：図形 ：数量 算数への関心・意欲・態度 数学的な考え方 数量や図形についての技能 数量や図形についての知識・理解	：関心 ：考え ：技能 ：知識 選択式：選択 短答式：短答 記述式：記述

■小学校算数に関わる質問の全国との比較



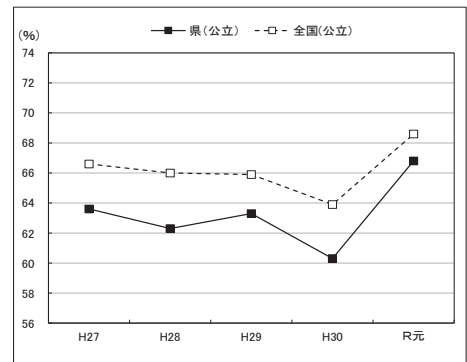
□46 算数の勉強は好きですか



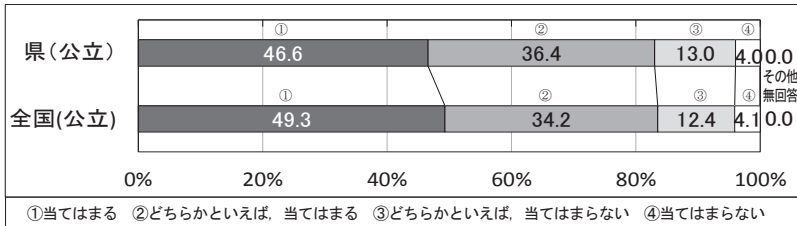
肯定的に回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	63.6	62.3	63.3	60.3	66.8
全国(公立)(%)	66.6	66.0	65.9	64.0	68.6
県と全国の差(pt)	▲3.0	▲3.7	▲2.6	▲3.7	▲1.8

質問 46 に肯定的に回答した児童の割合の推移



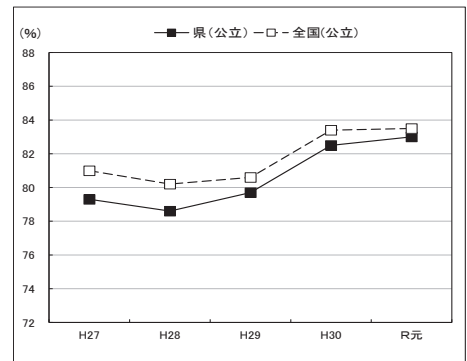
□48 算数の授業の内容はよく分かりますか



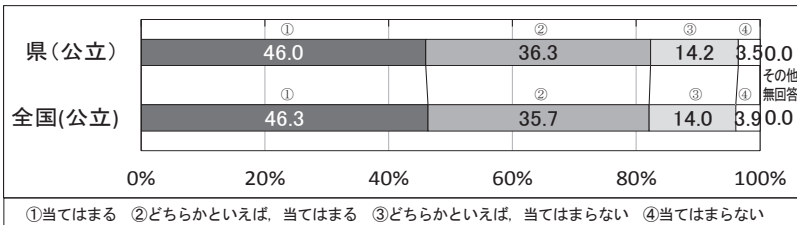
肯定的に回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	79.3	78.6	79.7	82.5	83.0
全国(公立)(%)	81.0	80.2	80.6	83.4	83.5
県と全国の差(pt)	▲1.7	▲1.6	▲0.9	▲0.9	▲0.5

質問 48 に肯定的に回答した児童の割合の推移



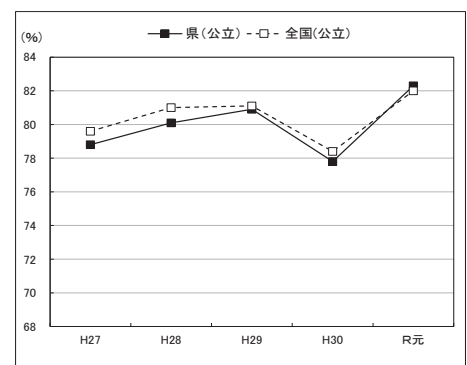
□52 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



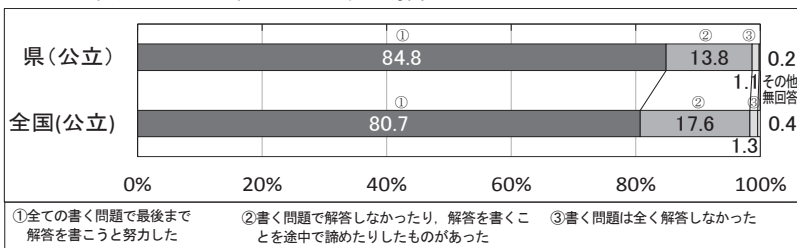
肯定的に回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	78.8	80.1	80.9	77.8	82.3
全国(公立)(%)	79.6	81.0	81.1	78.4	82.0
県と全国の差(pt)	▲0.8	▲0.9	▲0.2	▲0.6	0.3

質問 52 に肯定的に回答した児童の割合の推移



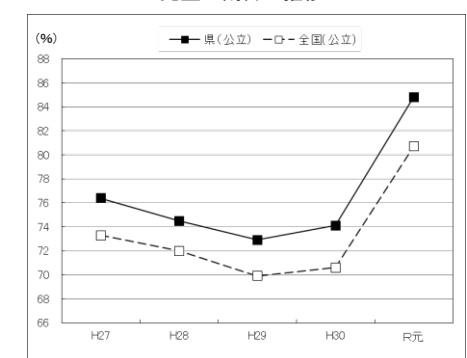
□56 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました、どのように解答しましたか



①と回答した児童の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	76.4	74.5	72.9	74.1	84.8
全国(公立)(%)	73.3	72.0	69.9	70.6	80.7
県と全国の差(pt)	3.1	2.5	3.0	3.5	4.1

質問 56 に対して①と回答した児童の割合の推移



小学校算数

調査結果から授業改善へ

示された計算の仕方を解釈し、減法の場合を基に、除法に関して成り立つ性質について説明することができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 3(2)

3ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくり下りのあるわり算について、次のように計算しやすい式にしてみました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array}$$

だから、 $421 - 298$ の答えの $\square$ は、123 です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array}$$

だから、 $600 - 201$ の答えの $\square$ は、399 です。

ゆいさん

【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わりません。

ゆいさんは、くり下りのあるひき算を計算したときにもどした考えをふり返って、次のようにしました。

【ゆいさんがまとめたこと】

ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わりません。
このことを使うと、計算しやすいひき算の式で考えることができます。

ことねさんは、 $400 \div 25$ や $90 \div 18$ のようなわり算についても、計算しやすい式にすることができると思い、次のように考えました。

【ことねさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 400 \div 25 = \square \\ \downarrow \times 4 \quad \downarrow \times 4 \\ 1600 \div 100 = 16 \end{array}$$

だから、 $400 \div 25$ の答えの $\square$ は、16 です。

$$\begin{array}{r} 90 \div 18 = \square \\ \downarrow \div 9 \quad \downarrow \div 9 \\ 10 \div 2 = 5 \end{array}$$

だから、 $90 \div 18$ の答えの $\square$ は、5 です。

(2) ひき算について書かれた【ゆいさんがまとめたこと】と同じように、わり算についても、【ことねさんの計算の仕方】をもとにまとめる。どのようになりますか。
下の $\square$ の中に、「わられる数」「わる数」「商」の3つの言葉を使って書きましよう。

わり算では、

※ 解答は、すべて解答用紙に書きましよう。

このことを使うと、計算しやすいわり算の式で考えることができます。

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
	(正答の条件) 次の①、②、③の全てを書いている。 ① わられる数とわる数に同じ数をかけてることを表す言葉 ② わられる数とわる数を同じ数で割ることを表す言葉 ③ 商が変わらないことを表す言葉 (正答例) ・ わられる数とわる数に同じ数をかけても、わられる数とわる数を同じ数で割っても、商は変わりません。			
1	①、②、③の全てを書いている	37.5	30.9	◎
2	③を書き、①、②については具体的な数を用いて書いている	0.1	0.2	○
3	①、③を書いている ②、③を書いている	5.9	6.5	
4	③を書き、①または②については具体的な数を用いて書いている	0.6	0.8	
5	③を書き、①、②について書いていない	2.0	2.3	
6	①、②を書き、商が変わることを書いている 商が変わることを書き、①、②について書いていない	0.1	0.0	
7	①、②については具体的な数を用いて書き、商が変わることを書いている	0.0	0.0	
8	①、②を書いている ①、②については具体的な数を用いて書いている	18.2	15.2	
9	③を書き、わられる数とわる数に同じ数をたしたり、同じ数を引いたりすることを書いている	3.7	3.5	
10	③を書いている	3.4	3.9	
99	上記以外の解答	23.9	25.9	
0	無解答	4.7	10.8	
正答率		37.6	31.1	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、37.6%であり、全国の前年比を6.5ポイント上回っているが、正答率が低いことから除法に関して成り立つ性質について理解し説明することに課題がある。
- 解答類型8の反応率は、18.2%である。「わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、差は変わらない」など、「商」という用語の意味や、わられる数とわる数に同じ数をかけたり、同じ数でわったりすることと商が変わらないこととの関係についての理解が十分でないと考えられる。

授業改善のポイント

【適用する数の範囲を広げながら発展的に考え、除法に関して成り立つ性質を見いだす活動の充実を図る】

除法に関して成り立つ性質については、右のようにいくつかの除法の式を基に考察し、見いだした性質を基に「わられる数とわる数に同じ数をかけても、同じ数でわっても、商は変わらない」と一般化する。

その際、被除数や除数、商について、適用する数の範囲を広げながら、見いだした性質が他の数値の場合でも成り立つかどうかを確認することが大切である。例えば、「わられる数とわる数に4をかけても商は同じですか」「 $120 \div 15$ など、わられる数とわる数がどんな数でも成り立ちますか」などと問いかけ、いくつかの場合について性質が成り立つことを確かめた後、自由に数値を変えて結果を交流するといった活動が考えられる。

また、小数や分数の場合でも成り立つことを確かめたり、「比例」の学習と関連付けたりするなどの活動を充実させることにより、除法に関して成り立つ性質についての理解を深めていくことが大切である。

【説明する活動の充実を図る】

新学習指導要領では、資質・能力の三つの柱の一つとして「生きて働く知識・技能の習得」が示された。習得した知識・技能を自在に活用することができるようにするためには、具体的な事柄を一般化して表現したり、抽象的な事柄を具体的に表現したりするなど、目的に応じて柔軟に表現する機会を増やし、その充実を図ることが大切である。学級の児童全員が柔軟に表現する機会を保障するためには、ペアやグループでの活動が有効である。図・式・表・グラフ・言葉などを使い、必要に応じて操作しながら思いや考えを互いに伝え合うことで、考えを整理したり、他者の考えを聞いて考えを広げたり深めたりしながら、より深く理解できるようにすることが大切である。

$$\begin{array}{rcl} 20 \div 5 & = & 4 \\ \uparrow & & \uparrow \\ 200 \div 50 & = & 4 \\ \uparrow & & \uparrow \\ 2000 \div 500 & = & 4 \end{array}$$

10倍
10分の1
10倍
10分の1

商は変わらない

小学校算数

調査結果から授業改善へ

除法の式の意味を理解できるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

小学校 算数 3(4)

3

ともやさんは、 $421 - 298$ や $600 - 201$ のようなくずがりのあるひき算について、次のように計算しやすい式にしてみました。

【ともやさんの計算の仕方】

$$\begin{array}{r} 421 - 298 = \square \\ \downarrow +2 \quad \downarrow +2 \\ 423 - 300 = 123 \end{array}$$

だから、 $421 - 298$ の答の $\square$ は、123です。

$$\begin{array}{r} 600 - 201 = \square \\ \downarrow -1 \quad \downarrow -1 \\ 599 - 200 = 399 \end{array}$$

だから、 $600 - 201$ の答の $\square$ は、399です。

【ともやさんの計算の仕方】を見ると、ひき算では、ひかれる数とひく数に同じ数をたしても、ひかれる数とひく数から同じ数をひいても、差は変わらないですね。

(4) ゆいさんは、下の問題について考えています。

問題

リボンを0.6m買ったときの代金が180円でした。
このリボン1m分の代金は、いくらかですか。

180円
0.6m

1m分の代金は $180 \div 0.6$ の式で求めることができます。
ゆいさんは、次のように、小数のわり算を整数のわり算にして答えを求めました。

$$\begin{array}{r} 180 \div 0.6 = \square \\ \times 10 \quad \times 10 \\ 1800 \div 6 = 300 \end{array}$$

だから、 $180 \div 0.6$ の答の $\square$ は、300です。

1800÷6は、何m分の代金を求めている式といえますか。
下のあ から え までの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。

あ 0.6 m 分の代金

い 1 m 分の代金

う 6 m 分の代金

え 10 m 分の代金

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
3 (4)	1 あ と解答している	13.0	12.9	
	2 い と解答している	48.9	47.0	◎
	3 う と解答している	21.5	22.2	
	4 え と解答している	14.2	15.2	
	99 上記以外の解答	0.8	0.6	
	0 無解答	1.5	2.2	
正答率		48.9	47.0	

分析・考察

- 本問題の本県の正答率は、48.9%であり、全国の前答率を1.9ポイント上回っているが、正答率が低いことから、除法の意味の理解に課題がある。
- 解答類型3の反応率は、21.5%である。被除数と除数を10倍した $1800 \div 6$ の式の除数の6に着目して、6m分の代金を求めていると誤って捉えていると考えられる。
- 解答類型4の反応率は、14.2%である。 $180 \div 0.6$ の式で1m分の代金を求めることができることから、被除数と除数を10倍した $1800 \div 6$ の式では、10m分の代金を求めていると誤って捉えていると考えられる。

授業改善のポイント

【図と関係付けて除法の式の意味を理解できるようにする】

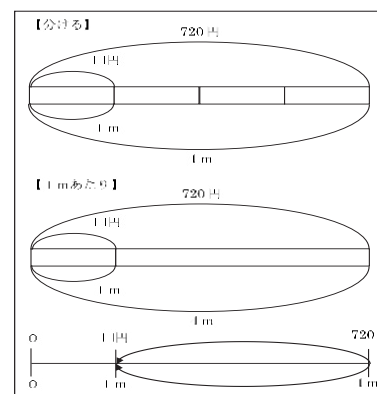
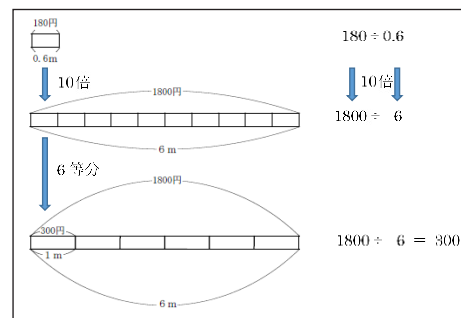
必要に応じて、それぞれの式が何を表しているのかを振り返ることとて、式の意味についての理解を深めることが大切である。

例えば、除数を小数から整数に直すときには、除法に関して成り立つ性質が用いられていることを確認した後、 $180 \div 0.6$ と $1800 \div 6$ の式がそれぞれ何を求めている式といえるのかを、具体物や図、数直線などを用いて考察する活動が考えられる。まず、 $180 \div 0.6$ が1m分の代金を求める式であることを確認した後、 $180 \div 0.6$ の被除数と除数をそれぞれ10倍した $1800 \div 6$ について、右のように0.6mで180円のリボンの長さと代金をそれぞれ10倍した6mで1800円のリボンと考へ、 $1800 \div 6$ が6mで1800円のリボンの1m分の代金を求める式であることを捉えることができるようにすることが大切である。その上で、 $180 \div 0.6$ 、 $1800 \div 6$ のどちらもリボンの1m分の代金を求める式であることを振り返ることが大切である。

【除法の意味を統一的・発展的に考え、理解できるようにする】

$720 \div 4$ であれば「720円を4等分する」という具体的なイメージをもちやすい。しかし、 $720 \div 3.6$ だと、「720円を3.6等分する」というイメージはもちにくい。そこで、右のように整数の除法で学習した「分ける」という意味を、「1に当たる大きさを求める」という意味に発展させることが大切である。そうすることで、全体を均等に分ける必要がなくなり、除数が小数の場合であっても比例関係で捉えることができるようになる。

このような見方は、「単位量当たりの大きさ」、「割合」等の学習と関連があり、除法の意味を理解する際にこのような見方を身に付けさせることで、数量の関係をより深く理解できるようにすることが大切である。



3 中学校国語 <調査の分析・検証>

概 要

- 国語について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均と同等である。

■令和元年度調査結果の集計値

中学校国語	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	7,999	68	7.3 / 10	73
全国(公立)	938,797	9,511	7.3 / 10	73 (72.8)

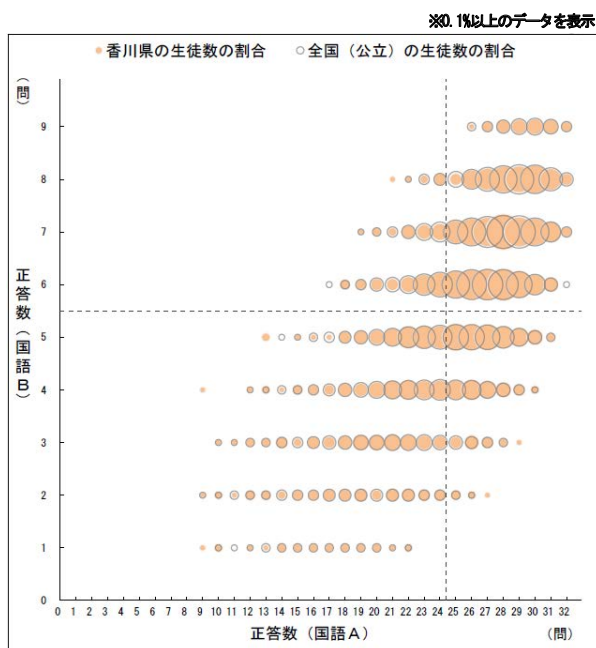
■平成 26 年度～平成 30 年度の県と全国の調査結果

中学校国語 A	H26	H27	H28	H29	H30
県(公立) 平均正答率 (%)	79.3	76.0	77.2	78	76
全国(公立) 平均正答率 (%)	79.4	75.8	75.6	77 (77.4)	76 (76.1)
県と全国の差 (pt)	▲0.1	0.2	1.6	1	0

中学校国語 B	H26	H27	H28	H29	H30
県(公立) 平均正答率 (%)	51.4	64.9	67.5	71	60
全国(公立) 平均正答率 (%)	51.0	65.8	66.5	72 (72.2)	61 (61.2)
県と全国の差 (pt)	0.4	▲0.9	1.0	▲1	▲1

■平成 30 年度 中学校 国語 A－国語 B の相関

県(公立) 生徒数	7,849		
全国 (公立) 国語 A 平均正答数	24.4		
全国 (公立) 国語 B 平均正答数	5.5		
生徒の正答数分布状況 (左: 生徒数 右: 生徒数の割合 (%))	国語 A・国語 B ともに 平均以上	3,415	43.5
	国語 A は平均以上 国語 B は平均未満	1,282	16.3
	国語 A は平均未満 国語 B は平均以上	693	8.8
	国語 A・国語 B ともに 平均未満	2,459	31.3
相関係数	0.663		



■令和元年度領域等別調査結果

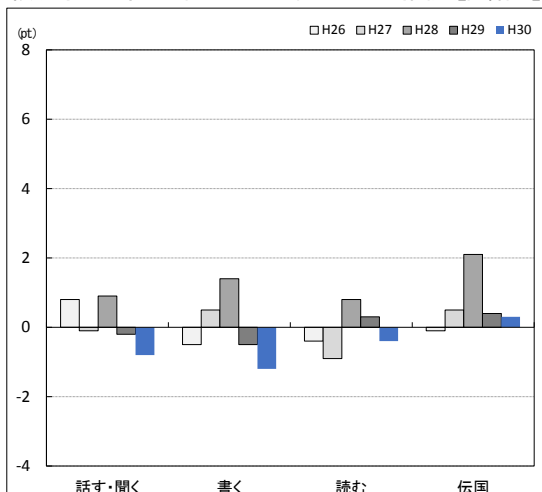
学習指導要領の領域等	国語			
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
県（公立）平均正答率（％）	69.1	83.9	72.1	67.5
全国（公立）平均正答率（％）	70.2	82.6	72.2	67.7
県と全国との差（pt）	▲1.1	1.3	▲0.1	▲0.2

■平成 26 年度～平成 30 年度の領域等別調査結果

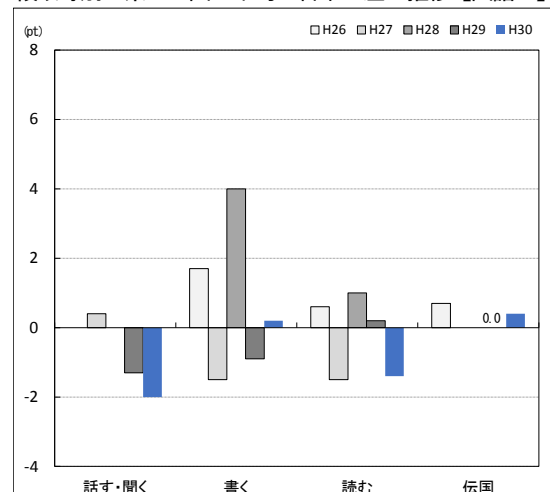
国語 A	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県（公立）（％）	73.1	79.6	79.8	75.2	74.4
		全国（公立）（％）	72.3	79.7	78.9	75.4	75.2
		差（pt）	0.8	▲0.1	0.9	▲0.2	▲0.8
	書くこと	県（公立）（％）	82.9	74.1	75.1	85.2	72.7
		全国（公立）（％）	83.4	73.6	73.7	85.7	73.9
		差（pt）	▲0.5	0.5	1.4	▲0.5	▲1.2
	読むこと	県（公立）（％）	82.5	85.2	79.4	74.1	76.3
		全国（公立）（％）	82.9	86.1	78.6	73.8	76.7
		差（pt）	▲0.4	▲0.9	0.8	0.3	▲0.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）	78.6	73.4	76.0	77.6	76.8
		全国（公立）（％）	78.7	72.9	73.9	77.2	76.5
		差（pt）	▲0.1	0.5	2.1	0.4	0.3

国語 B	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	話すこと・聞くこと	県（公立）（％）		72.6		71.1	74.6
		全国（公立）（％）		72.2		72.4	76.6
		差（pt）		0.4		▲1.3	▲2.0
	書くこと	県（公立）（％）	42.7	35.2	62.3	59.9	31.5
		全国（公立）（％）	41.0	36.7	58.3	60.8	31.3
		差（pt）	1.7	▲1.5	4.0	▲0.9	0.2
	読むこと	県（公立）（％）	49.8	61.1	67.5	72.3	52.1
		全国（公立）（％）	49.2	62.6	66.5	72.1	53.5
		差（pt）	0.6	▲1.5	1.0	0.2	▲1.4
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	県（公立）（％）	57.5			41.4	49.6
		全国（公立）（％）	56.8			41.4	49.2
		差（pt）	0.7			0.0	0.4

領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 A】



領域等別の県と全国の平均正答率の差の推移【国語 B】



問題別調査結果【国語】

平成31年度全国学力・学習状況調査

問題別調査結果【国語】

香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	68	9,511		7,999	938,797
分類	区分		対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
	全体			香川県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと		3	69.1	70.2
	書くこと		2	83.9	82.6
	読むこと		3	72.1	72.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項		2	67.5	67.7
	国語への関心・意欲・態度		3	77.0	76.5
評価の観点	話す・聞く能力		3	69.1	70.2
	書く能力		2	83.9	82.6
	読む能力		3	72.1	72.2
	言語についての知識・理解・技能		2	67.5	67.7
問題形式	選択式		6	73.2	73.6
	短答式		1	56.1	56.8
	記述式		3	77.0	76.5

問題別集計結果

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題番号		問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			評価の観点			(参考※) 従来の区分	問題形式		正答率(%)		無解答率(%)		香川県一全国(※)					
				話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)	全国(公立)	香川県(公立)	全国(公立)	正答率	無解答率	
1一		「日本の文化の中には、海外でも広く知られているものがあります。……第一回は、弁当です。」について説明したものとして適切なものを選択する	文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ		2ウ					○		○	○	○			64.0	63.9	0.1	0.1	0.1	0.0
1二		「海外に広がる弁当の魅力」で述べられている、弁当の魅力として適切なものを選択する	文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える		1イ					○		○	○	○			61.6	61.5	0.2	0.1	0.1	0.1
1三		「みんなの短歌」に掲載されている短歌の中から一首を選び、感じたことや考えたことを書く	文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考えをもつ		1オ		○			○			○		○		90.7	91.2	2.0	1.7	-0.5	0.3
1四		「声の広場」への投稿を封筒で郵送するために、投稿先の名前と住所を書く	封筒の書き方を理解して書く			1(2)ア					○	○	○		○		56.1	56.8	6.0	5.6	-0.7	0.4
2一		話合いでの発言の役割について説明したものとして適切なものを選択する	話合いの話題や方向を捉える	1オ					○			○	○	○			79.3	80.4	0.4	0.2	-1.1	0.2
2二		話合いでの発言について説明したものとして適切なものを選択する	相手に分かりやすく伝わる表現について理解する	1ウ					○				○	○	○		68.3	69.7	0.4	0.3	-1.4	0.1
2三		話合いの流れを踏まえ、「どうするか決まっていなかったこと」について自分の考えを書く	話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ	1オ				○	○				○		○		59.6	60.4	8.8	8.9	-0.8	-0.1
3一		意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する	書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する		2エ					○			○	○	○		87.3	87.4	0.6	0.4	-0.1	0.2
3二		広報誌の一部にある情報を用いて、意見文の下書きに「魅力」の具体例を書き加える	伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く	1ウ				○		○			○		○		80.5	77.8	7.7	7.9	2.7	-0.2
4		話の一部を省いた表現についての説明として適切なものを選択する	話の一部を省いた表現について、話や文章の中での適切な活用の仕方を理解する			1(1)イ(9)						○	○	○	○		78.8	78.7	1.8	1.2	0.1	0.6

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として設けた。

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校国語】（全10問中） 無し

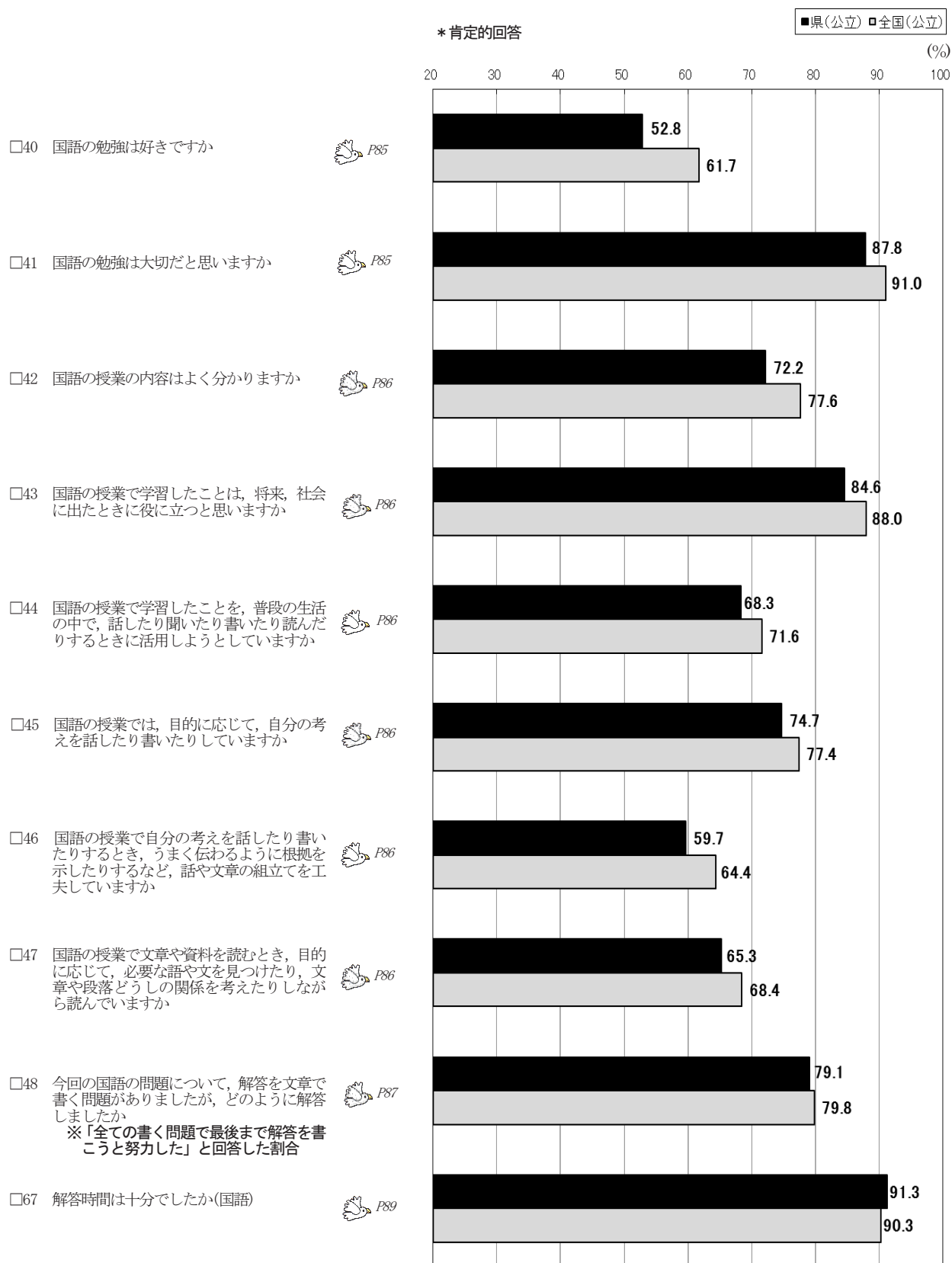
■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校国語】（全10問中） 無し

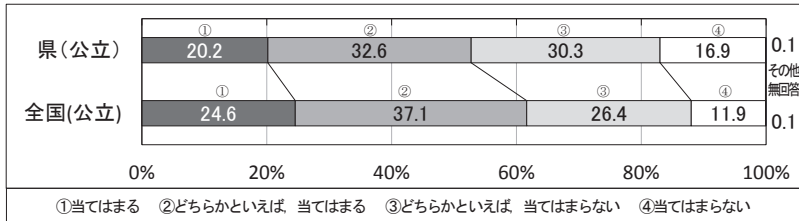
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校国語】（全10問中） 無し

■中学校国語に関わる質問の全国との比較



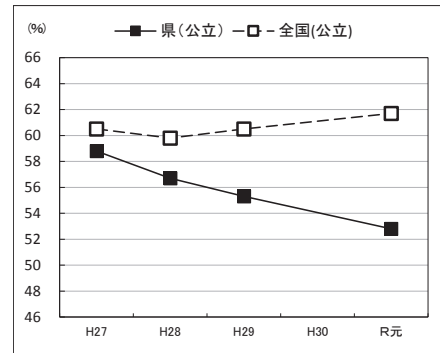
□40 国語の勉強は好きですか



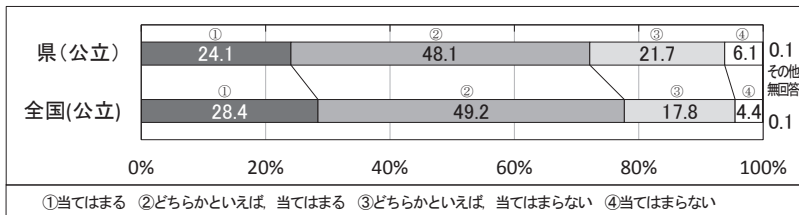
肯定的に回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立) (%)	58.8	56.7	55.3		52.8
全国(公立) (%)	60.5	59.8	60.5		61.7
県と全国の差 (pt)	▲1.7	▲3.1	▲5.2		▲8.9

質問 40 に肯定的に回答した生徒の割合の推移



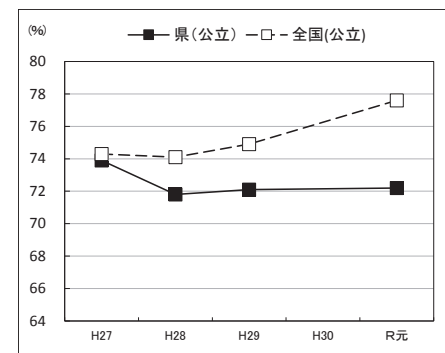
□42 国語の授業の内容はよく分かりますか



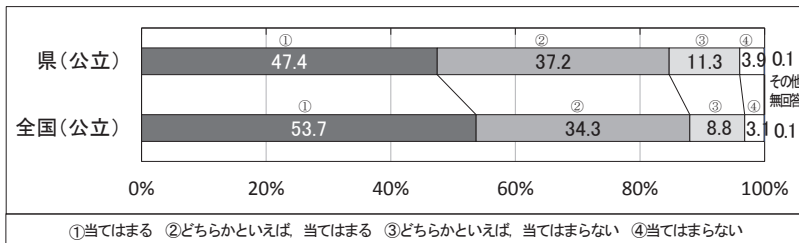
肯定的に回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立) (%)	73.9	71.8	72.1		72.2
全国(公立) (%)	74.3	74.1	74.9		77.6
県と全国の差 (pt)	▲0.4	▲2.3	▲2.8		▲5.4

質問 42 に肯定的に回答した生徒の割合の推移



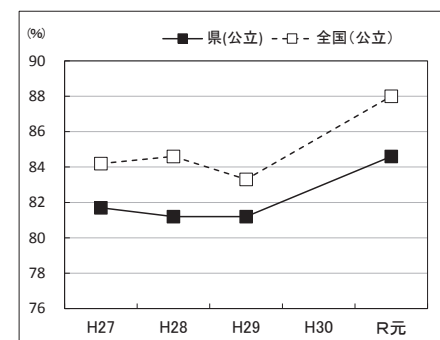
□43 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



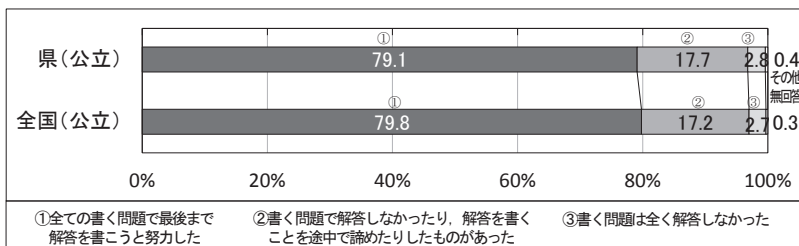
肯定的に回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立) (%)	81.7	81.2	81.2		84.6
全国(公立) (%)	84.2	84.6	83.3		88.0
県と全国の差 (pt)	▲2.5	▲3.4	▲2.1		▲3.4

質問 43 に肯定的に回答した生徒の割合の推移



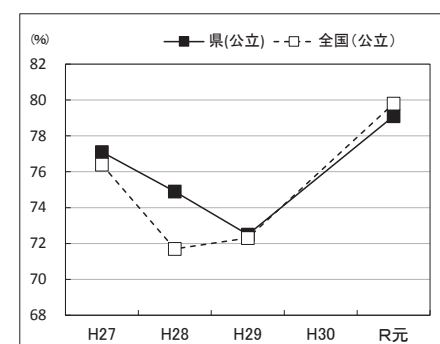
□48 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか



①と回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立) (%)	77.1	74.9	72.5		79.1
全国(公立) (%)	76.4	71.7	72.3		79.8
県と全国の差 (pt)	0.7	3.2	0.2		▲0.7

質問 48 に対して①と回答した生徒の割合の推移



話し合いの話題や方向を捉えたり、相手に分かりやすく伝わる表現を用いたりして話し合うことができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 国語 2 - 2

場面②

この前、インターネットのニュースを見て、高齢者の中には少しの段差でも歩きづらいと感じたり、段差に気付かず驚いたりしている方がいることを知りました。文化祭には、毎年、高齢者がたくさんいらっしゃいます。ですから、体育館へ向かう通路などに、「段差に気を付けてください。」と書いた紙を掲示してはどうでしょうか。

倉田さん 西野さん 山下さん

ネットにそのようなニュースが出ていますね。掲示物で注意を促すのはよいアイデアだと思います。そういえば、校内に「土足禁止」という掲示物がありますが、展示や発表を見に来てくださる方に対する言葉の使い方は、ふさわしくないと思います。別の表現にしてはどうでしょうか。

そうですね。段差への注意を促す掲示物を作ることにしましょう。「土足禁止」をどのような表現に直すのかについては、話し合わないといけませんね。以前から、私も気になっていました。

場面③

山下さんも気になっていたんですね。それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。

倉田さん 西野さん 山下さん

賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。具体的な経路の例は、展示や発表の場所が決まってから検討しましょう。それでは、今日の話し合いはここまでですね。

ちょっと待ってください。具体的な経路のことについては倉田さんの言うとおりでいいのですが、今回出されたことの中で、まだ、どうするか決まっていないことがあります。

A

場面①

話し合いの第一部

議題
地域とのつながりを大切にした文化祭にするために

生徒会が地域で行っていることについての展示
・高齢者向けの施設での交流会の様子
・地域の清掃活動の様子
二 展示や発表を見に来てくださる方への配慮

倉田さん 西野さん 山下さん

「生徒会が地域で行っていることについての展示」は、この二つにします。次は、「展示や発表を見に来てくださる方への配慮」について考えましょう。

② 第一中学校の生徒会委員の山下さんたちは、「地域とのつながりを大切にした文化祭にするために」という課題で話し合っています。次は、「話し合いの第一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。(場面①から場面③は、連続した場面です。)

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
2 - 2	1 1と解答しているもの	68.3	69.7	◎
	2 2と解答しているもの	9.6	8.9	
	3 3と解答しているもの	18.1	18.0	
	4 4と解答しているもの	3.4	3.1	
	99 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	0.4	0.3	
	正答率	68.3	69.7	

1 場面②における西野さんの発言の一部を具体的に言い換えて確認しながら、自分の考えを示している。
2 場面③における西野さんの発言の一部を取り上げ、様々な考えを出し合うように質問に促している。
3 場面③における西野さんの発言の要旨をまとめながら、話し合いを通して導かれた結論を述べている。
4 場面③における西野さんの発言と他の人の発言との相違点を示し、議論の要点を確認している。

二 場面③の「第一部」賛成です。展示や発表の場所は美術室や体育館など校内のあちこちにあるので、長い距離を移動することに負担を感じる方がいると思います。」という倉田さんの発言について説明したものとして最も適切なものを、次の1から4までの中から一つ選びなさい。

問題番号	解答類型	県 反応率 (%)	全国 反応率 (%)	正答
2 - 2	1 1と解答しているもの	5.7	5.6	
	2 2と解答しているもの	6.9	6.2	
	3 3と解答しているもの	7.7	7.5	
	4 4と解答しているもの	79.3	80.4	◎
	99 上記以外の解答	0.0	0.0	
	0 無解答	0.4	0.2	
	正答率	79.3	80.4	

1 これまでの話し合いで出されていない考えを補足するともに、これからの話し合いの意義を確かめる役割。
2 これまでの話し合いの改善点を指摘するともに、話し合ったことに基づいた疑問を確かめる役割。
3 これまでの話し合いの仕方を取り返るとともに、これからの話し合いの仕方の留意点を明らかにする役割。
4 これまでの話し合いの結論をすすもに、これから話し合う内容を明らかにする役割。

- 本問題では、地域とのつながりを大切に文化祭にするために、生徒が取り組むことについて話し合っている場面が設定されており、話合いの話題や方向を捉えたり(一)、話合いの参加者に分かりやすく伝わる表現について考えたりする(二)ことができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は、一については79.3%、二については68.3%で、それぞれ、全国の正答率を1.1、1.4ポイント下回っている。
- 一の解答類型1～3の反応率は、20.3%である。このように解答した生徒は、山下さんの「『生徒会が～』～二つにします。」という発言が、これまでの話合いの結論を示し、「次は、『展示や～』～考えましょう。」という発言が、これから話し合う内容を明らかにする役割を果たしていることが理解できていないものと考えられる。
- 二の解答類型3の反応率は、18.1%である。これは、倉田さんの発言が、「それに、例年、展示や発表の場所が校内に点在しているので、見て回る経路の例を示した紙を配るとよいと思います。」という西野さんの発言の要旨をまとめたものであると捉えたと考えられる。
- 一、二どちらの問題の選択肢も、話合いを効果的に進めるために有効なものであるが、具体的にどのような場面においてどのような効果があるのかが理解できていないものとも考えられる。

授業改善のポイント

本問題は、具体的にどのような場面で、何のために、どのような発言をしているのかを捉える問題であった。これができるようになるためには、生徒が実際に様々な目的や場面での話合いを経験し、話合いにおけるそれぞれの発言を振り返る活動を繰り返すことが必要である。さらに、具体的にどのような発言が効果的であるかを意識して用いることができるようになれば、話合いをより活性化させ、他教科においても話合いを意味のあるものにしていくことができる。このことから、国語科では、話合いを行った後の振り返りを単元計画の中に組み込み、自分自身の「話し方・聞き方」の特徴を理解し、どのような「話し方・聞き方」が要求されているのか把握できる場を設けたい。

【話合い活動を振り返る】

話合いの様子を動画で記録し、以下のような観点を基に振り返るのも有効である。

〈話の話題や方向を捉えることができるようにするために〉

- 話合いの目的を確認する。
たくさんのアイデアを出すためなのか、まとめるためなのか、理解を深めるためなのか。
- どのような場面で、どのような発言をすることが効果的なのかを振り返る。

【例】話合いが停滞している場面

- これまでの話合いで出されていない考えを補足するとともに、これからの話合いの意義を確かめる発言
- 発言の一部を取り上げ、それに対して様々な考えを出し合うよう周囲に促す発言
- ・様々な意見や疑問が整理されずに話合いが進められている場面
- 複数の人の発言を整理し、類似点や相違点を示し、議論の要点を確認する発言
- これまでの話合いの改善点を指摘するとともに、生じた疑問を確かめる発言

〈相手に分かりやすく伝わる表現を用いて話すことができるようにするために〉

- 相手の状況に合わせた発言ができていたかを振り返る。
相手に分かりやすく伝えるためには、話題に対する自分の立場や考えを明確にするとともに、その理由について話すよう指導することが大切である。さらに、その発言が一時的なものにならないよう、参加者の興味・関心、情報量などを考慮するなど、相手の状況に合わせて発言を工夫することが求められる。

【例】相手があまり理解できていないように感じた場面

- 発言の一部を具体的に言い換える。
- これまでに出てきた話をまとめ、相違点を確認しながら発言する。

以上のような話合いの振り返りだけでなく、インタビューなど様々な話す場面を活用し、振り返りを通して効果的な発言の仕方について気づき、価値付け、実践していく学習が必要である。その際、実際の活動における、具体的な場面や言葉を基に振り返ることが大切である。

4 中学校数学 <調査の分析・検証>

概 要

- 数学について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均と同等である。

■令和元年度調査結果の集計値

中学校数学	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	8,003	68	9.7 / 16	60
全国 (公立)	938,887	9,505	9.6 / 16	60 (59.8)

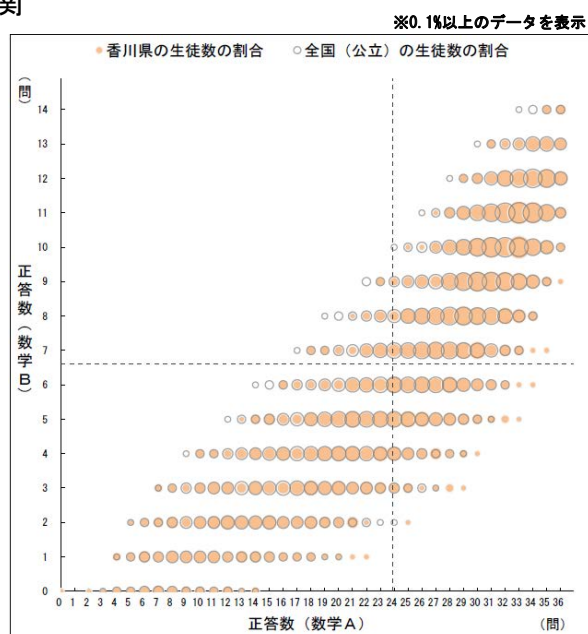
■平成 26 年度～平成 30 年度の県と全国の調査結果

中学校数学 A	H26	H27	H28	H29	H30
県 (公立) 平均正答率 (%)	67.8	64.4	63.8	66	67
全国 (公立) 平均正答率 (%)	67.4	64.4	62.2	65 (64.6)	66 (66.1)
県と全国との差 (pt)	0.4	0.0	1.6	1	1

中学校数学 B	H26	H27	H28	H29	H30
県 (公立) 平均正答率 (%)	60.0	41.3	44.6	49	46
全国 (公立) 平均正答率 (%)	59.8	41.6	44.1	48 (48.1)	47 (46.9)
県と全国との差 (pt)	0.2	▲0.3	0.5	1	▲1

■平成 30 年度 中学校 数学 A－数学 B の相関

県(公立)生徒数		7,898	
全国(公立)数学A平均正答数		23.9	
全国(公立)数学B平均正答数		6.6	
生徒の正答数分布状況 (左:生徒数 右:生徒数の割合(%))	数学A・数学Bともに 平均以上	3,576	45.3
	数学Aは平均以上 数学Bは平均未満	1,104	14.0
	数学Aは平均未満 数学Bは平均以上	265	3.4
	数学A・数学Bともに 平均未満	2,953	37.4
相関係数		0.829	



※グラフの点線は、全国 (公立) の平均正答数を表す

■令和元年度領域別調査結果

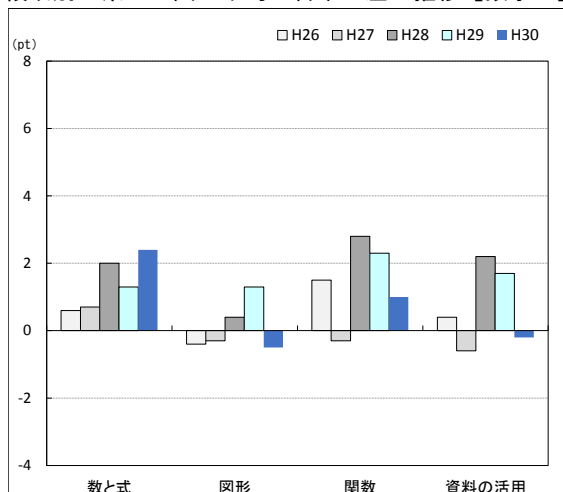
	数学			
学習指導要領の領域	数と式	図形	関数	資料の活用
県（公立）平均正答率（％）	65.8	71.7	41.9	55.9
全国（公立）平均正答率（％）	63.8	72.4	40.8	56.3
県と全国との差（pt）	2.0	▲0.7	1.1	▲0.4

■平成 26 年度～平成 30 年度の領域別調査結果

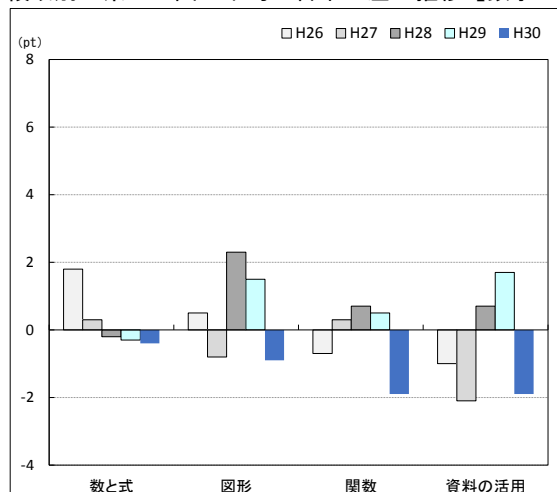
数学 A	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	数と式	県（公立）（％）	78.0	68.4	67.9	71.7	73.5
		全国（公立）（％）	77.4	67.7	65.9	70.4	71.1
		差（pt）	0.6	0.7	2.0	1.3	2.4
	図 形	県（公立）（％）	66.0	63.1	67.5	67.3	68.6
		全国（公立）（％）	66.4	63.4	67.1	66.0	69.1
		差（pt）	▲0.4	▲0.3	0.4	1.3	▲0.5
	関 数	県（公立）（％）	59.5	61.4	54.8	59.7	56.5
		全国（公立）（％）	58.0	61.7	52.0	57.4	55.5
		差（pt）	1.5	▲0.3	2.8	2.3	1.0
	資料の活用	県（公立）（％）	59.5	62.4	58.7	59.3	63.3
		全国（公立）（％）	59.1	63.0	56.5	57.6	63.5
		差（pt）	0.4	▲0.6	2.2	1.7	▲0.2

数学 B	年度		H26	H27	H28	H29	H30
	数と式	県（公立）（％）	58.7	63.5	51.3	46.0	51.0
		全国（公立）（％）	56.9	63.2	51.5	46.3	51.4
		差（pt）	1.8	0.3	▲0.2	▲0.3	▲0.4
	図 形	県（公立）（％）	59.1	38.2	35.6	48.6	45.8
		全国（公立）（％）	58.6	39.0	33.3	47.1	46.7
		差（pt）	0.5	▲0.8	2.3	1.5	▲0.9
	関 数	県（公立）（％）	63.7	31.0	42.1	51.3	50.9
		全国（公立）（％）	64.4	30.7	41.4	50.8	52.8
		差（pt）	▲0.7	0.3	0.7	0.5	▲1.9
	資料の活用	県（公立）（％）	54.9	29.1	40.0	50.8	36.1
		全国（公立）（％）	55.9	31.2	39.3	49.1	38.0
		差（pt）	▲1.0	▲2.1	0.7	1.7	▲1.9

領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【数学 A】



領域別の県と全国の平均正答率の差の推移【数学 B】



問題別調査結果【数学】

平成31年度全国学力・学習状況調査

問題別調査結果【数学】

香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	68	9,505		8,003	938,887

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率（％）	
			香川県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	全体	16	60	59.8
	数と式	5	65.8	63.8
	図形	4	71.7	72.4
	関数	3	41.9	40.8
	資料の活用	4	55.9	56.3
評価の観点	数学への関心・意欲・態度	0		
	数学的な見方や考え方	8	50.7	51.0
	数学的な技能	3	66.3	63.9
	数量や図形などについての知識・理解	5	72.1	71.3
	選択式	5	60.8	60.3
問題形式	短答式	7	67.9	66.6
	記述式	4	46.4	47.1

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点				(参考※) 従来の区分		問題形式			正答率（％）		無解答率（％）		香川県-全国(μ)	
			数と式	図形	関数	資料の活用	数学への関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	数学的な技能	数量や図形などについての知識・理解	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	香川県（公立）	全国（公立）	香川県（公立）	全国（公立）	正答率	無解答率
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数の集合と四則計算の可能性について理解している	1(1)ア						○	○	○	○				67.4	62.2	0.3	0.2	5.2	0.1
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	簡単な連立二元一次方程式を解くことができる	2(2)ウ						○		○			○		73.4	70.1	4.6	5.1	3.3	-0.5
3	$\triangle ABC$ を、矢印の方向に $\triangle DEF$ まで平行移動したとき、移動の距離を求める	平行移動の意味を理解している	1(1)イ							○	○	○		○		83.2	83.6	1.0	0.7	-0.4	0.3
4	反比例の表から式を求める	反比例の表から、 x と y の関係を式で表すことができる			1(1)エ				○		○	○		○		51.1	48.9	9.1	10.4	2.2	-1.3
5	2枚の10円硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める	簡単な場合について、確率を求めることができる			2(1)ア				○		○	○		○		74.4	72.8	4.1	3.3	1.6	0.8
6(1)	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pの y 座標と点Qの y 座標の差が表すものを選ぶ	グラフ上の点Pの y 座標と点Qの y 座標の差を、事象に即して解釈することができる			2(1)イ、エ			○				○	○			38.7	38.8	0.6	0.3	-0.1	0.3
6(2)	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる			2(1)イ、エ			○				○		○		35.8	34.7	9.0	11.6	1.1	-2.6
7(1)	証明で用いられている三角形の合同条件を書く	証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している	2(2)ア							○	○	○		○		75.9	75.8	5.8	5.2	0.1	0.6
7(2)	ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ	反例の意味を理解している	2(2)イ							○	○	○	○			76.0	77.2	0.8	0.5	-1.2	0.3
7(3)	四角形ABCDがどのような四角形であれば、 $AF = CE$ になるかを説明する	結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる	2(2)ウ					○				○		○		51.6	53.3	17.2	17.6	-1.7	-0.4
8(1)	読んだ本の冊数と人数の関係をまとめた表から、読んだ本の冊数の最頻値を求める	資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる	1(1)ア						○	○	○	○		○		58.2	57.9	10.9	10.6	0.3	0.3
8(2)	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる	1(1)イ					○				○		○		38.9	40.8	21.0	21.3	-1.9	-0.3
8(3)	図書だよりの下書きに書かれているわかったことの根拠となる値として適切なものを選ぶ	問題解決のためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる	1(1)ア、イ					○				○	○			52.0	53.6	1.4	1.0	-1.6	0.4
9(1)	説明をよみ、 $6n + 9$ を $3(2n + 3)$ に変形する理由を完成する	与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる	2(1)イ、ウ					○				○		○		59.2	57.4	9.3	9.5	1.8	-0.2
9(2)	連続する5つの奇数の和が中央の奇数の5倍になることの説明を完成する	事柄が成り立つ理由を説明することができる	2(1)イ、ウ					○				○		○		59.2	59.7	16.9	17.8	-0.5	-0.9
9(3)	連続する4つの奇数の和が $4(2n + 4)$ で表されたとき、 $2n + 4$ はどんな数であるかを選ぶ	総合的・発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる	2(1)イ、ウ					○				○	○			70.0	69.6	2.5	1.9	0.4	0.6

※過年度からの継続的な分析に資するため、参考として設けた。

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校数学】（全16問中2問）

問題 番号	問題の概要	領域	評価 観点	問題形式	県 正答率 (%)	県 無解答率 (%)	全国の 正答率 との 差(pt)
1	a と b が正の整数のとき、四則計算の結果が正の整数になるとは限らないものを選ぶ	数式	知識	選 択	67.4	0.3	5.2
2	連立二元一次方程式 $\begin{cases} y = -2x + 1 \\ y = x - 5 \end{cases}$ を解く	数式	技能	短 答	73.4	4.6	3.3

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校数学】（全16問）無し

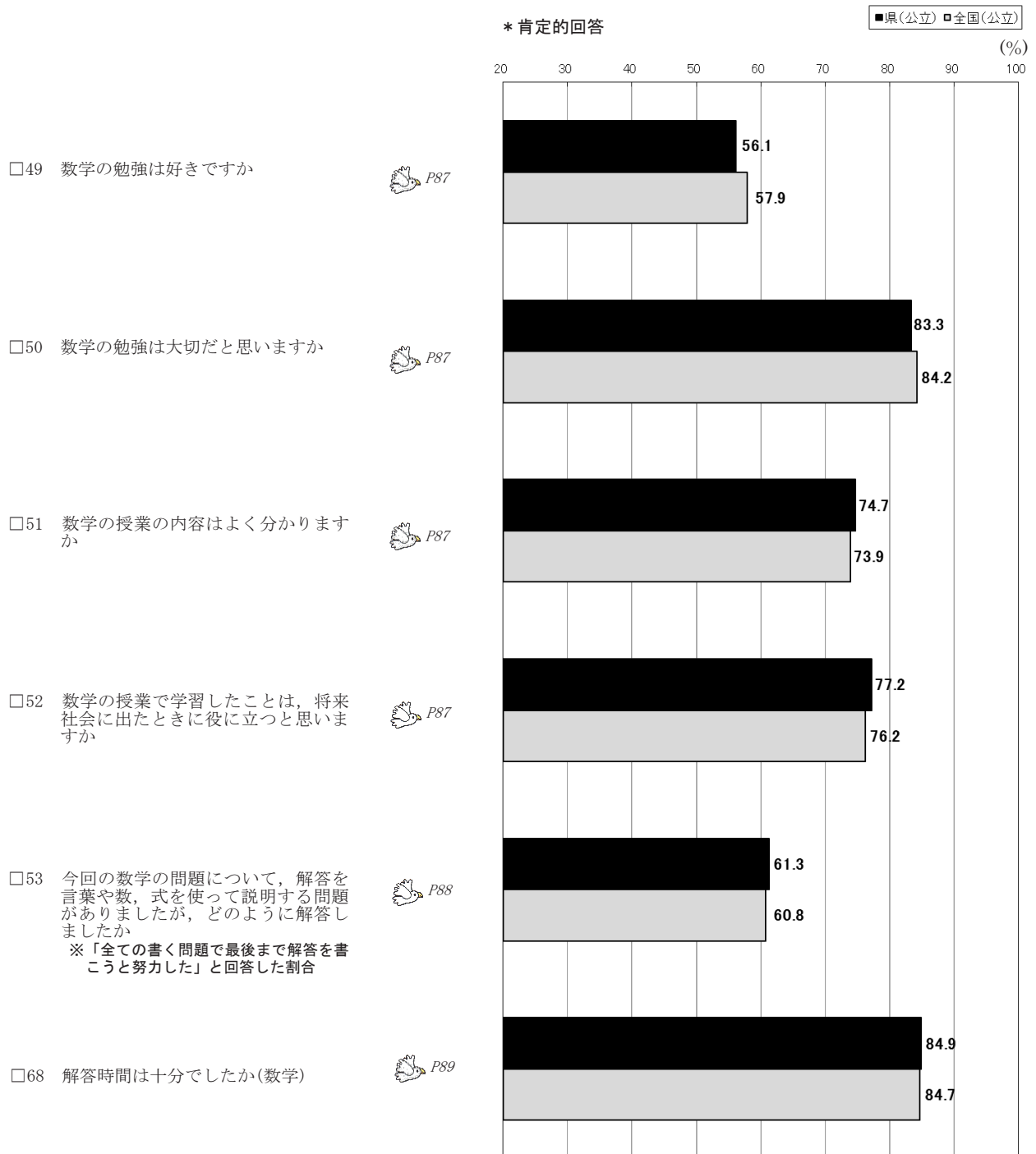
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校数学】（全16問中3問）

問題 番号	問題の概要	領域	評価 観点	問題形式	県 正答率 (%)	県 無解答率 (%)	全国の 正答率 との 差(pt)
6（1）	冷蔵庫Aの使用年数と総費用の関係を表すグラフについて、点Pのy座標と点Qのy座標の差を表すものを選ぶ	関数	考え	選 択	38.7	0.6	▲0.1
6（2）	冷蔵庫Bと冷蔵庫Cについて、式やグラフを用いて、2つの総費用が等しくなる使用年数を求める方法を説明する	関数	考え	記 述	35.8	9.0	1.1
8（2）	「1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多い」という考えが適切ではない理由を、ヒストグラムの特徴を基に説明する	資活	考え	記 述	38.9	21.0	▲1.9

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
数と式 : 数式 図形 : 図形 関数 : 関数 資料の活用 : 資活	数学への関心・意欲・態度 : 関心 数学的な見方や考え方 : 考え 数学的な技能 : 技能 数量や図形についての知識・理解 : 知識	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■ 中学校数学に関わる質問の全国との比較



□49 数学の勉強は好きですか

県(公立)	① 28.9	② 27.2	③ 24.4	④ 19.5	0.1 その他 無回答
全国(公立)	① 30.7	② 27.2	③ 23.9	④ 18.1	0.1

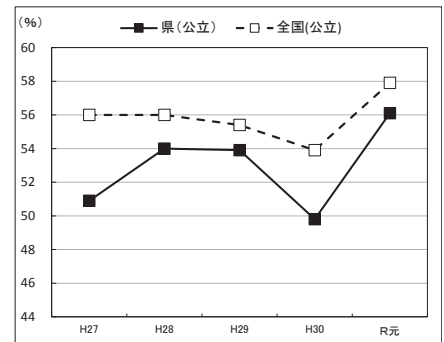
0%	20%	40%	60%	80%	100%
----	-----	-----	-----	-----	------

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	50.9	54.0	53.9	49.8	56.1
全国(公立)(%)	56.0	56.0	55.4	53.9	57.9
県と全国の差(pt)	▲5.1	▲2.0	▲1.5	▲4.1	▲1.8

質問 49 に肯定的に回答した
生徒の割合の推移



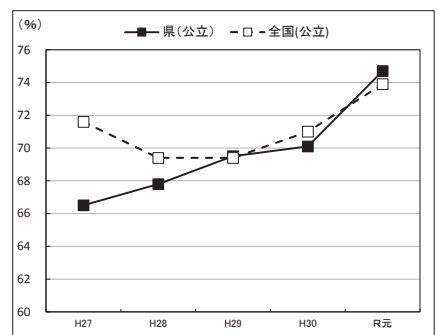
□51 数学の授業の内容はよく分かりますか

県(公立)	①	②	③	④	0.1
	35.7	39.0	17.9	7.2	
全国(公立)	①	②	③	④	0.1
	34.8	39.1	18.6	7.3	

肯定的に回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	66.5	67.8	69.5	70.1	74.7
全国(公立)(%)	71.6	69.4	69.4	71.0	73.9
県と全国の差(pt)	▲5.1	▲1.6	0.1	▲0.9	0.8

質問 51 に肯定的に回答した
生徒の割合の推移



□52 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

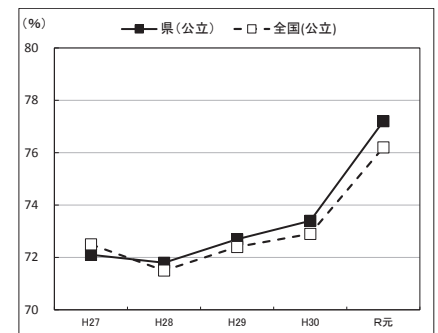
	①	②	③	④	その他 無回答	
県(公立)	41.4	35.8	15.7	7.0	0.2	
全国(公立)	40.3	35.9	16.5	7.1	0.1	
	0%	20%	40%	60%	80%	100%

①当てはまる ②どちらかといえば、当てはまる ③どちらかといえば、当てはまらない ④当てはまらない

肯定的に回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	72.1	71.8	72.7	73.4	77.2
全国(公立)(%)	72.5	71.5	72.4	72.9	76.2
県と全国の差(pt)	▲0.4	0.3	0.3	0.5	1.0

質問 52 に肯定的に回答した
生徒の割合の推移



□53 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありました、どのように解答しましたか

県(公立)	① 61.3	② 34.8	③ 3.7	0.2
全国(公立)	① 60.8	② 34.7	③ 4.2	0.3

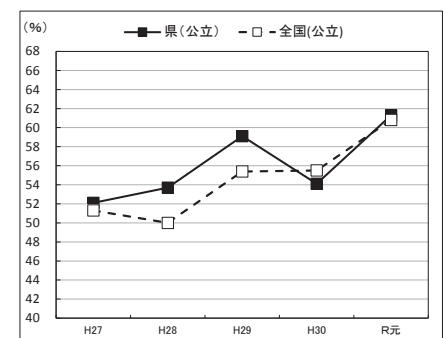
0% 20% 40% 60% 80% 100%

①全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した
②書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった
③書く問題は全く解答しなかった

①と回答した生徒の割合

	H27	H28	H29	H30	R元
県(公立)(%)	52.1	53.7	59.1	54.1	61.3
全国(公立)(%)	51.3	50.0	55.4	55.5	60.8
県と全国の差(pt)	0.8	3.7	3.7	▲1.4	0.5

質問 53 に対して①と回答した
生徒の割合の推移



中学校数学

調査結果から授業改善へ

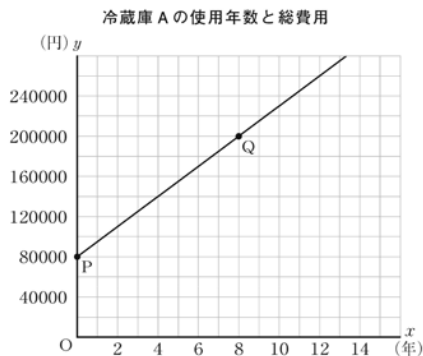
グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 6(1)

6

(1) 冷蔵庫Aを購入してx年間使用するときの総費用をy円とします。このxとyの関係を、健太さんは次のような一次関数のグラフに表しました。



このグラフにおけるx座標が0である点をP、x座標が8である点をQとします。点Pのy座標と点Qのy座標の差は、冷蔵庫Aについての何を表していますか。下のアからオまでのの中から正しいものを1つ選びなさい。

ア 本体価格

イ 使用年数

ウ 1年間あたりの電気代

エ 購入してから8年間の電気代

オ 購入して8年間使用するときの総費用

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
6(1)	1 ア と解答しているもの	4.3	3.8	
	2 イ と解答しているもの	5.2	5.3	
	3 ウ と解答しているもの	5.9	5.9	
	4 エ と解答しているもの	38.7	38.8	◎
	5 オ と解答しているもの	44.5	45.4	
	99 上記以外の解答	0.8	0.5	
	0 無解答	0.6	0.3	
正答率		38.7	38.8	

分析・考察

- 本問題は、グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は38.7%であり、全国の正答率を0.1ポイント下回っている。ほぼ同等の状況にはあるものの、解答類型5の反応率が44.5%と最も高く、正答率を5.8ポイント上回っている。この中には、y軸が冷蔵庫Aを使用するときの総費用を表すことから、点Pのy座標と点Qのy座標の差も、冷蔵庫Aを使用するときの総費用を表していると誤って捉えた生徒がいると考えられる。
- 平成28年度調査B 3(2)は、同じ趣旨の問題で正答率は28.6%、今回の解答類型5と同じ趣旨の解答類型1の反応率が57.4%で28.8ポイント正答率を上回っていた。今回の解答類型と正答率との差が5.8ポイントで、差自体は縮まり、改善の傾向がみられる。しかし、正答率が40%未満であるため、引き続き、事象に即して解釈することについての指導の充実を図る必要があると考えられる。

授業改善のポイント

【グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差を、事象に即して解釈することができるようにする】

問題解決において用いたグラフ上の2点のy座標の差を事象に即して解釈する活動を取り入れることで、グラフを事象に即して解釈できるように指導することが大切である。

本問題を使った指導にあたっては、「グラフ上の点Pのy座標と点Qのy座標の差」を事象に即して解釈する場面を設定する。その際、表で与えられた情報を基に、使用年数と総費用の関係をグラフに表し、グラフの横軸は使用年数、縦軸は総費用を表すことを確認して、グラフ事象と即して解釈する活動を取り入れる。例えば、「(総費用) = (本体価格) + (1年間あたりの電気代) × (使用年数)」の関係式から、使用年数0年のときの総費用と使用年数8年のときの総費用が、それぞれ「使用年数0年のとき総費用 80,000 円」と「使用年数8年のとき総費用 200,000 円」であることを確認する。また、グラフ上の点P、点Qのx座標の差が使用年数の差を、y座標の差が電気代の差をそれぞれ表していることを読み取り、「購入して8年間の電気代 120,000 円」を確認する活動を取り入れることが考えられる。

調査結果から授業改善へ

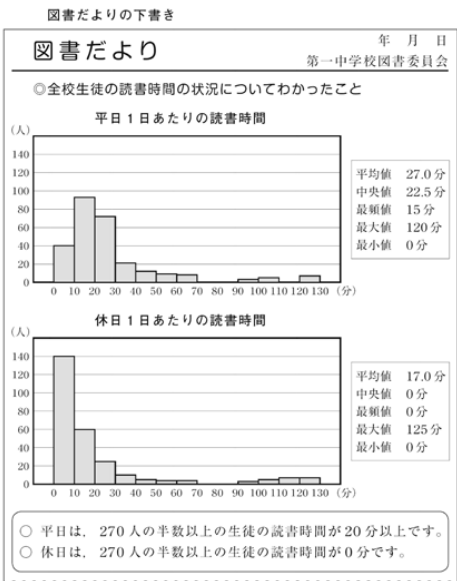
問題解決をするために、どのような代表値を用いるべきかを判断することができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 数学 8(3)

8

(3) 二人は、月曜日から金曜日までの平日と、土曜日と日曜日の休日では、1日あたりの読書時間に違いがあるのではないかと考えました。そこで、全校生徒を対象に、平日1日あたりの読書時間と休日1日あたりの読書時間を調べるアンケートを改めて実施し、270人の生徒が回答しました。そして、集計した結果をまとめ、次のような図書だよりの下書きを作成しています。



前ページの図書だよりの下書きには、わかったこととして次のことが書かれています。

- 平日は、270人の半数以上の生徒の読書時間が20分以上です。
- 休日は、270人の半数以上の生徒の読書時間が0分です。

このことは、図書だよりの下書きにある平日1日あたりの読書時間と休日1日あたりの読書時間の、ある値に着目することでわかります。その値が、下のアからオまでの中にあります。それを1つ選びなさい。

- ア 平均値
- イ 中央値
- ウ 最頻値
- エ 最大値
- オ 最小値

問題番号	解答類型	県反応率(%)	全国反応率(%)	正答
8(3)	1 ア と解答しているもの(平均値)	14.3	14.5	
	2 イ と解答しているもの(中央値)	52.0	53.6	◎
	3 ウ と解答しているもの(最頻値)	20.6	20.0	
	4 エ と解答しているもの(最大値)	7.9	7.2	
	5 オ と解答しているもの(最小値)	3.6	3.6	
	99 上記以外の解答	0.1	0.1	
	0 無解答	1.4	1.0	
正答率		52.0	53.6	

分析・考察

- 本問題は、問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができるかどうかをみる問題である。本県の正答率は52.0%であり、全国の正答率を1.6ポイント下回っている。解答類型1と解答類型3の反応率の合計は34.9%である。これらの中には、データを大きさの順に並べたときの中央の値である中央値と平均値や最頻値を混同して捉えた生徒がいると考えられる。
- 平成29年度調査B[5](2)は、同じ趣旨の問題で、正答率は47.9%であった。また、今回の解答類型2と同じ趣旨の解答類型1と3の反応率の合計が43.7%であった。改善の傾向がみられるが、正答できなかった生徒が45%以上いることから、代表値の必要性と意味を理解することや、資料の傾向を捉え、どの代表値を用いるのか判断することについて、引き続き指導の充実を図る必要があると考えられる。

授業改善のポイント

【問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができるようにする】

目的に応じて収集したデータを度数分布表やヒストグラムに表してデータの分布の様子を捉えた上で、目的に応じて資料の特徴を表す代表値を検討し、どの代表値を用いるべきかを判断できるよう問題解決の経験を積むことが大切である。

本問題を使った指導にあたっては、平日1日あたりの読書時間のデータと休日1日あたりの読書時間のデータにおいて、半数以上の生徒の読書時間の傾向に着目した検討を行うとき、データを大きさの順に並べたときの中央の値である中央値に目を向ける必要があることを指導することが大切である。具体的には、データを大きさの順に並べたときの中央値、データから求められる平均値や最頻値などをそれぞれヒストグラム上にとり、設問の内容と合致している代表値はどれかを確認させるといった活動を取り入れることが考えられる。その際、最頻値や平均値からは、データを大きさの順に並べたときの中央の位置を知ることができないことを実感させることが大切である。

5 中学校英語

<調査の分析・検証>

概 要

- 英語について、県と全国の平均正答率の比較等から、全国平均より下回っている。

■令和元年度調査結果の集計値

中学校英語	生徒数	学校数	平均正答数	平均正答率 (%)
県 (公立)	8,003	68	11.5 / 21	55
全国 (公立)	938,888	9,500	11.8 / 21	56 (56.0)

■令和元年度領域別調査結果

学習指導要領の領域	英語			
	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
県 (公立) 平均正答率 (%)	65.8		54.9	45.1
全国 (公立) 平均正答率 (%)	67.9		55.6	45.8
県と全国との差 (pt)	▲2.1		▲0.7	▲0.7

※ 「話すこと」調査についての都道府県データは、公表されていない。

■「話すこと」の調査結果

調査については、コンピュータ教室等のPC端末等を活用する音声録音方式とし、各学校のICT環境が様々であることから、令和元年度に限り、特例的な措置として、「話すこと」に関する問題を実施していない学校もある。「話すこと」に関する問題の結果については、全国の平均正答数及び平均正答率を別に集計して「参考値」として公表している。

問題の概要	出題の趣旨	参考値 全国 (国公立)	
		正答率 (%) (全体 30.8)	無解答率 (%)
画面上に表示された3つのイラストについての質問に、それぞれ英語で答える (基本的な表現を理解して正しく応答する)	月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができるかどうかをみる	27.3	8.6
	基本的な文法(現在進行形)を理解して、応答することができるかどうかをみる	44.7	6.6
	適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができるかどうかをみる	25.7	7.0
会話する2人のやり取りに加わり、2人のやり取りの内容を踏まえて、会話が続いていくように英語で応じる(即興でのやり取り)	聞いて把握した内容について、やり取りすることができるかどうかをみる	10.5	20.7
海外のあるテレビ局が「世界の子供たちの夢」をテーマに番組を収録するという場面において、テレビ局からの要望を書いたメモを基に、まとまりのある内容を話す	与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができるかどうかをみる	45.8	4.6

問題別調査結果【英語】

平成31年度全国学力・学習状況調査
問題別調査結果【英語】
香川県一生涯（公立）

中学校調査

・以下の集計値／グラフは、4月18日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象学校数	香川県（公立）	全国（公立）	対象生徒数	香川県（公立）	全国（公立）
	68	9,500		8,003	938,888

分類	区分	対象問題数 (問)	平均正答率(%)	
			香川県（公立）	全国（公立）
学習指導要領の領域	全体	21	55	56.0
	聞くこと	7	65.8	67.9
	話すこと（参考値）			
	読むこと	6	54.9	55.6
評価の観点	書くこと	8	45.1	45.8
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	0		
	外国語表現の能力	1	1.4	1.8
	外国語理解の能力	6	43.4	44.7
問題形式	言語や文化についての知識・理解	14	63.5	64.7
	選択式	13	70.0	71.4
	短答式	5	44.5	45.2
	記述式	3	6.1	6.8

※一つの問題が複数の区分に該当する場合があるため、それぞれの分類について各区分の問題数を合計した数は、実際の問題数とは一致しない場合がある。

問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域				評価の観点		(参考) 従来の区分	問題形式	正答率(%)		無解答率(%)		香川県-全国(pt)			
			聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力			外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	「知識」に関する問題	「活用」に関する問題	選択式	短答式	記述式	香川県(公立)
1 (1)	ある状況を描写する英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)						○	○		○	89.4	91.1	0.3	0.2	-1.7	0.1
1 (2)	教室英語を聞いて、その指示の内容を最も適切に表している絵を選択する	教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)						○	○		○	86.3	88.6	0.3	0.1	-2.3	0.2
1 (3)	外国人の先生と女子生徒の会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)						○	○		○	71.7	72.3	0.3	0.2	-0.6	0.1
1 (4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる	(7) (4)						○	○		○	57.2	61.8	0.3	0.2	-4.6	0.1
2	イギリスと日本の類似点や相違点についてのスピーチを聞いて、話の展開に合わせて示す絵を選び替える	まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる	(4)					○		○	○	○	69.1	71.8	0.3	0.2	-2.7	0.1
3	天気予報を聞いて、ピクニックに行くのに最も適する曜日を選択する	まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる	(4)					○		○	○	○	81.3	82.0	0.3	0.2	-0.7	0.1
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞いて把握した内容について、適切に応じることができる	(9)					○		○		○	5.4	7.6	40.8	42.3	-2.2	-1.5
5 (1)	ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する	日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	(4)					○	○		○	○	81.3	79.4	0.2	0.2	1.9	0.0
5 (2)	ある状況を描写する英文を読んで、その内容を最も適切に表している絵を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	(4)					○	○		○	○	74.7	74.4	0.3	0.2	0.3	0.1
5 (3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	日常的な話題について、簡単な文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる	(4)					○	○		○	○	68.6	73.1	0.6	0.4	-4.5	0.2
6	発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する	まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる	(9)					○		○	○	○	60.9	62.9	0.7	0.4	-2.0	0.3
7	チャンパージーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる	(9)					○		○	○	○	32.1	32.8	1.3	1.0	-0.7	0.3
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる	(4)					○		○		○	11.5	10.9	28.5	27.9	0.6	0.6
9 (1) ①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	(7) (4)						○	○		○	83.4	79.9	0.5	0.3	3.5	0.2
9 (1) ②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	文の中で適切に接続詞を用いることができる	(7) (4)						○	○		○	54.0	58.2	0.8	0.5	-4.2	0.3
9 (2) ①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる	(7) (4)						○	○		○	70.1	73.6	5.9	4.4	-3.5	1.5
9 (2) ②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる	(7) (4)						○	○		○	26.3	28.9	12.9	12.6	-2.6	0.3
9 (3) ①	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	(7) (4)						○	○		○	52.1	53.5	8.1	6.4	-1.4	1.7
9 (3) ②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる	(7) (4)						○	○		○	36.5	32.9	10.8	9.3	3.6	1.5
9 (3) ③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる	(7) (4)						○	○		○	37.2	37.4	11.8	10.5	-0.2	1.3
10	学校を表す2つのピクトグラム(案内用図記号)の案を比較して、どちらがよい理由とともに意見を書く	与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる	(4)					○		○		○	1.4	1.8	8.5	8.3	-0.4	0.2

■正答率が全国より3ポイント以上高い問題

【中学校英語】（全21問中2問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
9(1)①	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	書く	知識	選択	83.4	0.5	3.5
9(3)②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	書く	知識	短答	36.5	10.8	3.6

■正答率が全国より3ポイント以上低い問題

【中学校英語】（全21問中4問）

問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
1(4)	家での会話を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を選択する	聞く	知識	選択	57.2	0.3	▲4.6
5(3)	月ごとの平均気温を表したグラフを見て、その内容を正しく表している英文を選択する	読む	知識	選択	68.6	0.6	▲4.5
9(1)②	文中の空所に入れる接続詞として、最も適切なものを選択する	書く	知識	選択	54.0	0.8	▲4.2
9(2)①	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	書く	知識	短答	70.1	5.9	▲3.5

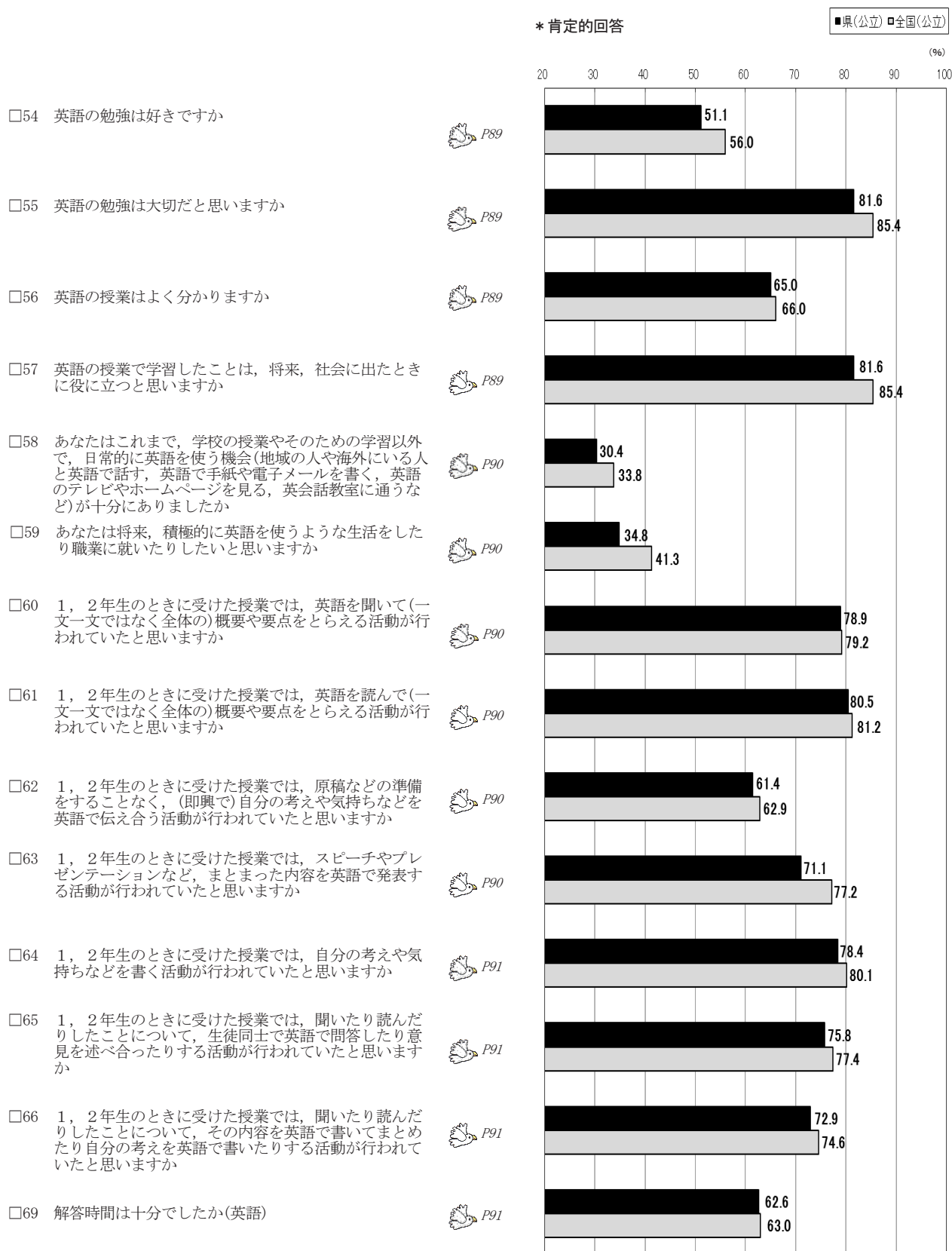
■正答率が低い問題（50%未満）

【中学校英語】（全21問中7問）

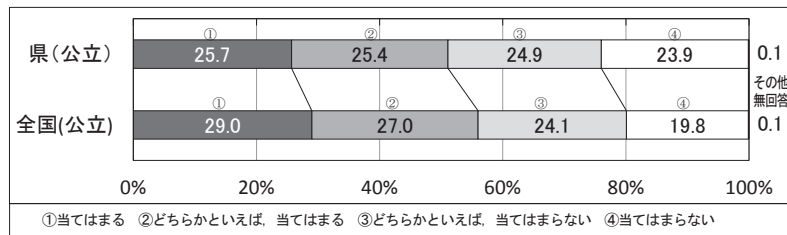
問題番号	問題の概要	領域	評価観点	問題形式	県正答率(%)	県無解答率(%)	全国の正答率との差(pt)
4	来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く	聞く	理解	記述	5.4	40.8	▲2.2
7	チンパンジーに関する説明文とその前後にある対話を読んで、書き手が最も伝えたい内容を選択する	読む	理解	選択	32.1	1.3	▲0.7
8	食糧問題について書かれた資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書く	読む	理解	記述	11.5	28.5	0.6
9(2)②	与えられた英語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりなどして、会話が成り立つように英文を書く	書く	知識	短答	26.3	12.9	▲2.6
9(3)②	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	書く	知識	短答	36.5	10.8	3.6
9(3)③	与えられた情報に基づいて、ある女性を説明する英文を書く	書く	知識	短答	37.2	11.8	▲0.2
10	学校を表す2つのピクトグラム（案内用図記号）の案を比較して、どちらがよいか理由とともに意見を書く	書く	表現	記述	1.4	8.5	▲0.4

【領域】	【評価観点】	【問題形式】
聞くこと : 聞く 話すこと : 話す 読むこと : 読む 書くこと : 書く	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 : 関心 外国語表現の能力 : 表現 外国語理解の能力 : 理解 言語や文化についての知識・理解 : 知識	選択式 : 選択 短答式 : 短答 記述式 : 記述

■中学校英語に関わる質問の全国との比較



□54 英語の勉強は好きですか

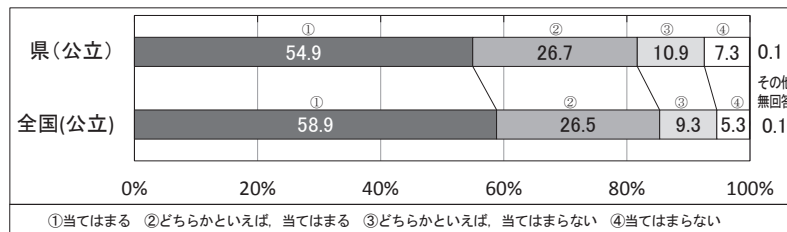


P89

肯定的に回答した生徒の割合

	R 元
県(公立)(%)	51.1
全国(公立)(%)	56.0
県と全国の差(pt)	▲4.9

□55 英語の勉強は大切だと思いますか

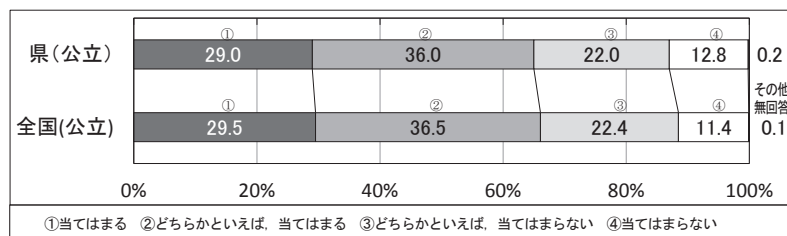


P89

肯定的に回答した生徒の割合

	R 元
県(公立)(%)	81.6
全国(公立)(%)	85.4
県と全国の差(pt)	▲3.8

□56 英語の授業はよく分かりますか

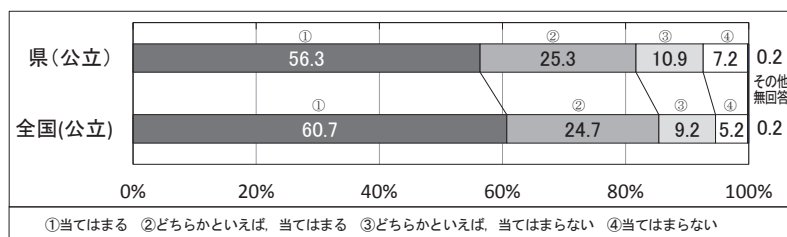


P89

肯定的に回答した生徒の割合

	R 元
県(公立)(%)	65.0
全国(公立)(%)	66.0
県と全国の差(pt)	▲1.0

□57 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか

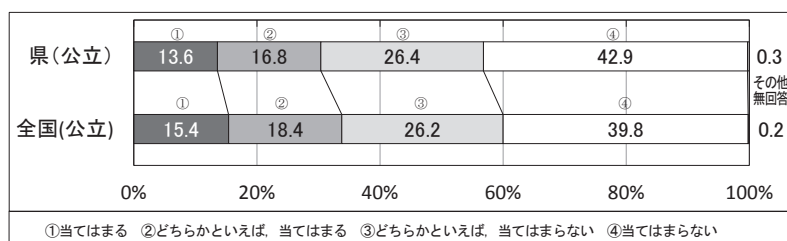


P89

肯定的に回答した生徒の割合

	R 元
県(公立)(%)	81.6
全国(公立)(%)	85.4
県と全国の差(pt)	▲3.8

□58 あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にありましたか

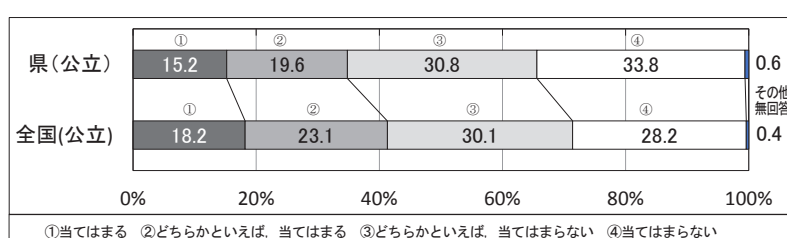


P90

肯定的に回答した生徒の割合

	R 元
県(公立)(%)	30.4
全国(公立)(%)	33.8
県と全国の差(pt)	▲3.4

□59 あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたいと思いますか



P90

肯定的に回答した生徒の割合

	R 元
県(公立)(%)	34.8
全国(公立)(%)	41.3
県と全国の差(pt)	▲6.5

事実や出来事などについての必要な情報を正しく理解できるようにする。

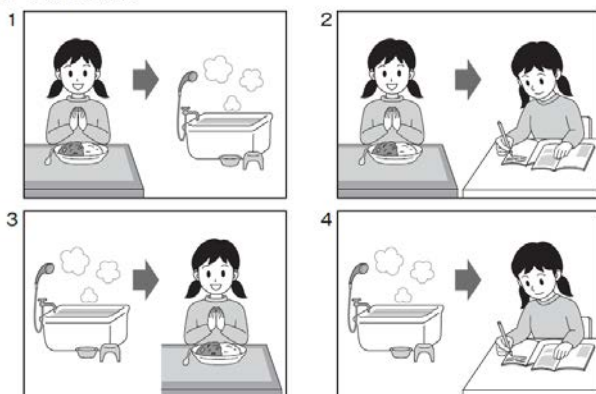
授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 英語 1(4)

1 (放送問題)

話される英語を聞いて、その内容を最も適切に表している絵を、それぞれ1から4までの中から1つ選びなさい。

(4) <家での会話>



解答類型		県応率 (%)	全国応率 (%)	正答
1	1 と解答しているもの	25.8	24.8	
2	2 と解答しているもの	14.1	11.2	
3	3 と解答しているもの	57.2	61.8	◎
4	4 と解答しているもの	2.5	2.1	
99	上記以外の解答	0.0	0.0	
0	無解答	0.3	0.2	
正答率		57.2	61.8	

(スクリプト)

A: I'm so hungry.

B: Today's dinner is curry and rice. It will take about thirty minutes to cook. Do you have any homework today?

A: No, I don't.

B: Then take a bath before dinner.

A: OK.

分析・考察

- 本問題は、日常的な話題についての英語を聞き、情報を正確に聞き取ることができるかをみる問題である。正答率は57.2%で、全国の正答率を4.6ポイント下回り、全国との差が最も大きかった。
- 解答類型1と2を合わせた県の反応率は39.9%で、全国の反応率よりも3.9ポイント高い。ここでは、上記スクリプトの下線部 □Then take a bath before dinner.□の before dinner をどのようにイメージしたかが鍵となる。最後の dinner が生徒の耳に強く残り、それが before「前」と捉え「前が夕食」と理解することや、比較的易しい dinner での会話から始まることから、聞こえたままの順番で捉えたことが誤答につながったことが予想される。また、before のような前後関係を示す語句がまとまった英文の中で用いられた場合、一回で「聞くこと」は繰り返し「読むこと」に比べて理解するのが難しいと考えられる。

授業改善のポイント

【使用場面を考えながら、意図した英語を用いて授業を進める】

上記の課題を克服するためには、教師が生徒の課題となっている表現を含んだ英語を意識して使用することが大切である。授業における教室英語は、状況説明や指示が多くを占め、上記の問題のように before や after 等を用いた時系列の説明は、授業の中で頻繁に使われる。普段から生徒が英語を耳にできるよう、積極的に英語を用い、授業を進めることが大切である。

また、正確に理解させる際には、ある程度自然な速さの英語を聞かせた後、生徒の理解の程度を見ながら必要に応じて声の大きさやスピードに変化を付けて伝えるなどの工夫が必要である。また、授業中の大切な指示や説明等をあえて英語を使って行い、その後グループで確認し合うことも、目的意識をもって聞くことにつながると考えられる。このように教師の意図的な発話によって授業を進め、生徒が英語に触れる機会を増やすことで、生徒の「聞くこと」の力を身に付けさせたい。

聞いた内容について適切に応じることができるようにする。

授業改善のヒントとなる問題の概要

中学校 英語 4

4 (放送問題)

英語の授業で、来日予定の留学生からの音声メッセージを聞くところです。
メッセージの内容を踏まえて、あなたのアドバイスを英語で簡潔に書きなさい。

(スクリプト)

Hello. I'm Nick. I'm looking forward to meeting you. I'm going to stay in your country for two weeks. I hear that there are a lot of club activities in Japanese schools. I want to try some! Which club activities can I try? Can you give me some advice? I'm waiting for your answer. Thank you.

問題番号	解答類型	県反応率 (%)	全国反応率 (%)	正答
4	1 ニックができる部活動についてのアドバイスを、十分理解できる英語（大文字・小文字のかき分け等に誤りがあるものを含む）で解答しているもの (正答例) ・ You can try the judo club. ・ why don't you join the music club?	2.9	3.6	◎
	2 ニックが出来る部活動についてのアドバイスを、おおむね理解できる英語（書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項等の誤りがないもの）で解答しているもの (正答例) ・ You can trying judo. (動詞の活用形に誤りがある) ・ Why don't join the music club? (主語が欠落している) ・ Let's play basketball. (つづりに誤りがある) ・ The art club. (語や句で解答している)	2.6	4.0	○
	3 ニックができる部活動についてのアドバイスになっていないもの	34.7	31.1	
	4 書き手の考えを伝える上で、大きな支障となる語や文法事項等の誤りがあるため、伝えたい内容が理解できないもの	15.7	15.8	
	99 上記以外の解答	3.4	3.1	
	0 無解答	40.8	42.3	
正答率		5.4	7.6	

分析・考察

- 本問題は、「聞くこと」を基にして「書くこと」を行う、技能を統合した問題である。話し手からの依頼、提案などを聞き、その内容や意図を正しく理解し、応答する力が求められる。正答率は5.4%であり、全国の前年比を2.2ポイント下回った。
- 解答類型3の県の反応率は、全国の反応率よりも3.6ポイント高い34.7%であり、この中には、メッセージの内容を正確に聞き取ることができておらず、部活動についてメッセージを求められていることを理解できないまま英作文をした生徒がいると考えられる。

授業改善のポイント

【概要を捉えるだけでなく、あとで表現することを求めるなど、正確に聞く意識を持たせる工夫をする】

生徒質問紙の中で、「英語を聞いて、概要や要点を捉える活動が行われているか」と問われ、34.8%の生徒が「当てはまる」と答えている（全国平均は33.6%で、1.2ポイント上回る）。「読むこと」の概要や要点を捉える活動も全国平均を上回り、日常的に概要をつかむ活動がされていることがうかがえる。しかし、P71・72の問題のように正確に「聞くこと」の力と、それを受けての正確に「書くこと」の力が同時に求められると、多くの生徒が対応できない。授業において話される英語を漫然と聞かせるのではなく、聞いた後でどのような活動をするのか明確にした上で、話し手からの質問や依頼などを正しく聞き取ることができたかを確認する問いを与えるなど、生徒が目的意識をもって「聞くこと」ができる授業展開を考えたい。さらに、まとめた英文を聞いたり読んだりした後に、自分の考えや感想を英語で書く（表現する）活動を数多く授業の中に組み込むなど、表現力を高める実践が求められる。

IV 質問紙調査結果

(児童生徒質問紙・学校質問紙)

1 児童生徒質問紙 調査結果一覧

					1段目：香川県（公立）の割合（％）										2段目：全国（公立）の割合（％）				
質問番号	掲載P	H30 番号	質問事項		選択肢（質問の選択項目は、P78を参照）										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差		
小	中				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10					
【基本的生活習慣等】																			
1	1	79	7	朝食を毎日食べていますか	小	85.2	9.4	4.4	1.0							0.0	0.0	-1.5	
						86.7	8.6	3.6	1.0							0.0	0.0	-0.7	
						82.5	10.7	4.9	1.8							0.0	0.0	0.2	
2	2	79	8	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	中	82.3	10.8	4.9	2.0							0.0	0.0	0.1	
						36.5	45.0	15.6	2.9							0.0	0.0	-2.4	
						38.9	42.5	15.5	3.1							0.0	0.0	0.1	
3	3	79	9	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小	32.6	44.7	18.6	4.1						0.0	0.1	-1.0		
						33.6	44.4	17.8	4.2							0.0	0.1	-0.7	
						57.5	34.0	7.1	1.4							0.0	0.0	-1.2	
4	4	79	18	家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか	中	58.7	32.9	7.0	1.4						0.0	0.0	-0.1		
						57.2	35.9	5.6	1.2							0.0	0.1	0.2	
						57.0	35.8	6.0	1.2							0.0	0.1	0.3	
5	5	79	1	自分には、よいところがあると思いますか	小	52.1	26.3	16.4	5.2						0.0	0.0	2.0		
						50.1	27.3	16.8	5.8							0.0	0.0	1.0	
						46.1	30.4	17.9	5.5							0.0	0.1	-0.3	
6	6	80	2	先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか	中	46.4	30.0	17.5	5.9						0.0	0.1	0.1		
						35.7	41.7	15.4	7.1							0.0	0.0	-3.1	
						38.8	42.4	13.4	5.3							0.0	0.0	-3.8	
7	7	80	H29 39/41	先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	小	23.9	46.1	21.8	8.1						0.0	0.0	-5.1		
						29.0	45.1	18.6	7.3							0.0	0.1	-4.1	
						40.5	42.8	12.8	3.8							0.0	0.0	-2.6	
8	8	80	3	将来の夢や目標を持っていますか	中	43.1	43.0	10.7	3.0						0.0	0.1	-2.8		
						31.1	51.0	14.2	3.6							0.0	0.1	-0.2	
						31.3	50.2	14.2	4.2							0.0	0.1	0.6	
9	9	80	H29 4	ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか	小	59.1	32.7	6.4	1.8						0.0	0.0	-0.4		
						59.5	32.2	6.5	1.7							0.0	0.0	0.1	
						37.6	48.4	11.5	2.5							0.0	0.1	0.3	
10	10	80	H29 5	難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	中	37.3	47.3	12.4	2.8						0.0	0.1	1.4		
						61.5	20.1	10.3	8.0							0.0	0.0	-4.4	
						65.9	17.9	9.3	6.9							0.0	0.0	-2.2	
11	11	80	新	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	小	39.7	27.4	20.9	11.8						0.0	0.1	-5.2		
						44.9	25.6	17.9	11.5							0.0	0.1	-3.4	
						79.4	15.7	3.3	1.6							0.0	0.0	-0.1	
12	12	81	H29 33/35	学校に行くのは楽しいと思いますか	中	79.5	15.7	3.4	1.4						0.0	0.0	-0.1		
						74.0	19.5	4.7	1.7							0.0	0.1	-1.6	
						75.6	18.3	4.4	1.6							0.0	0.1	-0.4	
13	13	81	4	学校のきまり（規則）を守っていますか	小	27.9	50.2	18.3	3.6						0.0	0.0	-2.2		
						30.1	48.9	17.6	3.3							0.0	0.0	-0.9	
						22.1	48.8	24.8	4.3							0.0	0.1	-0.4	
14	14	81	H29 51/53	人が困っているときは、進んで助けていますか	中	22.5	47.8	25.0	4.6						0.0	0.1	0.6		
						45.3	36.4	14.4	3.9							0.0	0.0	-0.5	
						45.8	38.3	12.4	3.4							0.0	0.0	-2.4	
15	15	81	5	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小	47.4	36.9	12.0	3.6						0.0	0.1	2.0		
						45.4	37.4	12.9	4.2							0.0	0.1	1.5	
						53.4	31.6	10.2	4.7							0.0	0.0	-0.5	
16	16	81	6	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	中	53.9	31.9	9.6	4.5						0.0	0.0	-0.8		
						43.0	38.3	12.5	6.0							0.0	0.1	-2.7	
						45.7	36.2	12.0	6.0							0.0	0.1	-0.6	
17	17	81	10	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	小	39.5	51.6	7.9	1.0						0.0	0.0	-7.2		
						46.7	45.6	6.6	1.0							0.0	0.0	-1.2	
						62.5	33.0	3.8	0.7							0.0	0.1	-4.3	
18	18	82	14	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）	中	66.8	29.4	3.1	0.6						0.0	0.1	-0.7		
						38.2	49.0	11.2	1.6							0.0	0.0	-2.2	
						40.4	47.5	10.5	1.5							0.0	0.0	-0.7	
19	19	82	15	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	小	31.5	52.7	13.7	1.9						0.0	0.1	-3.1		
						34.6	51.3	12.3	1.7							0.0	0.1	-1.7	
						86.8	10.8	1.6	0.7							0.0	0.0	1.8	
20	20	82	16	家の役に立つ人間になりたいと思いますか	中	85.0	12.1	2.0	0.8						0.0	0.0	0.5		
						79.2	16.1	3.4	1.1							0.0	0.1	0.9	
						78.3	16.8	3.6	1.3							0.0	0.1	0.2	
21	21	82	17	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	小	76.6	18.7	3.2	1.4						0.0	0.0	1.9		
						74.7	20.5	3.4	1.3							0.0	0.1	0.1	
						73.3	21.4	3.8	1.4							0.0	0.1	2.2	
22	22	82	18	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	中	71.1	23.2	3.9	1.6						0.0	0.1	0.4		
						31.9	38.5	23.9	5.7							0.0	0.0	-1.2	
						33.1	38.4	23.0	5.5							0.0	0.0	-1.1	
23	23	82	19	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	小	13.8	34.7	39.3	12.2						0.0	0.0	-1.1		
						14.9	35.5	37.3	12.2							0.0	0.0	-1.9	
						8.6	19.3	39.7	23.9	6.9	1.6					0.0	0.0	-3.8	
24	24	82	20	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	中	12.4	16.9	36.8	24.1	7.6	2.3				0.0	0.0	-1.4		
						8.1	26.5	35.8	17.3	8.3	3.9					0.0	0.0	-1.8	
						9.9	25.6	34.3	17.2	8.4	4.4					0.0	0.1	-0.9	
25	25	82	21	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	小	7.0	12.6	23.4	26.5	14.3	16.2				0.0	0.0	0.0		
						7.0	11.3	21.5	25.9	15.6	18.7					0.0	0.0	1.3	
						4.8	7.9	13.7	18.5	15.2	39.9					0.0	0.1	-0.1	
26	26	82	22	学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）をしますか	中	4.8	7.6	14.6	23.4	14.8	34.8				0.0	0.1	-0.2		
																0.0	0.1	-0.2	
																0.0	0.1	-0.2	

質問番号 小 中	掲載P	H30 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P78を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差	
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10				
【学習習慣等】																		
20	20	82	H29 19	昼休みや放課後、学校が休みの日に、本(教科書や参考書、漫画や雑誌は除く)を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか	小	3.7	17.8	30.1	28.5	19.7						0.2	0.0	0.2
						3.5	13.7	23.3	29.4	29.9						0.2	0.0	4.3
					中	2.2	6.8	14.4	28.9	47.6						0.0	0.1	0.1
21	21	82	H29 72/74	読書は好きですか	小	2.1	6.2	12.1	24.1	55.3						0.1	0.1	0.7
						44.3	31.2	16.4	8.1							0.0	0.0	0.0
					中	44.3	30.7	16.7	8.3							0.1	0.0	0.5
22	22	82	25	新聞を読んでいますか	小	36.8	28.0	20.1	15.0							0.0	0.1	-2.1
						38.9	29.1	19.1	12.8							0.0	0.1	-3.2
					中	6.7	14.9	23.3	55.0							0.1	0.0	-0.3
23	23	82	20	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小	7.0	12.0	19.5	61.4							0.1	0.0	2.6
						5.0	9.3	18.2	67.3							0.0	0.2	0.6
					中	4.4	8.3	15.8	71.3							0.0	0.2	1.6
【地域や社会に関わる活動の状況等】																		
24	24	83	22	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか	小	36.8	30.2	20.3	12.7							0.0	0.0	-0.4
						37.2	30.8	18.6	13.4							0.0	0.0	-1.0
					中	21.5	28.7	27.1	22.6							0.0	0.1	0.5
25	25	83	H29 47/49	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	小	21.0	29.6	26.1	23.2							0.0	0.1	-0.4
						20.8	35.9	31.2	12.1							0.0	0.0	1.9
					中	18.9	35.6	32.3	13.1							0.0	0.0	2.2
26	26	83	新	日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか	小	10.3	26.0	41.0	22.6							0.0	0.1	-1.2
						11.5	27.9	38.9	21.6							0.0	0.1	-3.1
					中	41.0	27.6	19.4	11.9							0.0	0.0	1.8
27	27	83	H29 20	学校の部活動に参加していますか	小	39.2	29.4	19.8	11.6							0.0	0.0	0.0
						31.4	28.2	23.0	17.2							0.0	0.1	-1.6
					中	33.0	29.4	21.9	15.5							0.0	0.1	-2.8
28	28	83	H29 21	普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動をしますか	小	52.7	26.0	13.8	7.5							0.0	0.0	6.0
						46.7	29.4	15.1	8.8							0.0	0.1	2.6
					中	27.3	33.9	23.9	14.7							0.0	0.1	1.5
29	29	83	新	学校の部活動に参加する主な理由は、以下のうちどれですか	小	25.8	33.5	24.6	15.9							0.0	0.1	1.9
					中													
【ICTを活用した学習状況】																		
30	30	84	新	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか	小	24.3	22.3	25.3	27.9							0.1	0.1	13.9
						10.4	20.2	38.4	30.9							0.0	0.1	16.0
					中	4.1	16.5	26.9	52.2							0.0	0.2	-2.9
31	31	84	新	授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか	小	7.0	23.6	33.1	36.1							0.0	0.2	-10.0
						64.5	23.9	7.3	4.2							0.0	0.0	3.7
					中	60.8	25.7	8.8	4.6							0.0	0.1	1.9
32	32	84	57/54	学級の友達と(生徒)の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか	小	47.3	28.9	13.2	10.3							0.0	0.2	-0.7
						48.0	30.3	12.8	8.6							0.0	0.3	-2.1
					中													
33	33	84	H29 11	授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか	小	28.8	44.2	21.1	5.9							0.0	0.0	-1.5
						30.3	43.8	20.5	5.4							0.0	0.0	-1.1
					中	30.1	44.0	19.5	6.4							0.0	0.1	1.8
34	34	84	H29 54/56	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	小	28.3	44.5	20.4	6.7							0.0	0.1	1.3
						38.1	44.8	14.4	2.6							0.0	0.0	-0.8
					中	38.9	43.9	14.3	2.8							0.0	0.0	0.1
35	35	84	新	あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか	小	27.9	47.5	20.0	4.6							0.0	0.1	1.0
						26.9	48.0	20.6	4.4							0.0	0.1	0.5
					中	21.5	40.3	30.0	8.2							0.0	0.0	-3.6
36	36	85	H29 64/66	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	小	25.1	40.6	26.7	7.3							0.1	0.1	-3.9
						14.7	39.2	34.5	11.5							0.0	0.1	-5.6
					中	20.3	41.2	28.9	9.4							0.0	0.2	-7.6
37	37	85	55/52	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	小	32.2	43.4	18.9	5.4							0.0	0.0	2.1
						30.1	43.9	20.3	5.6							0.0	0.0	1.6
					中	24.7	47.6	21.7	6.0							0.0	0.1	-0.6
38	38	85	55/52	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	小	25.3	46.3	21.3	7.0							0.0	0.1	0.7
						28.1	44.9	21.7	5.2							0.0	0.0	-0.7
					中	28.8	44.6	21.3	5.2							0.0	0.0	-0.4
39	39	85	H29 64/66	1、2年生の時に受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか	小	21.3	45.2	25.7	7.7							0.0	0.1	0.3
						21.0	44.6	26.1	8.1							0.0	0.1	0.9
					中	44.4	37.9	13.9	3.7							0.0	0.0	2.3
40	40	85	55/52	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	小	42.1	38.8	14.9	4.0							0.1	0.2	1.4
						37.0	41.8	16.0	5.0							0.0	0.2	3.0
					中	34.0	42.6	17.3	5.7							0.0	0.5	2.2
41	41	85	55/52	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	小	29.3	45.0	21.1	4.4							0.0	0.2	-3.7
						33.0	44.7	18.1	4.0							0.0	0.2	-3.4
					中	26.7	44.1	23.0	6.1							0.0	0.1	-2.6
42	42	85	55/52	5年生まで(1、2年生のとき)に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか	小	29.3	45.5	20.0	4.9							0.0	0.1	-4.0
					中													

質問番号 小 中				掲載P H30 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P78を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
							1	2	3	4	5	6	7	8	9	10			
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																			
36	38	85	56/53	5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか	小	23.1	36.8	29.1	10.8								0.0	0.3	-1.6
						24.7	37.8	27.5	9.7							0.0	0.3	-2.6	
					中	15.0	35.2	35.6	14.0							0.0	0.1	-3.1	
						18.1	37.7	32.4	11.6							0.0	0.2	-5.6	
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(国語)】																			
37	40	85	H29 69/71	国語の勉強は好きですか	小	22.2	35.3	26.9	15.5								0.1	0.0	-4.3
						26.5	37.7	24.3	11.5							0.0	0.0	-6.7	
					中	20.2	32.6	30.3	16.9							0.0	0.1	-4.4	
						24.6	37.1	26.4	11.9							0.0	0.1	-8.9	
38	41	85	H29 70/72	国語の勉強は大切だと思いますか	小	67.5	24.9	5.4	2.1							0.0	0.0	-1.1	
						68.6	24.4	5.1	1.9							0.0	0.0	-0.6	
					中	53.7	34.1	8.6	3.5							0.0	0.1	-5.3	
						59.0	32.0	6.5	2.4							0.0	0.1	-3.2	
39	42	86	H29 71/73	国語の授業の内容はよく分かりますか	小	36.4	44.8	15.1	3.7							0.0	0.0	-4.8	
						41.2	43.7	12.0	3.0							0.0	0.0	-3.7	
					中	24.1	48.1	21.7	6.1							0.0	0.1	-4.3	
						28.4	49.2	17.8	4.4							0.0	0.1	-5.4	
40	43	86	H29 73/75	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	65.6	26.0	6.3	2.1							0.0	0.0	1.4	
						64.2	27.0	6.5	2.2							0.0	0.0	0.4	
					中	47.4	37.2	11.3	3.9							0.0	0.1	-6.3	
						53.7	34.3	8.8	3.1							0.0	0.1	-3.4	
41	44	86	新	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	小	37.7	38.8	18.6	4.9							0.0	0.0	0.5	
						37.2	39.7	18.1	5.0							0.0	0.0	-0.4	
					中	29.8	38.5	23.8	7.8							0.0	0.1	-1.4	
						31.2	40.4	21.7	6.7							0.0	0.1	-3.3	
42	45	86	H29 74/76	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	小	35.2	41.8	19.0	4.0							0.0	0.0	-1.0	
						36.2	41.9	18.0	3.8							0.0	0.0	-1.1	
					中	30.4	44.3	20.2	4.9							0.0	0.1	-2.1	
						32.5	44.9	18.1	4.4							0.0	0.1	-2.7	
43	46	86	H29 75, 76 H29 77, 78	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由（根拠）を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	小	22.2	42.2	28.6	7.0							0.0	0.0	-3.9	
						26.1	42.4	25.3	6.2							0.0	0.0	-4.1	
					中	17.8	41.9	31.8	8.3							0.0	0.2	-3.1	
						20.9	43.5	28.4	7.0							0.0	0.1	-4.7	
44	47	86	新	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	小	29.2	41.0	23.4	6.4							0.0	0.0	-1.1	
						30.3	41.1	22.4	6.2							0.0	0.0	-1.2	
					中	23.2	42.1	26.8	7.7							0.0	0.2	-2.0	
						25.2	43.2	24.6	6.8							0.0	0.2	-3.1	
45	48	87	H29 77/79	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	小	83.4	15.1	1.1								0.2	0.1	3.0	
						80.4	17.4	1.7								0.3	0.2	0.7	
					中	79.1	17.7	2.8								0.0	0.4	-0.7	
						79.8	17.2	2.7								0.0	0.3	-0.2	
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】																			
46	49	87	27	算数（数学）の勉強は好きですか	小	38.9	27.9	18.7	14.4								0.0	0.0	-1.7
						40.6	28.0	18.7	12.7								0.0	0.0	-1.8
					中	28.9	27.2	24.4	19.5								0.0	0.1	-1.8
						30.7	27.2	23.9	18.1								0.0	0.1	-1.8
47	50	87	28	算数（数学）の勉強は大切だと思いますか	小	76.0	17.6	4.5	1.9								0.0	0.0	0.4
						75.6	18.1	4.3	1.9								0.0	0.0	-0.1
					中	50.0	33.3	11.3	5.2								0.0	0.1	0.2
						49.8	34.4	11.2	4.5								0.0	0.1	-0.9
48	51	87	29	算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか	小	46.6	36.4	13.0	4.0								0.0	0.0	-2.7
						49.3	34.2	12.4	4.1								0.0	0.0	-0.5
					中	35.7	39.0	17.9	7.2								0.0	0.1	0.9
						34.8	39.1	18.6	7.3								0.0	0.1	0.8
49	52	87	33	算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	小	73.4	19.6	5.3	1.7								0.0	0.0	1.1
						72.3	20.2	5.4	2.0								0.0	0.0	0.5
					中	41.4	35.8	15.7	7.0								0.0	0.2	1.1
						40.3	35.9	16.5	7.1								0.0	0.1	1.0
50	87	32	算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか	小	41.2	36.5	16.8	5.5									0.0	0.0	-0.2
					41.4	35.1	17.3	6.2									0.0	0.0	1.2
				中															
51	88	30	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	小	50.0	27.8	15.2	7.0									0.0	0.0	-1.7
					51.7	27.4	14.2	6.7								0.0	0.0	-1.3	
				中															
52	88	31	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	小	46.0	36.3	14.2	3.5									0.0	0.0	-0.3
					46.3	35.7	14.0	3.9								0.0	0.0	0.3	
				中															
53	88	34	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	小	48.8	33.5	13.8	3.9									0.0	0.0	1.1
					47.7	34.4	13.9	4.0								0.0	0.1	0.2	
				中															
54	88	35	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	小	46.7	36.1	13.9	3.2									0.0	0.0	-1.7
					48.4	35.6	12.7	3.2								0.0	0.1	-1.2	
				中															

質問番号		掲載P	H30 番号	質問事項		選択肢(質問の選択項目は、P78を参照)										その他 ※	無回答	1の差 1+2の差
小	中	12345678910																
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(算数・数学)】																		
55		88	36	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	小	58.1	29.2	10.0	2.7							0.0	0.0	0.6
					中	57.5	29.5	10.1	2.8							0.0	0.1	0.3
56	53	88	37	今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたが、どのように解答しましたか	小	84.8	13.8	1.1							0.1	0.1	4.1	
					中	80.7	17.6	1.3							0.2	0.2	0.3	
				今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか	小	61.3	34.8	3.7							0.0	0.2	0.5	
					中	60.8	34.7	4.2							0.0	0.3	0.6	
【各教科の調査時間の適切性】																		
57	67	89	58/55 59/56	解答時間は十分でしたか(国語)	小	33.1	39.1	22.9	3.6							0.0	1.2	-7.1
					中	40.2	34.0	21.1	3.2							0.0	1.5	-2.0
58	68	89	60/57 61/58	解答時間は十分でしたか(算数・数学)	中	58.0	33.3	7.0	1.5						0.0	0.3	4.1	
					小	53.9	36.4	8.1	1.4						0.0	0.2	1.0	
					中	52.8	31.6	12.1	2.3						0.0	1.2	-3.5	
					小	56.3	27.7	12.4	2.1						0.0	1.5	0.4	
					中	51.8	33.1	12.4	2.3						0.0	0.3	1.4	
					小	50.4	34.3	13.0	2.1						0.0	0.2	0.2	
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等(英語)】																		
	54	89	新	英語の勉強は好きですか	小													
					中	25.7	25.4	24.9	23.9							0.0	0.1	-3.3
	55	89	新	英語の勉強は大切だと思いますか	中	29.0	27.0	24.1	19.8							0.0	0.1	-4.9
					小													
					中	54.9	26.7	10.9	7.3							0.0	0.1	-4.0
					小	58.9	26.5	9.3	5.3							0.0	0.1	-3.8
	56	89	新	英語の授業はよく分かりますか	小													
					中	29.0	36.0	22.0	12.8							0.0	0.2	-0.5
	57	89	新	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	中	29.5	36.5	22.4	11.4							0.0	0.1	-1.0
					小													
					中	56.3	25.3	10.9	7.2							0.0	0.2	-4.4
					小	60.7	24.7	9.2	5.2							0.0	0.2	-3.8
	58	90	新	あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会(地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど)が十分にありましたか	小													
					中	13.6	16.8	26.4	42.9							0.0	0.3	-1.8
	59	90	新	あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をし、職業に就いたりしたいと思いますか	中	15.4	18.4	26.2	39.8							0.0	0.2	-3.4
					小													
					中	15.2	19.6	30.8	33.8							0.0	0.6	-3.0
					小	18.2	23.1	30.1	28.2							0.0	0.4	-6.5
	60	90	新	1. 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	小													
					中	34.8	44.1	15.4	5.4							0.0	0.2	1.2
	61	90	新	1. 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	中	33.6	45.6	15.7	4.9							0.0	0.2	-0.3
					小													
					中	36.3	44.2	14.3	5.0							0.0	0.2	0.6
					小	35.7	45.5	14.2	4.4							0.0	0.2	-0.7
	62	90	新	1. 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	小													
					中	24.2	37.2	27.6	10.6							0.0	0.3	-1.8
	63	90	新	1. 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	中	26.0	36.9	26.6	10.2							0.0	0.2	-1.5
					小													
					中	35.0	36.1	20.2	8.4							0.0	0.2	-6.9
					小	41.9	35.3	16.0	6.6							0.0	0.2	-6.1
	64	91	新	1. 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	小													
					中	38.6	39.8	15.7	5.5							0.0	0.3	-2.4
	65	91	新	1. 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	中	41.0	39.1	14.5	5.0							0.0	0.2	-1.7
					小													
					中	36.7	39.1	17.1	6.7							0.0	0.3	-2.4
					小	39.1	38.3	16.3	6.0							0.0	0.3	-1.6
	66	91	新	1. 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	小													
					中	30.6	42.3	19.5	6.8							0.0	0.7	-2.3
	69	91	新	解答時間は十分でしたか(英語)	中	32.9	41.7	18.2	6.3							0.0	0.9	-1.7
					小													
					中	29.7	32.9	30.3	6.9							0.0	0.3	0.6
					小	29.1	33.9	30.6	6.2							0.0	0.3	-0.4

※【その他】とは、選択肢以外の回答や複数回答されたものである。

児童生徒質問紙 選択肢一覧

※質問番号の 数/数は、(小学校の番号) / (中学校の番号) を示す。

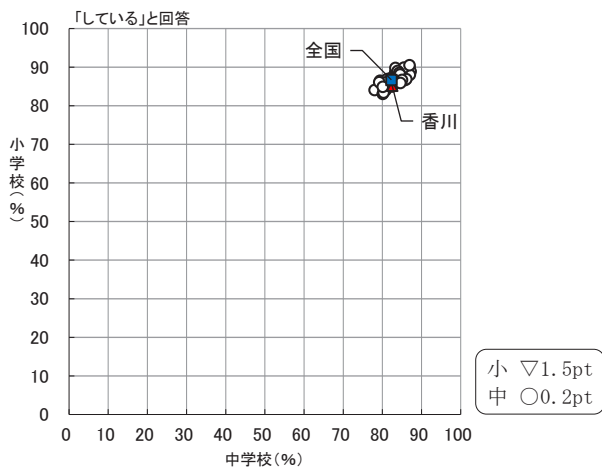
質問番号	選 択 肢
1～4, 17	1 している 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
5～16, 21, 23～26, 28/31～33/36, 34/39, 35/37, 36/38, 37/40～44/47, 46/49～49/52, 50/*～55/*, */54～*/66	1 当てはまる 2 どちらかといえば、当てはまる 3 どちらかといえば、当てはまらない 4 当てはまらない
18, */28	1 3時間以上 2 2時間以上、3時間より少ない 3 1時間以上、2時間より少ない 4 30分以上、1時間より少ない 5 30分より少ない 6 全くしない
19	1 2時間以上 2 1時間以上、2時間より少ない 3 30分以上、1時間より少ない 4 10分以上、30分より少ない 5 10分より少ない 6 全くしない
20	1 だいたい週に4回以上行く 2 週に1～3回程度行く 3 月に1～3回程度行く 4 年に数回程度行く 5 ほとんど、または、全く行かない
22	1 ほぼ毎日読んでいる 2 週に1～3回程度読んでいる 3 月に1～3回程度読んでいる 4 ほとんど、または、全く読まない
*/27	1 運動部にだけ参加している 2 文化部にだけ参加している 3 運動部と文化部の両方に参加している 4 運動部、文化部のどちらにも参加していない
*/29	1 体力・技術を向上させたいから 2 大会・コンクール等でよい成績を収めたいから 3 仲間を増やしたいから 4 楽しいから 5 時間があるから 6 周囲の人が参加しているから 7 部活動には参加していない
27/30	1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 月1回未満
45/48, 56/53	1 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した 2 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあつた 3 書く問題は全く解答しなかった
57/67～58/68, */69	1 時間が余つた 2 ちょうどよかった 3 やや足りなかった 4 全く足りなかった

2 児童生徒質問紙 回答結果グラフ

【基本的生活習慣等】

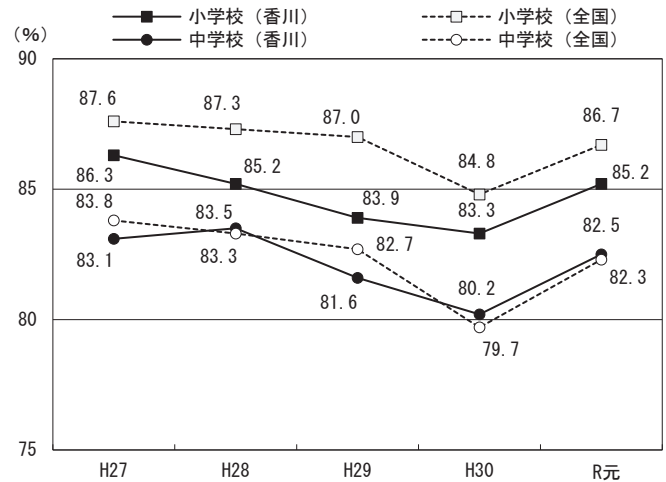
朝食

□1/1 朝食を毎日食べていますか



【経年変化】

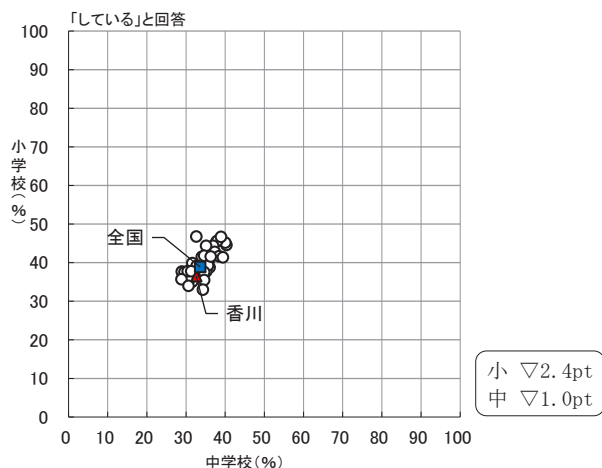
□1/1 朝食を毎日食べていますか（「している」と回答）



【基本的生活習慣等】

寝る時刻

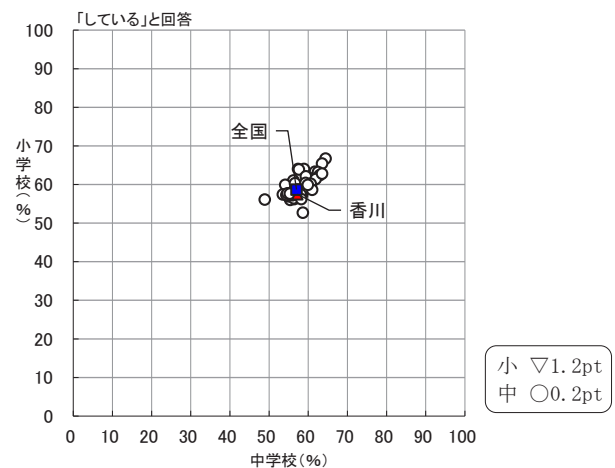
□2/2 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



【基本的生活習慣等】

起きる時刻

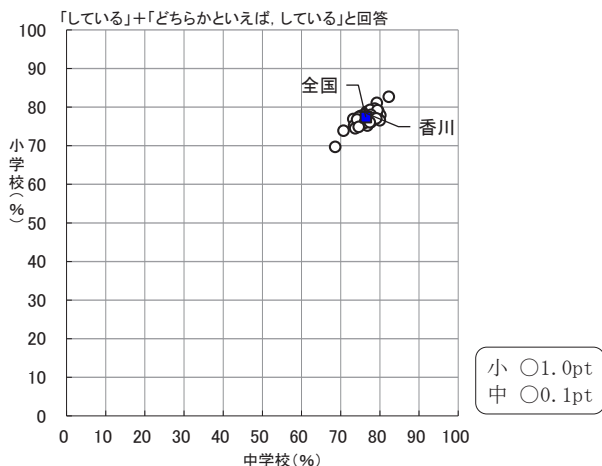
□3/3 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



【基本的生活習慣等】

家の人と学校での出来事を話す

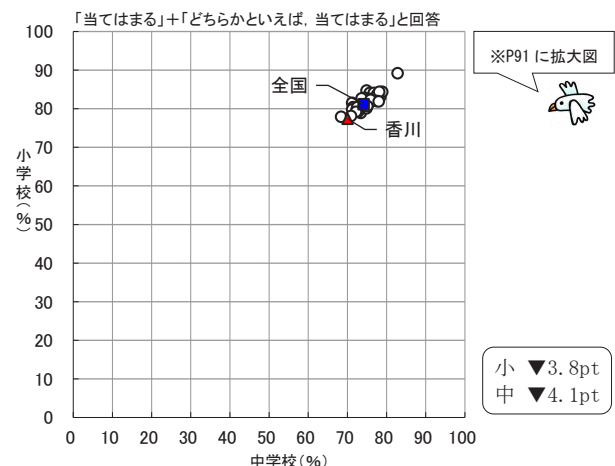
□4/4 家の人（兄弟姉妹を除く）と学校での出来事について話をしますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分にはよいところがある

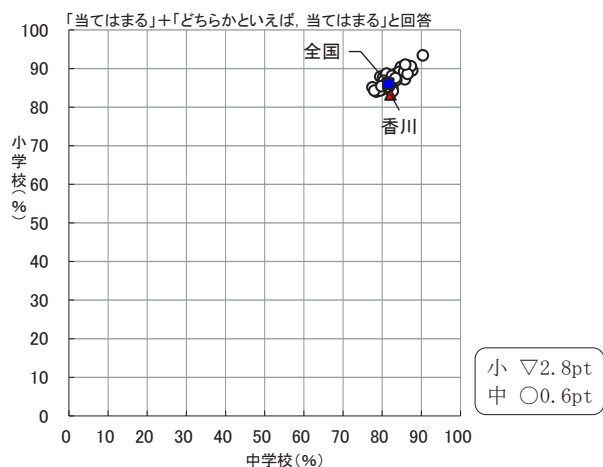
□5/5 自分には、よいところがあると思いますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

先生はよいところを認めてくれる

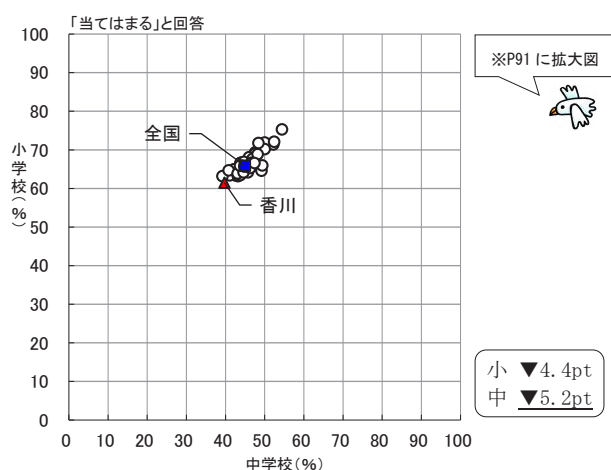
□ 6/6 先生は，あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

将来の夢や目標

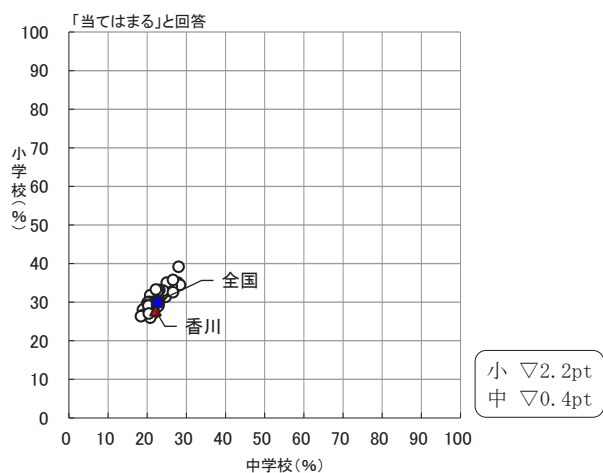
□ 8/8 将来の夢や目標を持っていますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

失敗を恐れずに挑戦する

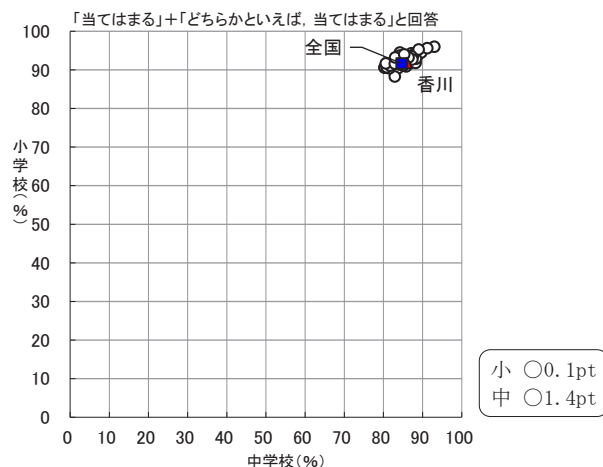
□ 10/10 難しいことでも，失敗を恐れないで挑戦していますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

先生は分かるまで教えてくれる

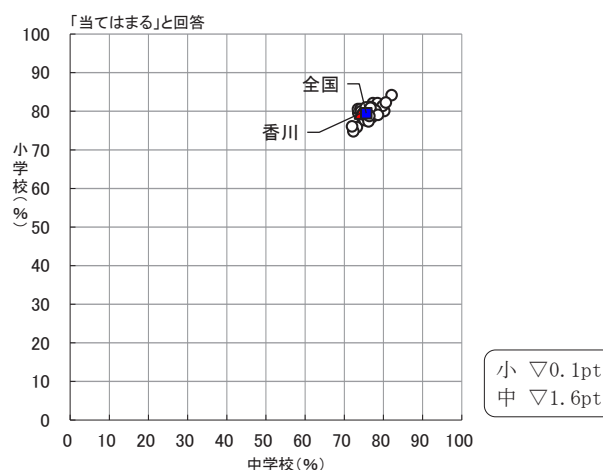
□ 7/7 先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれていると思いますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

やり遂げてうれしかった

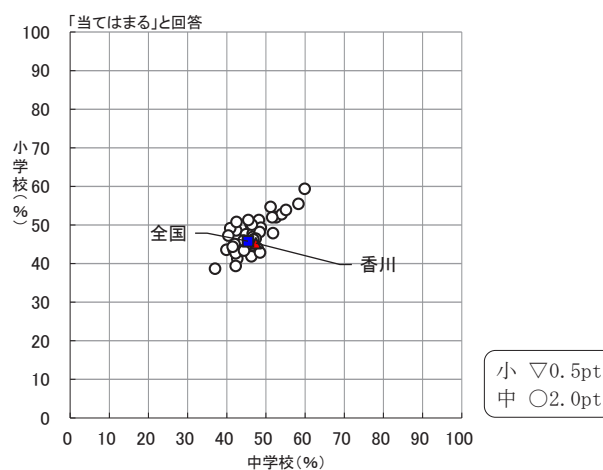
□ 9/9 ものごとを最後までやり遂げて，うれしかったことがありますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

協力して取り組み，うれしかった

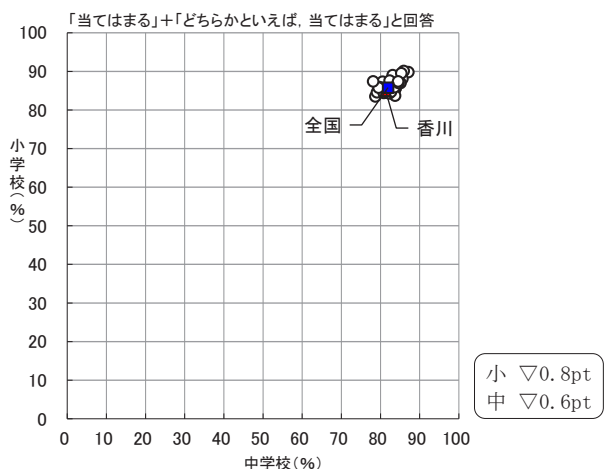
□ 11/11 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み，うれしかったことがありますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

学校に行くのは楽しい

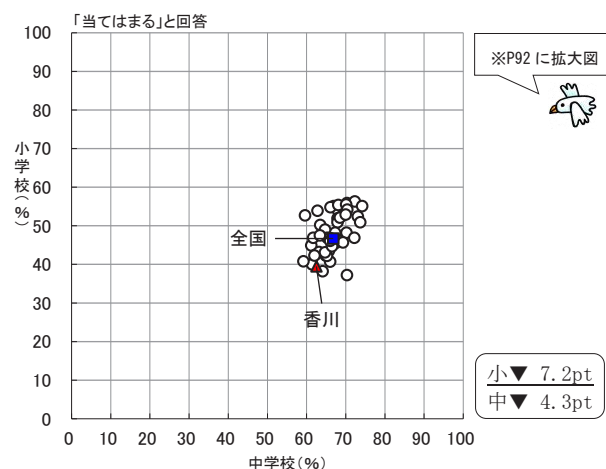
□ 12/12 学校に行くのは楽しいと思いますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

学校のきまりを守っている

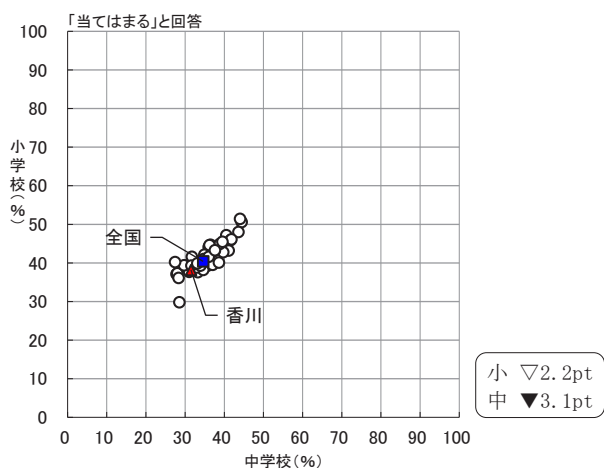
□ 13/13 学校のきまり(規則)を守っていますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

困った人を助けている

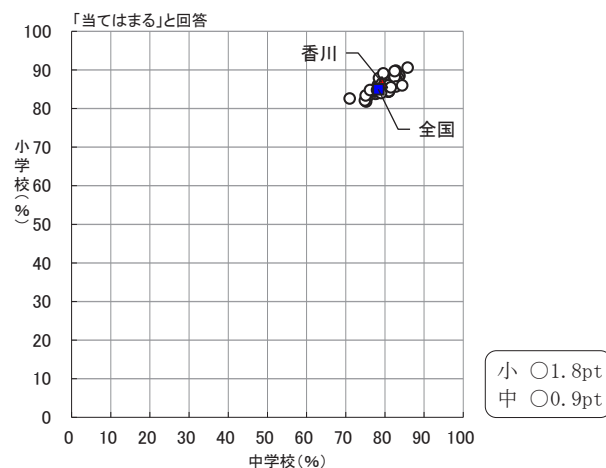
□ 14/14 人が困っているときは、進んで助けていますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

いじめは、いけないことだ

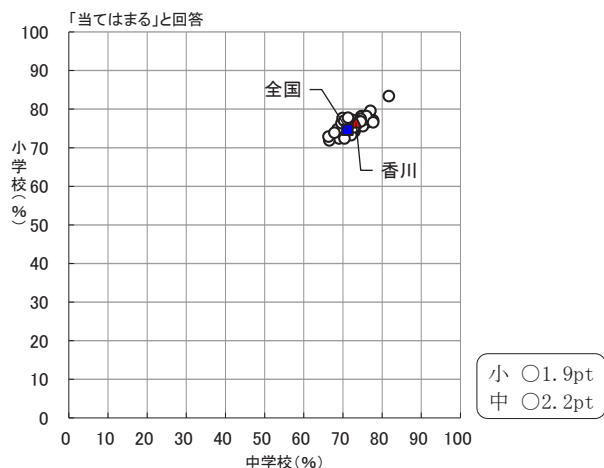
□ 15/15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

人の役に立つ人間になりたい

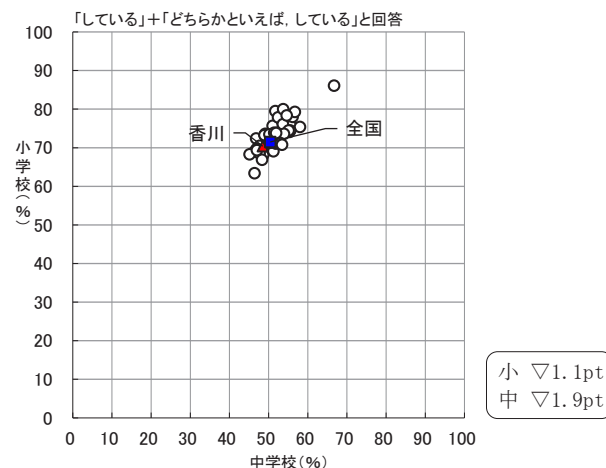
□ 16/16 人の役に立つ人間になりたいと思いますか



【学習習慣等】

自分で計画を立てて勉強

□ 17/17 家で自分で計画を立てて勉強をしていますか

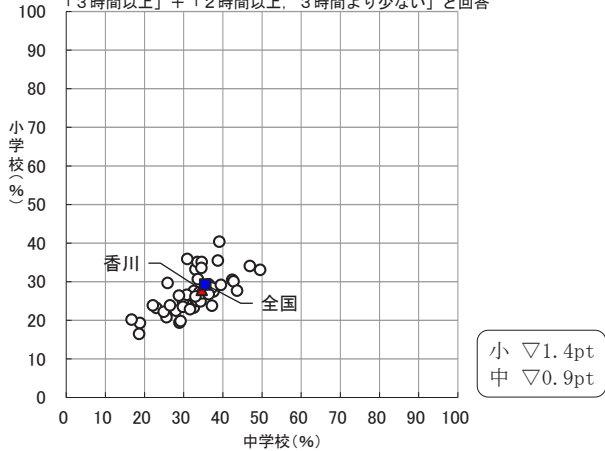


【学習習慣等】

普段の勉強時間

□ 18/18 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）

「3時間以上」+「2時間以上、3時間より少ない」と回答

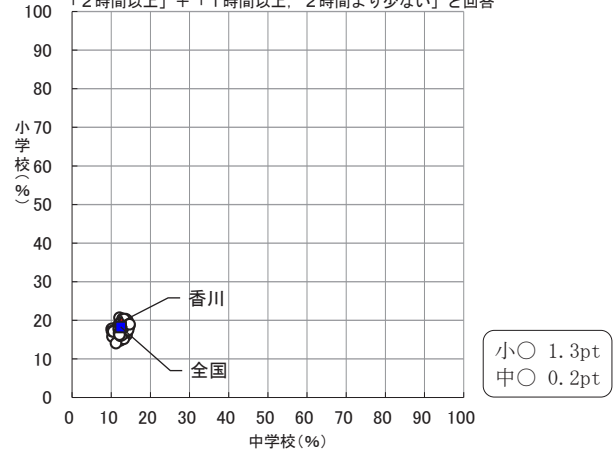


【学習習慣等】

普段の読書時間

□ 19/19 学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）

「2時間以上」+「1時間以上、2時間より少ない」と回答

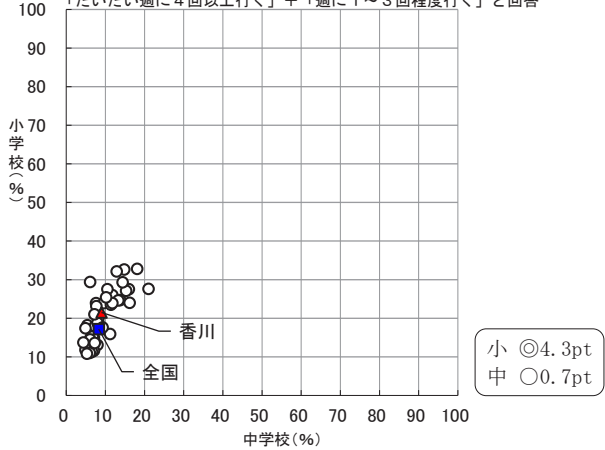


【学習習慣等】

図書館の利用

□ 20/20 昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館にどれくらい行きますか

「だいたい週に4回以上行く」+「週に1〜3回程度行く」と回答

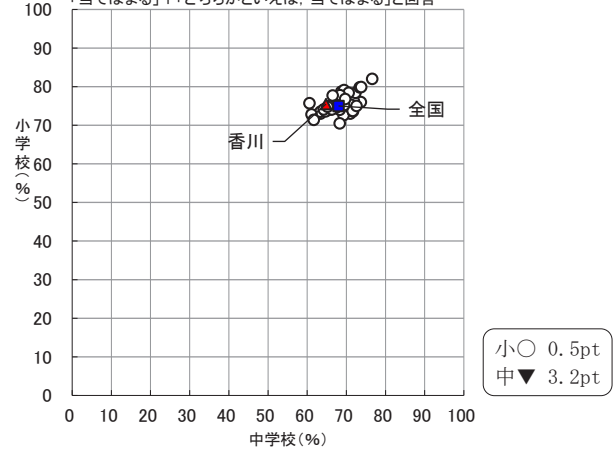


【学習習慣等】

読書は好き

□ 21/21 読書は好きですか

「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答

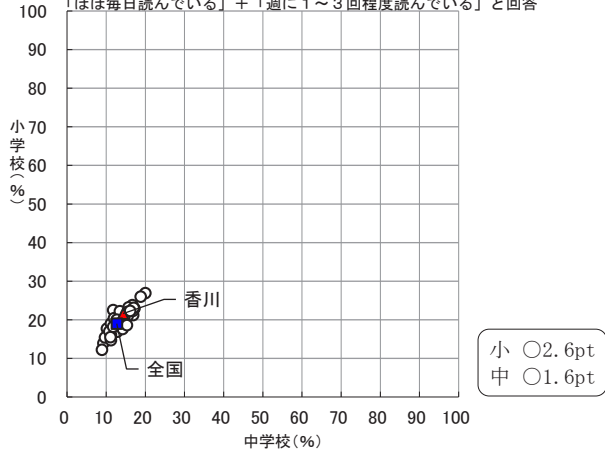


【学習習慣等】

新聞を読んでいる

□ 22/22 新聞を読んでいますか

「ほぼ毎日読んでいる」+「週に1〜3回程度読んでいる」と回答

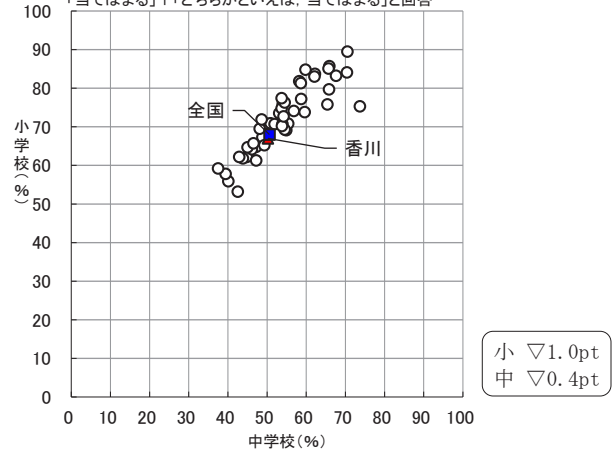


【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域の行事への参加

□ 23/23 今住んでいる地域の行事に参加していますか

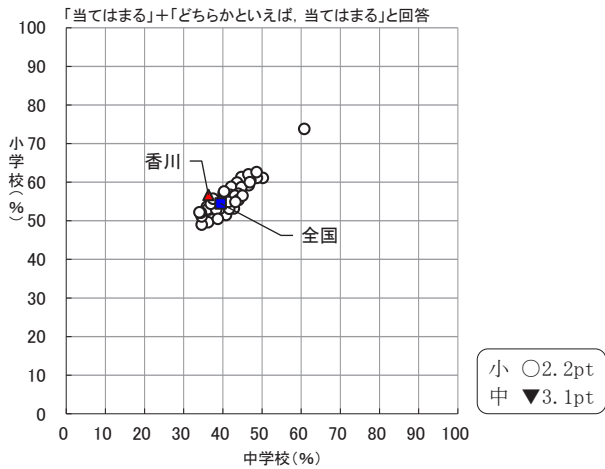
「当てはまる」+「どちらかといえば、当てはまる」と回答



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域のために何をすべきかを考える

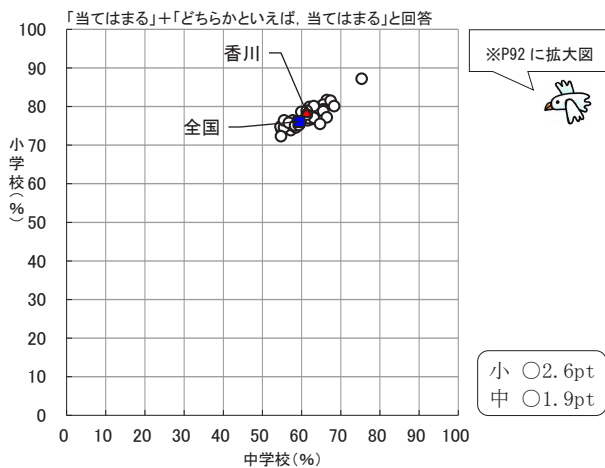
□ 24/24 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域のことについて外国の人に知ってもらいたい

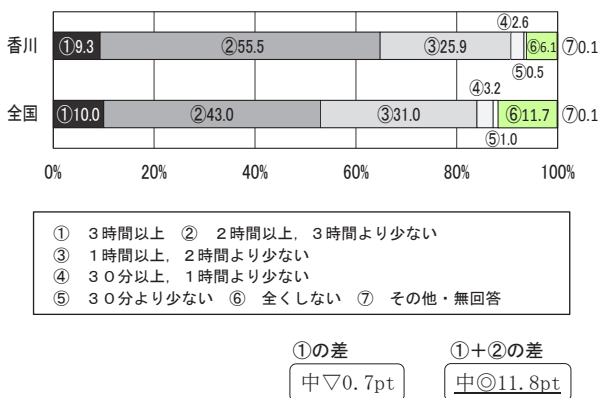
□ 26/26 日本やあなたが住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



【部活動に関する状況】

【中学校】 普段の学校の部活動時間

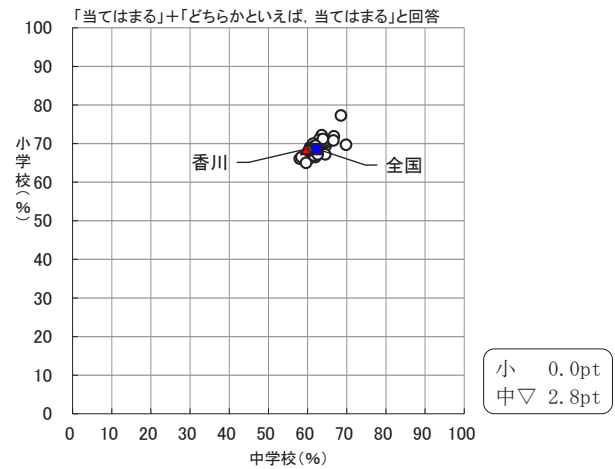
□ */28 普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、部活動しますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい

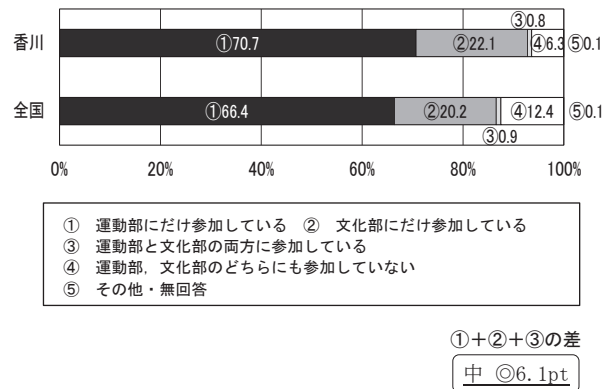
□ 25/25 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたいしてみたいと思いますか



【部活動に関する状況】

【中学校】 学校の部活動に参加

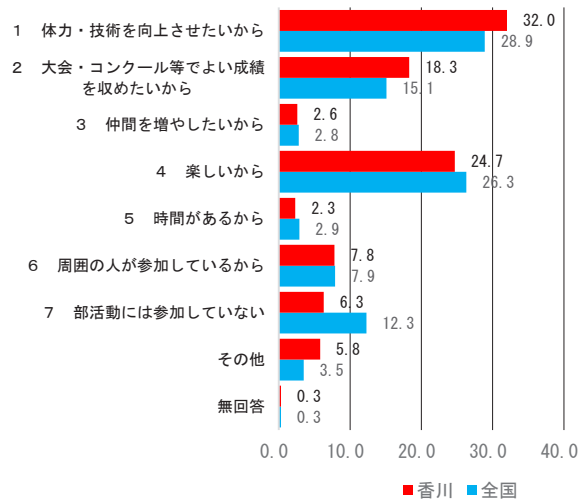
□ */27 学校の部活動に参加していますか



【部活動に関する状況】

【中学校】 学校の部活動に参加する主な理由

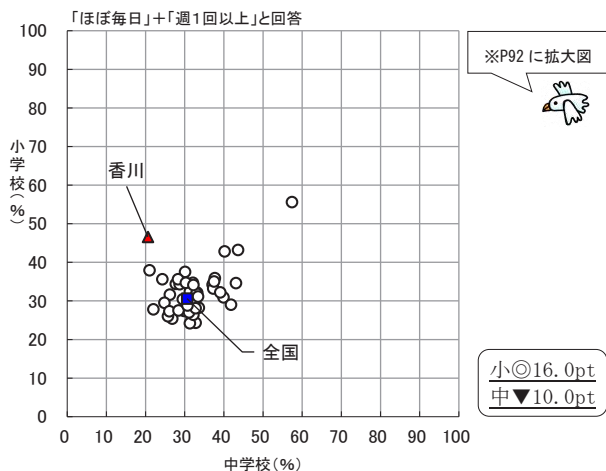
□*/29 学校の部活動に参加する主な理由は、以下のうちどれですか



【ICTを活用した学習状況】

授業でのICTの活用頻度

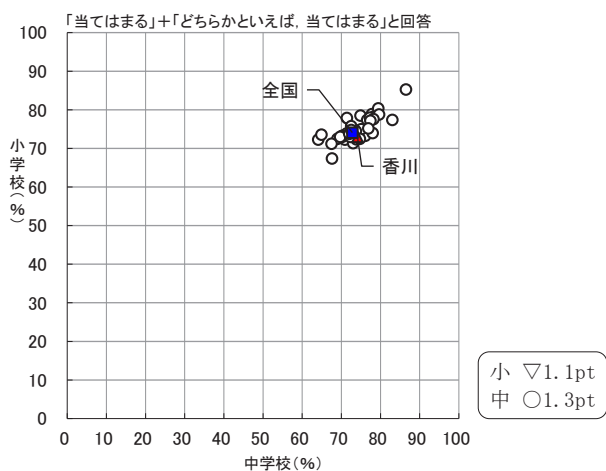
□ 27/30 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

話し合いで考えを深めたり、広げたりする

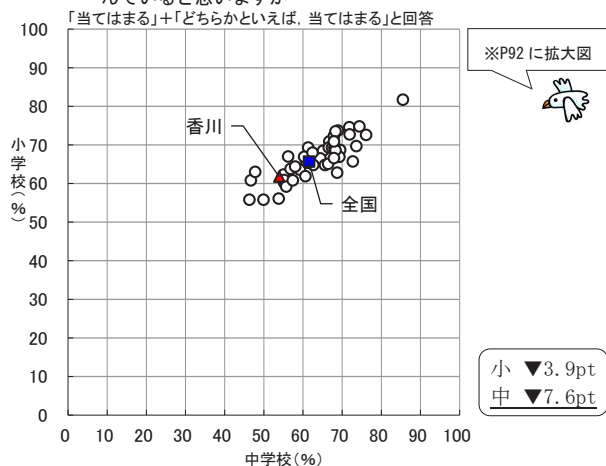
□ 29/32 学級の友達と（生徒）の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

探究的な学習への取組

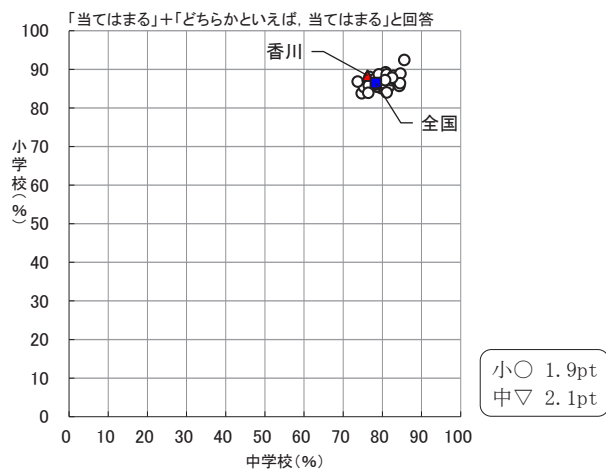
□ 31/34 総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



【ICTを活用した学習状況】

授業でのICTの活用希望

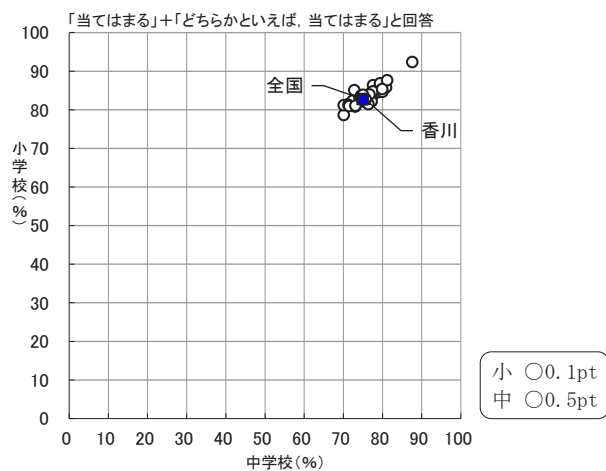
□ 28/31 授業でもっとコンピュータなどのICTを活用したいと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学んだことを生かす

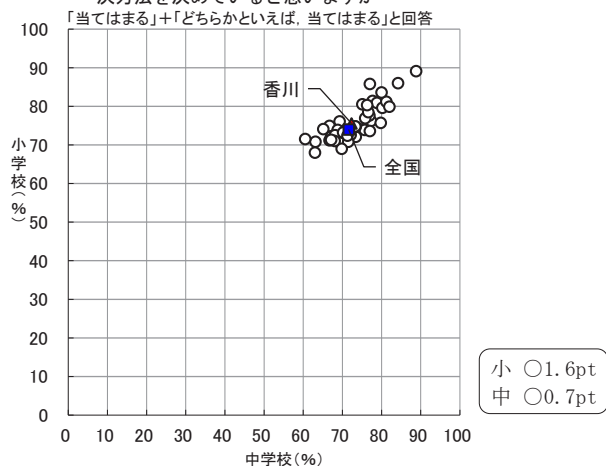
□ 30/33 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

互いの意見のよさを生かした解決方法

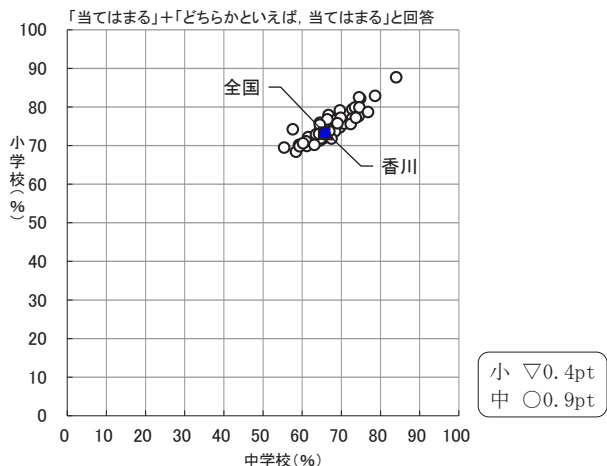
□ 32/35 あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

話し合いを生かして努力すべきことに取り組む

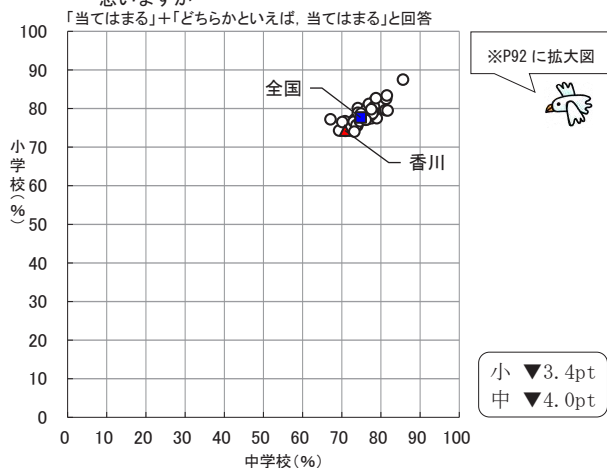
□ 33/36 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題の解決に向けて、自ら考え、取り組む

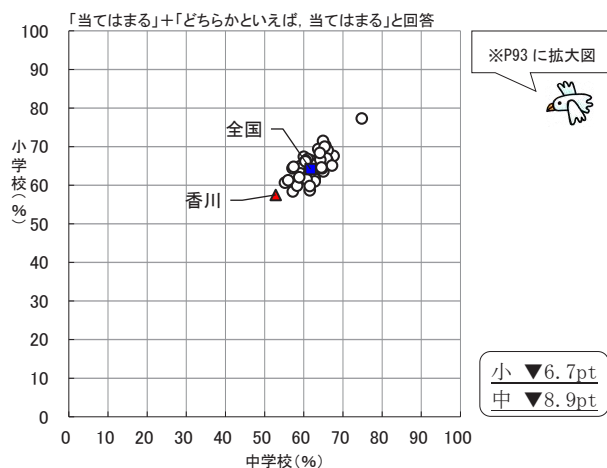
□ 35/37 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は好き

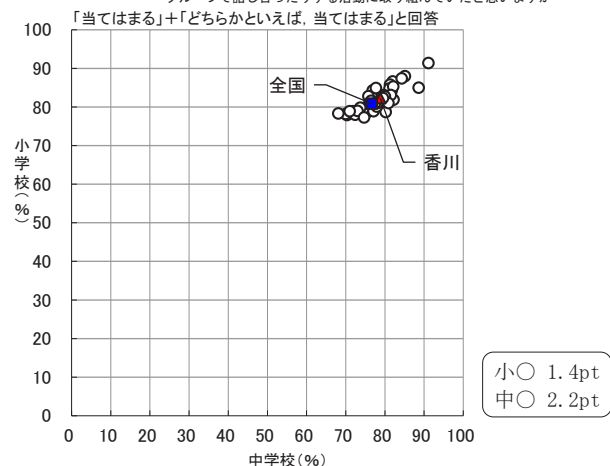
□ 37/40 国語の勉強は好きですか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

道徳で考えを深めたり、話し合ったりする

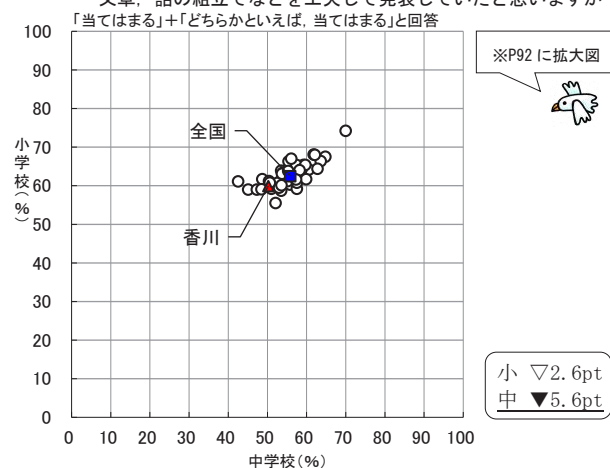
□ 34/39 【小学校】道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか
【中学校】1，2年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを発表する機会

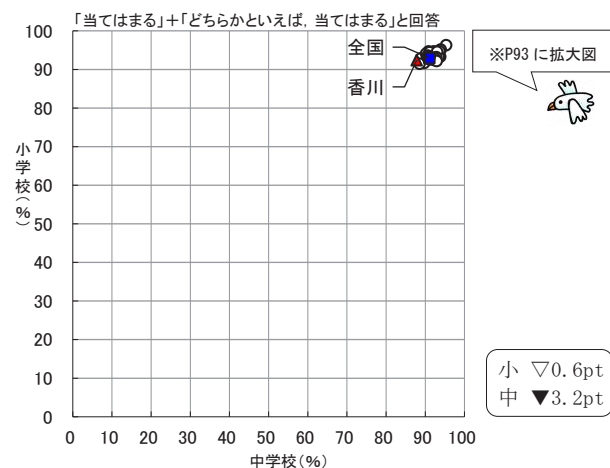
□ 36/38 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は大切

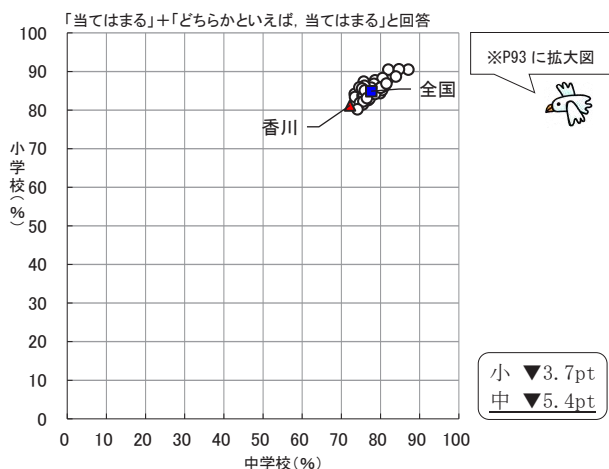
□ 38/41 国語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の授業の内容はよく分かる

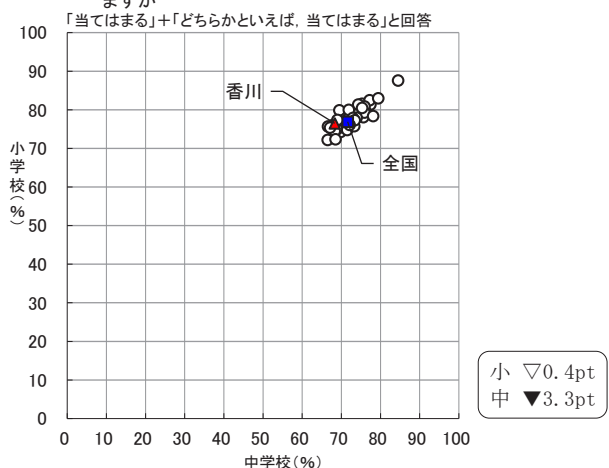
□ 39/42 国語の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

普段の生活の中で活用しようとしている

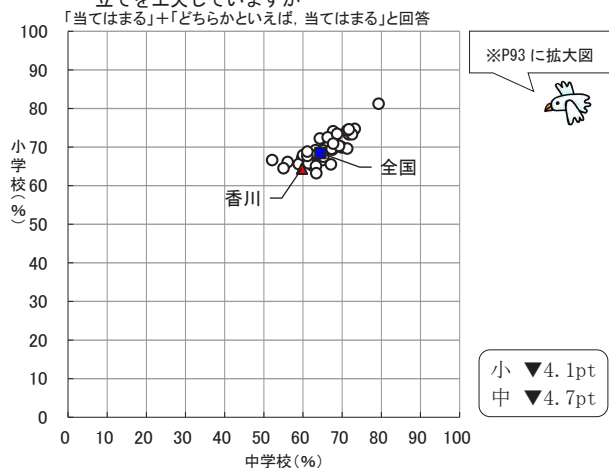
□ 41/44 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

文章や話の組み立てを工夫している

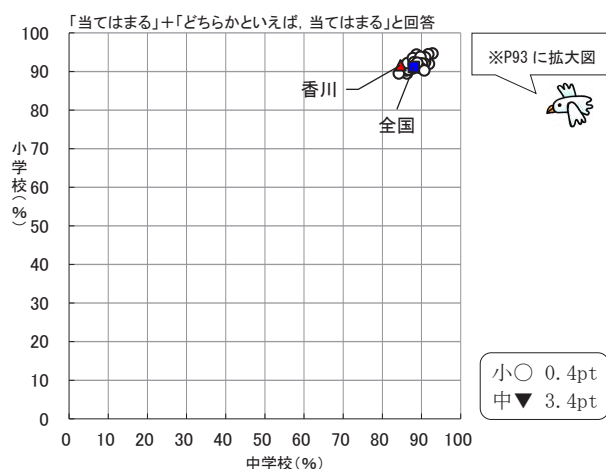
□ 43/46 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由（根拠）を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

将来、社会に出たときに役に立つ

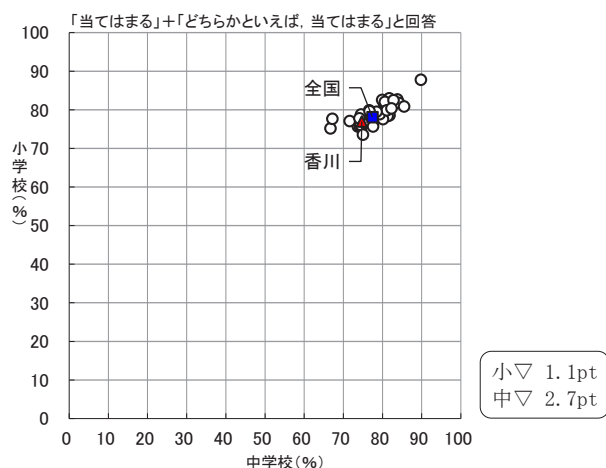
□ 40/43 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

目的にに応じて考えを話したり書いたりしている

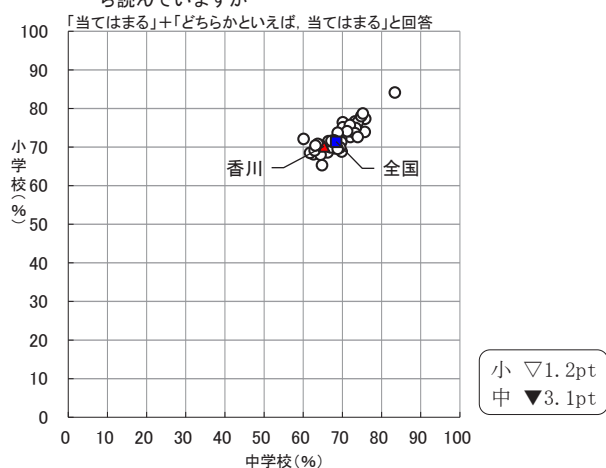
□ 42/45 国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

必要な語や文を見つけたり、文章や段落の関係を考えたりして読む

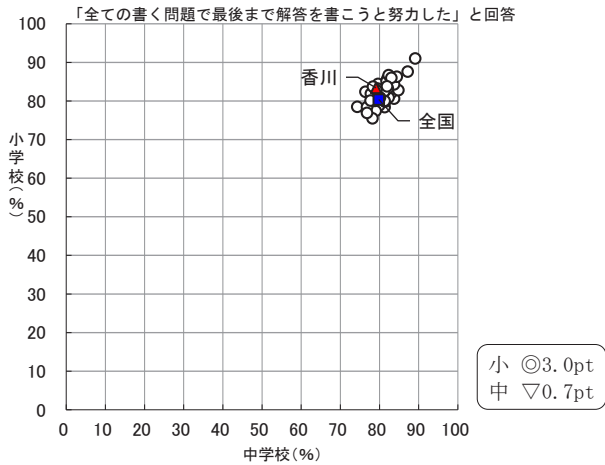
□ 44/47 国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

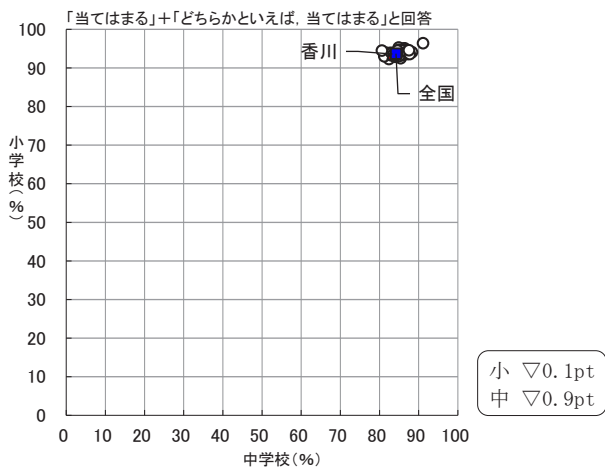
□ 45/48 今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、どのように解答しましたか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数・数学の勉強は大切

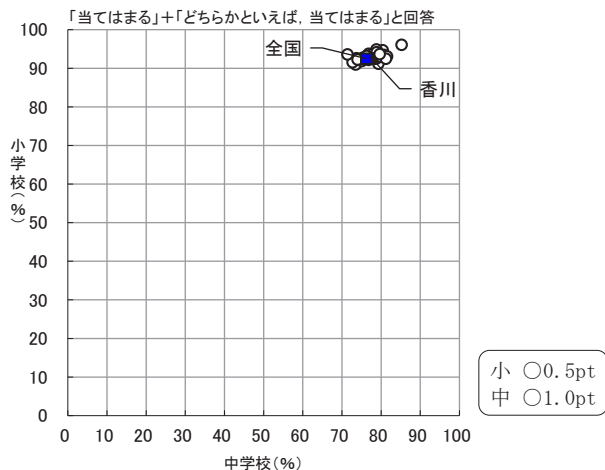
□ 47/50 算数(数学)の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

将来、社会に出たときに役に立つ

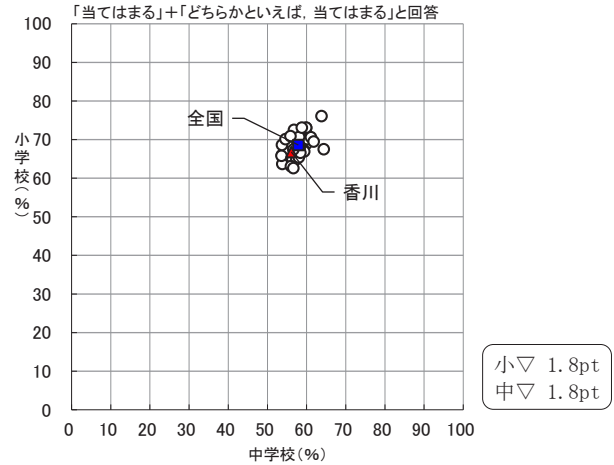
□ 49/52 算数（数学）の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数・数学の勉強は好き

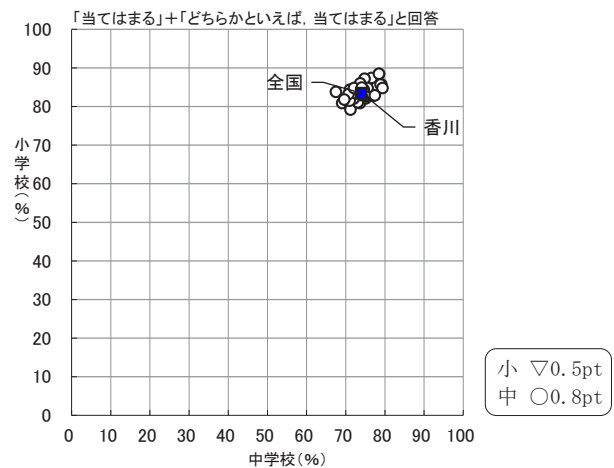
□ 46/49 算数(数学)の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

算数・数学の授業の内容はよく分かる

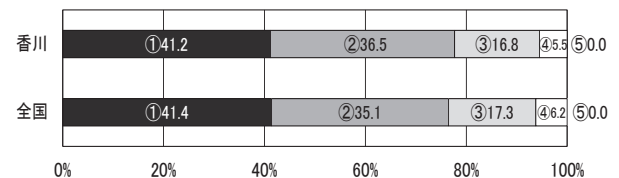
□ 48/51 算数(数学)の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）】

【小学校】生活の中で活用できないか考える

□ 50/* 算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できないか考えますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

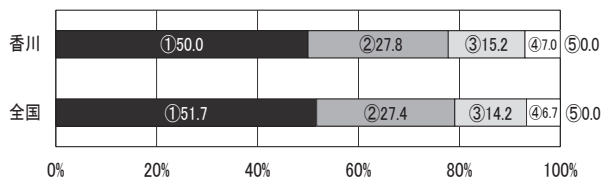
①の差
小▽0.2pt

①+②の差
小○1.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）】

【小学校】新しい問題を解いてみたい

□ 51/* 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

小▽1.7pt

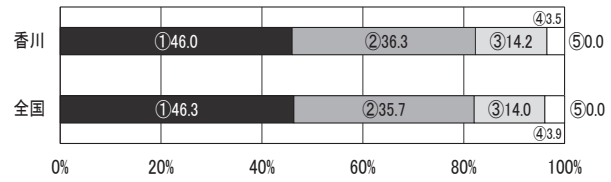
①+②の差

小▽1.3pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）】

【小学校】諦めずにいろいろな方法を考える

□ 52/* 算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

小▽0.3pt

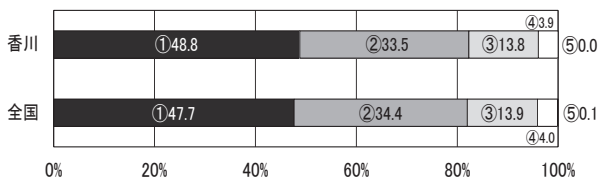
①+②の差

小○0.3pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）】

【小学校】簡単に解く方法がないか考える

□ 53/* 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

小○1.1pt

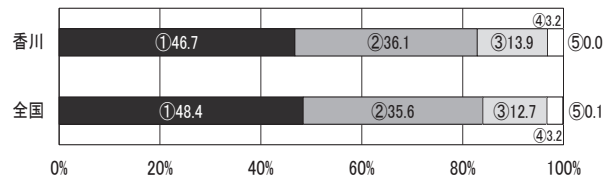
①+②の差

小○0.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）】

【小学校】公式やきまりのわけを理解する

□ 54/* 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

小▽1.7pt

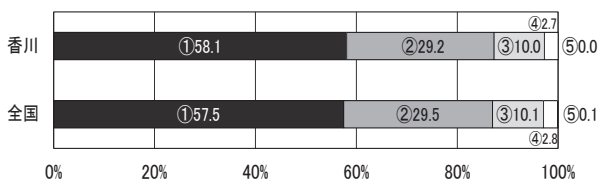
①+②の差

小▽1.2pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数）】

【小学校】解き方や考え方が分かるように書く

□ 55/* 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

小○0.6pt

①+②の差

小○0.3pt

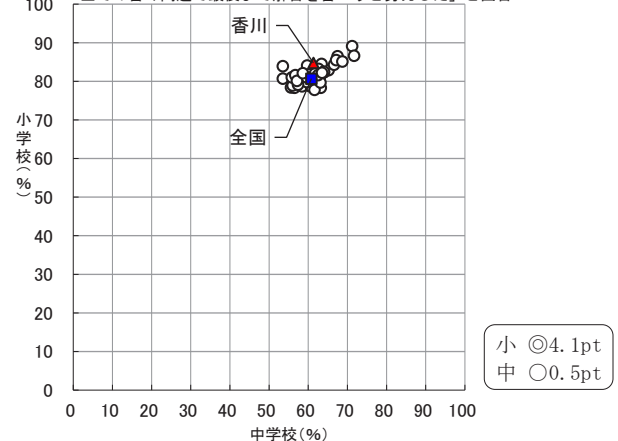
【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（算数・数学）】

（書く問題）最後まで解答を書こうと努力する

□ 56/53 【小学校】 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありました。どのように解答しましたか

【中学校】 今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って、説明する問題がありました。どのように解答しましたか

「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答



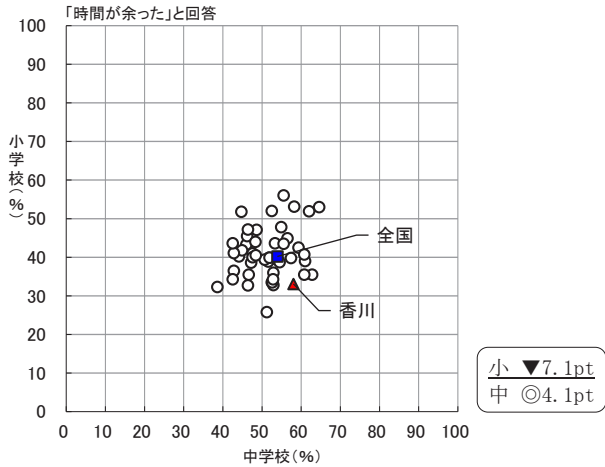
小 ◎4.1pt

中 ○0.5pt

【各教科の調査時間の適切性】

解答時間は十分だった（国語）

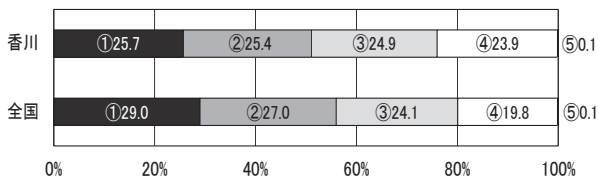
□ 57/67 解答時間は十分でしたか(国語)



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語の勉強は好き

□ */54 英語の勉強は好きですか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▼3.3pt

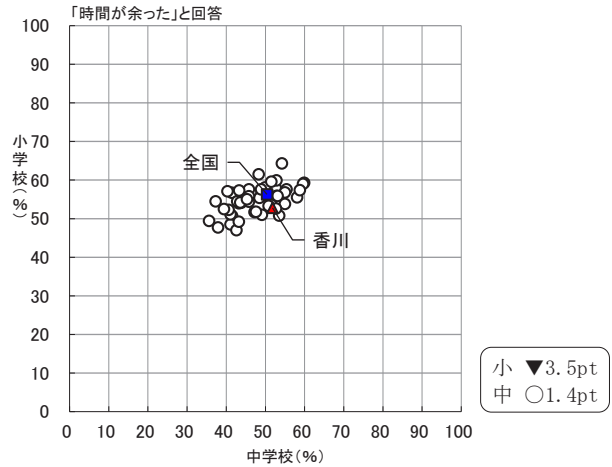
①+②の差

中▼4.9pt

【各教科の調査時間の適切性】

解答時間は十分だった（算数・数学）

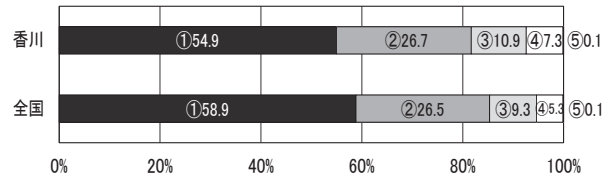
□ 58/68 解答時間は十分でしたか(算数・数学)



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語の勉強は大切

□ */55 英語の勉強は大切だと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▼4.0pt

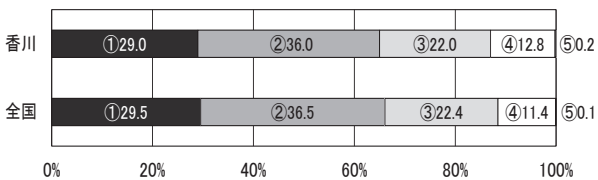
①+②の差

中▼3.8pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語の授業はよく分かる

□ */56 英語の授業はよく分かりますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▽0.5pt

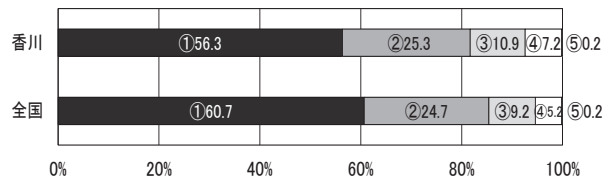
①+②の差

中▽1.0pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】将来、社会に出たときに役立つ

□ */57 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▼4.4pt

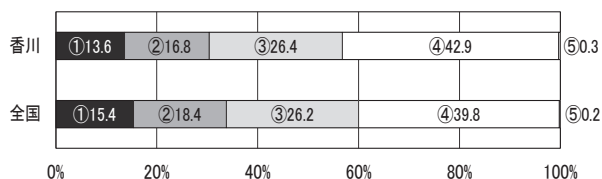
①+②の差

中▼3.8pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】日常的に英語を使う機会

□ */58 あなたはこれまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▽1.8pt

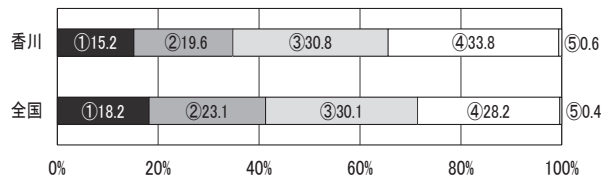
①+②の差

中▼3.4pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語を使うような生活や就職をしたい

□ */59 あなたは将来、積極的に英語を使うような生活をしったり職業に就いたりしたいと思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▼3.0pt

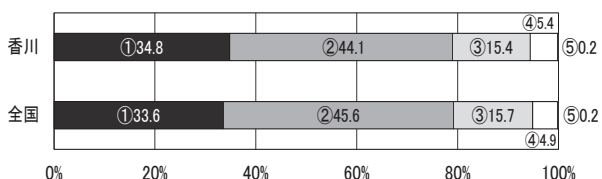
①+②の差

中▼6.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語を聞いて概要や要点をとらえる活動

□ */60 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中○1.2pt

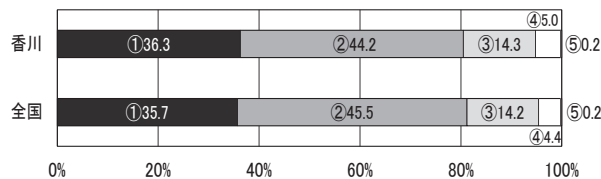
①+②の差

中▽0.3pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語を読んで概要や要点をとらえる活動

□ */61 1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中○0.6pt

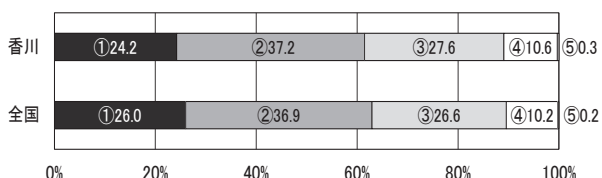
①+②の差

中▽0.7pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】即興で英語で伝え合う活動

□ */62 1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▽1.8pt

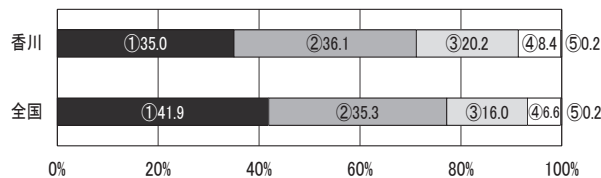
①+②の差

中▽1.5pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】まとまった内容を英語で発表する活動

□ */63 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか



① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▼6.9pt

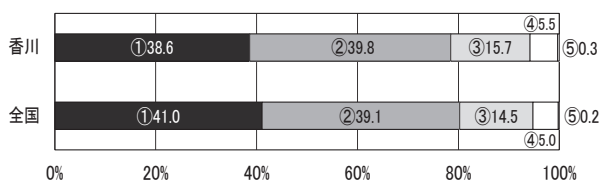
①+②の差

中▼6.1pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】自分の考えや気持ちを英語で書く活動

□ * /64 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▽2.4pt

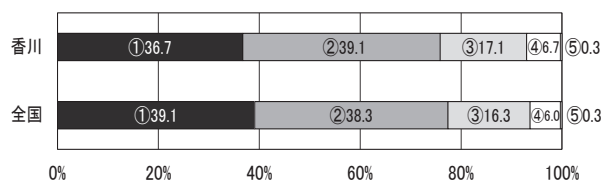
①+②の差

中▽1.7pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動

□ * /65 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▽2.4pt

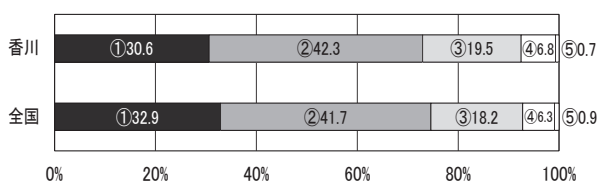
①+②の差

中▽1.6pt

【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（英語）】

【中学校】英語でまとめたり書いたりする活動

□ * /66 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか



- ① 当てはまる ② どちらかといえば、当てはまる
③ どちらかといえば、当てはまらない
④ 当てはまらない ⑤ その他・無回答

①の差

中▽2.3pt

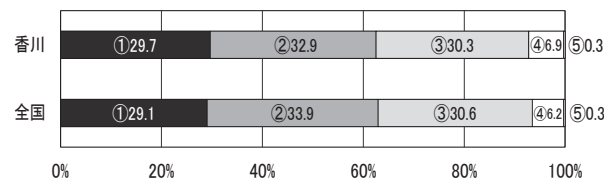
①+②の差

中▽1.7pt

【各教科の調査時間の適切性（英語）】

【中学校】解答時間は十分だった（英語）

□ * /69 解答時間は十分でしたか（英語）



- ① 時間が余った ② ちょうどよかった ③ やや足りなかった
④ 全く足りなかった ⑤ その他・無回答

①の差

中○0.6pt

①+②の差

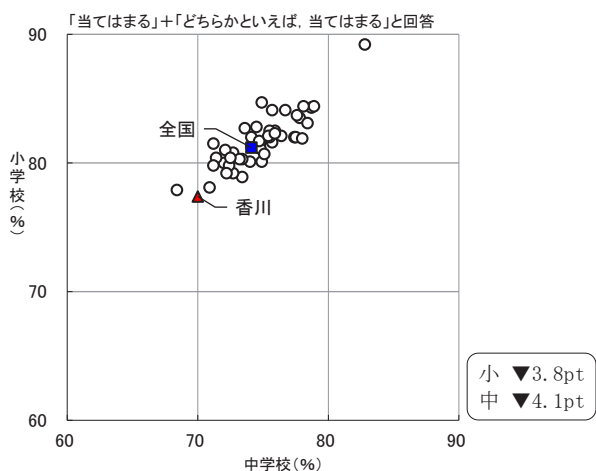
中▽0.4pt

児童生徒質問紙 回答結果グラフ【拡大図】

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

自分にはよいところがある

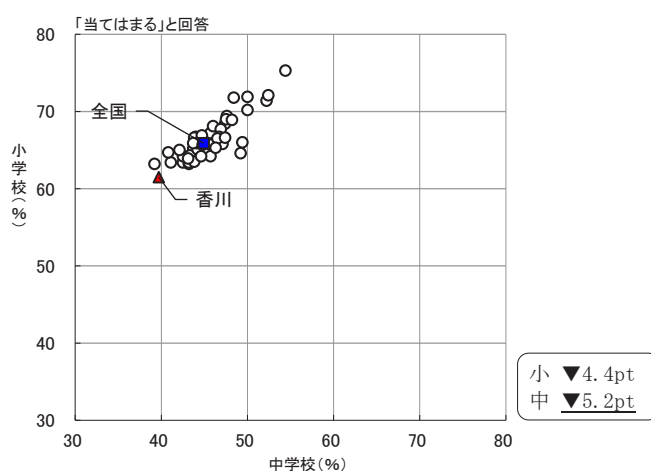
□ 5 /5 自分には、よいところがあると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

将来の夢や目標

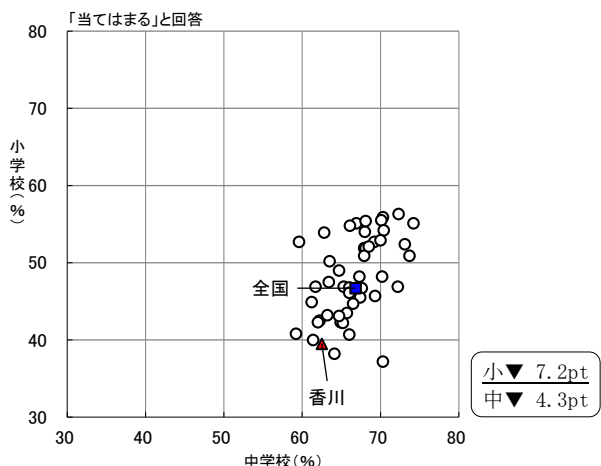
□ 8 /8 将来の夢や目標を持っていますか



【挑戦心，達成感，規範意識，自己有用感等】

学校のきまりを守っている

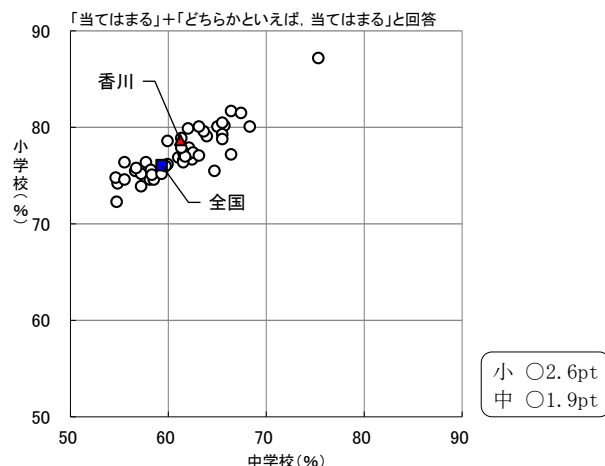
□ 13/13 学校のきまり(規則)を守っていますか



【地域や社会に関わる活動の状況等】

地域のことについて外国の人に知ってもらいたい

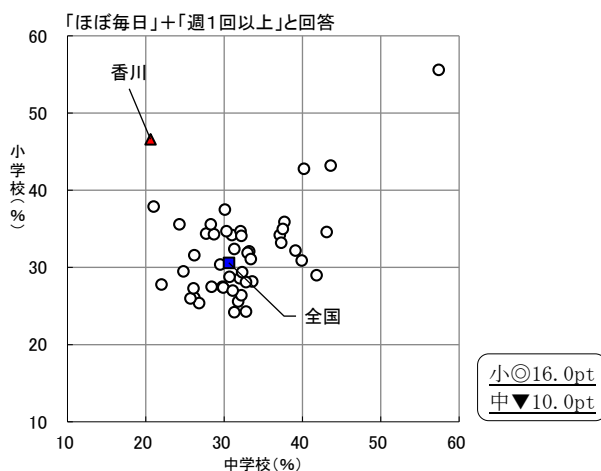
□ 26/26 日本やあなたが住んでいる地域のことについて，外国の人にもっと知ってもらいたいと思いますか



【ICTを活用した学習状況】

授業でのICTの活用頻度

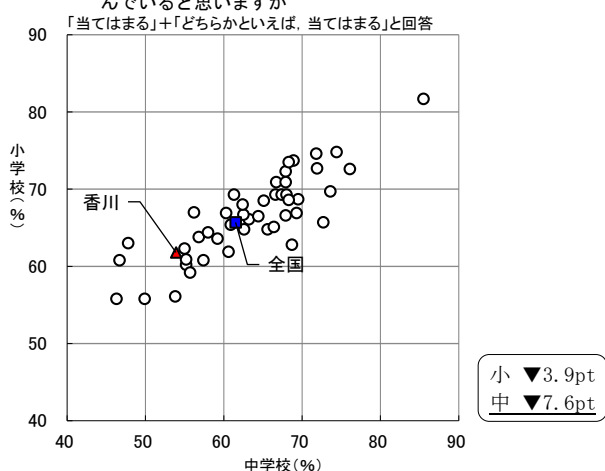
□ 27/30 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で，コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

探究的な学習への取組

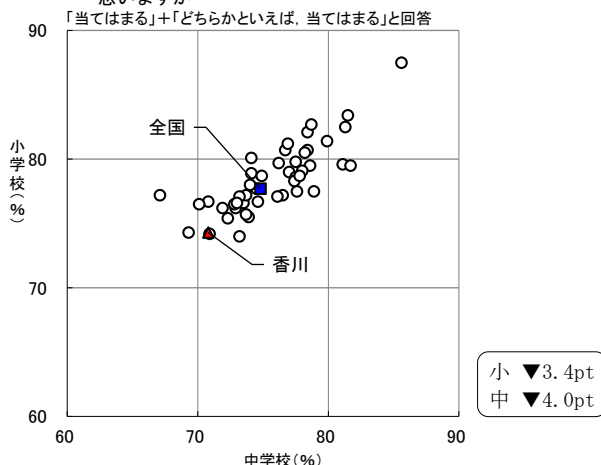
□ 31/34 総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

課題の解決に向けて，自ら考え，取り組む

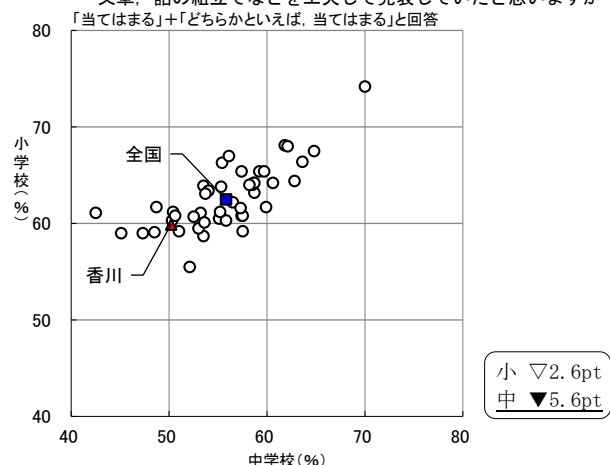
□ 35/37 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分の考えを発表する機会

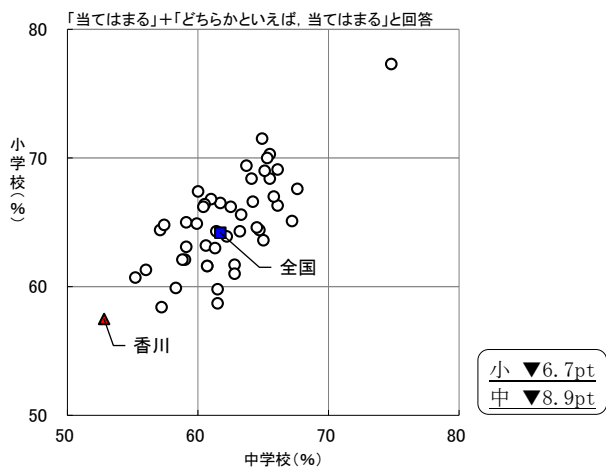
□ 36/38 5年生まで（1，2年生のとき）に受けた授業で，自分の考えを発表する機会では，自分の考えがうまく伝わるよう，資料や文章，話の組立てなどを工夫して発表していたと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は好き

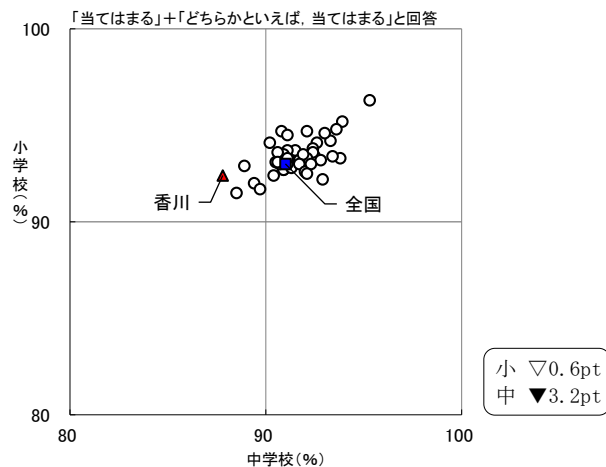
□ 37/40 国語の勉強は好きですか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の勉強は大切

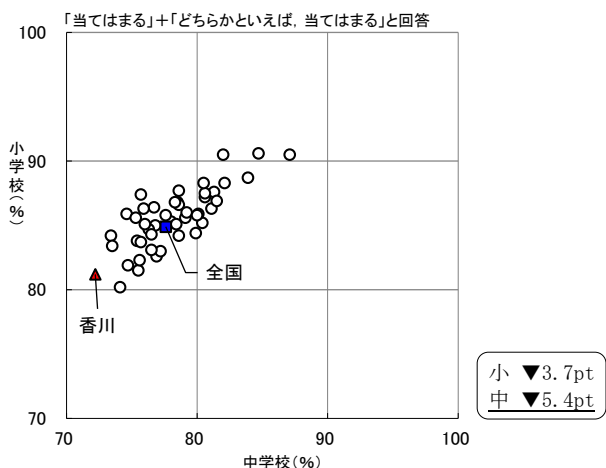
□ 38/41 国語の勉強は大切だと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

国語の授業の内容はよく分かる

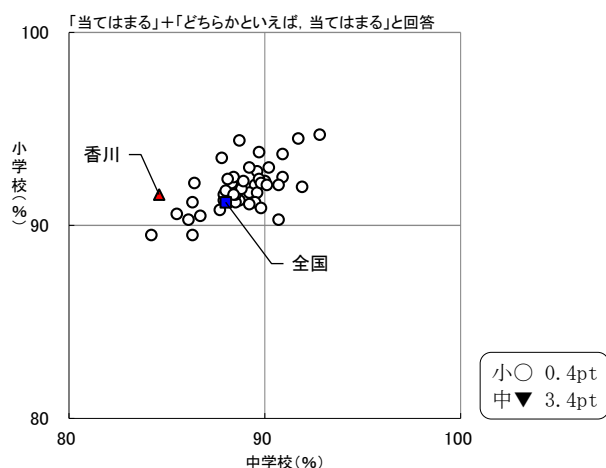
□ 39/42 国語の授業の内容はよく分かりますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

将来、社会に出たときに役に立つ

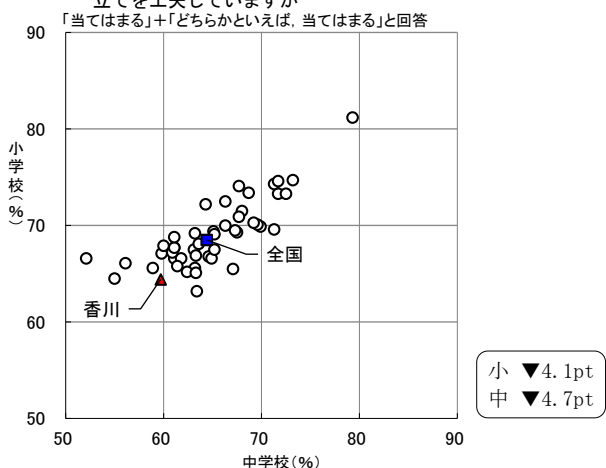
□ 40/43 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか



【学習に対する興味・関心や授業の理解度等（国語）】

文章や話の組み立てを工夫している

□ 43/46 国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝えるように理由（根拠）を示したりするなど、話や文章の組み立てを工夫していますか



一人一人の子どもに確かな学力を！ ～全教職員で～

「学びのときめき」をもたらす授業改善に資するため、平成 29 年 3 月に「さぬきの授業基礎・基本〔改訂版〕」を全教員に配布しています。

授業改善の取組みを、充実・発展させるため、目の前の子どもの学びに着目し、全教職員で組織的な取組みを進めましょう。

「学びのときめき」のある授業になっていますか？

子どもの実態に応じたきめ細かな指導を

学校全体や各学級の目の前の子どもの状況を把握し、子どもの実態に応じて、学んだ知識や技能を活用する学習活動の充実を図ったり、学習内容の理解をより深める学習活動を設定したりするなど、指導を工夫しましょう。



子どもの実態に応じた指導に向けて

- 目の前の子どもに着目し、どこでつまずいているか、どのようにつまずいているかを把握しましょう。
- 自校、各学級、目の前の子どもに重点的に指導すべきと考えられることがらを捉え、指導の改善・充実を図りましょう。

すべての教科において言語活動の充実を

各教科等の目標を実現する上で、言葉は重要な役割を果たすものです。発達段階に応じた適切な言語活動を通じて、全ての教科等の学習の基盤である言語能力の向上を目指しましょう。



言語活動の充実に向けて

- 課題の解決に向かう場面だけでなく、問題場面や状況を把握する段階においても、言語活動の充実に努めましょう。
- 教師の適切な支援により、子どもの考えを広げたり、深めたりするとともに、それを表現したり、修正したりする機会をもちましょう。

3 学校質問紙 調査結果一覧

質問番号					1段目：香川県（公立）の割合（％） 2段目：全国（公立）の割合（％）												その他※		1の差		
小		中		掲載P	H30番号	質問事項					選択肢（質問の選択項目は、P99を参照）									・無回答	
											1	2	3	4	5	6	7	8	9		
【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】																					
8	8	100	新	調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか	小	21.4	66.9	11.0	0.6										0.0	-4.7	
					中	26.1	65.0	8.6	0.2									0.1	-2.8		
					小	16.2	73.5	10.3	0.0									0.0	-6.1		
					中	22.3	67.0	10.3	0.3									0.1	0.4		
9	9	100	12	調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか	小	37.0	48.7	13.6	0.6									0.0	-1.8		
					中	38.8	48.9	11.5	0.9									0.1	-2.0		
					小	52.9	41.2	4.4	1.5									0.0	-0.3		
					中	53.2	40.9	5.5	0.3									0.0	0.0		
10	10	100	新	調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか	小	20.8	64.3	14.3	0.6									0.0	-8.1		
					中	28.9	58.9	11.7	0.4									0.1	-2.7		
					小	35.3	57.4	7.4	0.0									0.0	-5.3		
					中	40.6	52.9	6.2	0.2									0.1	-0.8		
11	11	100	23/22	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか	小	20.1	63.0	16.9	0.0									0.0	-0.7		
					中	20.8	62.4	16.2	0.5									0.1	-0.1		
					小	52.9	45.6	1.5	0.0									0.0	3.4		
					中	49.5	49.1	1.3	0.0									0.1	-0.1		
12	12	100	24/23	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか	小	50.6	44.8	4.5	0.0									0.0	0.2		
					中	50.4	46.2	3.2	0.1									0.1	-1.2		
					小	48.5	45.6	5.9	0.0									0.0	2.6		
					中	45.9	49.3	4.6	0.1									0.1	-1.1		
13	13	100	25/24	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか	小	52.6	42.2	5.2	0.0									0.0	-5.2		
					中	57.8	39.1	2.9	0.0									0.1	-2.1		
					小	63.2	35.3	1.5	0.0									0.0	-0.6		
					中	63.8	34.3	1.8	0.0									0.1	0.4		
14	14	101	30/29	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組をどの程度行いましたか	小	57.8	40.9	1.3	0.0									0.0	-2.0		
					中	59.8	39.0	1.2	0.0									0.1	-0.1		
					小	48.5	50.0	1.5	0.0									0.0	-6.6		
					中	55.1	43.5	1.3	0.0									0.1	-0.1		
【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】																					
15	15	101	16/15	指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか	小	31.2	61.7	7.1	0.0									0.0	-3.4		
					中	34.6	60.5	4.9	0.0									0.1	-2.2		
					小	22.1	66.2	11.8	0.0									0.0	-7.0		
					中	29.1	62.2	8.6	0.1									0.0	-3.0		
16	16	101	17/16	教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか	小	38.3	55.8	5.8	0.0									0.0	1.2		
					中	37.1	56.6	6.2	0.0									0.1	0.4		
					小	20.6	61.8	17.6	0.0									0.0	-10.6		
					中	31.2	56.9	11.7	0.2									0.0	-5.7		
17	17	101	18/17	児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか	小	40.3	54.5	5.2	0.0									0.0	3.0		
					中	37.3	58.1	4.6	0.0									0.1	-0.6		
					小	41.2	55.9	2.9	0.0									0.0	7.3		
					中	33.9	59.5	6.4	0.1									0.1	3.7		
18	18	101	19/18	指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか	小	51.3	44.2	4.5	0.0									0.0	4.4		
					中	46.9	49.5	3.5	0.0									0.1	-0.9		
					小	23.5	51.5	25.0	0.0									0.0	-5.9		
					中	29.4	57.5	12.8	0.3									0.0	-11.9		
19	19	101	81/78	言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか	小	37.0	55.8	7.1	0.0									0.0	-9.8		
					中	46.8	50.4	2.7	0.0									0.1	-4.4		
					小	27.9	69.1	2.9	0.0									0.0	-14.5		
					中	42.4	52.7	4.7	0.0									0.1	1.9		
20	20	102	33/32	全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか	小	48.1	50.6	1.3	0.0									0.0	5.2		
					中	42.9	52.4	2.1	2.5									0.0	3.4		
					小	38.2	58.8	2.9	0.0									0.0	2.6		
					中	35.6	58.1	3.8	2.4									0.1	3.3		
21	21	102	83/80	学校として業務改善に取り組んでいますか	小	41.6	53.9	4.5	0.0									0.0	-6.7		
					中	48.3	50.2	1.5	0.0									0.1	-3.0		
					小	51.5	47.1	1.5	0.0									0.0	4.1		
					中	47.4	50.4	2.0	0.1									0.1	0.8		
22	22	102	新	部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めていますか	小																
					中																
					小	26.5	54.4	16.2	2.9									0.0	-16.9		
					中	43.4	48.1	7.5	1.0									0.1	-10.6		
【教職員の資質能力の向上】																					
22	23	102	72/69	校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか	小	63.6	36.4	0.0	0.0									0.0	-6.5		
					中	70.1	29.2	0.7	0.0									0.1	0.7		
					小	60.3	39.7	0.0	0.0									0.0	-2.9		
					中	63.2	35.4	1.4	0.0									0.1	1.4		
23	24	102	73/70	学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか	小	53.2	39.0	7.1	0.6									0.0	-10.3		
					中	63.5	31.4	4.8	0.2									0.1	-2.7		
					小	51.5	30.9	17.6	0.0									0.0	1.4		
					中	50.1	41.3	8.1	0.4									0.0	-9.0		
24	25	102	74/71	授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか	小	76.6	23.4	0.0	0.0									0.0	1.4		
					中	75.2	24.1	0.5	0.0									0.1	0.7		
					小	55.9	44.1	0.0	0.0									0.0	-0.1		
					中	56.0	40.4	3.5	0.0									0.1	3.6		
25	26	103	75/72	教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか	小	53.2	43.5	3.2	0.0									0.0	-1.1		
					中	54.3	42.7	2.9	0.0									0.1	-0.3		
					小	47.1	47.1	5.9	0.0									0.0	-0.1		
					中	47.2	47.7	5.0	0.1									0.1	-0.7		

質問番号 小 中				掲載 P	H30番号	質問事項	選択肢 (質問の選択項目は、P99を参照)									その他※ ・無回答	1の差 1 + 2の差
							1	2	3	4	5	6	7	8	9		
【教職員の資質能力の向上】																	
26	27	103	76/73	個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか 教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか	小	53.9	42.9	3.2	0.0							0.0	20.4
						33.5	54.7	11.7	0.1						0.1	8.6	
					中	52.9	42.6	4.4	0.0						0.0	23.0	
						29.9	54.6	15.3	0.1						0.1	11.0	
27	28	103	78/75	教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか	小	27.9	68.8	3.2	0.0						0.0	-5.3	
						33.2	61.2	5.5	0.0						0.1	2.3	
					中	29.4	64.7	5.9	0.0						0.0	3.3	
						26.1	63.8	10.0	0.0						0.1	4.2	
28	29	103	79/76	学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っていますか	小	48.1	50.0	1.9	0.0						0.0	0.2	
						47.9	49.2	2.8	0.0						0.1	1.0	
					中	45.6	51.5	2.9	0.0						0.0	3.6	
						42.0	53.7	4.2	0.0						0.1	1.4	
29	30	103	80/77	学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか	小	33.1	59.7	6.5	0.6						0.0	-5.0	
						38.1	54.0	7.7	0.0						0.1	0.7	
					中	23.5	54.4	22.1	0.0						0.0	-4.0	
						27.5	56.9	15.4	0.2						0.1	-6.5	
30	31	104	82/79	学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか	小	57.8	40.3	1.9	0.0						0.0	-1.4	
						59.2	39.1	1.6	0.0						0.1	-0.2	
					中	57.4	41.2	1.5	0.0						0.0	6.0	
						51.4	45.5	3.0	0.0						0.0	1.7	
31	32	104	84/81	校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか	小	82.5	16.2	1.3	0.0						0.0	10.7	
						71.8	23.5	4.5	0.1						0.1	3.4	
					中	60.3	30.9	8.8	0.0						0.0	11.5	
						48.8	36.1	14.6	0.5						0.1	6.3	
【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】																	
32	33	104	13	調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか	小	11.7	77.9	9.7	0.6							0.0	-5.2
						16.9	68.6	14.1	0.2							0.1	4.1
					中	10.3	67.6	22.1	0.0							0.0	-4.2
						14.5	68.1	17.2	0.2							0.1	-4.7
33	34	104	新	調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか	小	21.4	62.3	16.2	0.0							0.0	-7.7
						29.1	60.2	10.5	0.1							0.2	-5.6
					中	22.1	61.8	16.2	0.0							0.0	-10.6
						32.7	56.4	10.6	0.1							0.1	-5.2
34	35	104	新	調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか	小	34.4	51.9	13.6	0.0							0.0	-5.8
						40.2	54.3	5.3	0.1							0.1	-8.2
					中	35.3	55.9	8.8	0.0							0.0	-1.5
						36.8	56.4	6.6	0.1							0.0	-2.0
35	36	104	新	調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っていますか	小	26.6	59.1	13.6	0.0							0.6	-8.3
						34.9	58.2	6.7	0.0							0.1	-7.4
					中	26.5	64.7	8.8	0.0							0.0	-4.6
						31.1	60.3	8.4	0.1							0.1	-0.2
36	39	105	新	調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしましたか	小	27.9	66.2	5.8	0.0							0.0	-12.3
						40.2	56.5	3.0	0.0							0.2	-2.6
					中	44.1	48.5	7.4	0.0							0.0	5.5
						38.6	54.0	7.1	0.0							0.2	0.0
37	37	105	22/21	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか	小	13.0	72.1	14.9	0.0							0.0	-9.2
						22.2	67.1	10.5	0.0							0.1	-4.2
					中	14.7	70.6	14.7	0.0							0.0	-6.1
						20.8	67.2	11.8	0.0							0.1	-2.7
38	38	105	26/25	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか	小	11.0	67.5	20.8	0.6							0.0	-7.1
						18.1	66.6	15.2	0.1							0.1	-6.2
					中	8.8	69.1	22.1	0.0							0.0	-5.7
						14.5	63.4	22.0	0.1							0.1	0.0
【国語科の指導方法】																	
39	40	105	H29 64	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	34.4	55.8	9.7	0.0							0.0	2.5
						31.9	57.1	10.6	0.3							0.1	1.2
					中	30.9	55.9	13.2	0.0							0.0	3.1
						27.8	61.1	10.7	0.3							0.1	-2.1
40	41	105	H29 65	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	2.6	40.3	56.5	0.0							0.6	-6.6
						9.2	53.2	36.9	0.6							0.1	-19.5
					中	8.8	51.5	38.2	1.5							0.0	-6.3
						15.1	59.5	25.0	0.3							0.1	-14.3
41	42	106	H29 66	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	小	25.3	65.6	9.1	0.0							0.0	-8.7
						34.0	60.1	5.7	0.0							0.1	-3.2
					中	22.1	61.8	14.7	1.5							0.0	-7.2
						29.3	59.7	10.7	0.1							0.1	-5.1
42	43	106	H29 67	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	小	28.6	62.3	9.1	0.0							0.0	-7.7
						36.3	56.5	7.0	0.0							0.1	-1.9
					中	27.9	66.2	5.9	0.0							0.0	-16.2
						44.1	51.2	4.5	0.0							0.1	-1.2
43	44	106	H29 68	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	小	20.1	64.3	15.6	0.0							0.0	-5.6
						25.7	62.5	11.7	0.0							0.1	-3.8
					中	23.5	61.8	14.7	0.0							0.0	-8.0
						31.5	58.4	9.9	0.1							0.1	-4.6
44	45	106	H29 69	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	小	51.9	46.1	1.9	0.0							0.0	-2.4
						54.3	44.0	1.6	0.0							0.1	-0.3
					中	67.6	30.9	1.5	0.0							0.0	6.4
						61.2	37.1	1.6	0.0							0.1	0.2

質問番号 小 中				掲載 P	H30番号	質問事項	選択肢（質問の選択項目は、P99を参照）									その他※ ・無回答	1の差 1+2の差
							1	2	3	4	5	6	7	8	9		
【算数・数学科の指導方法】																	
45	46	106	37/36	調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小	51.9	44.8	3.2	0.0							0.0	-1.8
						53.7	42.8	3.2	0.1						0.1	0.2	
					中	42.6	47.1	10.3	0.0						0.0	1.1	
						41.5	52.8	5.5	0.1						0.1	-4.6	
46	47	106	38/37	調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小	7.8	48.7	42.2	0.6						0.6	-9.1	
						16.9	55.9	26.7	0.4						0.1	-16.3	
					中	8.8	50.0	41.2	0.0						0.0	-10.3	
						19.1	57.4	23.1	0.3						0.1	-17.7	
47	48	107	39/38	調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	小	14.9	63.6	20.8	0.0						0.6	-1.6	
						16.5	65.9	17.4	0.1						0.2	-3.9	
					中	13.2	58.8	27.9	0.0						0.0	-2.0	
						15.2	62.9	21.6	0.1						0.1	-6.1	
48	49	107	40/39	調査対象学年の児童（生徒）に対する算数（数学）の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	小	56.5	41.6	1.9	0.0						0.0	-4.1	
						60.6	37.1	2.2	0.0						0.1	0.4	
					中	57.4	38.2	4.4	0.0						0.0	0.1	
						57.3	39.3	3.2	0.0						0.1	-1.0	
【英語科の指導方法】																	
	50	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	小												
					中	36.8	55.9	7.4	0.0							0.0	3.4
						33.4	58.1	8.2	0.2							0.1	1.2
	51	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	小												
					中	8.8	58.8	32.4	0.0							0.0	-9.4
						18.2	57.2	23.9	0.6							0.1	-7.8
	52	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	小												
					中	23.5	54.4	22.1	0.0							0.0	-6.7
						30.2	57.0	12.3	0.3							0.2	-9.3
	53	107	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	小												
					中	25.0	58.8	16.2	0.0							0.0	-7.9
						32.9	58.0	8.9	0.1							0.1	-7.1
	54	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	小												
					中	7.4	45.6	44.1	2.9							0.0	-10.7
						18.1	47.0	32.9	1.8							0.2	-12.1
	55	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	小												
					中	19.1	47.1	33.8	0.0							0.0	-8.5
						27.6	53.2	18.2	0.9							0.2	-14.6
	56	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行いましたか	小												
					中	19.1	64.7	16.2	0.0							0.0	-9.6
						28.7	58.9	12.0	0.2							0.1	-3.8
	57	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	小												
					中	13.2	48.5	35.3	2.9							0.0	-4.4
						17.6	44.8	34.2	3.2							0.1	-0.7
	58	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	小												
					中	8.8	44.1	42.6	4.4							0.0	-4.3
						13.1	50.4	33.6	2.8							0.1	-10.6
	59	108	新	調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか	小												
					中	17.6	61.8	20.6	0.0							0.0	-8.9
						26.5	59.5	13.7	0.2							0.1	-6.6
	60	109	新	前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか	小												
					中	30.9	25.0	33.8	10.3							0.0	18.0
						12.9	35.4	40.0	11.7							0.1	7.6
	61	109	新	年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT（外国語指導助手）を活用した授業を行いましたか	小												
					中	4.4	25.0	42.6	22.1	4.4	1.5					0.0	-4.1
						8.5	29.8	42.7	14.9	2.6	1.4					0.1	-8.9
	62	109	新	英語担当教師とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いませんか	小												
					中	50.0	44.1	5.9	0.0							0.0	-0.6
						50.6	42.8	5.2	1.0							0.3	0.7
【ICTを活用した学習状況】																	
49	63	109	28/27	調査対象学年の児童生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置（プロジェクター、電子黒板など）などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか	小	41.6	44.2	13.6	0.6							0.0	4.5
						37.1	43.7	14.6	4.4							0.1	5.0
					中	30.9	39.7	16.2	13.2							0.0	-12.4
						43.3	37.5	12.9	6.2							0.1	-10.2
【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】																	
50	64	109	52/50	学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫（板書や説明の仕方、教材の工夫など）を行いましたか	小	35.1	57.8	7.1	0.0							0.0	-5.0
						40.1	55.0	4.7	0.2							0.1	-2.2
					中	48.5	51.5	0.0	0.0							0.0	9.7
						38.8	53.8	6.8	0.4							0.2	7.7

質問番号		掲載P	H30番号	質問事項		選択肢（質問の選択項目は、P99を参照）									その他※ ・無回答	1の差
小	中					1	2	3	4	5	6	7	8	9		1 + 2の差
【小学校教育と中学校教育の連携】																
51	65	109	21/20	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか	小	13.6	44.2	36.4	5.8						0.0	-9.2
						22.8	42.2	29.6	5.4						0.1	-7.2
					中	17.6	39.7	33.8	8.8						0.0	-8.5
						26.1	41.9	26.4	5.5						0.1	-10.7
52	66	110	77/74	前年度までに、近隣等の中学校（小学校）と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか	小	17.5	45.5	27.9	9.1					0.0	-11.3	
						28.8	41.8	22.5	6.9					0.1	-7.6	
					中	26.5	38.2	27.9	7.4					0.0	-7.8	
						34.3	41.9	18.1	5.8					0.1	-11.5	
53	67	110	34/33	平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校（小学校）と成果や課題を共有しましたか	小	5.2	39.0	43.5	12.3					0.0	-14.4	
						19.6	41.0	31.1	8.2					0.1	-16.4	
					中	14.7	42.6	27.9	14.7					0.0	-6.0	
						20.7	39.3	30.9	9.1					0.1	-2.7	
【家庭や地域との連携等】																
54	68	110	59/56	職場見学や職場体験活動を行っていますか	小	48.7	51.3							0.0	-8.6	
						57.3	42.6							0.1	0.1	
					中	100.0	0.0							0.0	1.0	
						99.0	0.9							0.1	0.1	
55	69	110	20/19	教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか	小	20.1	70.8	9.1	0.0					0.0	-8.0	
						28.1	61.5	10.1	0.2					0.1	1.3	
					中	20.6	63.2	16.2	0.0					0.0	-4.7	
						25.3	61.1	13.2	0.3					0.1	-2.6	
56	70	110	60/57	保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか	小	61.7	35.7	2.6	0.0					0.0	-2.9	
						64.6	33.2	2.0	0.1					0.1	-0.4	
					中	38.2	51.5	10.3	0.0					0.0	0.0	
						38.2	52.2	9.0	0.5					0.1	-0.7	
57	71	110	61/58	地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、（56/70）の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか	小	35.7	42.9	15.6	5.8					0.0	-3.4	
						39.1	40.1	14.6	6.2					0.1	-0.6	
					中	25.0	38.2	25.0	11.8					0.0	0.3	
						24.7	42.8	23.5	8.9					0.1	-4.3	
58	72	111	62/59	（56/70）の質問にあるような、保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか	小	46.8	49.4	1.9	0.0	1.9				0.0	-1.2	
						48.0	47.6	2.3	0.2	1.7				0.1	0.6	
					中	32.4	64.7	2.9	0.0	0.0				0.0	-1.7	
						34.1	57.4	4.3	0.4	3.7				0.1	5.6	
【家庭学習】																
59	73	111	64/61	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか（教科共通）	小	44.8	49.4	5.2	0.0					0.6	-2.2	
						47.0	45.2	7.5	0.2					0.1	2.0	
					中	29.4	58.8	11.8	0.0					0.0	-7.5	
						36.9	50.1	12.5	0.4					0.1	1.2	
60	74	111	66/63	調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにしていますか（教科共通）	小	45.5	50.6	3.9	0.0					0.0	-4.4	
						49.9	45.6	4.4	0.0					0.1	0.6	
					中	35.3	58.8	5.9	0.0					0.0	-3.6	
						38.9	53.4	7.5	0.1					0.1	1.8	
61	75	111	H29 90/88	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小	70.1	29.2	0.6	0.0					0.0	-8.3	
						78.4	20.9	0.6	0.0					0.1	0.0	
					中	58.8	38.2	2.9	0.0					0.0	13.6	
						45.2	44.5	9.9	0.3					0.1	7.3	
62	76	111	H29 91/89	調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、児童生徒が行った家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導を行いましたか	小	59.7	35.1	4.5	0.0					0.6	-0.5	
						60.2	36.5	3.2	0.1					0.1	-1.9	
					中	52.9	42.6	4.4	0.0					0.0	3.2	
						49.7	43.3	6.5	0.4					0.1	2.5	
77	111	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題（宿題）を与えましたか	小											
					中	72.1	26.5	1.5	0.0					0.0	16.2	
						55.9	38.6	5.3	0.1					0.1	4.1	
78	112	新	新	調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、生徒が行った家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導を行いましたか	小											
					中	69.1	27.9	2.9	0.0					0.0	16.1	
						53.0	41.7	5.1	0.2					0.1	2.3	
【全国学力・学習状況調査等の活用】																
63	79	112	31/30	平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか	小	47.4	51.3	1.3						0.0	4.9	
						42.5	54.8	2.6						0.1	1.4	
					中	33.8	61.8	4.4						0.0	-0.7	
						34.5	61.2	4.2						0.1	-0.1	
64	80	112	32/31	平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）	小	24.0	66.2	9.1						0.6	-12.9	
						36.9	54.3	8.7						0.1	-1.0	
					中	14.7	75.0	10.3						0.0	-18.8	
						33.5	54.0	12.4						0.1	2.2	

※【その他】とは、『選択肢以外の回答や複数回答』されたものである。

学校質問紙 選択肢一覧

※質問番号の 数/数は、(小学校の番号) / (中学校の番号) を示す。

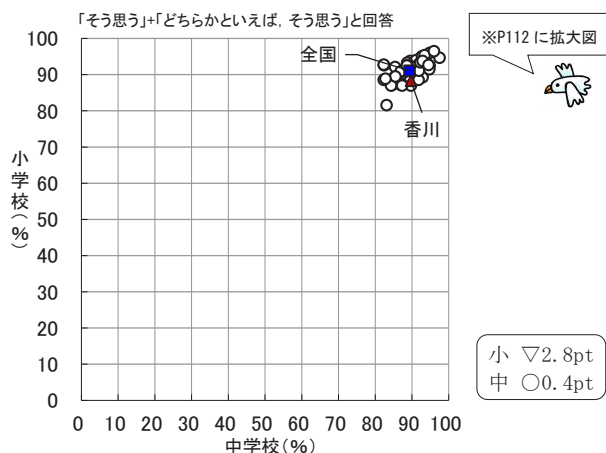
質問番号	選 択 肢
8～10, 32/33, */62	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない
11～14, 37～38, */39, 39/40～48/49, */50～*/60, 50/64～53/67, 57/71, 59/73～62/76, */77～*/78	1 よく行った 2 どちらかといえば、行った 3 あまり行っていない 4 全く行っていない
15～19, 21, */22, 22/23～30/31, 33/34～35/36, 36/*, 55/69	1 よくしている 2 どちらかといえば、している 3 あまりしていない 4 全くしていない
20	1 よく行っている 2 どちらかといえば、行っている 3 ほとんど行っていない 4 地方公共団体における独自の学力調査を実施していない
31/32	1 ほぼ毎日 2 週2～3日程度 3 月に数日程度 4 ほとんど行っていない
*/61	1 ほぼ毎日 2 週数回以上 3 週に1回程度 4 月に1回程度 5 年に数回程度 6 A L Tが参加した授業はない
49/63	1 ほぼ毎日 2 週1回以上 3 月1回以上 4 月1回未満
54/68	1 行っている 2 行っていない
56/70	1 よく参加している 2 参加している 3 あまり参加していない 4 全く参加していない
58/72	1 そう思う 2 どちらかといえば、そう思う 3 どちらかといえば、そう思わない 4 そう思わない 5 取組を行っていない
63/79, 64/80	1 よく行った 2 行った 3 ほとんど行っていない

4 学校質問紙 回答結果グラフ

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

熱意をもって勉強している

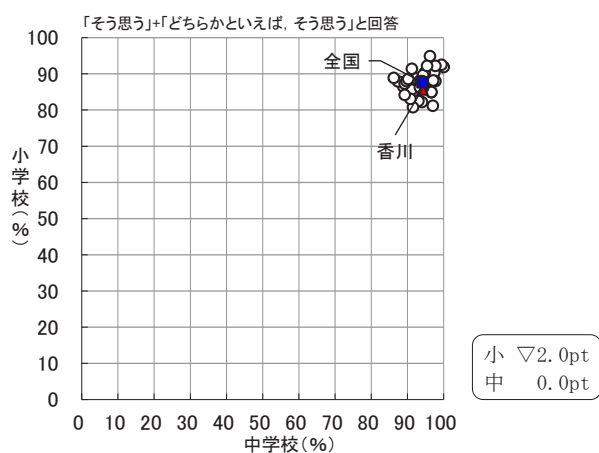
- 8/8 調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

授業中の私語が少なく、落ち着いている

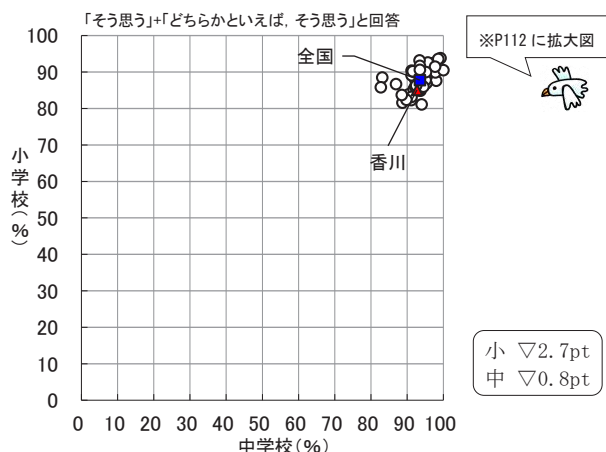
- 9/9 調査対象学年の児童生徒は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

礼儀正しい

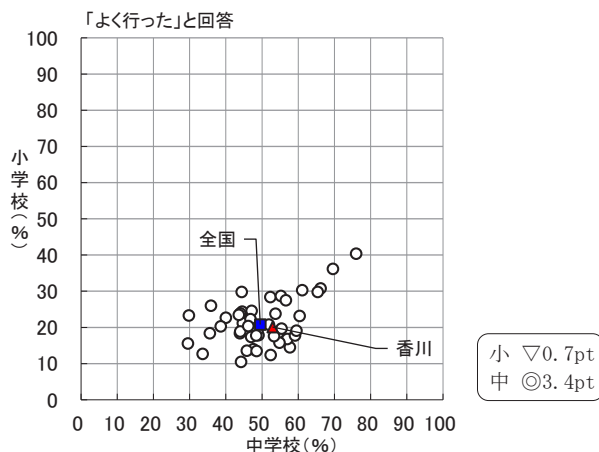
- 10/10 調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

将来の仕事や夢について考えさせる指導

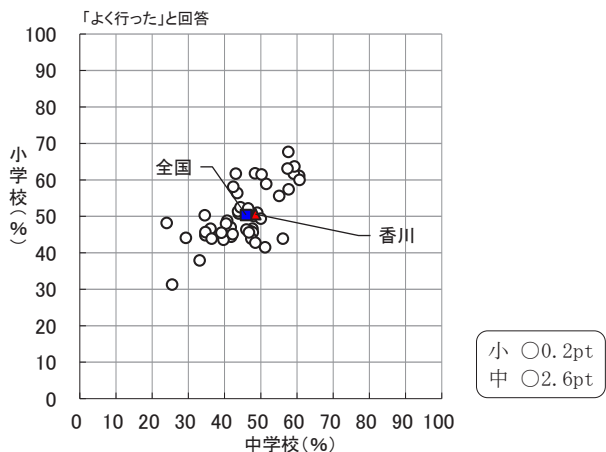
- 11/11 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、将来就きたい仕事や夢について考えさせる指導をしましたか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

学級全員で挑戦する課題

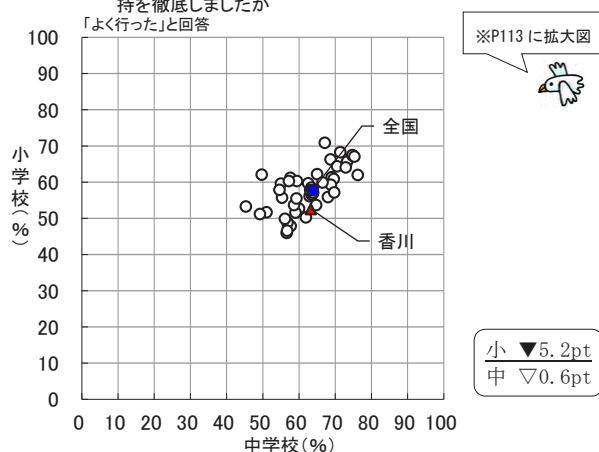
- 12/12 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたが



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

学習規律の維持

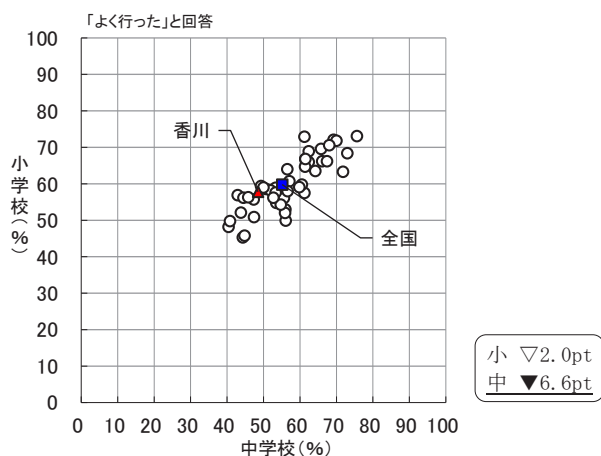
- 13/13 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなどの)維持を徹底しましたか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

よい点や可能性への積極的な評価

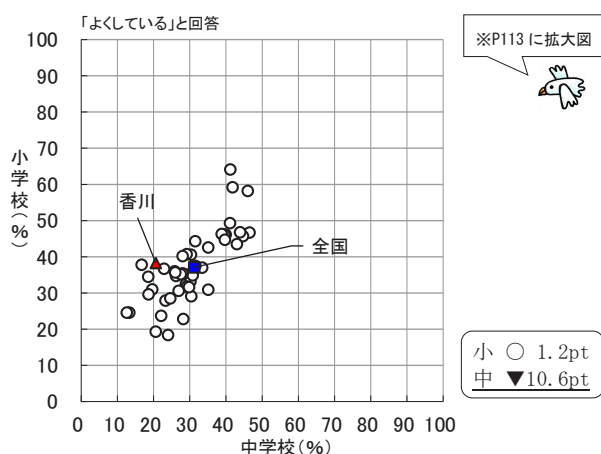
- 14/14 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童生徒一人一人のよい点や可能性を見付け評価する(褒めるなど)取組をどの程度行いましたか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

各教科等の教育目標や内容の相互評価が分かる教育課程表

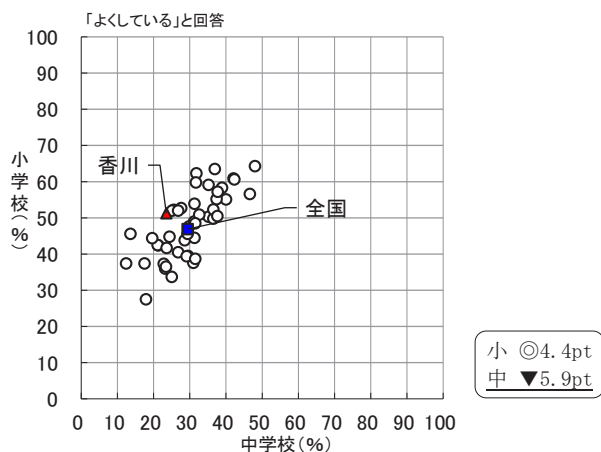
- 16/16 教育課程表(全体計画や年間指導計画等)について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

人的・物的資源等の活用

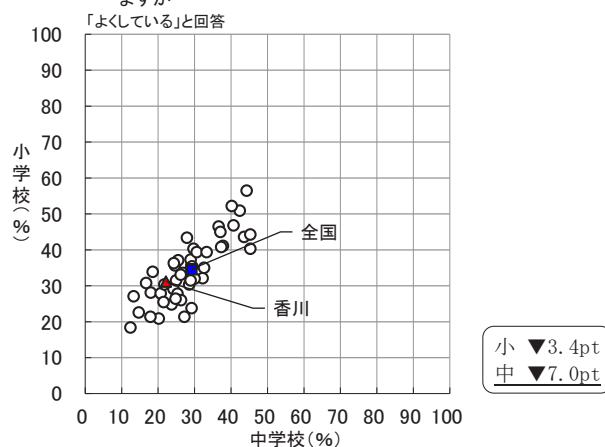
- 18/18 指導計画の作成に当たっては、教育内容と、教育活動に必要な人的・物的資源等を、地域等の外部の資源を含めて活用しながら効果的に組み合わせていますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

横断的な視点で内容を組織的に配列した指導計画

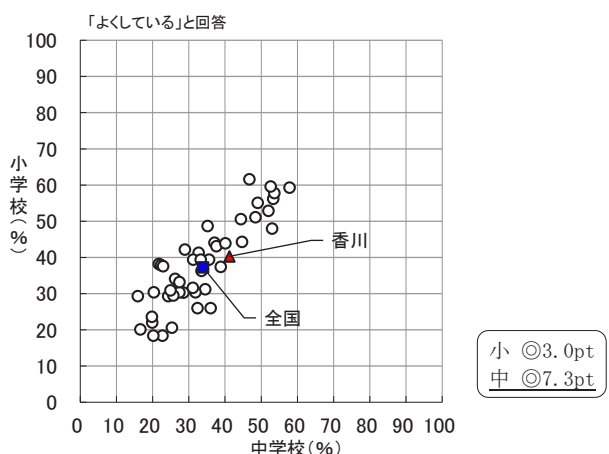
- 15/15 指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標の達成に必要な教育の内容を組織的に配列していますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

PDCA サイクルの確立

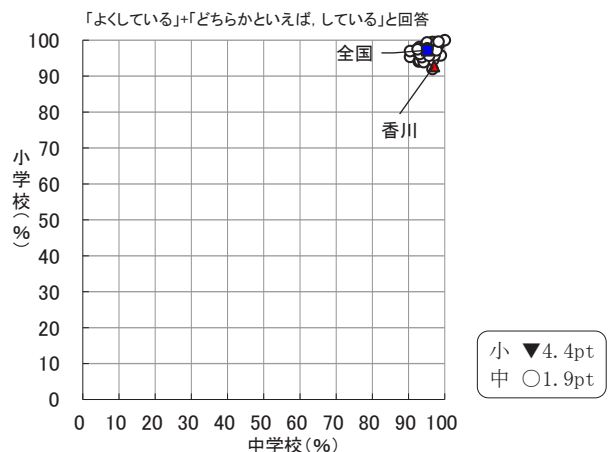
- 17/17 児童生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

学校全体としての言語活動の取組

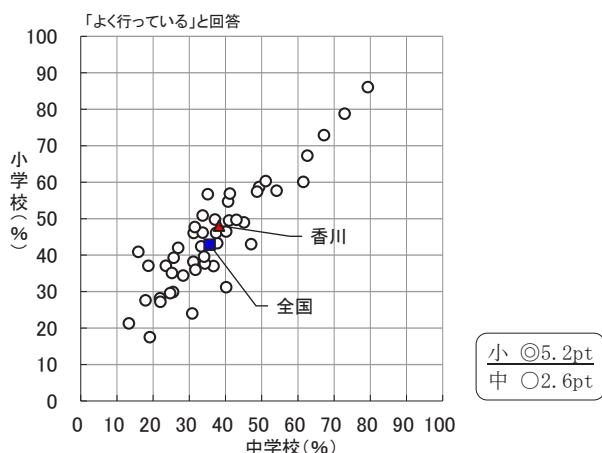
- 19/19 言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか(小学校)
言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいますか(中学校)



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

具体的な教育指導の改善や指導計画への反映

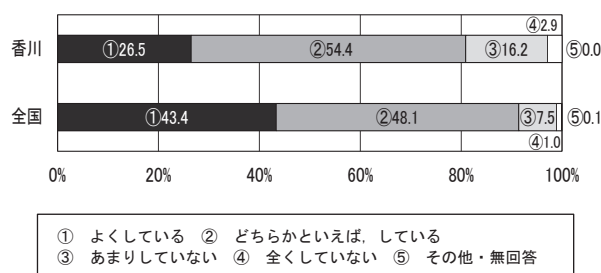
- 20/20 全国学力・学習状況調査の結果を地方公共団体における独自の学力調査の結果と併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っていますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

【中学校】部活動における保護者や地域との連携

- */22 部活動のあり方について、保護者や地域と連携して見直しを進めていますか



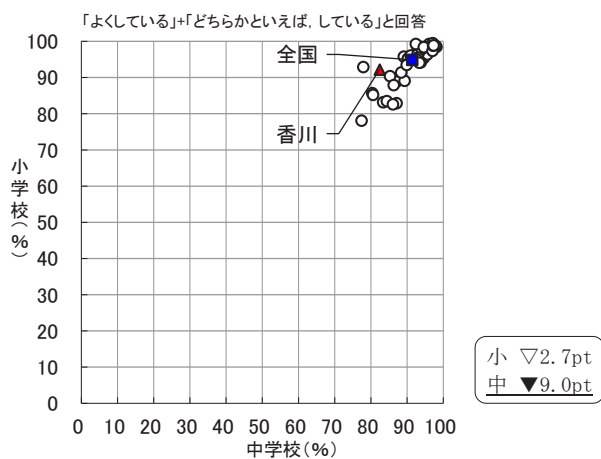
①の差
中 ▼16.9pt

①+②の差
中 ▼10.6pt

【教職員の資質能力の向上】

テーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修

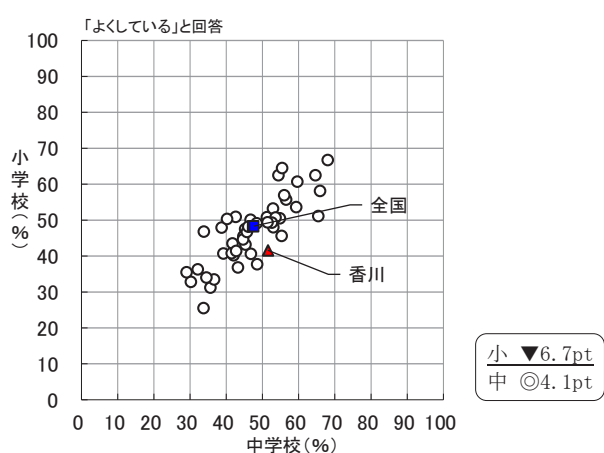
- 23/24 学校でテーマを決め、講師を招聘するなどの校内研修を行っていますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

学校全体としての業務改善の取組

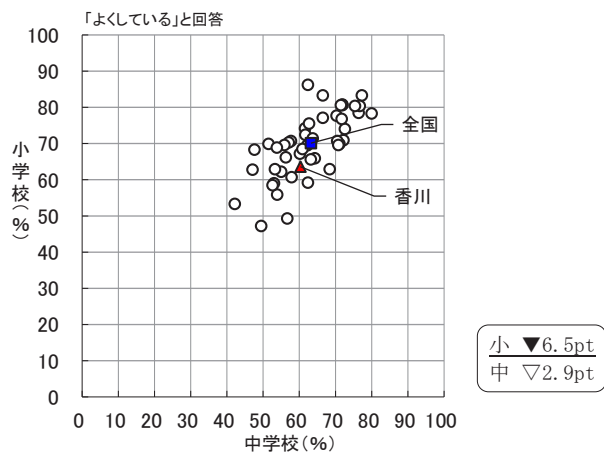
- 21/21 学校として業務改善に取り組んでいますか



【教職員の資質能力の向上】

組織的・継続的な研修

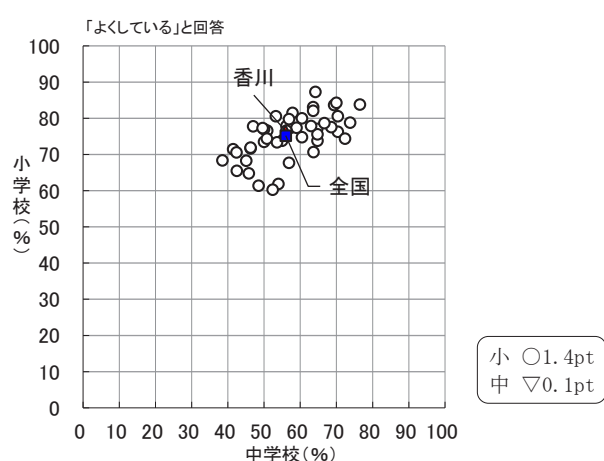
- 22/23 校長のリーダーシップのもと、研修リーダー等を校内に設け、校内研修の実施計画を整備するなど、組織的、継続的な研修を行っていますか



【教職員の資質能力の向上】

実践的な研修

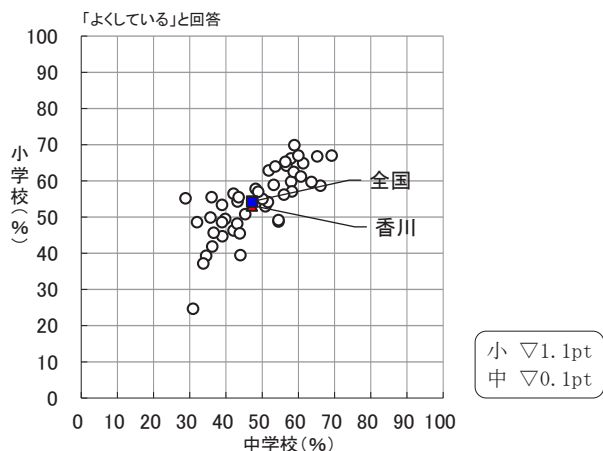
- 24/25 授業研究や事例研究など、実践的な研修を行っていますか



【教職員の資質能力の向上】

学校外での研修の機会

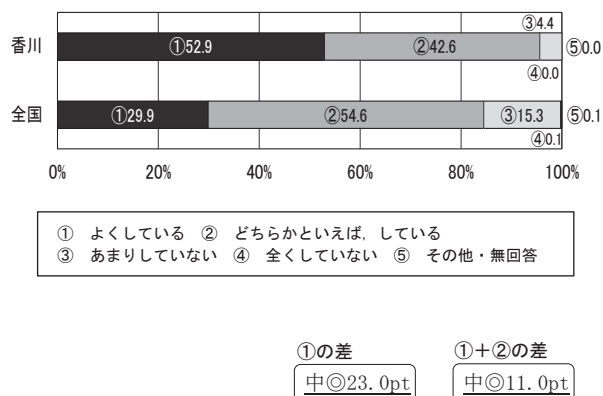
- 25/26 教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか



【教職員の資質能力の向上】

【中学校】教科教育に関する研究会等に参加

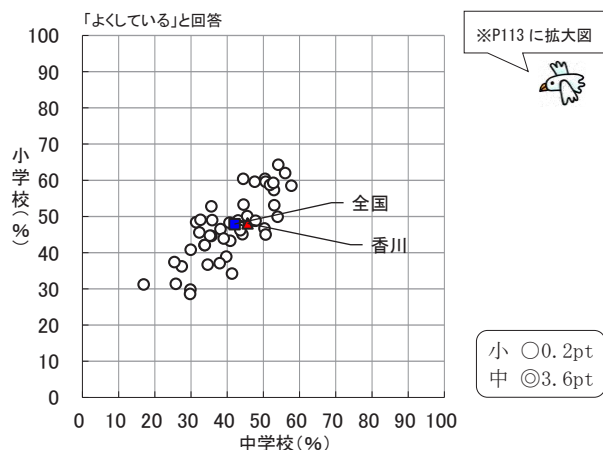
- */27 教員は、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか



【教職員の資質能力の向上】

指導計画作成にあたっての協力

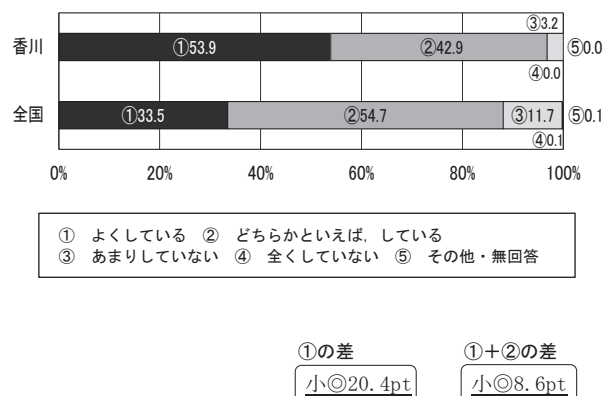
- 28/29 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力合っていますか



【教職員の資質能力の向上】

【小学校】教科教育に関する研究会等に参加

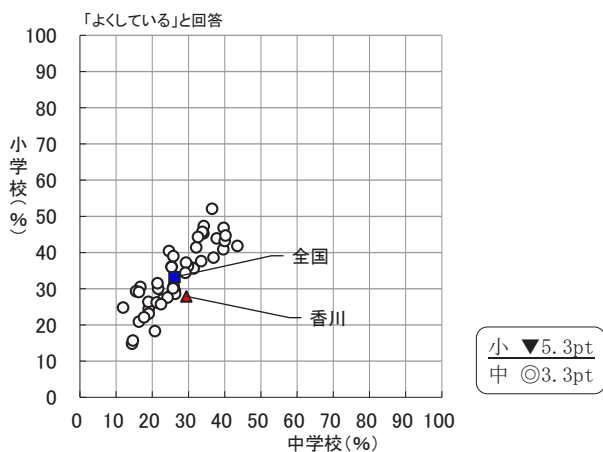
- 26/* 個々の教員が、自らの専門性を高めていこうとしている教科・領域等を決めており、校外の教科教育に関する研究会等に定期的・継続的に参加していますか



【教職員の資質能力の向上】

研修成果の反映

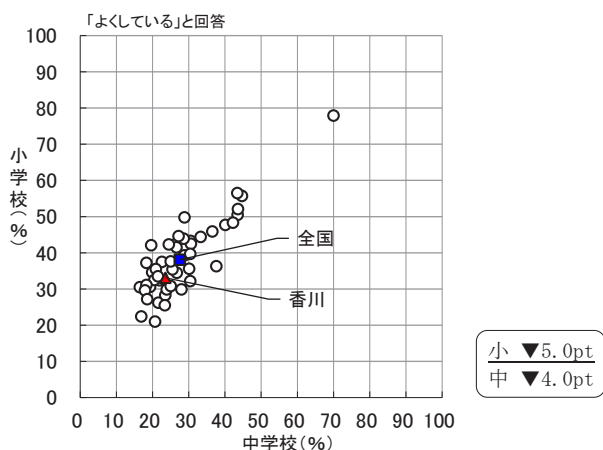
- 27/28 教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか



【教職員の資質能力の向上】

言語活動の実施状況や課題の検討

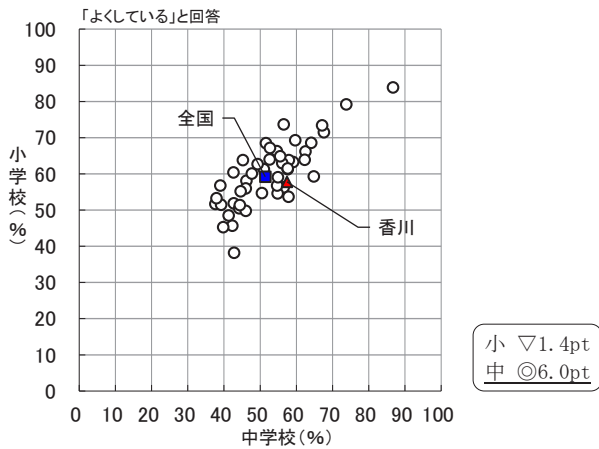
- 29/30 学校全体の言語活動の実施状況や課題について、全教職員の間で話し合ったり、検討したりしていますか



【教職員の資質能力の向上】

学級運営の状況や課題への組織的な取組

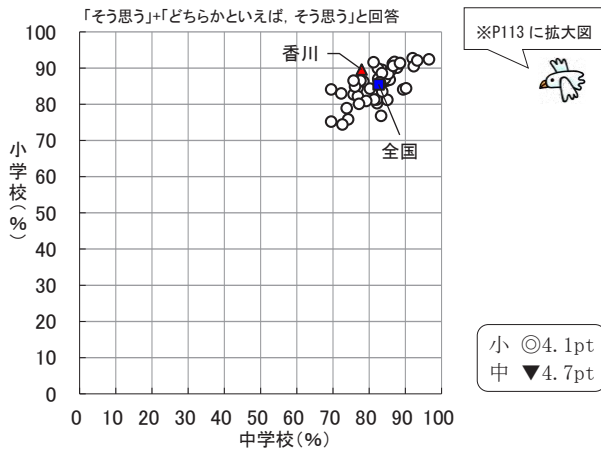
- 30/31 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組むことができる

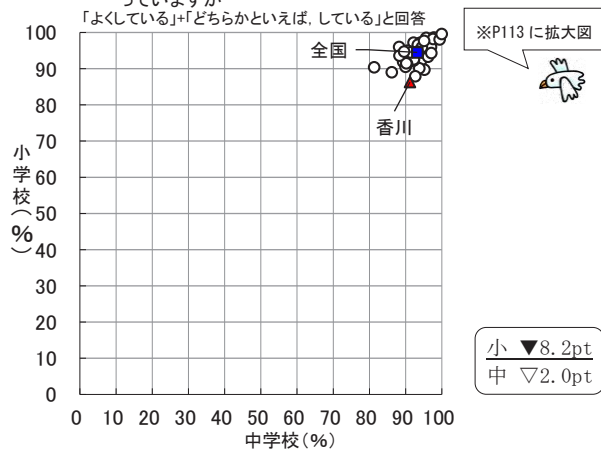
- 32/33 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると認めますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において合意形成できるような指導

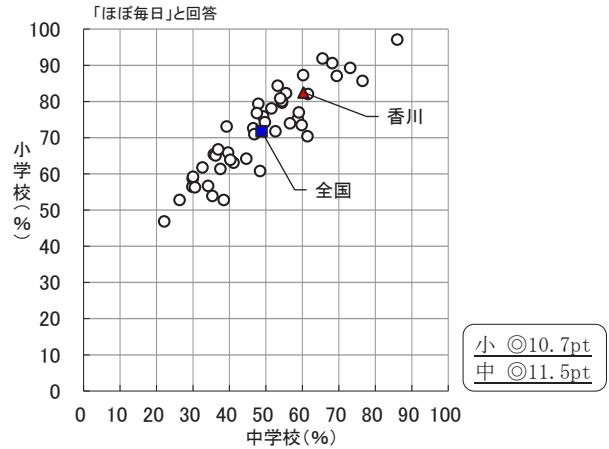
- 34/35 調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会(学級活動)で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか



【教職員の資質能力の向上】

校長による授業参観

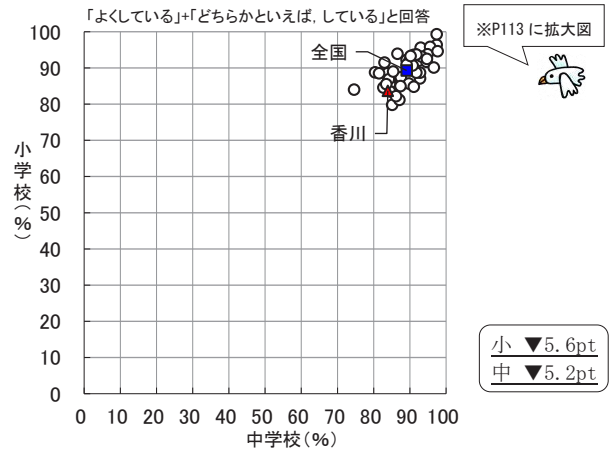
- 31/32 校長は、校内の授業をどの程度見て回っていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

総合的な学習の時間の指導

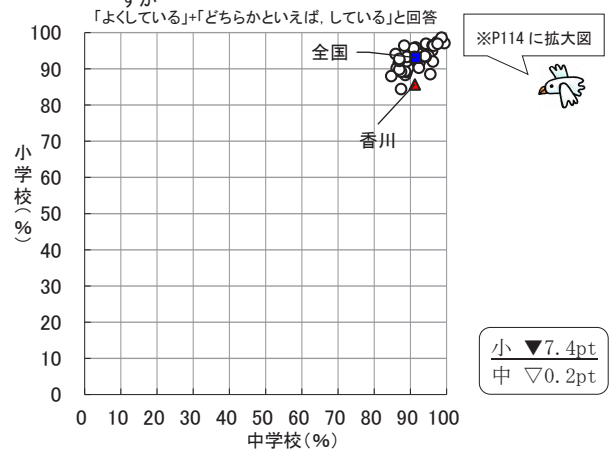
- 33/34 調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において意思決定できるような指導

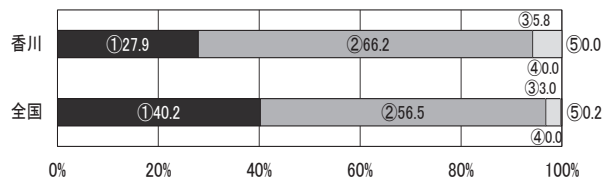
- 35/36 調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童生徒が意思決定できるような指導を行っていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

【小学校】特別の教科 道徳における考え、話し合う指導

- 36/* 調査対象学年の児童に対して、特別の教科 道徳において、児童自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしていますか



① よくしている ② どちらかといえば、している
③ あまりしていない ④ 全くしていない ⑤ その他・無回答

①の差

小▼12.3pt

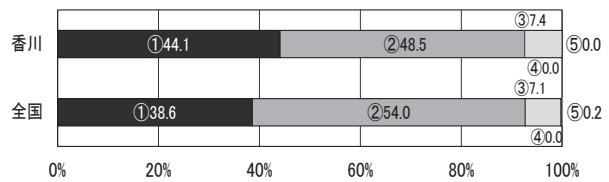
①+②の差

小▽2.6pt

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

【中学校】道徳の時間における考え、話し合う指導

- */39 調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが自分自身の問題として捉え、考え、話し合うような指導の工夫をしましたか



① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中◎5.5pt

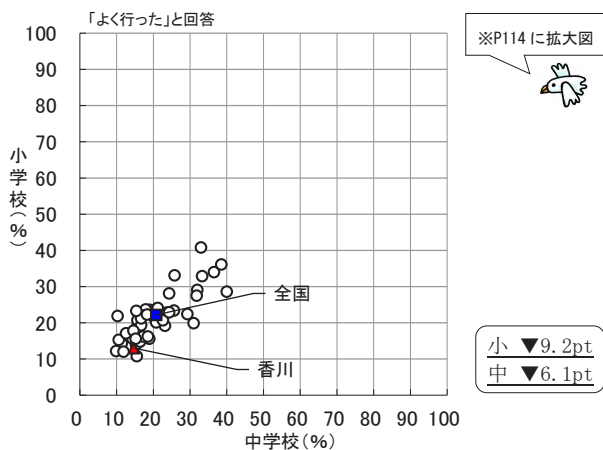
①+②の差

中 0.0pt

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

習得・活用・探究を見通した指導方法の改善及び工夫

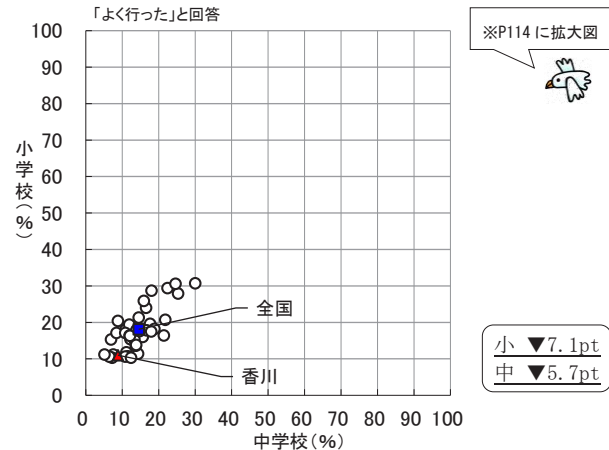
- 37/37 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会

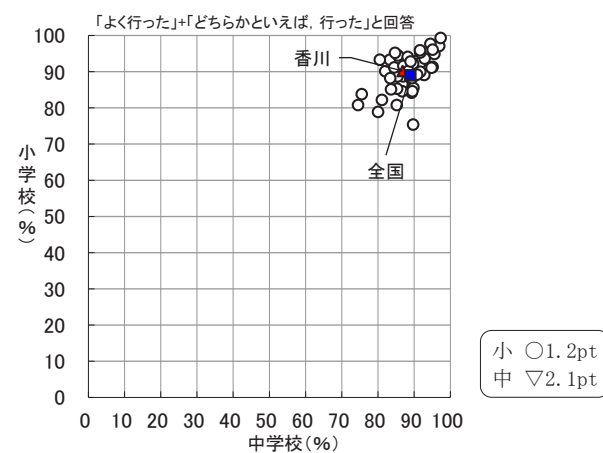
- 38/38 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【国語科の指導方法】

補足的な学習の指導

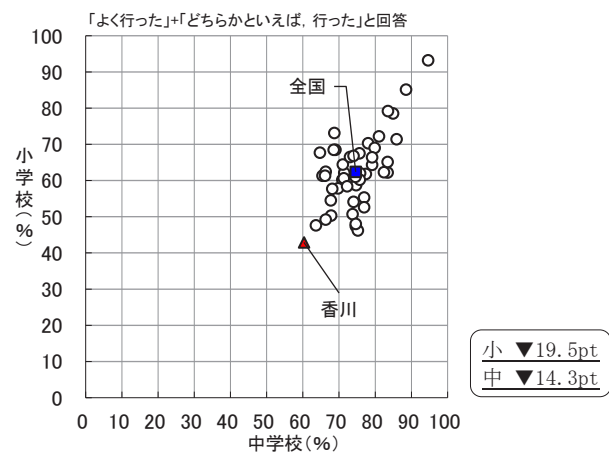
- 39/40 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、補足的な学習の指導を行いましたか



【国語科の指導方法】

発展的な学習の指導

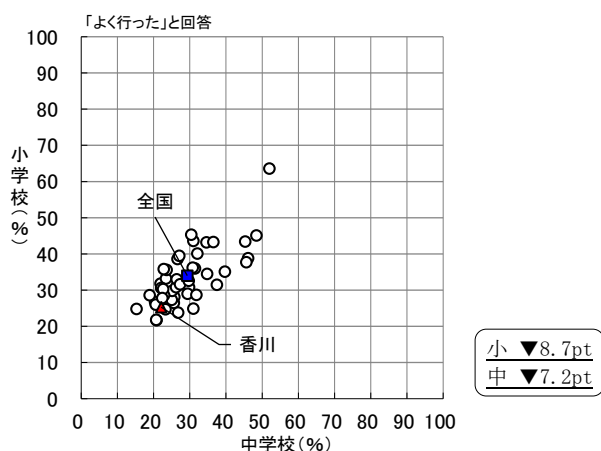
- 40/41 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



【国語科の指導方法】

目的に応じて話したり聞いたりする授業

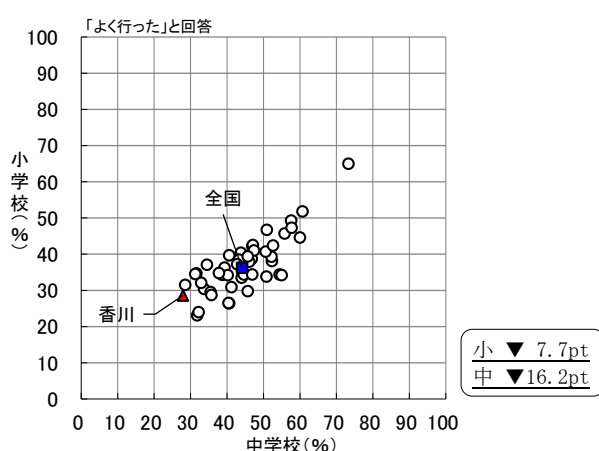
- 41/42 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか



【国語科の指導方法】

書く習慣を付ける授業

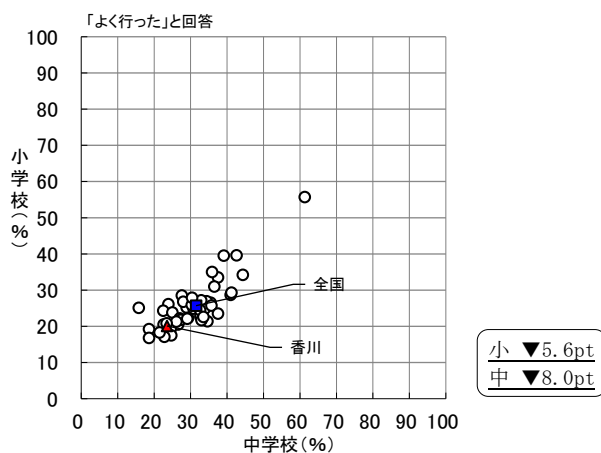
- 42/43 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか



【国語科の指導方法】

様々な文章を読む習慣を付ける授業

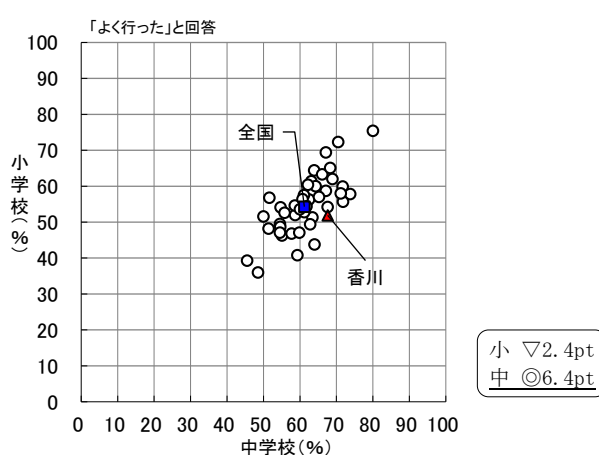
- 43/44 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか



【国語科の指導方法】

基礎的・基本的な事項を定着させる授業

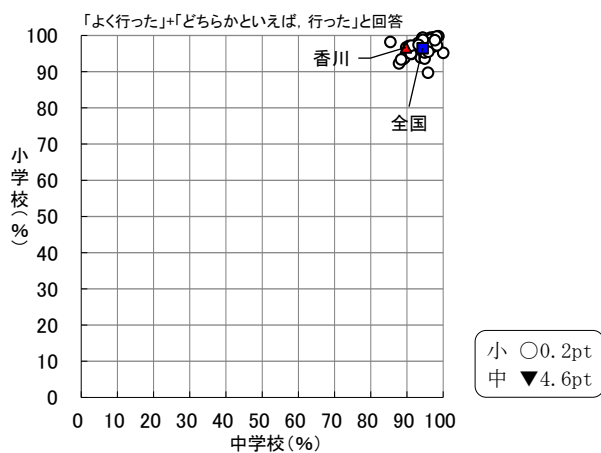
- 44/45 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

補充的な学習の指導

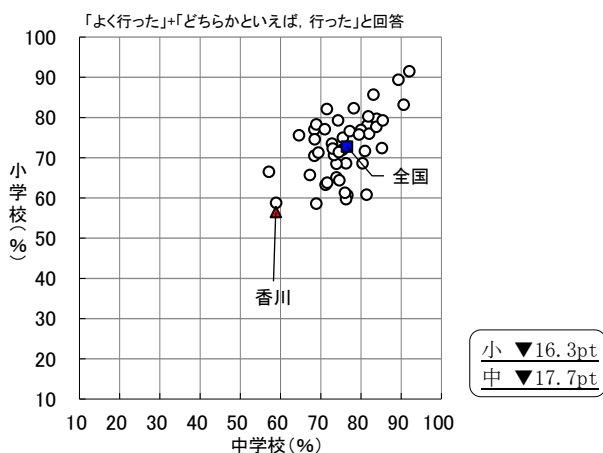
- 45/46 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

発展的な学習の指導

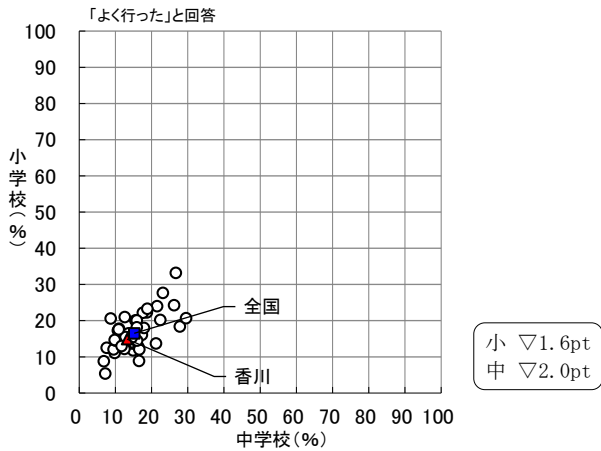
- 46/47 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



【算数・数学科の指導方法】

実生活における事象との関連を図った授業

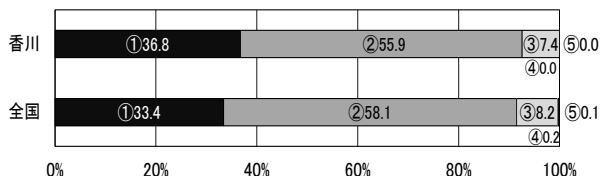
- 47/48 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか



【英語科の指導方法】

【中学校】 補充的な学習の指導

- */50 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中◎3.4pt

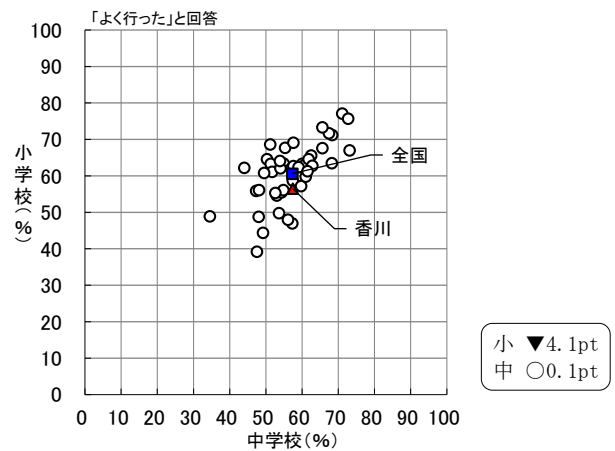
①+②の差

中○1.2pt

【算数・数学科の指導方法】

計算問題などの反復練習をする授業

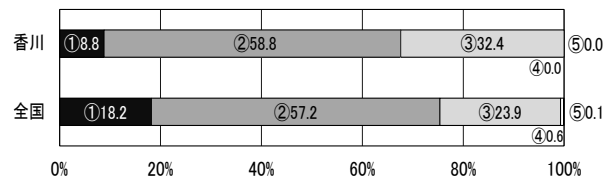
- 48/49 調査対象学年の児童(生徒)に対する算数(数学)の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか



【英語科の指導方法】

【中学校】 発展的な学習の指導

- */51 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼9.4pt

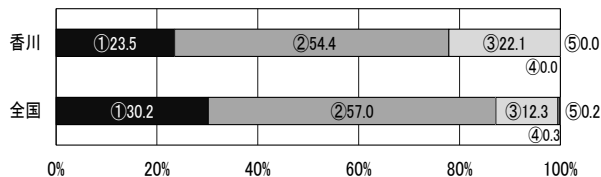
①+②の差

中▼7.8pt

【英語科の指導方法】

【中学校】 英語を聞いて概要や要点をとらえる言語活動

- */52 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を聞いて(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼6.7pt

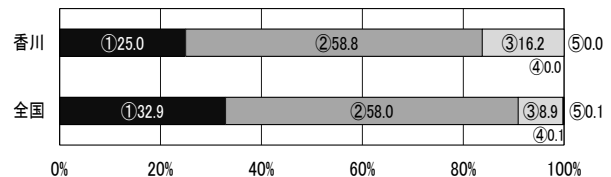
①+②の差

中▼9.3pt

【英語科の指導方法】

【中学校】 英語を読んで概要や要点をとらえる言語活動

- */53 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語を読んで(一文一文ではなく全体の)概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼7.9pt

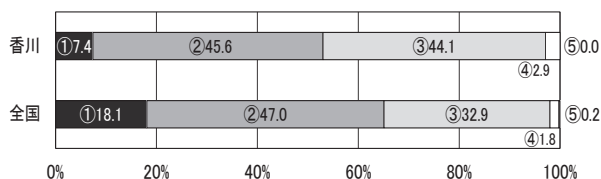
①+②の差

中▼7.1pt

【英語科の指導方法】

【中学校】自分の考えや気持ちなどを英語で伝える言語活動

- */54 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼10.7pt

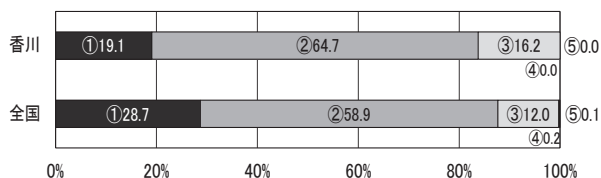
①+②の差

中▼12.1pt

【英語科の指導方法】

【中学校】自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動

- */56 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼9.6pt

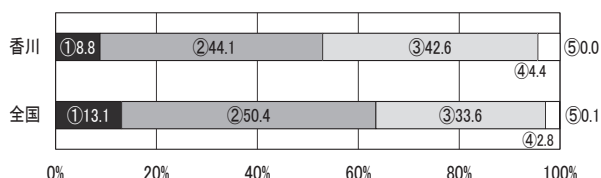
①+②の差

中▼3.8pt

【英語科の指導方法】

【中学校】内容や自分の考えを英語で書く言語活動

- */58 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼4.3pt

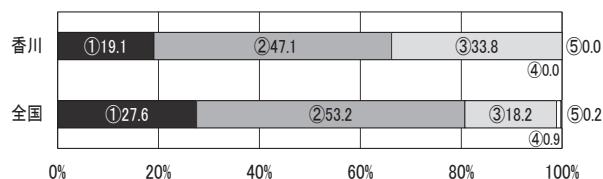
①+②の差

中▼10.6pt

【英語科の指導方法】

【中学校】英語で発表する言語活動

- */55 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼8.5pt

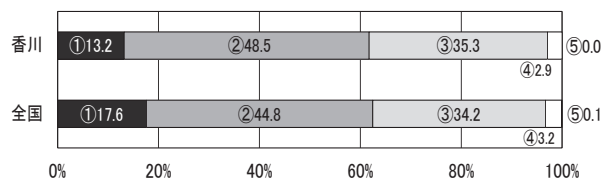
①+②の差

中▼14.6pt

【英語科の指導方法】

【中学校】英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動

- */57 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、聞いたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼4.4pt

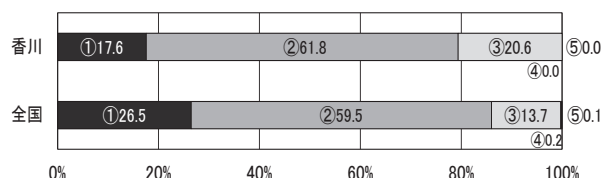
①+②の差

中▼0.7pt

【英語科の指導方法】

【中学校】授業を英語で行う

- */59 調査対象学年の生徒に対する英語の授業において、前年度までに、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中▼8.9pt

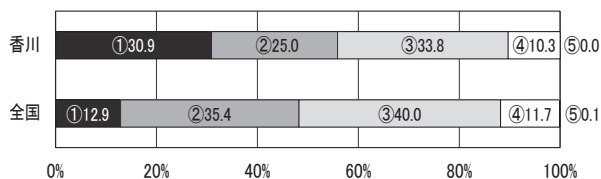
①+②の差

中▼6.6pt

【英語科の指導方法】

【中学校】英語教育に関する小学校との連携

- * / 60 前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

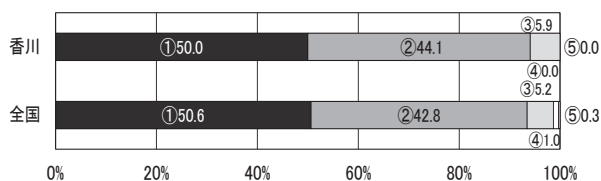
①の差
中◎18.0pt

①+②の差
中◎7.6pt

【英語科の指導方法】

【中学校】英語担当教師とALTとの間の共通認識

- * / 62 英語担当教師とALT(外国語指導助手)との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか



- ① そう思う ② どちらかといえば、そう思う
③ どちらかといえば、そう思わない
④ そう思わない ⑤ その他・無回答

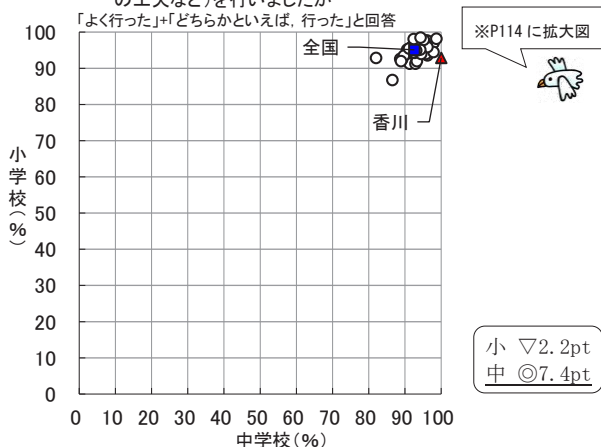
①の差
中▽0.6pt

①+②の差
中○0.7pt

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

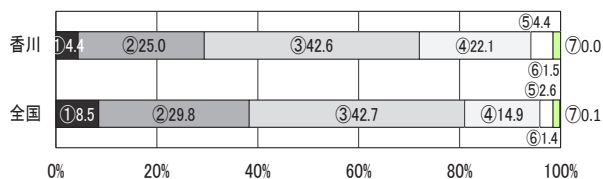
- 50 / 64 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか



【英語科の指導方法】

【中学校】ALTを活用した授業

- * / 61 年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT(外国語指導助手)を活用した授業を行いましたか



- ① ほぼ毎日 ② 週数回以上 ③ 週に1回程度
④ 月に1回程度 ⑤ 年に数回程度
⑥ ALTが参加した授業はない ⑦ その他・無回答

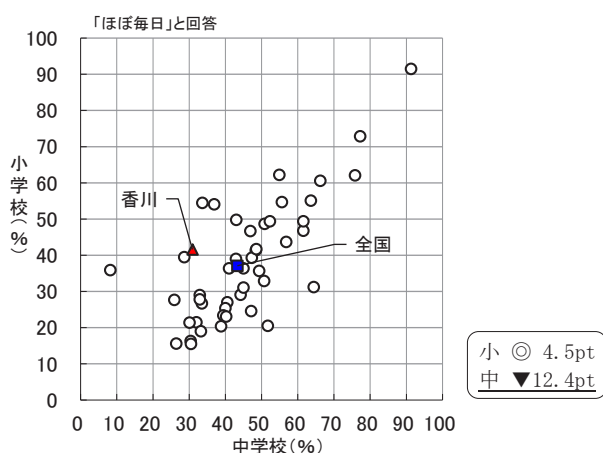
①の差
中▼4.1pt

①+②の差
中▼8.9pt

【ICTを活用した学習状況】

教員がICTを活用した授業

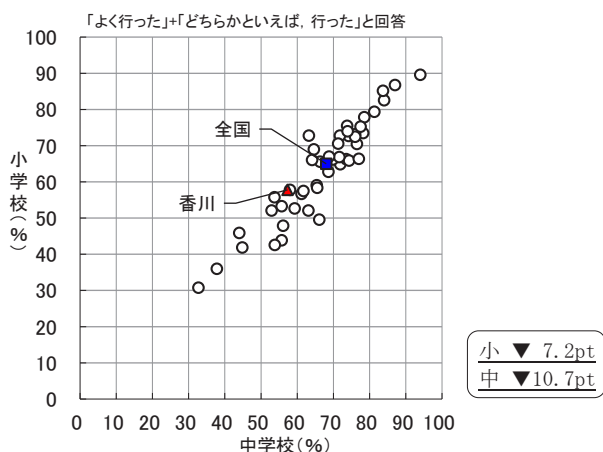
- 49 / 63 調査対象学年の児童生徒に対する指導において、前年度に、教員が大型提示装置(プロジェクター、電子黒板など)などのICTを活用した授業を1クラス当たりどの程度行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小中学校の教育課程に関する共通の取組

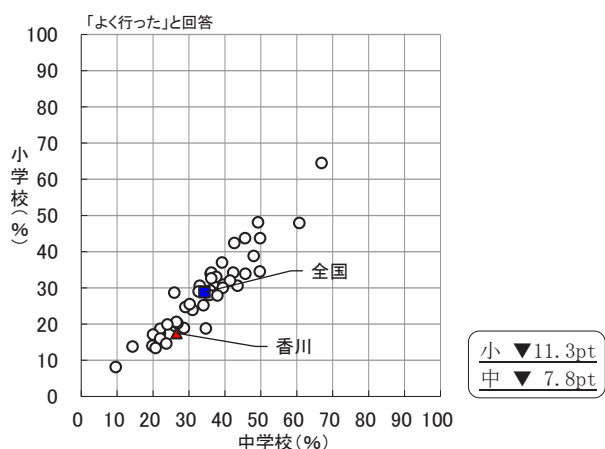
- 51 / 65 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行いましたか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小中学校の合同研修

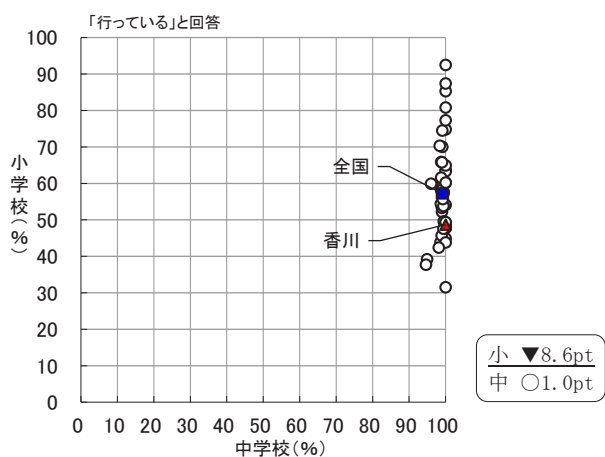
- 52/66 前年度までに、近隣等の中学校(小学校)と、授業研究を行うなど、合同して研修を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

職場体験や職場体験活動の実施

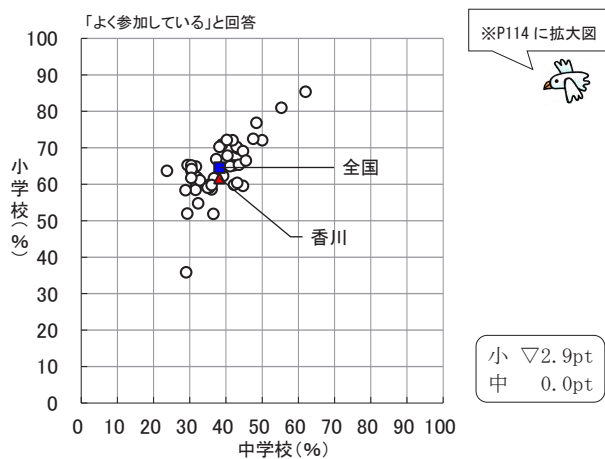
- 54/68 職場見学や職場体験活動を行っていますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人参加

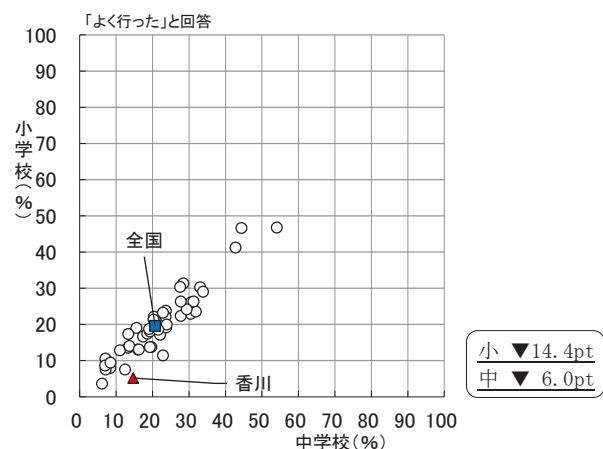
- 56/70 保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



【小学校教育と中学校教育の連携】

小中学校間での成果や課題の共有

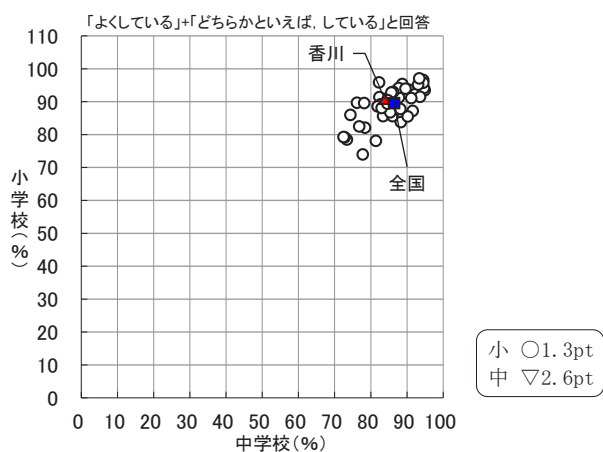
- 53/67 平成30年度の全国学力・学習状況調査の分析結果について、近隣等の中学校(小学校)と成果や課題を共有しましたか



【家庭や地域との連携等】

家庭や地域との連携

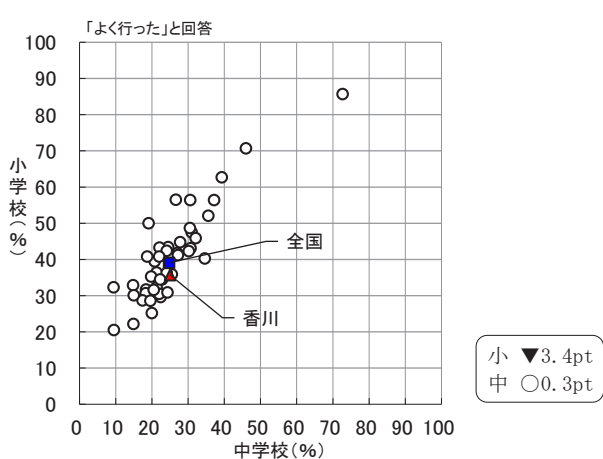
- 55/69 教育課程の趣旨について、家庭や地域との共有を図る取組を行っていますか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動

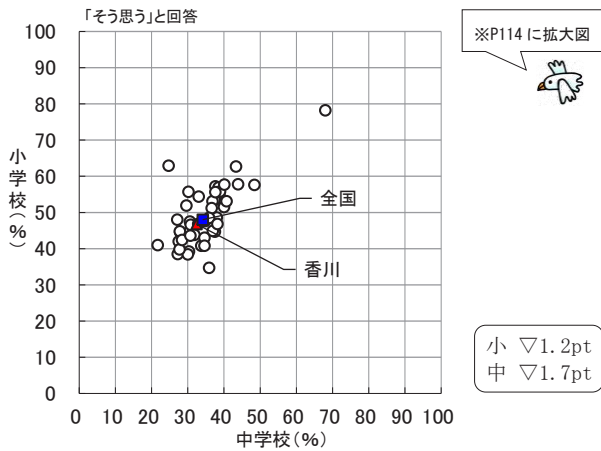
- 57/71 地域学校協働本部やコミュニティ・スクールなどの仕組みを生かして、(56/70)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による活動を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動の効果

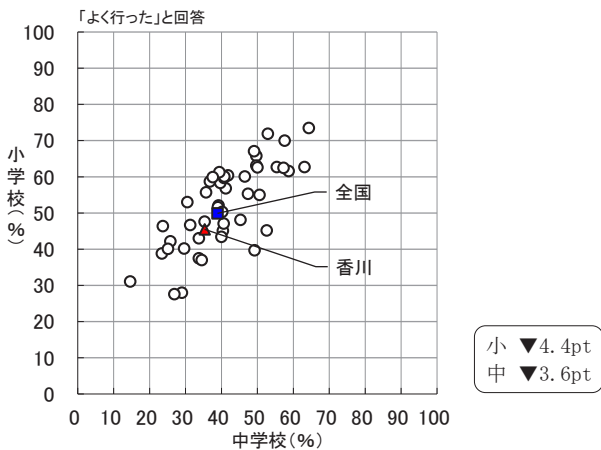
- 58/72 (56/70)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか



【家庭学習】

家庭での学習方法等に関する指導【教科共通】

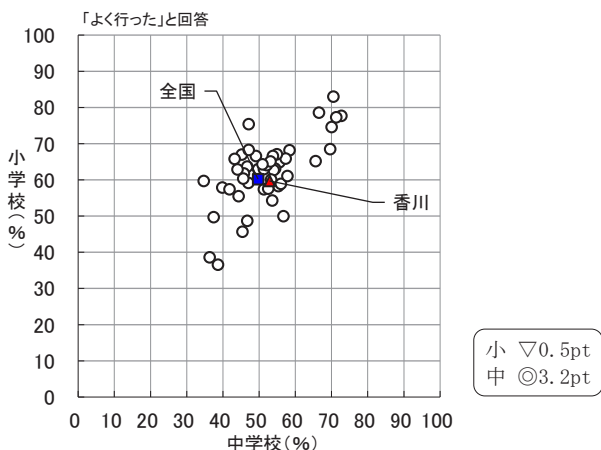
- 60/74 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童生徒に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えるようにしましたか(教科共通)



【家庭学習】

家庭学習の課題についての評価と指導【国語】

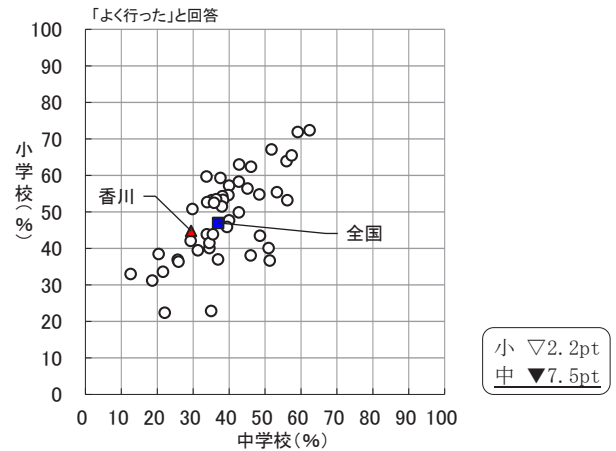
- 62/76 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、児童が行った家庭学習の課題(長期休業期間中の課題を除く)について、評価・指導を行いましたか



【家庭学習】

家庭学習の与え方についての共通理解【教科共通】

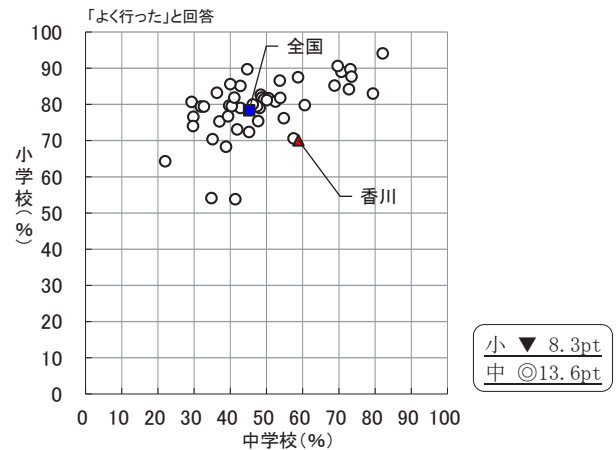
- 59/73 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、家庭学習の課題の与え方について、校内の教職員で共通理解を図りましたか(教科共通)



【家庭学習】

家庭学習の課題(宿題)【国語】

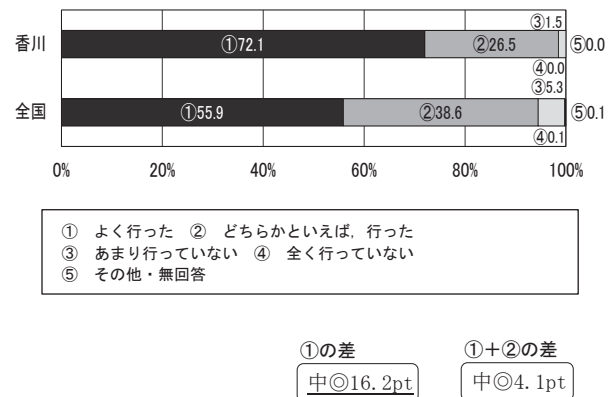
- 61/75 調査対象学年の児童生徒に対する国語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



【家庭学習】

【中学校】家庭学習の課題(宿題)【英語】

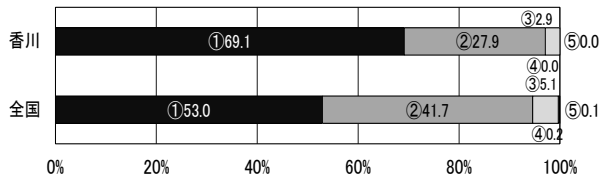
- */77 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、家庭学習の課題(宿題)を与えましたか



【家庭学習】

【中学校】家庭学習の課題についての評価と指導【英語】

- */78 調査対象学年の生徒に対する英語の指導として、前年度までに、生徒が行った家庭学習の課題（長期休業期間中の課題を除く）について、評価・指導を行いましたか



- ① よく行った ② どちらかといえば、行った
③ あまり行っていない ④ 全く行っていない
⑤ その他・無回答

①の差

中◎16.1pt

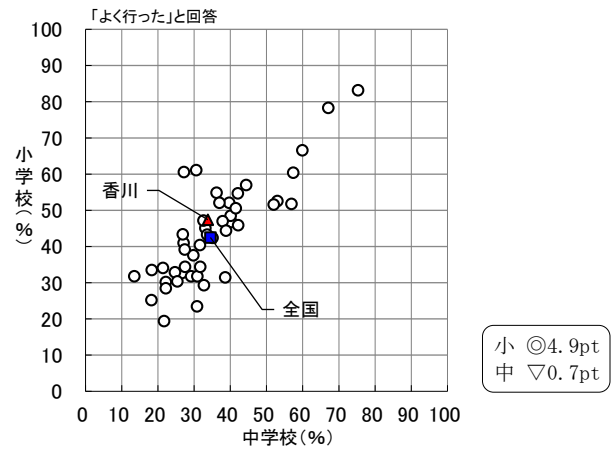
①+②の差

中○2.3pt

【全国学力・学習状況調査等の活用】

学校全体での教育活動の改善

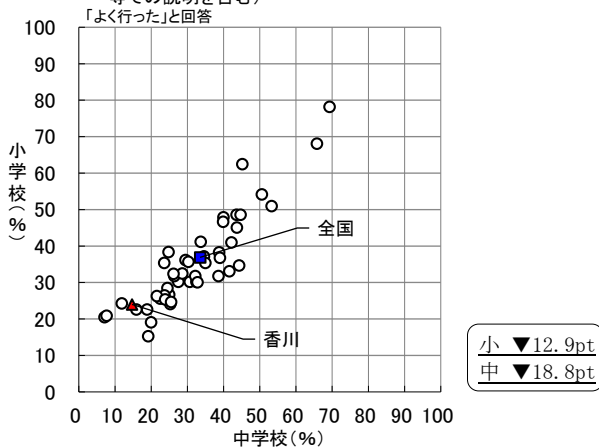
- 63/79 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか



【全国学力・学習状況調査等の活用】

保護者や地域の人たちへの公表や説明

- 64/80 平成30年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、保護者や地域の人たちに対して公表や説明を行いましたか（学校のホームページや学校だより等への掲載、保護者会等での説明を含む）

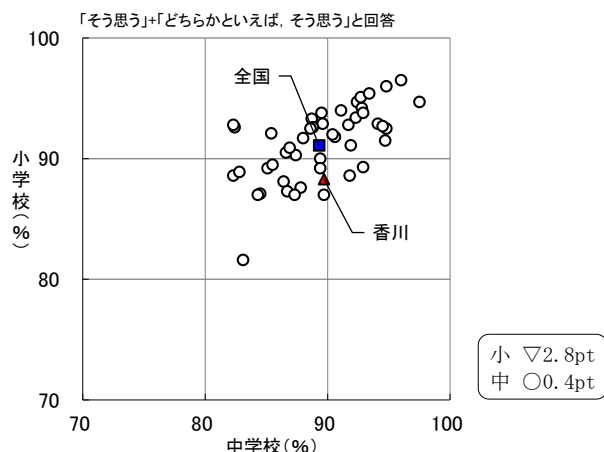


学校質問紙 回答結果グラフ【拡大図】

【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

熱意をもって勉強している

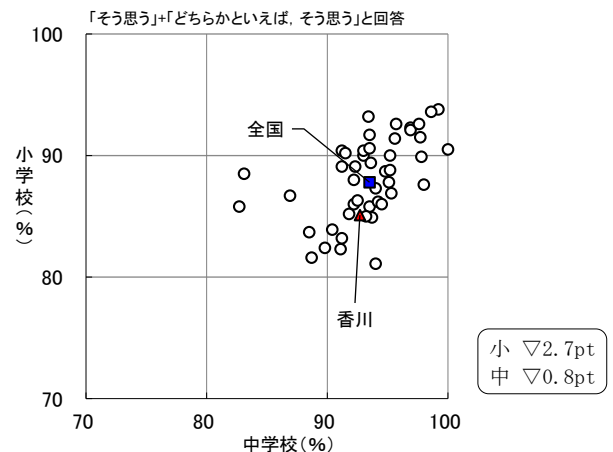
- 8/8 調査対象学年の児童生徒は、熱意をもって勉強していると思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

礼儀正しい

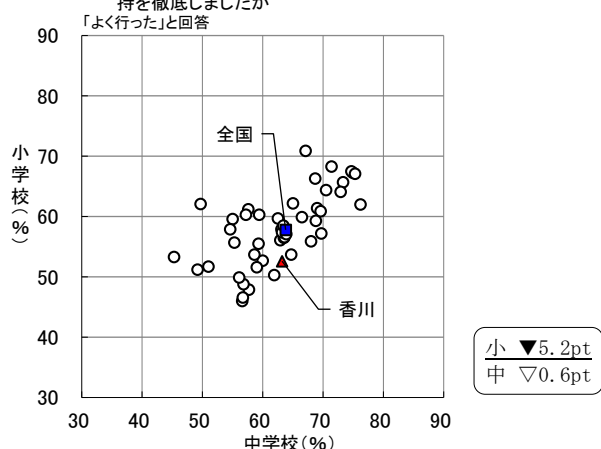
- 10/10 調査対象学年の児童生徒は、礼儀正しいと思いますか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

学習規律の維持

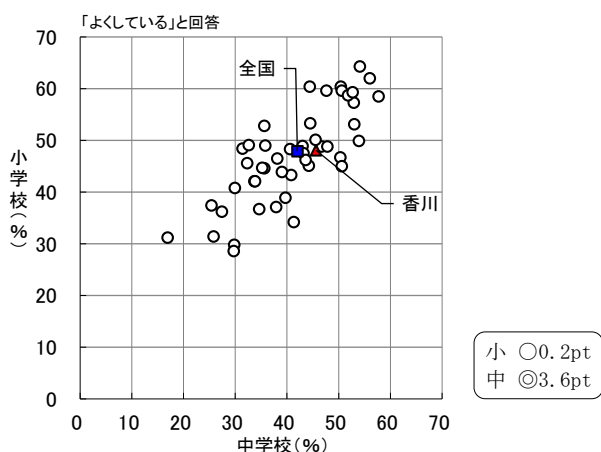
- 13/13 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、学習規律（私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど）の維持を徹底しましたか



【教職員の資質能力の向上】

指導計画作成にあたっての協力

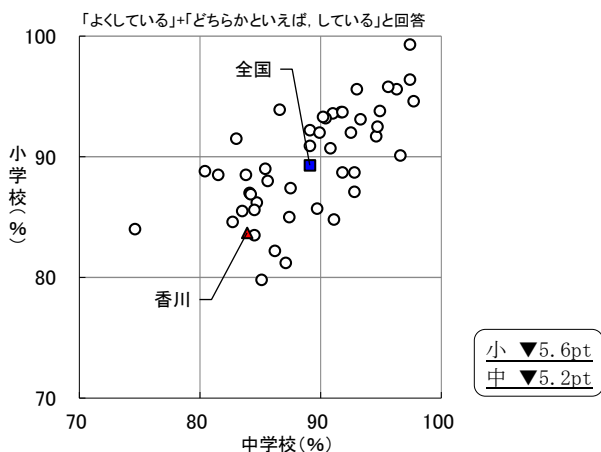
- 28/29 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力していますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

総合的な学習の時間の指導

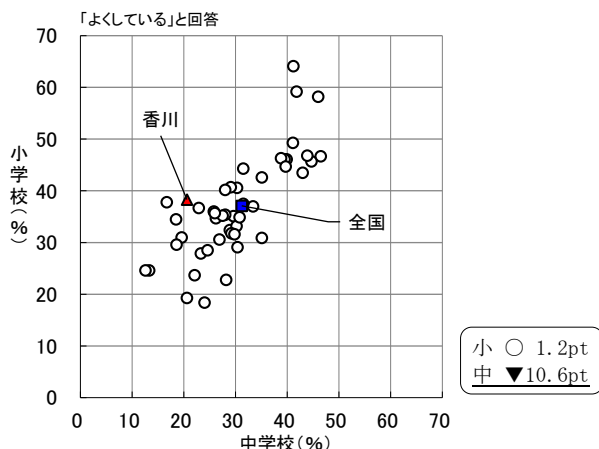
- 33/34 調査対象学年の児童生徒に対して、総合的な学習の時間で、課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしていますか



【カリキュラム・マネジメントなど、学校運営に関する取組状況】

各教科等の教育目標や内容の相互評価が分かる教育課程表

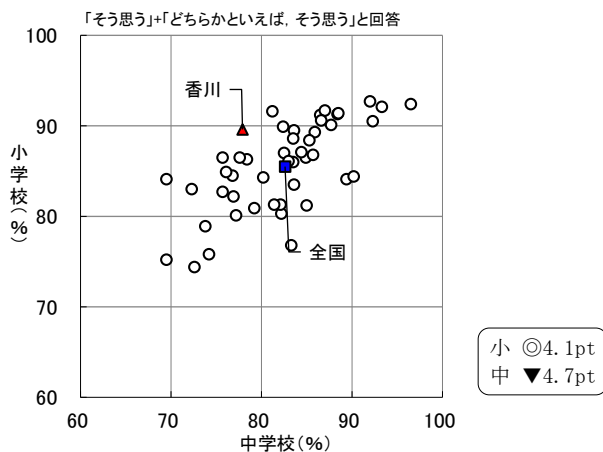
- 16/16 教育課程表（全体計画や年間指導計画等）について、各教科等の教育目標や内容の相互関連が分かるように作成していますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

自分で考え、自分から取り組むことができる

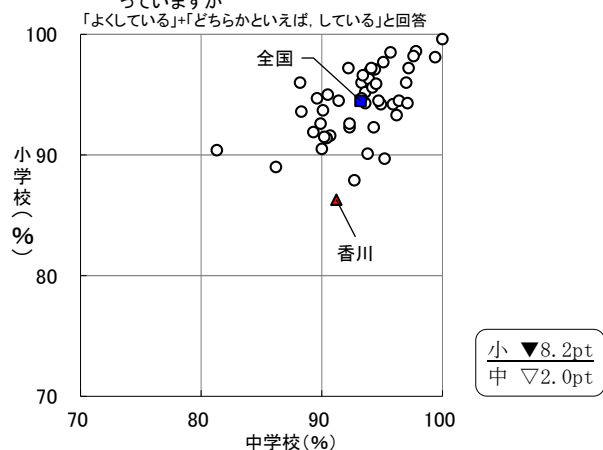
- 32/33 調査対象学年の児童生徒は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていると思いますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において合意形成できるような指導

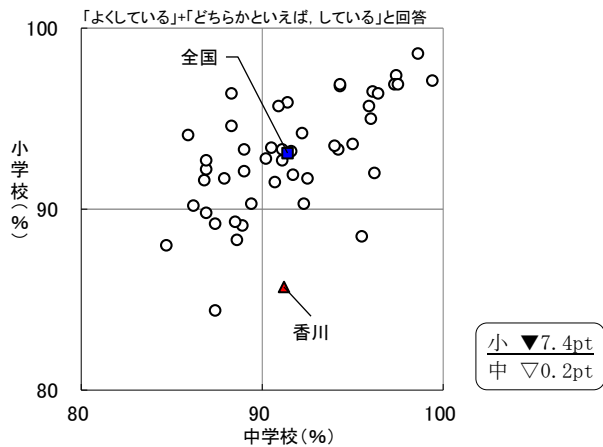
- 34/35 調査対象学年の児童生徒に対して、学級生活をよりよくするために、学級会（学級活動）で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

学級活動において意思決定できるような指導

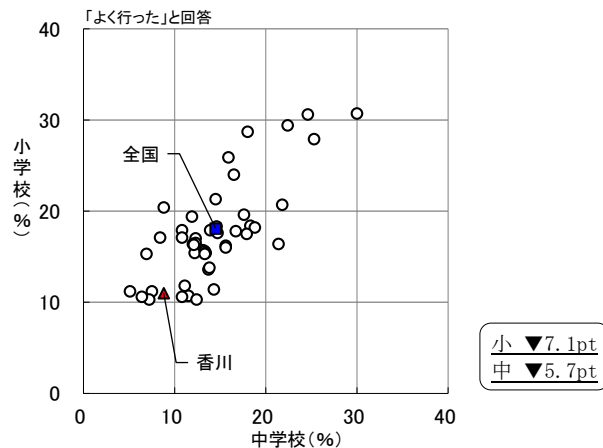
- 35/36 調査対象学年の児童生徒に対して、学級活動の授業を通して、今、努力すべきことを学級での話し合いを生かして、一人一人の児童が意思決定できるような指導を行っていますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かす機会

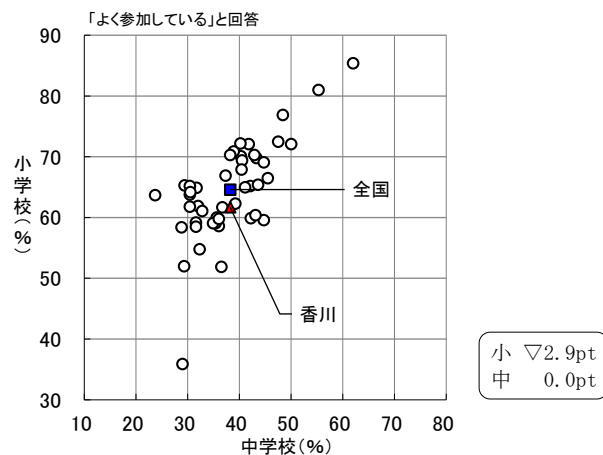
- 38/38 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、各教科等で身に付けたことを、様々な課題の解決に生かすことができるような機会を設けましたか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人への参加

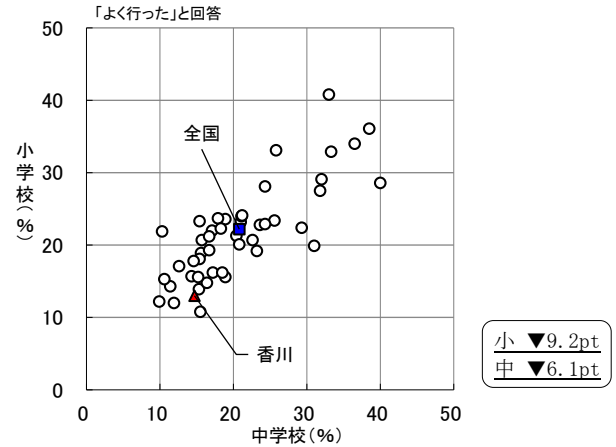
- 56/70 保護者や地域の人々が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか



【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

習得・活用・探究を見通した指導方法の改善及び工夫

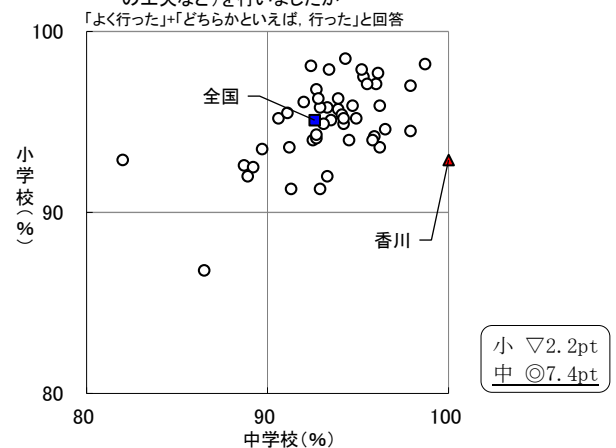
- 37/37 調査対象学年の児童生徒に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか



【挑戦心、達成感、規範意識、自己有用感等】

児童生徒の特性に応じた指導上の工夫

- 50/64 学校の教員は、特別支援教育について理解し、前年度までに、調査対象学年の児童生徒に対する授業の中で、児童生徒の特性に応じた指導上の工夫(板書や説明の仕方、教材の工夫など)を行いましたか



【家庭や地域との連携等】

保護者や地域の人との協働による活動の効果

- 58/72 (56)(70)の質問にあるような保護者や地域の人との協働による取組は、学校の教育水準の向上に効果がありましたか

